

Syllabus

保健医療福祉学部 看護学科

2019～2021 年度入学生

吉備国際大学

授業科目名	吉備国際大から世界へ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高橋 睦子、山本 敦之					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	保健医療福祉学部			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この科目の主要なテーマは、グローバル化が深化する現代世界における国際性と地域文化である。到達目標は、学生が、本学の所在地である備中高梁という場所が地域文化圏「吉備の国」としてどのような文化的・歴史的特色があるのかを十分に理解し、さらに、世界の文化や社会の多様性を学ぶことによって国際人となるための基礎を修得できるようになることである。学生は、日本と世界とのつながりを把握し、備中高梁(吉備の国)の自然環境、歴史、精神風土についての基礎知識を学修しつつ、ローカルな日常生活とグローバルな国際社会との関係から、多文化共生の基本的な意義と課題について理解できるようになる。						
概要	(地) 吉備国際大学のメインキャンパスが立地する岡山県高梁市は、日本における政治や教育、福祉などの分野で先進的かつ指導的な活躍をした人材を多く輩出した地である。このような地域の歴史・文化・社会の特色について多角的に紹介するこの科目は、本学の地域志向教育の科目群の一つである。 さらに、この科目は、吉備国際大学の教育目標である地域に根ざしグローバルに活躍できる「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」教育への序論として位置づけられる、高梁を中心とする文化圏「吉備の国」の特色を学び、また国際人養成の基礎として世界の文化や社会の多様性を学ぶ。いわば、吉備国際大学学生としての知的基盤を培う科目である。						
評価方法	毎回の講義で作成・提出する小レポートをもとに、(1) 授業内容についての理解度(60%) および (2) 授業への参加の積極性・理解しようとする取り組みの姿勢(40%) から成績評価を行う。						
履修条件・注意事項	履修にあたっては毎回必ず小レポートを提出する必要がある。2行未満のレポートや名前のみを記載して提出されたレポートについては欠席扱いとする。授業中は積極的にノートを取り、自分なりの関心と問題意識をもって聴講すること。受講は、各回の授業テーマについて基礎知識・情報を確認する予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について自ら入手可能な資料等を用いて調べ理解を深めるよう復習を行うこと。 学内外の十数人の講師が講義を分担するので、授業の進行状況によって講義スケジュールに変更が生じる可能性がある。変更がある場合にはその都度受講生に連絡する。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題が指示される。						
オフィスワ-	授業終了後教室にて、						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 「国際」の意味とグローバル化 (地)2. 順正学園と備中高梁 (地)3. 備中高梁城とともに (地)4. 高梁市 - ひと、まち、自然 (地)5. 本学の地(知)の拠点整備事業 6. 韓国の社会と文化 7. インドの社会問題と支援NGOの活動 8. 災害・熱帯感染症 9. カンボジアとタイ-リハビリテーション 医療の視点から 10. 私のアフリカ体験 11. 'My own place' アイルランド 12. ドイツ - 童話の世界観をひもとく 13. EU(欧州連合) - 地域共同体の形成と展開 14. フィンランド - イノベーション社会 15. 全体総括 - 世界の中の日本 最終試験:「評価方法」を参照	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	高橋睦子 高橋睦子, 加計美也子 高橋睦子 高橋睦子, 近藤隆則 高橋睦子, 河村顕治 高橋睦子, 姜明求 高橋睦子, 橋本由紀子 高橋睦子, 服部俊夫 高橋睦子, 原田和宏 高橋睦子 畝伊智朗 高橋睦子, J.Fawsitt 高橋睦子, 清水光二 高橋睦子 高橋睦子 高橋睦子					
教科書 1	『国際理解のために』※購入不要 著者:高橋 和夫 出版社:放送大学教育振興会 ISBN:978-4595314261						
教科書 2							
参考書 1	『異文化理解入門』※購入不要 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342						
参考書 2							

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・AL	
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。							
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。							
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。							
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。							
自己学習	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15.異文化理解 16.単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠				
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7							
参考書 2								

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。						
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス						
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。						
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。						
自己学習	毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義	井上	1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	吉備国際大から世界へ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・AL
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。						
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。						
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。						
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。						
自己学習	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15異文化理解 16.単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7						
参考書 2							

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。						
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス						
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。						
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。						
自己学習	毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義	井上	1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域貢献ボランティア				履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	竹崎 和子					NO.	GE-KE-2-003	
配当学科	看護				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ 学生が、地域貢献ボランティア活動を通じて地域社会に積極的に参加できる人材となることができる。</p> <p>到達目標 看護学科のディプロマポリシーの技術・行動において、「看護職として社会に積極的に参加できる人材となる」を目的とする科目で、具体的には地域や地域の医療機関のボランティア活動に参加し、地域や地域の医療機関の人々と共にふれあい活動をすることで、地域社会に貢献するところや姿勢を持ち、地域社会や身近な生活に起こりうる問題点を理解し、解決するために地域社会に積極的に参加できるようになる。</p>							
概要	<p>キャリア教育の一環として社会人基礎力を身に付けるために、地域貢献ボランティアをおこなう。具体的には、ボランティアの社会的役割やボランティアの意義、活動時の注意事項等について学んだ後、地域や地域の医療機関の要請を受けたボランティア活動を10コマ(20時間)行なう。</p> <p>ボランティア活動は、ボランティア活動予定表(5月～12月末まで)から活動時間が20時間以上になるように選択し、活動を行なう。その後、ボランティア活動報告書(1000字以上)を作成し、学科別にて発表を行う。</p>							
評価方法	ボランティア活動の内容および活動報告書、発表内容等により、授業の到達目標について到達度をトータルで評価する。 ボランティア活動状況60%、発表20%、活動報告書20%							
履修条件・注意事項	<p>「吉備から世界へ」の授業で学んだ地域の問題点について、さらに事前学習により調査し理解したのち受講する。履修登録までに、大学が加盟する任意保険(学生教育研究災害傷害保険『学研災』)に加入すること</p> <p>ボランティア活動時は、ボランティアカードと学生証を携帯し、受け入れ事業所の指示に従い、事故に注意すること。ボランティア終了時には、活動時間を記入し、事業者にて修了確認印を受領すること。</p>							
自己学習	ボランティア活動に参加する前に、参加するボランティア活動の内容についてインターネットなどを活用して調べておくこと。また、ボランティア終了時には、その都度、活動の内容について振り返りを行い、記録を整理しておくこと。							
オフィスワ-	春学期は毎週木曜日5時限 秋学期は毎週水曜日5時限研究室(6404号室)で実施							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. ボランティア活動の基礎的理解 2. ボランティア活動の注意点と活動計画作成 3. ボランティア活動 4. ボランティア活動 5. ボランティア活動 6. ボランティア活動 7. ボランティア活動 8. ボランティア活動		講義 講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習	外部講師 竹崎 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師	9. ボランティア活動 10. ボランティア活動 11. ボランティア活動 12. ボランティア活動 13. 活動報告 14. ボランティアフォーラム 15. ボランティアフォーラム 16. 試験(活動報告書)			実習 実習 実習 講義 講義 講義 レポート試験	外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎
教科書 1	使用しない(必要に応じて資料を配布する)							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	キャリア開発 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	掛谷 益子、澤田 和子、高尾 茂子、清水 菜月					NO.	GE-CG-1-001	
配当学科	看護				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	卒業後社会人として、4年間の大学生生活でいかにキャリアを積み上げるかを考え、卒業までの過ごし方を計画し、実行を開始する。社会が求める自主性、責任感、協調性、教養、分別を学び、自己分析力を身につけ、卒業までに何を身につけるべきか、そのためには何をすべきかを考え、実行することができるようになる。							
概要	<p>社会が求める人間像を身につけ、キャリアデザインを考え実行出来るための授業である。合同と各学科単位での授業の2形態とする。合同授業は外部講師による授業、学科単位の授業は、看護学科の教員の経験や実績を加味した到達度確認や学外演習を内容とする。特に、KIWIドリルを活用した基礎学力の向上を学生が自主的に行うことで、自律的学習習慣を獲得する。</p> <p>この科目の学科別授業は医療従事者としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において分かりやすく役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	基礎学力試験30%、KIWIドリル実施状況30%、到達度確認・授業態度・課題提出40%により総合的に判断する。なお、評価のために実施した到達度確認や課題については、授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	合同授業は指定した教室で行う。各学科で行う授業は各学科の指示に従うこと。復習として、各回の授業のワークシートやレポートを整理することやKIWIドリルの学習完了期限を目指し計画的に実施する。また毎回の授業で学習したことをもう一度深く考え、自己分析などを実行するとともに、卒業までのキャリアデザインを考えること。							
自己学習	看護職としての社会人基礎力をつけるため、社会全体をみつめる視点を養うことを意識し、毎日の基本的な学習態度や人間関係形成能力を身に付けてほしい。							
オフィスワ-	6号館4階研究室において毎週水曜日2限をオフィスアワーとする(1年チューター)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1. 授業ガイダンス 養護教諭・高等学校教員の職務 2. 大学生のキャリア開発 3. メンタルヘルス 4. 基礎学習講座1回目・大学生生活の基礎 5. 性格・適正・行動計画を立てる 6. 働くとは職業教育 7. 保健師の職務 8. 看護師の職務 9. 看護師国家試験とは 10. 看護基礎学習・人体の仕組み 11. 看護基礎学習・看護に関する漢字 12. 基礎学習講座2回目・適正から自分の強みを見つける 13. 看護基礎学習・基礎計算 14. 看護基礎学習・看護に関する計算 15. 中山間地域を支える看護師 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 講義 試験	掛谷・清水 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 高尾 掛谷 外部講師 掛谷 掛谷 掛谷 外部講師(掛谷) 掛谷						
教科書 1	講義毎に資料を配付する。 必要時提示する。							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	キャリア開発Ⅱ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高尾 茂子、安福 真弓、田中 富子、中瀬 克己、福岡 美和、飯田 尚美、柘野 浩子					NO.	GE-CG-3-002
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマ:社会人として必要なマナーを理解し、就職活動に必要なスキルを身につけ、「なりたい姿」を実現する。 目標:①就職活動の流れを理解し、必要な技術を身につける。 ②社会や就職活動で必要な会話術を学び、日常から使えるようになる。 ③面接、グループディスカッションの場面でも自己表現が実践できる。						
概要	初日と最終日以外は合同授業であり、社会人として、就職活動を行うために身につけておくべき内容から構成されている。						
評価方法	毎回提出レポート(30%)、最終レポート(50%)、授業の態度(20%)						
履修条件・注意事項	①初回の授業で授業計画を説明する。 ②合同授業日と各学科授業日で教室が異なる。 ③授業態度及び毎回提出するレポートが評価の基準となる。						
自己学習	配布資料、提示する参考書等をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること。						
オフィスワ-	水曜日、3. 4限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. (各学科)授業について 2. 就職活動準備・タイムマネジメント 3. 病院見学、インターシップの必要性、エントリーシートの攻略 4. 自己分析・自己PR 5. 乗り遅れるなWEB活用 6. なぜ敬語を使うのか 7. 日常会話のスキルアップ 8. エントリーシート・履歴書の書き方 9. 面接対策、GD/集団・個人 10. エントリーシート攻略フォロー 11. SPI対策(筆記試験対策) 12. 3学科共通 13. 3学科共通 14. 社会人に必要なマナー 15. まとめ 16. 臨地実習での看護師国家試験対策学習法		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	高尾 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 学内講師 学内講師 外部講師 外部講師 外部講師				
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	未来をつくるキャリアの授業 最短距離で希望の人生を手に入れる 著者:渡辺 秀和 出版社:日本経済新聞出版社						
参考書 2							

授業科目名	情報処理 I			履修期	2021年度 春学期			
担当者	中嶋 貴子、清水 菜月				NO.	GE-IT-1-001		
配当学科	看護			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習	
テーマと到達目標	高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限のコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。							
概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習をおこなう。							
評価方法	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明を求める。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物30%、試験の成績を40%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。なお、評価のため実施した課題等については、授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」を実施する。このシート未受験者の履修は認めない。高校までに習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。							
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。							
オフィスワ-	高梁キャンパス6402研究室:平日昼休憩時間 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認)		講義・演習	中嶋・清水					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器		講義	中嶋					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標準化・コード)		講義	中嶋					
第4回 OSとアプリケーション		講義	中嶋					
第5回 ファイルシステム操作		講義・演習	中嶋					
第6回 文書作成(ワープロソフト)操作		演習	清水					
第7回 文書作成(ワープロソフト)課題		講義・演習	清水					
第8回 表計算ソフト操作		演習	清水					
第9回 表計算ソフト課題		講義・演習	清水					
第10回 プレゼンテーションソフト操作		演習	清水					
第11回 プレゼンテーションソフト課題①		講義・演習	清水					
第12回 プレゼンテーションソフト課題②		講義	清水					
第13回 ネットワークとインターネット		AL・演習	清水					
第14回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ①		講義・演習	清水					
第15回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ②		講義・演習	清水					
教科書 1	情報リテラシー 入門編 <改訂版> FPT1716 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	情報処理 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	片山 章郎					NO.	GE-IT-1-001	
配当学科	看護				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習	
テーマと到達目標	<p>高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で大学生に必要とされる必要最低限のコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。</p> <p>コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。</p>							
概要	<p>情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、ブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習をおこなう。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:本授業は電算部でコンピュータの実務経験のある教員が担当する。</p>							
評価方法	<p>「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で毎回専門用語の説明を求める。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物(フィードバックを実施)30%、単位認定試験の成績を40%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。</p>							
履修条件・注意事項	<p>教科書は必ず初回の講義から持参すること。</p> <p>講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。</p> <p>事前の技能確認シート未受験者の履修は認めない。</p> <p>高校までに習得したコンピュータリテラシーを踏まえた授業であるため、受講前までに高校で得た知見を復習しておくことが望ましい。</p> <p>授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。</p>							
自己学習	<p>各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。</p> <p>また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。なお、パソコンを使って、教科書の内容を予習・復習することが望ましい。予習に30時間と復習に30時間を要する。</p> <p>予習と復習の確認については、次回の講義時に専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。</p>							
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認)		講義・演習	片山					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器		講義	片山					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標準化・コード)		講義	片山					
第4回 OSとアプリケーション								
第5回 ファイルシステム操作		講義	片山					
第6回 社外文書の形式の理解とワープロソフトによる作成		講義・演習	片山					
第7回 ワープロソフトによる社外文書の完成		講義・演習	片山					
第8回 表計算ソフト操作		演習	片山					
第9回 表計算ソフトの課題の完成		演習	片山					
第10回 プレゼンテーションソフト操作		講義・演習	片山					
第11回 プレゼンテーションソフトによる発表スライドの作成		演習	片山					
第12回 課題の発表		講義・演習	片山					
第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ		講義	片山					
第14回 コンピュータによる問題解決		AL	片山					
第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑		AL・演習	片山					
第16回 単位認定試験		講義	片山					
		講義	片山					
		実技試験	片山					
教科書 1	情報リテラシー 入門編 Windows10・Office2016対応 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	情報処理 I			履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛					NO.	GE-IT-1-001	
配当学科	スポーツ社会			年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習	
テーマと到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要なとされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。							
概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。							
評価方法	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。							
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。							
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。							
オフィスワ-	岡山キャンパス131研究室:春 木曜日2時限目 秋 木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室:春 火曜日1時限目 秋 金曜日1時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作)		講義・演習	天岡					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器		講義	天岡					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標本化・コード)		講義	天岡					
第4回 OSとアプリケーション								
第5回 ファイルシステム操作								
第6回 文書作成(ワープロソフト)操作		講義	天岡					
第7回 文書作成(ワープロソフト)課題		講義・演習	天岡					
第8回 表計算ソフト操作		演習	天岡					
第9回 表計算ソフト課題								
第10回 プレゼンテーションソフト操作		講義・演習	天岡					
第11回 プレゼンテーションソフト課題								
第12回 ネットワークとインターネット		演習	天岡					
第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ		講義・演習	天岡					
第14回 コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決		演習	天岡					
第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑		講義・演習	天岡					
第16回 単位認定試験		講義	天岡					
		AL・演習	天岡					
		講義	天岡					
		講義	天岡					
		実技試験	天岡					
教科書 1	情報リテラシー 入門編<改訂版>FPT1716 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	情報処理Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	片山 章郎					NO.	GE-IT-1-002	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	①社会人になった時、事務処理でEXCELの活用ができる技術を身に付ける。 ②統計学の基礎を学ぶ。 以上のことを到達目標とする。							
概要	EXCELの基本と、書式や関数の使い方を説明しながら、関数を利用した処理の演習をおこなう。また事務処理でよく利用される形式の集計や計算を想定した課題問題を使って、書式や関数の設定、並びに正しい結果になっているかの検証方法などを身に付ける。 なお、課題を通して学んだ知識が定着しているか、グループ討論を導入したアクティブ・ラーニング形式の授業も実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は電算部でコンピュータの実務経験のある教員が担当。ビジネスの現場で必要とされる情報処理技術について講義、演習、アクティブ・ラーニングによって学生の理解を深める。							
評価方法	課題問題の解答の提出と説明(理解度を確認するため、解答の提出と同時に、解答を導き出した過程の説明も求める。)の20%と、筆記試験の80%で評価する。 なお、評価のために実施した課題問題の解答手順は授業でフィードバックするので、しっかり復習をすること。							
履修条件・注意事項	配布されたマニュアルに基づいて予習しておくこと。 課題問題の提出後は解答に到る手順説明を求めするので、復習をしっかりしておくこと。							
自己学習	欠席すると、授業で実施する課題問題の解答を提出できない。欠席した場合は次週の授業までに解答を提出できるよう、担当教員に教わりに行ったり、自主学習をしたりすること。 予習と復習を必ず行うこと。予習に1時間、復習に3時間程度要する。パソコンを使って、予習・復習することが望ましい。							
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 表計算の作成手順 2. 請求書の作成①(書式や数式) 3. 請求書の作成②(関数や表の編集等) 4. 書式や関数の理解度の確認 5. 売上表の作成(データ入力) 6. 売上表の分析(ピボットテーブルとグラフ) 7. 集計やグラフの理解度の確認 8. アルバイトの勤務表の作成(日付・時間関数とデータチェック) 9. アルバイトの勤務表の分析 10. 時間関数の理解度の確認 11. アンケートデータの入力(入力規則) 12. アンケートの集計 13. 集計結果の分析 14. 統計の基本の理解度の確認 15. 総復習 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義 筆記試験	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山	
教科書 1	初回授業時に情報処理Ⅱ用EXCELマニュアル(作成配布資料)を配布							
教科書 2								
参考書 1	統計の授業前に統計学の基礎の資料を配布							
参考書 2								

授業科目名	情報処理Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大谷 卓史					NO.	GE-IT-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 2. 方が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 3. 情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じるか理解できるようになる。 <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p>						
概要	<p>現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的な事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。</p> <p>主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p>						
評価方法	<p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習: 次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習: 授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。</p>						
オフィスアワー	<p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。 秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨ 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理・法・慣習 4 倫理とは何だろうか(1) 基本的な用語と枠組み 5 コンピューティングの歴史 コンピュータの誕生からパソコンの登場まで 6 コンピューティングの歴史 インターネット出現からIoT時代まで 7 身近な情報セキュリティ 8 メールやメッセージングアプリのセキュリティ 9 著作権の基礎 10 レポート作成の倫理問題 11 「漫画サイトが見られない」 12 個人上保護法の基礎知識 13 ポイントカードと個人情報 14 情報時代のプライバシー 15 まとめ 16 試験 	<p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験</p>	<p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p>		
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>改訂新版 情報倫理入門 著者: 土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著 出版社: アイケイコーポレーション ISBN: 4874923240</p>						
参考書 2							

授業科目名	情報処理Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	今村 俊介					NO.	GE-IT-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>学生は、表計算ソフトExcelの応用関数や多言語OSについて理解を深め、実務に役立つ知識と技能を修得することができる。また、多言語OSの世界に触れることで情報処理活用の多面性を理解することができる。Excelの応用的な実務機能を演習形式で体得し、実務力を身につけることができる。また、情報処理Iにより情報処理の基礎やオフィスアプリケーション操作を一通り理解した学生が、さらにコンピュータを活用した社会に適応する上で必要な概念と関連技術・用語について理解を深めることができる。</p> <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p>						
概要	<p>情報処理の実務的内容として、表計算ソフトExcelの応用課題作成を行う。また、Windowsと日本語OS(B-TRON)を比較考察し、コンピュータのハードウェア・ソフトウェアと望ましい情報システムの形態を実機学習を通して理解する。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>なお、この科目は、コンピュータ・インストラクターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、実社会において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>実習を重視して進めるので、遅刻は厳禁とする。</p> <p>原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とするが、9月入学生や編入生・再履修生等については個別に対応する。PC台数の制限があるため、このクラス希望者全員が受講可能とならないことがある。</p> <p>各回の授業に対して予習・復習を十分におこなうこと。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがある。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと(90分)。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと(90分)。</p> <p>予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。</p>						
オフィスワ-	14号館6階個人研究室にて、火曜日2眼に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ul style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 表計算 関数:条件判断 3 表計算 関数:表の参照 4 表計算 条件付き書式 5 表計算 複合グラフ 6 表計算 ブック間集計 7 表計算 ピボットテーブル 8 表計算 小テスト 9 OSの多様性 10 TRONとは何か 11 イネーブルウェアと超漢字OS 12 日本語言語プログラムとは 13 日本語言語プログラム実践基礎 14 日本語言語プログラム実践応用 15 学習範囲プレテスト 16.単位認定試験 			<ul style="list-style-type: none"> 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 講義 講義 演習 演習 演習 演習 試験 	<ul style="list-style-type: none"> 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村
教科書 1	よくわかる Microsoft Excel 2019応用 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-381-6						
教科書 2	「超漢字OS」「日本語言語プログラム」についてはプリントを適宜配布する。						
参考書 1	授業内で適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤羽 美鳥					NO.	GE-LE-1-002
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>英語で意見が多少なりとも言えるようになることを到達目標としているため最低限の正しい英語が言えるよう、基本的文法のおさらいと単語力、一般教養的な知識をつけることが学習のテーマです。</p> <p>それを行うことにより「学生は高校までの基本的な文法事項を復習でき、そのうえで辞書で単語を引けば、特別に難しい内容を書いている文章や専門的知識のいる内容以外なら、おおよその文の内容を把握できる」ようになります。</p> <p>英語の基本的な習得はもちろん、自分たちを見つめるきっかけをテキストの内容から自然と考えるようになるでしょう。</p> <p>この授業で必要な最低限の単語を覚え、繰り返し自分で発音することを続ければ、これらの表現を使って学生は現在の世の中の傾向や自分たちの考えを伝えることができるようになります。</p>						
概要	このテキストは、よりよい生活を送るため、あらゆる側面からの健康的習慣が取り上げています。よく耳にする内容からあまり知られていないものまで、どのように英語で表現されているのかに着目してください。みなさんが意思や考えを伝えられるよう工夫がなされていますから、生きた英語を習得してもらうには絶好の教科書です。基本的なやり方は授業中に指導します。教科書には家で聞き取りの勉強ができるように無料でダウンロードできる特典もついていますから十分に学習することができます。						
評価方法	授業の中で課す課題と授業態度(50%)と試験(50%)で総合的に評価します。フィードバックは試験のあとで主要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたい。						
履修条件・注意事項	個人によって高校までの(特に文法の理解度)習得の差はあると思いますが、次の時間に何を講義するかを前の授業のときに言っておきますので、高校のときの参考書をもう一度ひもといてあらかじめ文法的予習をしておいてもらい、テキストの単語も辞書で引いて自分なりの訳を書いてくることを前提とします。授業のときにはできる限り辞書を携帯して下さい。またCDを使って一日に何度か習ったところを聴く習慣をつけてもらいたいと思っています。読む、聴くことを中心に総合的な力をつけていくので、積極的な姿勢で授業に臨んで下さい。						
自己学習	履修の段階でこれまでの中学、高校の実力の差があると思うので参考書で丹念に文法事項を確認しながら各自で訳をやってきてください。それが終わったら、さらに実力をつけたい人は教科書の最初のページに音声ファイルがダウンロード無料でできるとあり、やり方を書いていますので各自でダウンロードして聞き取りの練習を行って下さい。						
オフィスアワー	金曜日の2,3時限に来ています。質問のある方は、授業の前後に遠慮なくどうぞ。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1 砂糖のお話 1 2 砂糖のお話 2 3 コンパニオン・アニマル 1 4 コンパニオン・アニマル 2 5 音楽と医療 1 6 音楽と医療 2 7 傾聴のすすめ 1 8 傾聴のすすめ 2 9 共食の時代 1 10 共食の時代 2 11 おひとり様かひとりぼっちか 12 自分を信じて 1 13 自分を信じて 2 14 著者からのメッセージ 15 後期のまとめ 16 筆記試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽
教科書 1	Healthy Habits for a Better Life 著者:Joan McConnell Kiyoshi Yamauchi 出版社:Seibido(成美堂) ISBN:ISBN978-4-7919-7229-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	平見 勇雄					NO.	GE-LE-2-003
配当学科	看護・心理			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	この授業はテキストの予習をしっかりやれば高校以上の難易度の長い文章が読めるようになります。基本的な文法の復習や語彙に加えて読解力をつけることを目標にしています。また、全文のテキストのテープを聞く、訳を自分でしてもらうことで自分の実力を客観的に把握できるような授業を行います。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力がつくよう各自の予習も必須です。英会話の中級に近い程度の会話ができるようになります。						
概要	教材はビートルズの物語を扱います。メンバーの生い立ちからグループの解散まで、テンポよく流れていく物語を楽しみながら次の授業が楽しみになるよう、内容を取りながら進めていきます。物語はスターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、人生における挫折が多く書かれています。自分たちと変わらない年齢の若者が、国籍、時代を問わず、同じように経験する出来事を自らの人生と重ねながら読んでもらいたいと願っています。 時々プリントに合わせて公式に発売されているメンバーの肉声のインタビューを聞きながら、物語に幅をもたせ、いろいろな角度からその人生を眺めます。なぜビートルズが時代を問わず愛されているのか、他のグループとは一線を画す存在なのかも考えていただきたいと思っています。						
評価方法	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。						
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めらるくらいの積極的な態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。						
自己学習	授業前に必ず自分で訳をしてきて下さい。辞書を引いて文型を確認しながら前後の文章とのつながりも考えながら2時間程度の予習が理想です。復習としてはこれも2時間、実力に応じて授業で渡すCD-Rを使ってシャドウイングをしながら耳と会話を鍛えることをお勧めします。						
オフィスワ-	水曜日の3時間目に研究室にお越しください。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1 リバプール 2 ジョンレノンの生い立ち 3 ポールマッカートニーの生い立ち 4 ジョージハリソンの生い立ち 5 メンバー交代 リングスター 6 オーディション 7 ビートルズデビュー 8 ビートルマニア 9 アメリカ進出前 10 エドサリバンショー 11ア ハードデイズ ナイト 12 ヘルプ 13 世界制覇 14 最後のツアー 15 リボルバー 16 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見					
教科書 1	プリントを配布します。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	平見 勇雄					NO.	GE-LE-2-004
配当学科	看護・心理			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	この授業ではしっかり予習と復習を行うことで学生は大学初級程度のテキストの長文が読めるようになります。文法の復習は英語ⅠとⅡで既に行っており、春期はそれを前提に内容把握に焦点を当てていましたが、秋期は読解のスピードが上がることを目標としています。 教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力をつけてもらうことも一年を通して目標としていますが、後期はテープを聴いてもらい大意が把握できるような練習をすることで、より総合的に力をつけることを目標としています。						
概要	教材はビートルズの物語です。秋期は中期と呼ばれている時期の傑作アルバムの創作からグループの解散までを取扱います。スターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、春期と違った人間関係における難しさが多く書かれています。成長していくことによってより個性が明確になり、環境の変化が人間関係を悪化させていく詳細を読み込んでいきます。英語の面ではテープを聞いていただきながら内容の把握をしてもらうことをやります。前期には行わなかった聴き取りをしてもらいますが、聴き取りに自信がない人はしっかりと事前に読み込んできてもらい、書いてもらっても構いません。						
評価方法	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。フィードバックは試験のあとに重要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたい。						
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めらるくらいの積極的な態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。なお試験のあとに試験の解答を申し上げます。そこで重要な内容をもう一度確認してもらいます。						
自己学習	基本的な文法事項は授業ではやらないので自分で弱いところは補っていくように参考書を使って勉強してください。毎回2～3ページ進む予定ですから訳を書いてくるのが最低限の予習です(2時間程度の予習です)。授業を受けたあとは毎日授業で行ったところを声に出して読んで下さい。声に出すこと、毎日行うことが重要です。一日にたくさんやるのでは長続きしませんから一日10～20分程度で結構です。(したがって復習も時間としてはトータルとして2時間程度)						
オフィスワ-	水曜日の3限に研究室(2号館6階)です。授業が重なっている人はご相談下さい。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1前期の復習 2日本公演 3レコーディング革命 4サージェントペパーズ 5世界同時衛星放送 6ブライアンエプスタインの死 7マジカルミステリーツアー 8インドでの修行 9ホワイトアルバム 10ゲットバックプロジェクト 11アビーロード 12レットイットビー 13解散後の4人 14ジョンレノン 15ポールマッカートニー 16単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見
教科書 1	プリントを配布します。						
教科書 2							
参考書 1	ビートルズの英語 著者:ザ ビートルズ クラブ 出版社:集英社インターナショナル ISBN:ISBN978-4-7976-7231-2 C0073						
参考書 2							

授業科目名	フランス語 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	加藤 健次				NO.	GE-LF-1-001	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」をテーマとし、大学で始めて第二外国語としてフランス語を学ぶ学生が、初歩的なコミュニケーション技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ。日常的によく使われるフランス語の例文を覚えて話せるようになることを目標とする。						
概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が説明され、できるだけ実用的な語彙が自然に覚えられるようになっていく。						
評価方法	「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験(60%)、単位認定試験(40%)を合計して総合評価する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した口頭試験の課題は、各授業で繰り返し練習することになるが、筆記試験としての単位認定試験まででそれらを書けるようにしておくことが求められる。						
履修条件・注意事項	毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるように予習してくる。また、単位認定試験に向けてそれらを書けるように練習すること。耳と口と手で繰り返し練習することが求められるので要注意。						
自己学習	毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各2時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。その成果は、各週の口頭試験と最終週の単位認定試験(筆記)で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. アルファベットの発音・綴り字 2. 挨拶の表現 3. お元気ですか？ 4. 私は日本人です。 5. お願いします。 6. ありがとう。すみません。 7. 名前・歳を尋ねる 8. それは何ですか？ 9. ～が欲しいのですが。 10. ～が好きです。 11. ～はありますか？ 12. ～はできますか？ 13. ～するつもりです。 14. ～しなければなりません。 15. 場所・時を尋ねる 16. 単位認定試験		講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次				
教科書 1	ゼロからスタート フランス語 会話編 著者:鈴木文恵(著) 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4-86392-103-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	加藤 健次					NO.	GE-LF-2-003
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「フランス語会話ができるようになる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。						
概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。						
評価方法	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験(30%)、授業への積極的な参加態度(20%)、単位認定試験(50%)を合計して総合評価する。						
履修条件・注意事項	毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくるよう注意すること。						
自己学習	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. あいさつ 2. 発音 3. 性と数 4. 前置詞 5. 規則動詞 6. 形容詞 7. 否定 8. 命令 9. 疑問 10. 副詞 11. 疑問副詞 12. 疑問代名詞 13. 不規則動詞 14. 所有形容詞 15. 疑問形容詞 単位認定試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次					
教科書 1	新ゼロからスタートフランス語 文法編 著者:島崎 貴則 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4863924987						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	ドイツ語 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-1-001		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>本学におけるドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)」5級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な第一歩となっていることをまず理解する必要がある。「ドイツ語 I」の授業では、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得する。そのことによって「ドイツ語 I」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。</p>								
概要	<p>この講義は、ドイツ語の初学者を対象としている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回の授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、会話文や読本部分、それに練習問題については、学生の事前の準備・学習が前提となっている。</p>								
評価方法	<p>予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。</p>								
履修条件・注意事項	<p>語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。</p>								
自己学習	<p>ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。</p>								
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション、ドイツ語の発音			演習	清水					
2. 動詞の規則変化			演習	清水					
3. 名詞の性			演習	清水					
4. 名詞の複数形			演習	清水					
5. 動詞の不規則変化			演習	清水					
6. 定冠詞・不定冠詞			演習	清水					
7. 命令形			演習	清水					
8. 前置詞			演習	清水					
9. 人称代名詞			演習	清水					
10. 並列接続詞			演習	清水					
11. 話法の助動詞			演習	清水					
12. 未来の助動詞			演習	清水					
13. zu不定詞			演習	清水					
14. 形容詞の用法			演習	清水					
15. 形容詞の格変化			演習	清水					
16. 単位認定試験			筆記試験	清水					
教科書 1	<p>プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0</p>								
教科書 2									
参考書 1	<p>文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:ISBN-10: 481635137X </p>								
参考書 2									

授業科目名	ドイツ語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	ドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)Ⅰ5級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な一歩となっている。「ドイツ語Ⅱ」では主に日常的な会話表現に触れながら、ドイツ語の基礎的な文法事項についての理解をさらに深めることにより、この授業の終了時には、学生は平易な日常会話レベルでの様々な表現がある程度読んだり、話せたり、聞き取ったりできるようになる。						
概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣やお祭り、社会問題などにも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。						
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているので、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくる。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。						
自己学習	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。						
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. 形容詞の比較変化 2. 分離動詞 3. 非分離動詞 4. 動詞の3基本形 5. 過去形 6. 現在完了形 7. 従属接続詞 8. 副文 9. 再帰代名詞、再帰動詞 10. 分詞 11. 定関係代名詞 12. 不定関係代名詞 13. 動作受動 14. 状態受動 15. 接続法 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水
教科書 1	プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0						
教科書 2							
参考書 1	文法からマスター! はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X						
参考書 2							

授業科目名	ドイツ語Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-2-003		
配当学科	全学共通				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。								
概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。								
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。								
履修条件・注意事項	この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるものである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。								
自己学習	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。								
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 動詞の現在人称変化 3. 出会いと自己紹介 4. 名詞の性と格 5. 家族について尋ねる 6. 不規則動詞、命令形 7. 明日の予定を尋ねる 8. 定冠詞、不定冠詞 9. 買い物に行く 10. 複数形 11. 本を探す 12. 前置詞 13. 週末の予定を尋ねる 14. 形容詞の格変化 15. 趣味について尋ねる 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水					
教科書 1	パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06420-7								
教科書 2									
参考書 1	文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X								
参考書 2									

授業科目名	ドイツ語Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-2-004
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。						
概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。						
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれられるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。						
自己学習	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 話法の助動詞 2. 昼食を食べに行く 3. 分離動詞、複文 4. 駅の窓口で尋ねる 5. zu不定詞 6. 休暇の計画を尋ねる 7. 動詞の3基本形 8. 旅の体験を語る 9. 過去形、現在完了形 10. ワイマールにて 11. 受動態 12. 意見を交換する 13. 関係代名詞 14. お別れ会 15. 接続法 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水		
教科書 1	パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-255-25428-9 C1084						
教科書 2							
参考書 1	文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4-560-06420-7						
参考書 2							

授業科目名	中国語 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	畑木 亦梅、支 洪涛					NO.	GE-LC-1-001		
配当学科	看護				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	音声構造及び簡単な構文を理解し、中国語の基礎的な知識を身に付け、中国語を使ってあいさつや簡単な日常会話ができること。								
概要	中国語の音声を構成する子音・母音・声調及び簡単な構文についての説明を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解させ、中国語能力の養成の基礎を培ってもらう。なお、理解を深めるために、中国語の表現上の特徴や日中両言語の類似点と相違点を取り上げる。								
評価方法	理解力および応用能力を計るために、試験の結果や受講態度等を通じて総合的に評価する。期末試験(60%)、小テストや受講態度(40%)。								
履修条件・注意事項	ノートをとること。教科書を必ず持参すること。								
自己学習	指示に従って必ず予習復習をすること。各2時間程度を要する。								
オフィスアワー	授業終了後教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	概説・声調・単母音	講義	支洪涛						
第2回	複母音	講義	支洪涛						
第3回	鼻音母音	講義	支洪涛						
第4回	子音	講義	畑木亦梅						
第5回	発音のまとめ	講義	畑木亦梅						
第6回	「是」構文、人称代名詞	講義	畑木亦梅						
第7回	動詞述語文	講義	畑木亦梅						
第8回	疑問詞疑問文、語気助詞	講義	畑木亦梅						
第9回	「的」「喜歡」の用法	講義	畑木亦梅						
第10回	形容詞述語文	講義	畑木亦梅						
第11回	「有」構文	講義	畑木亦梅						
第12回	「在」構文	講義	畑木亦梅						
第13回	自己紹介①	講義	畑木亦梅						
第14回	自己紹介②	講義	畑木亦梅						
第15回	春学期のまとめ	講義	畑木亦梅						
第16回	期末試験	筆記試験	畑木亦梅						
教科書 1	シンプルチャイニーズ東京会話編 著者:西早稲田中国語部会 出版社:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45279-1								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	中国語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然				NO.	GE-LC-2-003	
配当学科	スポーツ社会・心理学部			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。						
概要	1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関するところをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。						
評価方法	テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。						
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(助動詞“得” 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然				
教科書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頴、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1						
教科書 2							
参考書 1	中国語さらなる一歩 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1						
参考書 2							

授業科目名	中国語IV			履修期	2021年度 秋学期			
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-2-004	
配当学科	スポーツ社会・心理学部			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。							
概要	1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関するところをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。							
評価方法	テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。							
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(可能動詞“得”と助動詞“得”) 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然					
教科書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:龍頤、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
教科書 2								
参考書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頤、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06910-3							
参考書 2								

授業科目名	文章表現入門				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	雲津 英子					NO.	GE-CH-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受験に対しての指導も行う。</p>							
概要	<p>講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の6つ領域で構成している。学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一步一步着実に高めていくことができる。毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が、小論文指導(表記法、文章表現等の指導)の経験を活かし、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	<p>単位認定試験(70%)、授業態度(15%)、小テスト・復習テスト(15%)による総合評価 なお、小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直ししておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のN2(2級)以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。</p>							
自己学習	<p>毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受験を目標にして学修に取り組むことが望ましい。</p>							
オフィスワ-	<p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 「日本語検定3級」に挑戦 2. はじめに 3. 敬語の種類と使い分け 4. 注意すべき敬語 5. 配慮を示す言葉 6. 品詞・活用の種類 7. ら抜き言葉・さ入れ言葉 8. 文のねじれと言葉の係り受け 9. 接続後・指示語と文章 10. 類義語・対義語 11. 動詞の自他・視点 12. 文体 13. コロケーション 14. 部首・音訓・熟語 15. 仮名遣い・送り仮名 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津	
教科書 1	<p>スキルアップ! 日本語力 著者:名古屋大学日本語研究会GK7 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-80364-4</p>							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	文学への招待			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-CH-0-002	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしよとする態度を身につけることを到達目標とする。						
概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらしやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、学生の読書活動、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。						
評価方法	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験(70%)、発表・討論への参加(15%)、受講態度(15%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。						
自己学習	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 文学とはなにか 2. 図書館活用方法の理解 3. 図書館活用の実践 4. 日本文学史(1)-上代文学 5. 日本文学史(2)-中古文学 6. 日本文学史(3)-中世文学 7. 日本文学史(4)-近世文学 8. 日本文学史(5)-近代文学 9. 日本文学史(6)-現代文学 10. 夏目漱石・森鷗外・泉鏡花の作品(討論) 11. 芥川龍之介の作品(討論) 12. 宮沢賢治の作品(討論) 13. 小林多喜二・太宰治の作品(討論) 14. 詩・俳句・短歌(討論) 15. まとめ 16. 単位認定試験		講義 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 レポート試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津				
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	日本文学概論 著者:島内裕子 出版社:財団法人 放送大学教育振興会 ISBN:978-4-595-31342-4						
参考書 2							

授業科目名	美術の見方				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	前嶋 英輝					NO.	GE-CH-0-003
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語るができる能力を身につける。美術作品の「見方」の2つの可能性を考えてみる。1つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、2つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、2つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。						
概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみる事が大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート(60点)、到達目標達成度を見る期末試験(40%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。						
履修条件・注意事項	事前に次の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べる事が重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。						
自己学習	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間が必要である。						
オフィスアワー	2号館6階の前嶋研究室において、毎週月曜日5時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 対話型鑑賞と美術の見方 2. 世界の美術館散歩 3. 美術教育と人間形成 4. 古代オリエント 5. ギリシャ・ローマ・中世 6. ルネサンス・バロック 7. 古典主義・印象派 8. 後期印象派以降 9. インド美術とイスラム美術 10. 仏教美術の誕生とシルクロード 11. 飛鳥～平安 12. 鎌倉～室町 13. 安土桃山 14. 江戸 15. 現代の美術 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋
教科書1	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。						
教科書2							
参考書1	テキスト名: 絵画をいかに味わうか 著者: 著者: ヴィクトル・I・ストイキツァ 出版社: 平凡社 ISBN: 978-4582206371						
参考書2							

授業科目名	音楽のたのしみ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	上田 豊					NO.	GE-CH-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマは「音楽とは何か」。人類は、なぜ音楽を創り出し、そして継承してきたのか。現在、音楽は生活の様々な場面まで深く浸透している。しかし、大多数の人々は、冒頭の問いに直ちに的確に答えることはできない。本講座では、人と音楽との関係、音楽そのものについて考察し、受講者一人ひとりが冒頭の問いに回答でき、人生における音楽の意味を理解できることを目標とする。</p>							
概要	<p>音楽の素材である音について知る。音楽は音素材をどのように組み合わせられて構成されているのか、その仕組みを知る。その仕組みの把握として、よく親しまれている歌を素材に、音階、和音、リズムなど音楽の構成要素を、音楽分析を通して学ぶ。以上は、音楽そのものの把握であるが、次に音楽が我々の生活の中で、どのように用いられ機能しているかをCDやDVDの視聴を通して把握し、音楽が我々の生活をどのように潤しているかを知り、生涯にわたって音楽を愛好する心情を養う。</p>							
評価方法	<p>平素の学習態度、授業における課題、期末試験により、総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(50%)、授業における課題(30%)、授業参加態度(20%)。 授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに返却し、簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。</p>							
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平素からテーマ「音楽とは何か」について、考察しておくこと。 ・音楽への姿勢として自分の趣向だけでなく、いろいろな音楽に耳を傾けるようにすること。 ・授業は、積み上げ方式ですすめるので、毎回の授業の課題を復習し、完全に理解しておくこと。 							
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を調査し、専門用語などについて予備知識もち、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業内容の反復学習を行って、十分な理解を持つようにすること。予習及び復習は、各2時間程度を要する。</p>							
オフィスアワー	授業終了後、教室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽とは何か 2. 音・音楽を知る 3. 音楽の構造1 音楽の三つのタイプ 4. 音楽の構造2 旋律と音階 5. 音楽の構造3 様々な音階 6. 音楽のジャンル1 概要 7. 音楽のジャンル2 芸術音楽 8. 音楽のジャンル2 民俗音楽 9. 音楽のジャンル3 ポピュラー音楽1 10. 音楽のジャンル4 ポピュラー音楽2 11. 音楽の聴き方1 ジャズを知る 12. 音楽の聴き方2 ジャズを楽しむ 13. 音楽の構造1 形式 14. 音楽の形式2 ソナタ形式 15. 音楽とは何か2 音楽の起源・機能 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田	
教科書 1	毎回授業内容に沿った資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	138億年の音楽史 著者:浦久 俊彦 出版社:講談社現代新書 ISBN:978-4-06-288381-8							
参考書 2								

授業科目名	生涯スポーツ実習				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	國佐 栞					NO.	GE-CH-0-006	
配当学科	看護・作業療法				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習	
テーマと到達目標	様々なスポーツ種目を通して、スポーツの楽しさを理解し、それぞれの種目に興味を持つことをテーマに。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することを到達目標とする。							
概要	球技(バスケットボール、フットサル、バレーボール、バドミントン)を通してルールを守り、技術、戦術、体力を総合的に高めるとともに、生涯スポーツに関わることができる態度と能力を身につける。							
評価方法	受講態度(50%)及び理解度(50%)で評価する。							
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 スポーツウェア等の準備(ジーンズ等は認めない)							
自己学習	日ごろからスポーツや健康に興味、関心を持つこと。							
オフィスワ-	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1. オリエンテーション 2. バスケットボール 3. バスケットボール 4. バスケットボール 5. バスケットボール 6. フットサル 7. フットサル 8. フットサル 9. フットサル 10. バドミントン 11. バドミントン 12. バドミントン 13. バレーボール 14. バレーボール 15. バレーボール			実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐
教科書 1	実習科目につき教科書は使用しない							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示す							
参考書 2								

授業科目名	哲学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができるようになる。</p>						
概要	<p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p>						
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>						
オフィスアワー	257研究室で木曜4限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 哲学という言葉の歴史と哲学の始まり 2. バルメニデスとその影響 3. ソクラテスとその影響 4. プラトン 5. アリストテレスの論理学と哲学 6. アリストテレスの第一哲学＝神学 7. ヘレニズム期の哲学とその後 8. 西欧文明の成立 9. 盛期中世の学問状況 10. 14世紀の大変革 11. ルネサンスと科学革命 12. 科学革命と政治哲学 13. 諸科学の成立と哲学 14. 科学的心理学の成立と哲学の変容 15. 総括 16. 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本				
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	西洋哲学史<古代から中世へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075						
参考書 2	西洋哲学史<近代から現代へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310083						

授業科目名	哲学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。</p>						
概要	<p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p>						
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>						
オフィスアワー	257研究室で木曜4限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり。 エレア派とその影響 ソクラテスとその影響 プラトン アリストテレスの哲学 アリストテレスの第一哲学 ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況 西欧文明の成立 盛期中世の学問状況 14世紀の大変革 ルネサンスと科学革命 科学革命と政治哲学 19世紀における諸科学の成立と哲学 科学的心理学の成立と哲学の変容 総括 定期試験 	<p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 筆記試験</p>	<p>山本</p> <p>山本 山本 山本 山本 山本 山本</p> <p>山本 山本 山本 山本 山本</p> <p>山本</p> <p>山本 山本</p>		
教科書 1	配布資料						
教科書 2							
参考書 1	<p>西洋哲学史(古代から中世) 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075</p>						
参考書 2							

授業科目名	宗教学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-002		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。そして現代において宗教に対し健全な態度を確立することができるようになる。これらが到達目標である。</p>								
概要	<p>後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。</p>								
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>								
履修条件・注意事項	<p>地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>								
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>								
オフィスワ-	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 人類史と宗教:旧石器時代から新石器時代へ			講義	山本					
2. 日本の縄文時代			講義	山本					
3. 文明誕生:メソポタミア			講義	山本					
4. エジプト文明			講義	山本					
5. 古代ギリシャ世界			講義	山本					
6. ユダヤ教の成立			講義	山本					
7. ヘレニズム期の宗教			講義	山本					
8. キリスト教の成立と展開			講義	山本					
9. 初期のイスラーム			講義	山本					
10. ローマ・カトリック			講義	山本					
11. 宗教改革とその後			講義	山本					
12. 日本宗教史:古代・中世・近世			講義	山本					
13. 現代日本の宗教事情			講義	山本					
14. 現代世界の宗教事情			講義	山本					
15. 総括			講義	山本					
16. 定期試験			筆記試験	山本					
教科書 1	配布資料								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	倫理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-003
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持って余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。</p>						
概要	<p>定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』と一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホップズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。</p>						
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>						
オフィスアワー	257研究室、木曜3限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 「好きなこと」とは？ パスカルとニーチェの退屈論 暇と退屈の原理論 定住革命について 暇と退屈の系譜学 暇と退屈の経済史 ホップズ、ルソー、マルクス 暇と退屈の疎外論 暇と退屈の哲学 環世界論 暇と退屈の人間学 ハイデッガー 暇と退屈の倫理学 スピノザ 総括 定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本
教科書 1	暇と退屈の倫理学 著者:国分功一郎 出版社:太田出版 ISBN:9.78E+12						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	心理学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸、橋本 翠、村上 勝典					NO.	GE-GA-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。人が生活している環境からいかに情報を取り入れ、蓄積し、利用するのか、あるいは、いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して、心理学のおもしろさに触れ、心理学の基礎的な考え方を理解することを到達目標とする。							
概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では、いくつかの領域における研究対象、方法、得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。							
評価方法	小テスト(50%)と定期テスト(50%)の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生(私語、飲食、内職等...)については、この限りではない。 小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。							
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので、集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに、3回に1回くらいの割合で小テストを行うので、特に復習には力を入れること。							
自己学習	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。(2時間) テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である(2時間)。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。							
オフィスワ-	森井:月4 橋本:月5 村上:水1 各教員研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
(1) オリエンテーション (2) 外界を探るこころの働き (3) 感覚と知覚 (4) 認知とは何か? (5) 発達-乳幼児期~青年期- (6) 発達-成人期~老年期- (7) 記憶のふしぎ (8) 本能と学習 (9)行動の源泉:欲求 (10)集団の認知 (11) 対人認知 (12) 態度変容 (13) ストレスと考え方 (14) 性格とは (15) 心理検査について (16) 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 森井 森井 森井 村上 村上 村上 村上 村上 全教員						
教科書 1	教科書は使用しない。							
教科書 2								
参考書 1	心理学 (New Liberal Arts Selection) 著者:無藤・遠藤・玉瀬・森 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641053694							
参考書 2								

授業科目名	多文化理解				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-GA-0-005	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようになることを、この講義の到達目標とする。							
概要	グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。							
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。							
履修条件・注意事項	常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。							
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。							
オフィスワ-	月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			第1回	グローバル化	第2回	「文化」と異文化	講義	高橋
			第3回	異文化交流と異文化理解	第4回	文化: サブカルチャーの視点	講義	高橋
			第5回	他者とステレオタイプ	第6回	差異と差別	講義	高橋
			第7回	エスニシティと人種論	第8回	学校教育と多文化	講義	高橋
			第9回	文化統合と言語政策	第10回	多文化共生論	講義	高橋
			第11回	自己の中の異文化	第12回	文化的寛容と非寛容	講義	高橋
			第13回	文化摩擦と紛争	第14回	相対化と自己内省	講義	高橋
			第15回	多文化共生の可能性	第16回	最終試験	講義	高橋
							最終試験	高橋
教科書 1	『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342							
教科書 2								
参考書 1	『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735							
参考書 2	『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217							

授業科目名	多文化理解				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-GA-0-005		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようになることを、この講義の到達目標とする。								
概要	グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。								
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。								
履修条件・注意事項	常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。								
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。								
オフィスアワー	火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	グローバル化	講義	高橋						
第2回	「文化」と異文化	講義	高橋						
第3回	異文化交流と異文化理解	講義	高橋						
第4回	文化: サブカルチャーの視点	講義	高橋						
第5回	他者とステレオタイプ	講義	高橋						
第6回	差異と差別	講義	高橋						
第7回	エスニシティと人種論	講義	高橋						
第8回	学校教育と多文化	講義	高橋						
第9回	文化統合と言語政策	講義	高橋						
第10回	多文化共生論	講義	高橋						
第11回	自己の中の異文化	講義	高橋						
第12回	文化的寛容と非寛容	講義	高橋						
第13回	文化摩擦と紛争	講義	高橋						
第14回	相対化と自己内省	講義	高橋						
第15回	多文化共生の可能性	講義	高橋						
第16回	最終試験	最終試験	高橋						
教科書 1	『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342								
教科書 2									
参考書 1	『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735								
参考書 2	『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217								

授業科目名	日本国憲法				履修期	2021年度 春学期		
担当者	入江 祥子					NO.	GE-SI-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p><到達目標> 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。</p> <p><テーマ> 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。</p>							
概要	<p>法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。</p> <p>*実務経験のある教員による授業 本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。</p>							
評価方法	受講態度及び取組姿勢30%、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価30%、定期試験40%の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。							
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること(特に私語、授業途中の入退室等)は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。							
自己学習	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。							
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか		講義	入江					
第2回:法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い		講義	入江					
第3回:法源とは何か、成文法、不文法		講義	入江					
第4回:憲法とは何か、実質的意味の憲法、立憲的意味の憲法		講義	入江					
第5回:憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法、成立背景、特徴		講義	入江					
第6回:国民主権の意味、その役割		講義	入江					
第7回:戦争の放棄、「戦争」の意味、「戦力」の意味		講義	入江					
第8回:人権の享有主体性、外国人の人権		講義	入江					
第9回:私人間効力の問題		講義	入江					
第10回:人権保障の限界、「公共の福祉」の意味		講義	入江					
第11回:「権力分立」の意味、権力的契機、正当性の契機		講義	入江					
第12回:国会の制度意義、その構成及び役割		講義	入江					
第13回:内閣の制度意義、その構成と役割		講義	入江					
第14回:裁判所の制度意義、その構成及び役割		講義	入江					
第15回:地方自治について		講義	入江					
第16回:試験		試験	入江					
教科書 1	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。							
教科書 2								
参考書 1	六法							
参考書 2								

授業科目名	民法			履修期	2021年度 春学期		
担当者	生駒 正文					NO.	GE-SI-0-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	民法は、皆さんが社会生活をする上でのトラブルを解決するルールを定めていますので、民法を学習することにより、社会生活に役立つ実用的な知識が身に付きます。また、公務員試験や資格試験などの多くに試験科目として採用されていますので、これらの試験を目指す人にとっては、必修の科目といえます。従って、この授業では、次のステップとしての公務員試験や資格試験の勉強に円滑に移行することも念頭に置いて、民法の基礎を理解し記憶することを目標とします。						
概要	民法の基礎を理解するために、平易な概説書を使用し、具体的な事例を折り込み、分かりやすく説明します。予習、復習に活用してください。また、復習用に教科書に準拠した問題集を作成しますので、これを活用して知識を整理してください。あわせて、随時、資格試験(試験問題が公表されている行政書士試験を使用)の問題を取り入れ実践的なトレーニングを行います。この科目は、お大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	試験 70点 授業態度・意欲 30点 で評価						
履修条件・注意事項	①(予習)別途作成の上配布する補助教材を事前に一読し、授業にて学習する部分の概要を把握するとともに、わからない箇所や疑問に思う箇所などについてチェックしておくこと。 ②(復習)別途作成する問題集により、当日学習した部分について、問題を解き、正解を確認することにより、復習しておくこと。 ③遅刻、無断途中退出と私語は禁止します。 ④ポータブルな六法を携帯すること。						
自己学習	授業計画ごとに教科書を予習・復習しておくこと。						
オフィスワ-	(火)14:00~15:00(14号館6階生駒研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 民法概説 2. 人の能力 3. 制限能力者 4. 物 5. 法律行為と意思表示(意思も欠缺) 6. 法律行為と意思表示(瑕疵ある意思表示) 7. 代理 8. 無権代理 9. 無効と取り消し 10. 条件・期限・期間 11. 時効 12. 団体 13. 物権序論 14. 物権変動(不動産) 15. 物権変動(動産) 16. まとめ(定期試験)		講義	生駒正文				
教科書 1	法学講義案(第2章、第3章、第4章利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	経済学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	張 秉煥					NO.	GE-SI-0-003		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	経済学を学ぶもっとも重要なインセンティブは、日常生活で目にするさまざまな経済的現象に関する分析的思考を修得することである。具体的には市場における消費者や企業といった経済主体の経済活動の論理を理解し、市場メカニズムの機能とその失敗、国民所得、経済成長、所得機会の変容および経済政策、そして実生活とのかかわり合いについて理解を深めることができる。								
概要	前半部では、個々の消費者の行動や企業の行動に関する分析をもとに、価格メカニズムについて学ぶ。具体的には需要供給メカニズム、市場の構造と価格分析、公共財と共有資源問題などに関する基礎的知識を修得する。後半部では、一国の経済全体の動きについて解説する。具体的には、国全体の総生産や所得水準の動き、所得分布や所得機会の変容、経済安定化政策などに重点をおく。随時経済学的思考や考え方を体験することができる現実の経済問題について解説を加える。								
評価方法	成績の配点は、随時のミニクイズや復習テスト30点、定期総合筆記試験(16回目授業)70点である。合計60点以上を合格とする。すべてのテストはテキスト類の持ち込み自由で行う。ただし、電子辞書以外の持ち込みは禁ずる。その他詳細については、受験ルールは学則に則るものとする。								
履修条件・注意事項									
自己学習	授業内容に基づき、「基礎的概念」や「現実とのかかわり合い」について理解を深めること。								
オフィスアワー	授業終了後、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 科学としての経済学 第2回 十大原理1__Trade-off等 第3回 十大原理2__GDP等 第4回 需要供給モデルと応用 第5回 市場構造と社会的厚生 第6回 独占市場、復習テスト1 第7回 独占的市場、寡占市場 第8回 現実の価格、価格弾力性 第9回 価格規制、外部性 第10回 公共財、復習テスト2 第11回 情報の非対称性 第12回 国民所得 第13回 経済成長、景気変動 第14回 所得機会、復習テスト3 第15回 経済安定化政策 第16回 単位認定筆記試験			講義および試験(第1回目の授業で詳細のシラバスを配付する)	張					
教科書 1	独自教材(パワーポイント版講義録・ワークブック型)								
教科書 2									
参考書 1	マンキュー入門経済学 著者:N.グレゴリー マンキュー(著)、足立 英之(翻訳) 出版社: 東洋経済新報社 ISBN:978-4492313862								
参考書 2									

授業科目名	社会学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	GE-SI-0-004
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ 基礎社会学(社会学とは何か?・人口論・家族・教育・産業と老d峰) 到達目標 社会学の定義と考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業と労働の領域における現状と問題を理解させ、その解決法を考えさせる。学生たちが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。この講義で現代社会の様々な制度と問題を理解し。毎回実施する小テスト(記述式)で自分の考えを文章で記述する能力を向上させる。</p>						
概要	<p>この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解させ、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている実際の出来事について考えさせることである。具体的には人口問題と環境、現代家族の変化、教育問題、いじめ、非正規社員の増加と経済的格差、人口の高齢化と年金、医療保険の破綻などを取り上げる。それによって学生たちは問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。</p>						
評価方法	小テスト(30%)・定期試験(70%)によって評価する。小テストや小論文は採点して返却するので必ず復習すること。						
履修条件・注意事項	授業を欠席しないように。出席チェックの不正をしないように。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1.社会学とは何か 2.他の社会科学との違い 3.社会学は何の役に立つのか 4.世界の人口動向 5.日本の人口問題:少子高齢化 6.家族とは何か 7.変容する家族 8.現代家族の諸問題 9.教育の社会学 10.学力低下論争 11.教育と社会 12.教員の多忙化と燃え尽き 13.産業と労働 14.IT社会における労働 15.AIの進化と社会変動 16.定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	基礎社会学 著者: 赤坂真人 出版社: ふくろう出版 ISBN: 978-4861864278						
教科書 2	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。						
参考書 1	講義中にさまざまな参考文献を聴解する。						
参考書 2							

授業科目名	人権と政治				履修期	2021年度 春学期	
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-SI-0-005
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。						
概要	人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。						
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。						
オフィスアワー	火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 人権の思想史 第2回 法の下での平等 第3回 平等権の課題 第4回 自由権 第5回 幸福追求権 第6回 生存権 第7回 生存権と福祉 第8回 教育・学習権 第9回 職業選択と人権 第10回 勤労の権利 第11回 参政権 第12回 請願権:裁判を受ける権利 第13回 子どもの権利 第14回 プライバシー権 第15回 環境権 最終試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 最終試験	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋				
教科書 1	『新・エッセンス憲法』 著者:安藤 高行 出版社:法律文化社 ISBN:978-4-589-03826-5						
教科書 2							
参考書 1	『福祉に携わる人のための人権読本』 著者:山本 克司 出版社:法律文化社 ISBN:978-4-589-03172-3						
参考書 2							

授業科目名	人権と政治			履修期	2021年度 秋学期			
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-SI-0-005	
配当学科	全学共通			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。							
概要	人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。							
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。							
履修条件・注意事項	人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。							
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。							
オフィスアワー	月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			第1回	人権の思想史	講義	高橋		
			第2回	法の下での平等	講義	高橋		
			第3回	平等権の課題	講義	高橋		
			第4回	自由権	講義	高橋		
			第5回	幸福追求権	講義	高橋		
			第6回	生存権	講義	高橋		
			第7回	生存権と福祉	講義	高橋		
			第8回	教育・学習権	講義	高橋		
			第9回	職業選択と人権	講義	高橋		
			第10回	勤労の権利	講義	高橋		
			第11回	参政権	講義	高橋		
			第12回	請願権: 裁判を受ける権利	講義	高橋		
			第13回	子どもの権利	講義	高橋		
			第14回	プライバシー権	講義	高橋		
			第15回	環境権	講義	高橋		
			第16回	最終試験	最終試験	高橋		
教科書 1	『新・エッセンス憲法』 著者: 安藤 高行 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03826-5							
教科書 2								
参考書 1	『福祉に携わる人のための人権読本』 著者: 山本 克司 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03172-3							
参考書 2								

授業科目名	社会と統計			履修期	2021年度 春学期		
担当者	佐藤 匡				NO.	GE-SI-0-006	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	自然現象や社会現象についての量的データを統計的に整理したり分析したりすることは、計画立案や意思決定によく行われていることである。つまり、社会ではデータを整理し分析する能力が求められるとも言えることができる。本講義では、その統計学の入門をテーマとして、ディプロマポリシーに従って目的達成のためにどのようなデータを集め、それをどのように整理して、分析結果をどのように読み取るかという思考・判断力身に付けるのが到達目標である。						
概要	統計学はむずかしいと感じる人も多いが、身近なことに統計学がうまく応用されて役立っていることも多い。統計学の手法を使って数値データを分析することにより、あいまいな事柄に科学的な説得力を持たせることができる。本講義では、その分析に必要な知識である、Excelを活用してのデータの入力、度数分布表、ヒストグラム、平均と分散、仮説検定、散布図と相関係数などについて学習する。講義内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 担当教員が理事を務めているNPO社会福祉団体(会員数約1,300人)では、全国の自治体に対して統計的調査を行ったりしている。この科目では、分析の指導などにその担当教員のNPOでの知識が活用されている。						
評価方法	「統計の基礎的知識の理解」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、記述統計を中心とした理解度を問う試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。						
履修条件・注意事項	第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 受講者数は、パソコン教室の定員以内とする。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。						
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。						
オフィスワ-	春学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日1時限目 秋学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日1時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 スキル確認テスト・統計処理の概要 第2回 Excelの操作 第3回 度数分布表 第4回 ヒストグラム 第5回 データの散らばり具合 第6回 平均と分散 第7回 標準偏差 第8回 乱数とシミュレーション 第9回 検定の考え方 第10回 検定の実際 第11回 いろいろなグラフ 第12回 散布図 第13回 相関関係と因果関係 第14回 相関係数 第15回 回帰分析、まとめ 第16回 単位認定試験	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験	佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤					
教科書 1	統計学の図鑑 著者: 涌井良幸・涌井貞美 出版社: 技術評論社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	環境科学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。							
概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。							
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。							
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山						
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	環境科学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-001
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。						
概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山		
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	物理学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	萩野 正興					NO.	GE-NM-0-002	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と議論・演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ: 学生が物理を身近なものとして捉えることができる。学生が物理の考え方を身につけることができる。 到達目標: 講義だけでなく、その講義に沿った内容の演習や議論を行い、深い学びを得られる。</p>							
概要	<p>「物理は難しい」「宇宙は神秘的に満ちている」そんな偏見を持っていませんか？ この担当教員は天文学者です。天文学者は物理学者です。ここでは物理や天文の考え方を勉強しましょう。 この授業では公式の暗記や板書をノートに書き写したりせず、「主体的」、「対話的」、「深い学び」というアクティブラーニングを実践します。 すなわち、前半は最新データに基づいた物理や宇宙の講義を行い、後半はそのテーマに沿った議論や背景にある物理の簡単な演習(実験や体験)を行います。 この授業の前と後では「世界が違って見える」ように努めます。</p>							
評価方法	論述形式試験(60%)、授業態度(40%)							
履修条件・注意事項								
自己学習	理科の知識は問いません。予習は必要ありません。アクティブラーニングを実践したいので、授業への積極的な参加をお願いします。復習は各自の興味で行ってください。							
オフィスアワー								
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1 イントロダクション / 宇宙とは 2 時間と空間 / 運動学 3 暦と太陽系 4 普通とは何か? / 統計学 5 みんな群れを作っている / 力学 6 暖かい? 冷たい? / 熱力学・流体 7 モーターの話 / 電磁気学 8 エネルギーとは何か? 9 虹と夕焼け / 光学 10 いろいろな波 / 波動 11 小さな世界 / 量子力学 12 空を見上げる / 観測技術・望遠鏡 13 宇宙に果てに / 現代の宇宙観 14 我々の置かれた環境 15 物理とは / まとめ 16 論述形式の試験			講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論	萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1	ぼくらは「物理」のおかげで生きている 著者: 横川淳 出版社: 実務教育出版 ISBN: 978-4-7889-1178-9							
参考書 2								

授業科目名	生物学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	香田 康年				NO.	GE-NM-0-003	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、それらについて考えること、様々な生物現象について考えることで、ヒトや様々な生物、および様々な現象について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。</p> <p>【到達目標】まず生物のシンカと一般用語の「進化」が意味がことなることを学び理解する。その際に、生物のシンカとはどのような現象なのかについて学び理解する。それを踏まえた上で、生物のシンカがどのような仕組みで起こるのかを学び理解する。</p> <p>それらを学ぶ際に、丸暗記するのではなく、様々な生物現象や人間について考える力、および物事の関係について考え、理解する力を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用し、自ら考え議論する力を養う。</p>						
概要	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義とQ&Aのアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容、範囲などは受講生の理解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は、講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。 ○1995年以来担当者として講義を行って来た。 						
評価方法	<p>20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点(70%)とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数(30%)で評価する。</p> <p>ただし、授業態度が悪ければ(授業にまじめに取り組まない場合)10点の範囲で減点する。</p> <p>各小テストは、論述記述式である。</p> <p>講義の内容から、重要な内容について説明記述させる問題を出题する予定である。</p> <p>授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていないことが、採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。</p> <p>なお、途中の小テストは、採点結果を返却し、フィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。</p>						
履修条件・注意事項	<p>受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。</p> <p>教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。</p>						
自己学習	<p>【復習】</p> <p>授業内容は常識と異なることが多く、授業は前回までの理解を前提に進めるので、毎回必ず復習し、理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。</p> <p>またいつ小テストがあっても対応できるように、充分理解し、ノート整理しておくこと。復習には二時間程度かけて行う事を目安とする。</p> <p>【予習】</p> <p>過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、次回の授業内容について、参考書などを参考に、自分なりの現時点での理解を確認しておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。予習にも、二時間程度要することを目安とする。</p>						
オフィスアワー	講義担当者は非常勤講師なので、質問等があれば、授業後の休憩時間に行うこと。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<ol style="list-style-type: none"> 1 生物のシンカと一般用語としての「進化」 2 生物のシンカの起こる仕組み 3 なぜたくさんの生物がいるのか？ なぜ人類が存在しているのか？ 4 ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか 5 科学とはどのような学問か？ 6 生物とは？ 7 どんな生物、どんな動物がいるのか？ 8 クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか 9 “うんこ”と“おしっこ”の違いは？ 10 遺伝子と遺伝子の発現 11 人間の本性とは？ 12 本能と学習の真の関係 13 利己的行動と利他的行動 14 非血縁者間の利他行動のシンカ 15 様々な対人関係心理のシンカと神を信じる心のシンカ 16 最終試験(筆記試験) 	毎回講義とQ&A方式のアクティブラーニング	毎回香田康年					
教科書 1	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。						
教科書 2							
参考書 1	面白くて眠れなくなる生物学 著者:長谷川英祐 出版社:PHP文庫 ISBN:978-4-569-76860-1						

参考書 2

進化と人間行動

著者:長谷川寿一、長谷川真理子

出版社:東京大学出版会

ISBN:4-13-012032-8

授業科目名	生物学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	福田 富男				NO.	GE-NM-0-003	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは生物の基礎ともいえる生態、細胞や遺伝などに加え、人の健康に深く関係する生活習慣病などの幅広い知識を習得し、生物現象を広く正確に把握できる。</p> <p>具体的な学習内容は概要の欄にしめすものとし、これらに加え一般社会人として、正しく知識を活用できる能力を養い、学習の到達目標は授業内容の完全な理解を目指す。</p>						
概要	<p>学習の内容としては、(地)地域における森や植物、河川や水生生物の学習および実習などを素材として論文作成法を習得する。更に海と沿岸生物、アマモ場の生態、魚類生態などの諸分野の幅広い生物生態学の知識を学ぶ。加えて生物学と医学、細胞・遺伝などの基礎生物学を学び、それらをもとに老いと生物学、ヒトの一生と健康な生活などの基礎医学の諸分野、また再生医療や環境問題などこれからの生物学に関する広範囲の知識を習得する。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 医学博士。1969年から2003年まで岡山県水産試験場で生物生態学などを調査研究。2004年から、高校、専門学校、大学などで非常勤講師として勤める。医学他に必要な生物の知識を経験から教授する。</p>						
評価方法	<p>復習、小テスト他の課題対応、定期試験等の結果で総合的に評価する。</p> <p>定期試験(80%)、課題評価(20%)の結果で総合的に評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>基礎生物学を主体に自然科学、医学、環境、保健問題などに広く関心を持っていること。加えて、授業時間外の課題について各授業内で指示するので、必ず実行し失念しないよう留意しておくこと。また、配布資料は再発行しないので紛失しないこと。</p>						
自己学習	<p>ほぼ各週とも復習課題を課し、加えて前週の小試験を実施する。授業開始直後、それらの解答・解説を行い授業内容を確実に習得させる。また、復習課題は不定期に回収しその実施状況を把握・評価する。</p> <p>予習および復習には、各1時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 生物体と生物学の分野 2. 山林、植物の役目 3. 森林生態学実習 4. 水生生物と河川 5. 河川生態学実習 6. 論文作成法、海と生物の起源 7. アマモ場のはたらき 8. 細胞の発見と構造 9. 細胞の機能 10. ヒトとその遺伝子 11. 細胞分裂 12. ヒトの健康と次世代の子供 13. 生老病死,DNA,RNAの構造 14. DNAのはたらきと健康な生活 15. 今後の課題, 再生医療, 環境 16. 定期試験		講義 講義 学外実習 講義 学外実習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記	福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男				
教科書 1	病気になるらない健康生活スタイル 著者:徳田安春、岸本暢将、星 哲哉 出版社:西村書店 ISBN:978-4-89013-612-4						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	化学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秋山 純一				NO.	GE-NM-0-004	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。						
概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山					
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリント配布する)						
教科書 2							
参考書 1	教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	化学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。							
概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。							
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。							
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山	
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリント配布する)							
教科書 2								
参考書 1	教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	人類生態学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	末吉 秀二					NO.	GE-NM-3-005
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。						
概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレイクダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。						
評価方法	到達目標を計るため、試験(80%)、小テスト(10%)、受講態度(10%)で総合的に評価する。なお、評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。						
自己学習	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること(予習)、不明な点が理解できたかを確認すること(復習)。						
オフィスワ-	月曜日・金曜日(3限、5限)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1 オリエンテーション 2 生態系と人類の特性 3 人類の起源と進化 4 生存様式の変化と多様性 5 生業と社会 6 身体とその機能 7 行動の生態学 8 栄養と健康 9 病気の生態学 10 長期的な人口変化 11 人口指標と集団の適応 12 現代の人口問題 13 エネルギーと資源 14 ライフスタイルと環境		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉
教科書 1	人類生態学 著者:大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか 出版社:東京大学出版会 ISBN:4-13-052300-7						
教科書 2							
参考書 1	生態人類学を学ぶ人のために 著者:秋道智彌・市川光雄・大塚柳太郎編 出版社:世界思想社 ISBN:4-7907-0561-7						
参考書 2							

授業科目名	統計学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-NM-0-006
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは「数学としての統計学の理解と、推測統計学の実践」である。学生は、度数分布や確率分布の基礎概念を練習問題を解きながら習得する。その上で、母平均や母分散の区間推定や、仮説検定(母平均・母分散、適合度・独立性、母相関係数)の技法に習熟する。これによって学生は関係する分野の現実の問題でそれらの技法を使いこなすことができるようになる。						
概要	集団の代表値・散布度や二つの集団の相関などの度数分布論の基礎概念、二項分布・正規分布や χ^2 乗分布やt分布などの確率分布論の基礎概念を、問題演習を通じて習得する。しかるのち、母平均や母分散の区間推定や母平均・母分散や適合度・独立性や母相関係数に関わる仮説検定の問題を解き、さまざまな分野における応用への道を開く。						
評価方法	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。						
履修条件・注意事項	順列・組合せ、確率、数列、微分積分の初歩など、ある程度の数学的知識は履修に際して必要条件である。						
自己学習	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書と板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。						
オフィスアワー	257研究室で木曜4限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 度数分布 2. 代表値・散布度 3. 平均・分散の計算 4. 相関係数 5. 確率変数 6. 2次元確立分布 7. 二項分布 8. 正規分布 9. X^2 乗分布とt分布 10. 標本分布 11. 区間推定 12. 仮説検定 13. 母平均・母分散の検定 14. 適合度・独立性の検定 15. 総括 16. 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本					
教科書 1	新統計入門 著者:小寺平治 出版社:裳華房 ISBN:4-7853-1099-5						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	数学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-NM-0-007		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	医療系をはじめとする、広範囲の専門分野で将来必要となる数学的知識、つまり「1変数や2変数の微積分」がテーマである。限られた時間の中で基礎的なものに限定してその学習をおこなう。学生は1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解くことができるようになる。								
概要	まず1変数関数では、さまざまな初等的関数(整関数、三角関数、指数関数)の性質について学び、これらの関数やその逆関数の微分や積分を行なう。また級数展開について学ぶ。2変数関数では全微分という概念を理解し、さまざまな関数の微分や積分を行なう。また2変数関数の極値問題や重積分の問題を解く。こうして1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解く能力を身につける。								
評価方法	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。								
履修条件・注意事項	数学I,A,II, Bを履修していること。それと毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。								
自己学習	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。								
オフィスワ-	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 簡単な1変数関数と2次曲線 2. 三角関数と逆三角関数 3. 指数関数と対数関数 4. 1変数関数の微分 5. 初等関数の導関数、n次導関数 6. 平均値の定理とTaylor級数 7. 1変数関数の不定積分 8. 1変数関数の定積分 9. 2変数関数の微分 10. 2変数関数の極値 11. 2変数関数の累次積分 12. 重積分 13. 変数変換 14. 変数変換と積分 15. 総括 16. 定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本					
教科書 1	微分と積分 著者:三宅敏恒 出版社:培風館 ISBN:978-4-563-00352-4								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	中国地域社会				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	畑木 亦梅					NO.	SS-BU-2-309
配当学科	経営社会				年次	カリキュラムにより異なります。	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	中国は近年目覚ましい経済発展を遂げ、政治も変貌し、国際社会における存在も大きくなってきている。社会保障も整備されつつある。一方、腐敗事件が頻発し、社会格差が深刻化しているなど様々な問題も起きている。本講義は、こうした現代中国を分析する。本講義を受講することにより、現代中国の国家制度、社会構造とその変容、経済、環境及び外交、日中関係の現状と問題点などについて理解できるようになる。						
概要	本講義では、現代中国の国家制度、一党支配下の権力構造、社会構造とその変容、経済発展と格差問題、環境問題、外交問題などを様々な視点で捉え分析する。						
評価方法	授業態度、課題レポートなど(40%)、期末テスト(60%)で総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	留学生が受講する場合、一定の漢字の読解力が必要である。						
自己学習	予習として、事前に授業資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。予習および復習には、2時間程度を要する。						
オフィスワ-	授業終了後教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 政治体制 3. 執政党 4. 多民族国家 5. 香港・マカオ問題 6. 台湾問題 7. 経済の高度成長 8. 経済のグローバル化 9. 社会構造の変容 10. 人口問題 11. 教育問題 12. 環境問題 13. 冷戦下の日中関係 14. 冷戦終結後の日中関係 15. まとめ 16. 期末試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅		
教科書 1	『5分野から読み解く現代中国』(2016) 出版社: 晃洋書房 ISBN: ISBN 978-4-7710-2720-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	経絡鍼灸学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-2-324
配当学科	スポーツ社会			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では東洋医学における重要な「経絡鍼灸学」をテーマとして、それについて福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする。						
概要	「経絡学説」は東洋医学における最も重要な生理学の一環であると同時に、臨床各科治療の基礎でもある。本講義ではまず経絡の起源に関わる背景を紹介し、その後「十二正経」を講義する。その中で主に経絡の循行部位、生理機能、病理特徴および分布特徴、相関部位及び代表経穴の取り方を中心として行われる。更に現代医学を併せてそれに関わっている筋肉、神経及び血管などを中心としている。「鍼灸学」について主に鍼の刺し方、灸療法のすえ方、適応症、注意事項及び鍼灸治療のメカニズム、また、中国の鍼灸状況を解説する。						
評価方法	テーマ「経絡鍼灸学福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくる。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 肺経・大腸経について 第2回 胃経・脾経について 第3回 心経・小腸経について 第4回 腎経・膀胱経について 第5回 心包経・三焦経について 第6回 肝経について 第7回 胆経について 第8回 鍼灸概説について 第9回 片手挿管について 第10回 鍼に関する一般知識 第11回 鍼治療の適応症 第12回 刺鍼手技法について 第13回 灸療法概説について 第14回 灸療法の実際について 第15回 鍼灸理論について 第16回 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然				
教科書 1	身近な東洋医学 著者:王専 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	作業療法概論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	京極 真、岩田 美幸、三宅 優紀、狩長 弘親、山本 倫子、寺岡 睦					NO.	HS-OT-1-203
配当学科	作業療法			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】 学生は、将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。</p> <p>【到達目標】 学生は、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。</p>						
概要	<p>作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性和今後の作業療法への展望について検討する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目では、作業療法士としての実務経験をもつ教員や外部講師がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	授業への参加度(50%)、単位認定レポート試験(50%)の結果で総合評価する。 なお、単位認定レポート試験は採点結果を返却し、模範解答を掲示する。						
履修条件・注意事項	グループワークや発表時に欠席した場合は成績評価に大きく影響するため、必ず担当教員に連絡すること。 日常生活の中で人(自分自身も含む)と作業の関係について洞察を深めること。						
自己学習	毎回の授業を確実に理解できるように教員が指定する内容を必ず1時間以上予習し、主体的に参加すること。また、授業後は重要な事項を必ず1時間以上復習しておくこと。						
オフィスアワー	月曜4限(15:10～16:40)、6428研究室 ※他教員のオフィスアワーは別途確認						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション, 作業とは何か 2. 作業療法の対象, Enabling occupation 3. 身体障害領域の作業療法 4. 精神障害領域の作業療法 5. 高齢者・認知症の作業療法 6. 作業療法の歴史(起源) 医学・作業療法用語の解説 7. 作業療法の歴史(パラダイムシフト) 8. 作業療法の実践理論(人間作業モデル) 医学・作業療法用語の確認テスト 9. 作業療法の実践理論(CMOP-E・OTIPM他) 10. 高次脳機能障害領域の作業療法 11. 予防領域の作業療法 12. 発達障害領域の作業療法 13. 作業療法における研究の重要性 14. 生活行為向上マネジメント 15. 作業療法を取り巻く状況, まとめ 16. 試験	講義 AL AL AL 講義 講義 講義・筆記試験 講義	京極 岩田 寺岡 山本 岩田 京極 寺岡 寺岡 寺岡					
教科書 1	作業療法学概論 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:二木淑子・能登真一 出版社:医学書院 ISBN:978-4260025355						
教科書 2	「作業」って何だろうー作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:978-4263216675						
参考書 1	基礎作業学 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:濱口豊大 出版社:医学書院 ISBN:978-4260030557						
参考書 2	作業療法士になろう! 著者:齋藤さわ子 出版社:青弓社 ISBN:978-4787210531						

授業科目名	人間と作業			履修期	2021年度 春学期		
担当者	寺岡 睦					NO.	HS-OT-1-204
配当学科	作業療法			年次	1		
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義、AL
テーマと到達目標	<p>テーマ:学生は、作業療法士が主とする「作業」が健康と幸福に与える影響を理解できる 到達目標:学生は、講義とアクティブラーニングを通して、作業が人間の健康と幸福に与える影響を理解できる</p>						
概要	<p>作業とは、人間が経験すること全てである。 作業療法士になるためにはこの作業を理解し、作業療法という方法を使ってクライアントへ介入を行う必要がある。 そのためには作業がもつ力を理解し、健康と幸福に近づく作業の使い方を教えたり、やり方を変更したり、自身で運用できるようになることが求められる。 作業は経験である以上、どのような経験を積むかによって将来の健康と幸福が変化する。 質の悪い経験＝作業機能障害を積み重ねると人の健康と幸福は阻害される。 しかし質の良い経験＝作業機能状態を積み重ねると人の健康と幸福は促進される。 この科目では、健康と幸福に特に良い影響を与える作業を学生に紹介し、実際に体験する時間を設けることでその影響や効果を理解し、解釈出来るように構成している。 この科目は、作業科学を研究し、臨床現場で実践していた者が講義を行う。人間が行う作業が健康と幸福に関連する基礎知識に加え、臨床現場での活用方法なども講義し学生の理解を深める。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	試験60%、提出物20%、授業への態度20%で評価する。なお、提出物へのフィードバックは授業内で行う。						
履修条件・注意事項	授業の復習をきちんと行うこと 講義内で出た課題には取り組むこと						
自己学習	<p>予習はシラバスについて記載されているテーマについて教科書を読み、事前にインターネットなどを活用し調べておくこと。 予習の時間は1時間程度とする。 講義終了時に、作業を習得して効果を体験してもらうために課題を毎回出すので必ず行うこと。 課題は30分～1時間程度で行える内容で提供する。課題は次回の講義前までに提出すること。</p>						
オフィスアワー	授業終了後、教室で行う。それ以外は月曜か金曜に6430研究室で対応する						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 作業と健康と幸福の関係性 3. 意志力と作業、演習、宿題 4. 疲労と作業、演習、宿題 5. 感謝と作業、演習、宿題 6. フローと作業、演習、宿題 7. 人間関係と作業、演習、宿題 8. 挫折と作業、演習、宿題 9. ストレス軽減と作業、演習、宿題 10. 強みと作業、演習、宿題 11. レジリエンスと作業、演習、宿題 12. 自己肯定感と作業、演習、宿題 13. 講義と発表 14. 人間と作業まとめ 15. 単位認定試験		講義 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 筆記試験	寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡				
教科書 1	「作業」って何だろう 作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:4263216679						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	発達心理学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	宇都宮 真輝					NO.	PS-PS-1-307		
配当学科	心理				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。								
概要	様々な視点から人間の発達過程について学習する。具体的には、胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期のそれぞれにおける発達の様相や発達課題について学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、その問題に対する心理的援助についても考察を深める。								
評価方法	評価は、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)、期末試験(60%)とし、総合的に評価する。小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。								
履修条件・注意事項	出席は必須であるので欠席をしないこと。積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。								
自己学習	予習として次回の内容について教科書を読んできること。授業で習い、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、90分程度を要する。								
オフィスワ-	研究室にて、火曜日4時限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.ライフサイクルについて 3.胎児期 4.新生児期 5.乳児期-愛着の形成- 6.乳児期-言葉の発達- 7.幼児期-表象の獲得- 8.幼児期-社会性の発達- 9.児童期-有能感と劣等感- 10.児童期-学校への適応・いじめ- 11.青年期前期 12.青年期後期 13.青年期の病理 14.成人期 15.まとめ 16.期末試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮					
教科書 1	よくわかる発達心理学 著者:無藤隆・岡本祐子・大坪治彦(編) 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-05379-7								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	保育の心理学 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸					NO.	PS-CE-2-212	
配当学科	子ども発達教育				年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>発達とは人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。</p> <p>到達目標: 子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようにする。</p>							
概要	<p>保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。</p>							
評価方法	<p>ほぼ毎回(計10回ほど)の講義内で行う小テスト・ミニ・レポートの得点(30%)と定期試験の得点(70%)に、受講態度の評価点(0~1)を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が0.5の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点后、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>上述のように、ほぼ毎時間、小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。</p> <p>保育士の資格取得には必須科目である。</p>							
自己学習	<p>予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。(2時間)</p> <p>復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。(2時間)</p> <p>返却された小テストも確認しておくこと。</p>							
オフィスワ-	月曜4限 教員研究室							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 発達を考える(1章) 3. 人・モノとの出会い(2章) 4. コミュニケーション・愛着(2章) 5. 遊び・好奇心・知識(3章) 6. 他者との関わり(3章) 7. 学校での学び(第4章) 8. 学びのつまずき(4章) 9. 学校のでの人間関係(5章) 10. 人間関係のつまずき(5章) 11. 青年期の発達課題(6章) 12. 職業と自己理解(6章) 13. 親としての発達(7章) 14. 発達理論と発達支援(8章) 15. まとめ 16. 試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井				
教科書 1	保育の心理学 I 著者:無藤 隆・藤崎真知代 出版社:北大路書房 ISBN:978-4-7628-2738-9							
教科書 2								
参考書 1	エピソードで学ぶ 乳幼児の発達心理学 著者:岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる 出版社:新曜社 ISBN:978-4-7885-0907-8							
参考書 2								

授業科目名	対人関係論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-219
配当学科	子ども発達教育			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。						
概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体(個人)に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。						
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にはあらかじめよく目を通し(予習)、授業後は内容を確認し整理し(復習)、以後の学習に活用してほしい。						
自己学習	1) 事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 心理学と社会心理学 2. 社会心理学の対象と研究方法について 3. 社会的認知について 4. 社会的相互作用について 5. 社会的欲求と適応行動について 6. 人間関係とストレス 7. 人間関係とフラストレーション 8. 人間関係と認知 9. 印象形成について 10. 人間関係と感情 11. 社会的態度と行動について 12. 社会的態度(1)ステレオタイプ 13. 社会的態度(2)偏見 14. 態度変容について 15. 学修のまとめ 16. 期末試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田				
教科書 1	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。						
教科書 2							
参考書 1	ワークショップ人間関係の心理学 著者:藤本忠明他編著 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-833-9						
参考書 2							

授業科目名	デジタルメディアと社会			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大谷 卓史					NO.	AN-AN-1-108
配当学科	アニメーション文化			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることが出来る。</p> <p>本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為・コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。</p> <p>到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 2. 倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 3. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 <p>ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。</p>						
概要	<p>現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方や枠組みを活用する。</p> <p>映像作品やドキュメンタリーを手掛かりとして、現代における情報技術とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。視聴や紹介を予定する映像作品は授業計画を参照のこと。</p> <p>授業では映像作品のストーリーやそこで描かれた哲学的・倫理学的問題を紹介し、学生との議論を中心に進める。映像作品に関しては、事前に見ておくことが望ましい。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p>						
評価方法	<p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。</p> <p>講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。</p> <p>予習:レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。</p> <p>復習:授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。</p>						
オフィスワ-	<p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。</p> <p>秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉 4 倫理とは何だろうか(2) 倫理学の基本的な立場 5 グーグル革命(ビデオ教材) 6 サーチエンジンの倫理:スコア化する社会/ブラックボックス化する社会 7 ソーシャルネットワーキングサービス 8 フェイクニュースと情報の信頼 9 プライバシーの基礎 10 個人情報保護制度とその思想 11 監視と見守り 12 著作権の法・技術・ビジネス 13 ICTビジネスと社会(「アップル復活」を見る) 14 バーチャルリアリティ 15 まとめ 16 試験 	<p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 筆記試験</p>	<p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷</p>		
教科書 1	レジュメ等資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1	<p>改訂新版 情報倫理入門 著者:土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著 出版社:アイケイコーポレーション ISBN:4874923240</p>						
参考書 2	<p>AIの倫理学 著者:クーケルバーク著、直江清隆訳者代表 出版社:丸善出版</p>						

授業科目名	解剖学 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	吉川 久美子					NO.	HS-NU-1-101		
配当学科	看護				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	人体の構造を機能と関連づけながら学習する。「解剖学」を学び、それを「機能」から「病態生理」「治療」「看護」「指導」につなげるために必要な知識の習得する。								
概要	人体を各部位別に「頭部」「胸部」「腹部」「上肢・下肢」に分け、それぞれの部位を位置関係、形状、構造について説明する。また各臓器及び器官系は密接な関連をもって機能していることに理解を深めながら講義を進め学生の学習意識を高める。								
評価方法	「解剖学」の理解の到達度について定期試験の結果と受講中の学習態度を判定する。具体的には定期試験結果(80%)、受講中の学習態度(20%)を合計し、総合判定とする。								
履修条件・注意事項	講義には指定された教科書と問題集を必ず使用するため、毎回忘れることのないよう持参すること。								
自己学習	「解剖学」では人体の構造を暗記し理解するとともに「生理学」の学習との結びつきが重要であるため「解剖学」の部位別の学習を「生理学」で学ぶ部位と並行してノートなどに整理して学習すること。								
ワイアワ-	講義終了後、教室にて実施する。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 解剖ガイダンス 2. 細胞・組織 I 3. 細胞・組織 II 4. 消化器 I 5. 消化器 II 6. 肝臓・ 7. 胆嚢・膵臓 8. 心・血管系 I 9. 心・血管系 II 10. 心・血管系 III 11. リンパ系 I 12. リンパ系 II 13. 腎臓 I 14. 腎臓 II 15. 尿路系 16. 定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川					
教科書 1	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 出版社:医学書院								
教科書 2									
参考書 1	系統看護学講座 準拠 解剖生理学ワークブック 出版社:医学書院								
参考書 2									

授業科目名	解剖学Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	吉川 久美子					NO.	HS-NU-1-102	
配当学科	看護				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	体の構造を機能と関連づけながら学習する。 「解剖学」を学び、それを「機能」から「病態生理」「治療」「看護」「指導」につなげるために必要な知識の習得する。							
概要	概要 人体を各部位別に「頭部」「胸部」「腹部」「上肢・下肢」に分け、それぞれの部位を位置関係、形状、構造について説明する。また各臓器及び器官系は密接な関連をもって機能していることに理解を深めながら講義を進め学生の学習意識を高める。							
評価方法	評価方法 「解剖学」の理解の到達度について定期試験の結果と受講中の学習態度を判定する。 具体的には定期試験結果(80%)、受講中の学習態度(20%)を合計し、総合判定とする。							
履修条件・注意事項	履修条件・注意事項 講義には指定された教科書と問題集を必ず使用するため、毎回忘れることのないよう持参すること。							
自己学習	自己学修 「解剖学」では人体の構造を暗記し理解するとともに「生理学」の学習との結びつきが重要であるため「解剖学」の部位別の学習を「生理学」で学ぶ部位と並行してノートなどに整理して学習すること。							
オフィスワ-	講義終了時、教室にて実施する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 解剖学ガイド 2. 内分泌Ⅰ 3. 内分泌Ⅱ 4. 内分泌Ⅲ 5. 神経Ⅰ 6. 神経Ⅱ 7. 神経Ⅲ 8. 骨の構造 9. 筋肉・関節Ⅰ 10. 筋肉・関節Ⅱ 11. 感覚器(耳・鼻) 12. 感覚器(眼・舌) 13. 皮膚 14. 男性生殖器 15. 女性生殖器 16. 定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川 吉川	
教科書 1	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 出版社:医学書院							
教科書 2								
参考書 1	系統看護学 準拠 解剖生理学ワークブック 出版社:医学書院							
参考書 2								

授業科目名	生化学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	長町 榮子					NO.	HS-NU-1-105
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、生体物質の基本的構造と機能及び物質の変化とそれに起因する諸現象について学ぶことができる。また、学生は生命の根源についてDNAの複製・転写・翻訳などの分子生物レベルで理解し、人体を構成する成分、生命活動の成り立ち、仕組み等に関して習得することができる。						
概要	生命現象の基本やその病態を分子レベルで理解するために必要なことから、つまり生体物質の基本的構造と機能及び物質の変化とそれに起因する諸現象について講義する。 さらに、生命の根源についてDNAの複製・転写・翻訳などの分子生物レベルで理解させる。すなわち、人体を構成する成分、生命活動の成り立ち、仕組み、生体構成成分であるタンパク質の再生、個体間・世代間の情報伝達としての遺伝などがその内容である。 この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。						
評価方法	試験の成績(80%)を中心に、授業態度(10%)、課題レポート等(10%)による総合評価を行う。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。						
自己学習	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。						
オフィスアワー	個人研究室にて、水曜日3限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.代謝総論・細胞 2.糖質 3.脂質 4.アミノ酸とタンパク質 5.核酸とヌクレオチド 6.ビタミン 7.酵素 8.糖質代謝とは 9.糖質代謝 10.脂質代謝 11.タンパク質とアミノ酸の代謝 12.核酸・ヌクレオチドの代謝 13.エネルギー代謝の統合と制御 14.遺伝情報とは 15.遺伝情報 16.試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町
教科書 1	ナーシング・グラフィカ(2)臨床生化学 著者:宮澤恵二、根元清次他著 出版社:メディカ出版 ISBN:978-4-8404-2176-8						
教科書 2							
参考書 1	ナースのための生化学・栄養学 著者:香川靖雄、野澤義則共著 出版社:南山堂 ISBN:4-525-51754-9						
参考書 2							

授業科目名	病理学			履修期	2021年度 春学期			
担当者	高橋 淳					NO.	HS-NU-2-108	
配当学科	看護			年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	病理学は基礎医学の総まとめ、そして臨床医学への入門であり、医療に携わる者にとって、どんな職種であれ必要不可欠な学問である。本講義では学生が、これまで学習した内容を総合して、病気の原因、発生の仕組み、経過、病気が辿る最終的な結末(転帰)といった病気の本態に関する基礎知識を身につけ、臨床医学をさらに理解できることを到達目標とする。							
概要	病理学総論として、全身の臓器に共通する一般的な原理を講義する。これには細胞の異常、炎症、循環障害、免疫と免疫異常、先天異常、代謝異常、老化、感染症などの項目が挙げられる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、内科医として病理解剖の実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせる。成績評価基準;最終試験(80%)、授業態度など(20%)。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。							
自己学習	教科書の該当箇所を予め読んでおく予習と、講義で教わった内容を再確認する復習を前提にして授業を進める。予習、復習には、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	個人研究室(6414)にて、水曜日の4時限目に実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 細胞・組織とその障害 2. 再生と修復 3. 炎症 4. 循環障害(1)(浮腫、出血、血栓、ショック) 5. 循環障害(2)(動脈硬化) 6. 免疫とアレルギー(1)(自然免疫、獲得免疫) 7. 免疫とアレルギー(2)(アレルギー疾患、免疫疾患) 8. 腫瘍(1)(臨床腫瘍学) 9. 分子生物学 10. 腫瘍(2)(腫瘍生物学) 11. 遺伝性疾患、先天異常 12. 新生児の病理 13. 老化と老年病 14. 感染症 15. 環境と栄養 16. 試験		1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 筆記試験	1. 高橋 2. 高橋 3. 高橋 4. 高橋 5. 高橋 6. 高橋 7. 高橋 8. 高橋 9. 高橋 10. 高橋 11. 高橋 12. 高橋 13. 高橋 14. 高橋 15. 高橋 16. 高橋					
教科書 1	カラーで学べる病理学 第5版 著者:渡辺 照男(編集) 出版社:ヌーヴェルヒロカワ ISBN:978-4861740756							
教科書 2								
参考書 1	なるほどなっとく! 病理学 改訂2版 著者:小林正伸(著) 出版社:南山堂 ISBN:978-4-525-15162-1							
参考書 2								

授業科目名	病態生理学 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	高橋 淳					NO.	HS-NU-2-109
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。						
概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるナースの役割と位置づけを学び他のコメディカルの職種との連携を考える上でも重要である。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準;最終試験(80%)、授業態度など(20%)。						
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。						
自己学習	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	個人研究室(6414)にて、水曜日の4時限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.呼吸器疾患(1)-症候、検査、治療 2.呼吸器疾患(2)-感染症、アレルギー疾患 3.呼吸器疾患(3)-気管支喘息、COPD、間質性肺疾患 4.呼吸器疾患(4)-肺癌、肺塞栓、換気・胸膜・縦隔疾患 5.消化管疾患(1)-症候、検査、治療 6.消化管疾患(2)-食道疾患、消化性潰瘍 7.消化管疾患(3)-胃癌、炎症性腸疾患 8.消化管疾患(4)-大腸癌、急性腹症 9.肝・胆・膵疾患(1)-症候、検査、治療 10.肝・胆・膵疾患(2)-肝炎、肝硬変 11.肝・胆・膵疾患(3)-肝癌、胆道疾患 12.肝・胆・膵疾患(4)-膵疾患 13.膠原病・アレルギー疾患(1)-症候、検査、治療 14.膠原病・アレルギー疾患(2)-関節リウマチ、SLE、皮膚筋炎、強皮症 15.膠原病・アレルギー疾患(3)-血管炎、アレルギー性疾患 16.試験	1.講義 2.講義 3.講義 4.講義 5.講義 6.講義 7.講義 8.講義 9.講義 10.講義 11.講義 12.講義 13.講義 14.講義 15.講義 16.筆記試験	1.高橋 2.高橋 3.高橋 4.高橋 5.高橋 6.高橋 7.高橋 8.高橋 9.高橋 10.高橋 11.高橋 12.高橋 13.高橋 14.高橋 15.高橋 16.高橋					
教科書 1	看護のための臨床病態学 第4版 著者:浅野嘉延(編集), 吉山直樹(編集) 出版社:南山堂 ISBN:978-4-525-50514-1						
教科書 2							
参考書 1	ビジュアルノート 著者:医療情報科学研究所(編集) 出版社:メディックメディア ISBN:978-4896326239						
参考書 2							

授業科目名	病態生理学Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	服部 俊夫、中角 祐治					NO.	HS-NU-2-110	
配当学科	看護			年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	この授業のテーマは、神経系および循環器系の病態生理の理解であり、このテーマに関わる看護師国家試験問題に対応できるレベルの知識の習得を到達目標とする。							
概要	病態生理の理解には、当然ながら正常解剖・生理の理解が不可欠である。この講義では神経系および循環器系の解剖と生理を順次講義し、それにリンクさせて関連疾患の講義を行う。講義はプリントを配布し、同じ内容のスライド(パワーポイント)に必要な画像や図を加えたもので行う。							
評価方法	受講態度、期末試験結果などを合わせて総合的に評価する。成績評価基準は受講態度10%、試験成績90%を目安とする。試験後不正解の原因を解説する講評時間を設ける。							
履修条件・注意事項	上述のように、スライドでの講義と同じ内容のプリントを配布するので、講義中のノートテイクはほとんど必要ない。講義内容の理解に集中してほしい。可能な限り早めにプリントを配布するので、1年次に学習した内容も含め、あらかじめ疑問点、理解のできない内容を確認しておいてほしい。特に神経系の解剖は難解な専門用語が多く、また内容も多いので、予習、復習を含め相当の自学自習の努力が必要である。							
自己学習	この講義では2冊の教科書を用意している。講義は教科書に則り行うので、教科書の予習と講義時に配布する印刷物を用いて、復習が必要である。各30分以上。							
オフィスアワー	月曜日の午前10時から11時をオフィスアワーとして学生との討議にあてる。6408号室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1. 神経系の構造と機能 2. 神経診断学 3. 脳血管障害、外傷性脳損傷 4. 変性疾患、脱髄疾患 5. 末梢神経・筋疾患 6. 感染、腫瘍、中毒 7. 先天性疾患、機能的疾患 8. 循環器系の解剖と生理 心臓と全身循環 9. 循環器の疾患とその病態 10. 心不全、心疾患 11. 高血圧 12. 不整脈 13. 動脈系疾患 14. 静脈系疾患 15. 循環器まとめ 16. 単位認定試験				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	服部・中角 服部・中角 服部・中角 服部・中角 服部・中角 服部・中角 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部
教科書 1	系統看護学講座 専門Ⅱ 循環器 出版社:医学書院							
教科書 2	系統看護学講座 専門Ⅱ 脳・神経 出版社:医学書院							
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	病態生理学Ⅲ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	高橋 淳					NO.	HS-NU-2-111
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。						
概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるナースの役割と位置づけを学び他のコメディカルの職種との連携を考える上でも重要である。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準;最終試験(80%)、授業態度など(20%)。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。						
自己学習	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	個人研究室(6414)にて、水曜日の4時限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.代謝性疾患(1)-症候、検査、治療 2.代謝性疾患(2)-糖尿病、低血糖症 3.代謝性疾患(3)-脂質異常症、痛風、骨粗鬆症 4.内分泌疾患(1)-症候、検査、治療 5.内分泌疾患(2)-下垂体・甲状腺疾患 6.内分泌疾患(3)-副甲状腺・副腎疾患 7.腎・泌尿器疾患(1)-症候、検査、治療 8.腎・泌尿器疾患(2)-慢性腎臓病、腎不全 9.腎・泌尿器疾患(3)-糸球体腎炎 10.腎・泌尿器疾患(4)-腎盂腎炎、泌尿器科疾患(1) 11.腎・泌尿器疾患(5)-泌尿器科疾患(2) 12.血液疾患(1)-症候、検査、治療 13.血液疾患(2)-貧血 14.血液疾患(3)-白血病 15.血液疾患(4)-悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、出血性疾患 16.試験	1.講義 2.講義 3.講義 4.講義 5.講義 6.講義 7.講義 8.講義 9.講義 10.講義 11.講義 12.講義 13.講義 14.講義 15.講義 16.筆記試験	1.高橋 2.高橋 3.高橋 4.高橋 5.高橋 6.高橋 7.高橋 8.高橋 9.高橋 10.高橋 11.高橋 12.高橋 13.高橋 14.高橋 15.高橋 16.高橋		
教科書 1	看護のための臨床病態学 第4版 著者:浅野嘉延(編集), 吉山直樹(編集) 出版社:南山堂 ISBN:978-4-525-50514-1						
教科書 2							
参考書 1	ビジュアルノート 著者:医療情報科学研究所(編集) 出版社:メディックメディア ISBN:978-4896326239						
参考書 2							

授業科目名	病態生理学Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	河村 顕治					NO.	HS-NU-2-112
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	将来看護師として臨床に出た時、どのような現場で働くことになっても廃用症候群の予防法等の基礎知識は必要とされる。より広い視野を持った看護師になるため、リハビリテーションに関わる基礎知識及び整形外科の基礎知識を身につけることを目標とする。学生はリハビリテーションチームの一員としてよりよい看護が行えるための基礎知識を身につけることができる。						
概要	リハビリテーションの概念を理解するために歴史的な変遷を概説し、その上でリハビリテーション看護の実際について講義する。リハビリテーション的なものの見方、考え方を身につけ、リハビリテーションチームの一員としてよりよい看護が行えるようになることを目指す。地域リハビリテーションの重要性についても講義する。 また、骨折患者の対処の仕方など整形外科の基本的知識についても講義を行うとともにギプス法の実習も行う。 各疾患についての理解を深めるために臨床現場のスライドを多用する。 ※実務経験のある教員による授業:この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	看護師として必ず身につけなければならない基礎知識については講義の中で復習を兼ねた小テストを行う。 小テスト20%、定期試験80%の比率にて判定を行う。 なお、評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	理解を深めるために、授業に先立って予習が不可欠である。復習も必須である。 13.ギプス法実習にはギプスがまけるような服装での参加が望ましい。						
自己学習	授業に先立って「系統看護学講座 成人看護学 10 運動器」で該当部分を予習しておくこと。授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してノートにまとめること。 予習復習には各1時間程度を要する。						
オフィスワ-	個人研究室にて火曜日の4時限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.リハビリテーション概説 2.学内見学実習 3.機能評価の方法 4.脳卒中片麻痺のリハビリテーション 5.脊髄損傷のリハビリテーション 6.関節リウマチのリハビリテーション 7.切断のリハビリテーション 8.運動器の構造と機能 9.運動器疾患の症状と病態生理 10.運動器疾患の検査と処置 11.外傷性運動器疾患の理解 12.骨折とその合併症の理解 13.ギプス法実習 14.非外傷性運動器疾患の理解 15.地域リハビリテーション 16.テスト	講義 AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL 講義 講義 筆記試験	河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治		
教科書 1	系統看護学講座 成人看護学 10 運動器 著者:加藤 光宝 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-00323-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	微生物学 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	長町 榮子					NO.	HS-NU-1-113		
配当学科	看護				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	学生は、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識について学ぶことができる。学生は広範なる微生物の知識を理解し、さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査、新興感染症、感染症法の分類と疾患等の専門的知識を習得することができる。								
概要	看護専門職に必要な専門的知識を習得させるために、広範なる微生物の知識を十分に納得させる。さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査等の知識を教授し、専門的知識を体得させる。また、現代医療に不可欠な免疫に関する知識を、基礎から応用まで幅広く講義する。すなわち、病原微生物の生態、感染の概念と生体反応(免疫反応)を理解し、細菌、ウイルス、リケッチア、真菌等の病原性、感染経路、感染症の治療等について学ぶ。医療現場において重要である消毒、滅菌法に関する知識、新興感染症(重症急性呼吸器症候群、鳥型インフルエンザのヒト感染等)、感染症法の分類と疾患等についても教授する。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。								
評価方法	試験の成績(80%)を中心に、授業態度(10%)、課題レポート等(10%)による総合評価を行う。								
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。								
自己学習	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。								
オフィスワ-	水曜日3限目、6号館4階長町研究室(6425号室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.序論、細菌の分類と命名法、細菌の形態 2.細菌の増殖、細菌の変異と遺伝 3.感染と発症、感染症の診断 4.消毒と滅菌 5.化学療法 6.院内感染とその対策 7.グラム陽性通性嫌気性および好気性球菌 8.グラム陰性通性嫌気性桿菌真菌学総論 9.らせん菌群 10.グラム陰性好気性桿菌・球菌 11.グラム陽性好気性および通性嫌気性桿菌 12.偏性嫌気性菌 13.マイコバクテリウム他 14.リケッチア、クラミジア 15.口腔細菌 16.試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町					
教科書 1	シンプル微生物学 著者:小熊惠二、堀田 博他著 出版社:南江堂 ISBN:978-4-524-25483-5								
教科書 2									
参考書 1	標準微生物学 著者:平松啓一、山西弘一他著 出版社:医学書院 ISBN:4-260-10445-4								
参考書 2									

授業科目名	疫学				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-2-115
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	疫学は、疾病の原因解明や治療の効果評価に必要な原因と結果との関連(因果)を明らかにする学問である。原因の結果に与える影響を定量的に評価することにより、公衆衛生活動の優先度や治療方法の選択等を支える重要な科学である。看護師は医療者として、科学的な疾病の原因や治療方法、看護方法の根拠を判断するために疫学を身につけることが求められる。保健師には必須で、国家試験の頻出分野である。学生は、疫学の基礎を学び、論文の疫学的記載の基本を理解できるようになる。また、3年次の看護研究1における疫学調査計画の基本部分が立案できるようになることが、到達目標である。						
概要	公衆衛生活動の実践当たっては、対象集団のニーズの把握、活動計画、活動の評価の各段階で疫学的なアプローチ・手法が欠かせない。また、医療現場においても、治療法の有効性の評価などに関して、EBM(根拠に基づく医療)の基礎となる疫学は必須である。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。						
評価方法	期末の定期試験(60%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(40%)で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。						
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための練習問題も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。						
自己学習	疫学では、因果についての「考え方」を学ぶ。演習を通じて、理解が深まり身についてくる。教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補うと楽しい。疫学の魅力を知ってもらうため、参考書を読むことを強く薦めたい。						
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 疫学の基礎 アウトブレイク対応 2. アウトブレイク対応の記述疫学 3. サーベイランスとは 4. サーベイランスにおける疫学 5. 検査、スクリーニング 6. 臨床診断の評価 7. 記述疫学 演習 8. 検定と推定 演習 9. 交絡の調整 10. 交絡の調整(年齢調整) 演習 11. 研究方法論 12. 因果、十分原因構成要素モデル 13. 疫学調査論文の実際、例示 14. サーベイランス論文の実際、例示 15. 纏め 16. 筆記試験	講義 講義・演習 講義 講義・演習 講義 講義・演習 演習 演習 演習 講義 演習 講義 講義 講義 演習 演習 試験	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬					
教科書 1	看護学生のための疫学・保健統計 改訂3版 著者:浅野 嘉延 出版社:南山堂 ISBN:978-4-525-05343-7						
教科書 2							
参考書 1	ロスマンの疫学—科学的思考への誘い 第2版 著者:Kenneth J. Rothman (著), 矢野 栄二 (翻訳), 橋本 英樹 (翻訳), 大脇 和浩 (翻訳) 出版社:篠原出版新社 ISBN:978-4884123727						
参考書 2	医学的根拠とは何か(岩波新書) 著者:津田敏秀 出版社:岩波書店 ISBN:978-4004314585						

授業科目名	公衆衛生学 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-1-116
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>公衆衛生活動の目的は、その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。この科目で学生は、上記の公衆衛生の基本的考え方が身につくことが目標である。</p> <p>保健師助産師看護師法第1条には、「この法律は、保健師、助産師及び看護師の資質を向上し、もって医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。」とあり、公衆衛生学は看護師における必須分野であることから国家試験にも必出分野である。</p>						
概要	<p>公衆衛生活動では、疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度や技術があり、それらを公衆衛生学Ⅱとともに学ぶ。この科目では、公衆衛生の総論的なもの、基礎的考え方を主要なトピックスを中心として学習し、資料を用いて講義を行う。教科書は、公衆衛生の体系や詳細の整理のために用いる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。</p>						
評価方法	<p>期末の定期試験(50%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(50%)で評価する。授業時にアンケートを行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。</p>						
自己学習	<p>「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補う必要がある。</p>						
オフィスアワー	<p>6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生とは、社会と健康 2. ライフスタイルと健康 3. 行動経済学 4. 公衆衛生を担う機関 5. ソーシャルキャピタル 6. 環境と健康 7. 医療制度 8. レポート発表 	講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 演習	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬					
教科書 1	<p>公衆衛生—健康支援と社会保障制度(2)14版 著者:神馬 征峰ら 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-03574-3</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保健医療福祉行政論 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	田中 富子				NO.	HS-NU-2-118	
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:看護職として理解している必要がある保健・医療・福祉に関する法律や施策の基礎的知識 到達目標:看護職としての実践活動を行う際に、理解しておかなければならない保健・医療・福祉に関する政策や事業の根拠となる法律について学習する。看護師国家試験の出題レベルを到達目標とする</p>						
概要	<p>高齢化の進展や社会情勢の変化から、様々な制度改革や新たな法の整備がなされている。人の生命に関わる看護職は保健医療福祉の各法を準拠した実践活動が希求される。また、公衆衛生看護活動では、関係機関との協働し健康政策の企画立案機能が求められることから、広範囲な知識が必要となる。 そこで、わが国における保健師看護師助産師法・精神保健関係法・母子保健関係法・地域保健法・介護保険法を中心に法律・制度・政策の動向を学習する。 この科目は、行政機関で健康増進法や地域保健法・介護保険等の法律を根拠とした施策に長年携わった経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業実施する。</p>						
評価方法	<p>最終試験以前の講義出席が2/3以上であることを基礎条件とする 評価 1. 最終試験は80%の評価とする 2. 課題提出によるレポートを20%で評価をする 3. 総合評価点をもって、学則における「学習の評価」とする 評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと</p>						
履修条件・注意事項	<p>保健・医療・福祉に関するニュースや政策の動向に関心を持ち、情報を収集すること 講義の予習・復習を行い、難解な法律の概要を繰り返し学習すること 指定した、教科書・参考書・配付資料は必ず持参すること 課題レポートは、提出期限を厳守すること</p>						
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、その事について調べたことについて自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより、予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う2) 複数回に分け小テストを行い、達成度を確認し、振り返り授業を行う。3) 要点を押さえた資料を配付し、これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。4) 社会情勢やその動向に興味を持つことで、健康課題に応じた法整備や看護職の役割に関心を持つ。5) 試験及びレポートにより評価を行うことから、必ず予習復習を行うこと そのための時間は約1時間を要す</p>						
オフィスワ-	個人研究室にて、火曜日4時限目に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 看護職の根拠法:保助看法 2. 保健医療福祉行政 3. 財政と地域保健法 4. 精神保健福祉法 5. 総合障害者支援法 6. 母子保健法・児童福祉法 7. 母体保護法・母子保健法 8. 生活保護法・社会年金制度 9. 労働安全衛生法 10. 介護保険制度 11. 介護保険制度仕組み 12. 介護保険サービス 13. 医療費の動向 14. 医療制度 医療提供体制 15. 医療制度 医療保険制度 16. 筆記試験	講義 講義AL 講義 講義 講義AL 講義 講義 講義AL 講義 講義AL 講義 講義 講義AL 講義 講義AL 試験	田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中					
教科書 1	最新保健学講座7 保健医療福祉行政論 著者:野村陽子 出版社:メディカルフレンド社						
教科書 2	国民衛生の動向 著者:公衆衛生がみえる 出版社:厚生労働統計協会 ISBN:medic media						
参考書 1	国民福祉と介護の動向 出版社:厚生労働統計協会						
参考書 2	看護法令要覧 著者:清水嘉世子他 出版社:日本看護協会出版会						

授業科目名	保健統計学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-2-119
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	看護師、保健師になった後、統計やデータの解釈の重要性を認めるものの苦手意識を持つ人が多い。学生の中に現代人の行動選択の基本である統計学と応用の基本に触れ、見通しを持つことが有用である。統計的思考の基本を演習を通して身につけ、疫学研究との関わりをおおまかにつかむことを目標とする。						
概要	始めに現在の統計に関する能力を確認するために模擬的に試験を受けてもらう。講義では、設問の意図や背景の解説をに加え、小テストを通じて基礎的な力の獲得を目指す。講義内で小テストを行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。						
評価方法	期末試験(50%)と出席や提出物の内容(50%)で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。						
履修条件・注意事項	理解を助けるための練習問題を行うので、ファイルするなり、ノートに貼り付けるなどして系統的に整理しておくことと自身の到達点や今後の学習方向の判断に役立つ。 授業は電卓持ち込みで、試験時にも持ち込み可とするので、電卓を準備すること(スマホの計算機能は不可)。						
自己学習	国家試験の過去問を含む練習問題を配布する。講義中の小テストと復習等により統計学的な基礎技術を身につけてほしい。反復することで、徐々に身につけていく。 統計検定に準じたe-learningの無料学習サイトもあるので活用すると良い。gacco の統計学1、統計学2推測統計などはよく纏まっております例年更新されている。 https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga014+2016_05/about 参考書はweb資料と運動し、Excelを用いた統計処理を学ぶことができるので、将来扱いたい人に勧める。						
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 統計検定3級の模擬的試験 2. 統計学の歴史、記述統計と推測統計、データの種類 3. 量的データの要約 度数分布 4. 度数分布表とヒストグラム 5. 代表値と箱ひげ図 6. 標準偏差と分散 7. 格差を測るローレンツ曲線とジニ係数 8. Excelを利用した演習1要約 9. Excelを利用した演習2代表値、グラフ 10. 質的データの要約と統計グラフ 11. クロス集計表とオッズ比 12. 相関と散布図 13. 相関係数と回帰分析 14. 検定と区間推定 15. 衛生統計の見方と活用 16. 筆記試験 				
教科書 1	統計学 I データ分析の基礎 改訂第2版 著者:竹村 彰通(著), 酒折 文武(著), 中山 厚穂(著), 下川 敏雄(著), 他 出版社: 日本統計協会 ISBN: 978-4822340421						
教科書 2	看護学生のための疫学・保健統計 改訂3版 著者: 浅野 嘉延(著) 出版社: 南山堂 ISBN: 978-4-525-05343-7						
参考書 1	優しい統計処理 保健・医療データの活用 著者: 豊田修一ほか 出版社: 実教出版 ISBN: ISBN-10 : 4407349530 ISBN-13 : 978-4407349535						
参考書 2							

授業科目名	保健医療福祉概論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	森信 繁、松原 浩一郎、岩田 美幸、田中 富子、中角 祐治、井上 茂樹、服部 俊夫、竹崎 和子、福岡 美和、高橋 淳、石田 敦					NO.	HS-NU-1-120
配当学科	保健医療福祉学部			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは、国民が安心して生活していくために重要な「社会保障」について、保健医療福祉の専門職が協力して遂行していることを理解することである。</p> <p>到達目標は、各学科の学生が、医師、看護師、保健師、助産師、理学・作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員などの仕事内容が理解できること、そして医療福祉施設の現状を知り、多職種連携のありかたについて理解を深めることである。</p>						
概要	<p>医療技術の進歩により、これまで治せなかった疾病が治せるようになっていく反面、高齢化の進展により、医療だけでは解決できない問題が増えている。これらの状況に対応するためには、多職種連携が必要である。</p> <p>授業では、医師、看護師、保健師、助産師、理学・作業療法士、社会福祉士、介護支援専門員の資格を有し、実務経験のある教員が順に講師となり、それぞれの経験に基づき、日本の保健医療福祉の現状を説明する。学生は、それぞれの仕事内容を理解し、チームアプローチできるようになる。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 この科目では、医学・看護学・リハビリテーション医学・社会保健福祉学などの領域の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	レポートで評価する。レポートのテーマは保健医療福祉に関することとし、各自が自分で設定する。そして、関連する文献を3つ以上読み、それらの要約と自分の考えを千字程度にまとめる。具体的な書き方と評価基準の詳細は、最初の授業時間に提示する。						
履修条件・注意事項	他職種の話しを聞ける絶好の機会なので、積極的に授業に参加してもらいたい。						
自己学習	保健医療福祉の現場にチームの一員として参加している自分を思い描いてほしい。また、チームの一員になるためにこれから学習していくべきことを整理してほしい。講義の内容に合わせて終了時に、課題を提示する。課題について予習・復習に2時間を要す。						
オフィスワ-	木曜2限、6号館4階6401研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. メンタルヘルスと多職種連携 2. 国際保健 3. 看護師の仕事内容 4. 保健師の仕事内容 5. 助産師の仕事内容 6. 理学療法士の仕事内容 7. 作業療法士の歴史と仕事内容 8. 福祉職の歴史と仕事内容 9. 日本の福祉制度と将来展望 10. 在宅支援の連携ネットワーク 11. 保健所の役割と業務 12. 救急医療 13. 先進医療 14. 医療現場の課題 15. 医療現場の将来展望		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	森信 服部 竹崎 田中 福岡 井上 岩田 松原 石田 外部講師 中瀬 中角 高橋 中角 森信				
教科書 1	適宜、資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護学概論			履修期	2021年度 春学期			
担当者	掛谷 益子、澤田 和子					NO.	HS-NU-1-201	
配当学科	看護			年次	1			
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	<p>〈テーマ〉 看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。</p> <p>〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解する。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解する。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる。</p>							
概要	看護を志す初学者として、看護の核となる概念である人間や健康の基本的捉えかたについて理解する。この科目は、臨床での看護師の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、看護職者として必要とされる知識や能力について実践的に役立つ授業を実施する							
評価方法	筆記試験70% 課題レポート30%							
履修条件・注意事項	看護とは何かを考えられるように主体的に学習に取り組む。 日頃から保健・医療や福祉に関する新聞記事やニュース報道に関心を持ち、視野を広げておく。							
自己学習	予習:授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読する。(90分) 復習:毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する。(90分)							
オフィスワ-	水曜日2時限目:6号館4階 6402・6438 研究室							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 看護とは 看護の概念 2. 看護の役割と機能 3. 看護の対象の理解 人間のこころ・からだ・発達 4. 看護の対象の理解 地域での暮らし 5. 健康とは 6. ライフサイクルと健康・生活 7. 看護の歴史 8. 看護職のキャリア 9. 看護における倫理 現代社会と職業倫理 10. 看護における倫理 看護実践における倫理的問題 11. 看護サービスの提供 12. 看護をめぐる制度と政策 13. 国際化と看護 14. 災害時における看護 15. 私の看護観 16. 試験		1.講義 2.講義 3.講義 4.講義 5.講義 6.講義 7.講義 8.講義 9.講義 10.講義 11.講義 12.講義 13.講義 14.講義 15.講義 16.試験	1.掛谷 2.掛谷 3.澤田 4.澤田 5.澤田 6.澤田 7.掛谷 8.掛谷 9.掛谷 10.掛谷 11.掛谷 12.掛谷 13.澤田 14.澤田 15.掛谷・澤田 16.掛谷・澤田					
教科書 1	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 著者:茂野香おる 他 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02181-4							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	生活援助論 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	澤田 和子、掛谷 益子、清水 菜月					NO.	HS-NU-1-203
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	人の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が含まれる。看護技術を支える態度や行為の構成要素である、知識と判断、実施と評価、利用者への説明、完全安楽の確保、プライバシーの保護、指示の確認、報告・記録、個別性の対応、家族相談などをふまえて個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することが目的である。そして、対象者に適切な清潔の援助を提供する技術が習得できる。						
概要	看護技術の基本原則は、安全・安楽・自立・個別性の4つである。これはつまり、看護者が対象に提供する看護技術はすべて、対象の安全をまもり、最大限の安楽を提供し、自立を促すという方向性にそったものであり、かつ対象の個性をふまえたものとなっている必要がある。これらの基本原則をふまえたうえで、生活援助論Iでは、日常生活の援助のうち身体の清潔保持に関する技術について学ぶ。その技術は科学的根拠に基づいて看護行為を具体的に表現する技術すなわちscienceに加え、対象への気遣いや慈しみの気持ちや配慮を目に見える形で表現する専門的技術すなわちartを志向する。これらの技術は成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、地域看護学を学ぶうえでの基盤となる。この科目は看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、看護場面において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	筆記試験(70%)、課題レポート(10%)、実技試験(10%)、授業姿勢(10%)で評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	学内演習時は実習衣を着用し、身なり(頭髪・爪など)を整えて、積極的に参加する。また、演習内容・援助の目的・援助技術の手順を予習し、演習後は実施した技術の評価(安全・安楽に注意して援助できたか)を行い、不十分であった部分を教科書等で確認し、復習する。その繰り返しにより、看護技術の習得が可能となる。						
自己学習	演習前は看護技術の目的・方法を予習し、どのように援助するかを具体的に考える。演習後は実施した看護技術を振り返り、安全・安楽に実施できたか、できなかった場合何を改善する必要があるのか、できた場合患者に対しても実施可能であるか振り返る。						
オフィスワ-	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション・看護の目的 2. 感染予防 3. 衣生活:意義・目的・方法 4. 衣生活:寝衣交換 5. 身体の清潔1:意義・目的・方法 6. 身体の清潔2:洗髪(洗髪車) 7. 身体の清潔3:洗髪(ケリーパッド) 8. 身体の清潔4:入浴の意義・目的 9. 身体の清潔5:清拭 10. 身体の清潔6:部分浴 11. 身体の清潔7:足浴 12. 身体の清潔8:口腔ケア 13. 身体の清潔9:陰部ケア 14. 援助技術のまとめ(清拭・洗髪) 15. 援助技術のまとめ(足浴) 16. 試験	1.講義 2.演習 3.講義 4.演習 5.講義 6.演習 7.演習 8.講義 9.演習 10.演習 11.演習 12.演習 13.演習 14.演習 15.演習 16.試験	1.澤田・掛谷 2.澤田・掛谷 3.澤田・掛谷 4.澤田・掛谷 5.澤田・掛谷 6.澤田・掛谷 7.澤田・掛谷 8.澤田・掛谷 9.澤田・掛谷 10.澤田・掛谷 11.澤田・掛谷 12.澤田・掛谷 13.澤田・掛谷 14.澤田・掛谷・清水 15.澤田・掛谷・清水 16.澤田					
教科書 1	系統看護学講座 専門3 基礎看護技術II 基礎看護学[3] 著者:任和子他 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-0276-1						
教科書 2							
参考書 1	ナーシンググラフィカ 基礎看護技術 著者:志自岐康子他 編 出版社:メディカ出版 ISBN:9787-4-8404-5795-8						
参考書 2							

授業科目名	生活援助論Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	掛谷 益子、澤田 和子					NO.	HS-NU-1-204
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	人の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が含まれる。看護技術を支える態度や行為の構成要素である、知識と判断、実施と評価、利用者への説明、完全安楽の確保、プライバシーの保護、指示の確認、報告・記録、個別性の対応、家族相談などをふまえて個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。そして、対象者に適切な援助を提供できる基礎看護技術(食事の援助・排泄の援助・感染予防・創傷の管理)を習得できる。						
概要	看護技術の基本原則は、安全・安楽・自立・個別性の4つである。これはつまり、看護者が対象に提供する看護技術はすべて、対象の安全をまもり、最大限の安楽を提供し、自立を促すという方向性にそったものであり、かつ対象の個性をふまえたものとなっている必要がある。これらの基本原則をふまえたうえで、生活援助論Ⅱでは、日常生活援助のうち食事と排泄に関する援助、感染予防や創傷管理に関する技術などについて、幅広く学ぶ。その技術は科学的根拠に基づいて看護行為を具体的に表現する技術すなわちscienceに加え、対象への気遣いや慈しみの気持ちや配慮を目に見える形で表現する専門的技術すなわちartを志向する。この科目は、看護師としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、臨床において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	筆記試験(70%)、課題レポート・ミニテスト(20%)、技術演習への取組(10%)で評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	学内演習時は実習衣を着用すること。 演習時間は限られているので、援助技術の目的や方法を予習し、演習に積極的に参加すること。また、演習で行った援助技術を振り返り、患者の安全・安楽を考えた援助であったかについて考察することで、援助技術の習得につながる。						
自己学習	演習前は演習する看護技術の目的・方法・留意点を予習し、具体的にどのように実施するかをイメージしておく。復習として、演習後は実施した看護技術が患者の安全・安楽に注意して実施できたのか、できなかった場合は何が不足していたのか振り返る。						
オフィスワ-	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 安全・安楽・事故防止 2. 感染防止技術1(無菌操作) 3. 感染防止技術2(ガウンテクニック) 4. 食事援助技術1(基礎知識) 5. 食事援助技術2(食事介助) 6. 食事援助技術3(経管栄養) 7. 排泄援助技術1(基礎知識) 8. 排泄援助技術2(排尿障害) 9. 排泄援助技術3(排便障害) 10. 創傷管理技術 11. 創傷管理技術(包帯法) 12. 施設見学:病院見学 13. 終末期患者の理解 14. 死の看取りの技術 15. まとめ 16. 試験	講義 演習 演習 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 病院見学 病院見学 講義 講義 講義 試験	掛谷 掛谷 掛谷 掛谷 掛谷 掛谷 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷 掛谷・澤田 掛谷 掛谷 掛谷 掛谷・澤田		
教科書 1	系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 著者:任和子他 著 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02760-1						
教科書 2							
参考書 1	ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 著者:志自岐康子他 編 出版社:メディカ出版 ISBN:978-4-8404-5795-8						
参考書 2							

授業科目名	生活援助論Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	澤田 和子、掛谷 益子、清水 菜月					NO.	HS-NU-1-205
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	<p>〈テーマ〉 患者をとりまく外部環境をいつも安全で快適な状態に整えておくことは、すべての看護実践の基本である。人は本来自分の力で自分なりの環境・姿勢と体位・移動などを適切に調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。</p> <p>〈到達目標〉 1. 環境を多角的にとらえ、患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 (自立度に応じた病室・病床の整備・ベッドメイキング) 2. ボディメカニクスの基本原則を理解し、対象者・看護者双方が安楽・安全な体位で、効果的・効率的にケアを実践する基本的方法を習得する。 (安楽な体位を保持する技術・体位と身体に及ぼす影響の理解) 3. 対象に応じた方法の選択と実施ができる。 (体位変換および立位と歩行の援助・車椅子やストレッチャーによる移送・移動)</p>						
概要	<p>健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を旨とした目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する環境整備・体位・体位の保持・移動・移送についての具体的な援助技術を学ぶ。</p> <p>この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	筆記試験(60%)実技試験(20%)課題レポート(10%)受講態度(10%)で評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。課題レポート、所感は期限厳守で提出する。						
自己学習	1)演習前は演習内容についての予習を行う。 2)演習後は復習として、演習した結果について、予習したレポートに追加で記入し提出する。レポートについて不明な点があれば質問すること。						
オフィスワ-	研究室にて平日昼休憩時間(12:40~13:30)に実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 療養生活の環境	1.講義	1.澤田					
2. 病室の環境のアセスメント	2.演習	2.澤田・掛谷					
3. 援助の実際:ベッド周囲の環境整備、病床を整える	3.演習	3.澤田・掛谷					
4. ベッドメイキング	4.演習	4.澤田・掛谷					
5. ベッドメイキング(総合演習)	5.演習	5.澤田・掛谷					
6. ベッドメイキング実技試験	6.演習	6.澤田・掛谷					
7. 基本的活動の基礎知識	7.講義	7.澤田					
8. よい姿勢・体位・ボディメカニクス	8.演習	8.澤田・掛谷					
9. 体位と体位変換	9.演習	9.澤田・掛谷					
10. 移動①ベッド上における移動	10.演習	10.澤田・掛谷					
11. 移動②車椅子・ストレッチャ-	11.演習	11.澤田・掛谷					
12. 移動③担架・松葉杖他	12.演習	12.澤田・掛谷					
13. 移動④総合演習	13.演習	13.澤田・掛谷					
14. 苦痛の緩和・安楽確保の技術	14.講義	14.澤田					
15. 電法	15.演習	15.澤田・掛谷					
16. 単位認定試験	16.試験	16.澤田					
教科書 1	基礎看護技術Ⅱ 著者:藤崎 郁 川村治子 出版社:医学書院						
教科書 2							

参考書 1	ナーシンググラフィカ・基礎看護技術 出版社:メディカ出版
参考書 2	

授業科目名	生活援助論VI				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	掛谷 益子、澤田 和子					NO.	HS-NU-2-208	
配当学科	看護				年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ:人間の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。そこで、専門職としての看護行為を実践する為に必要な基礎的理論と、その具体的な援助方法について理解でき、基礎看護学実習における実践へつなげる。</p> <p>到達目標:事例を通して看護過程を展開することができる。事例のアセスメント、看護上の問題、看護計画を記述することができる。</p>							
概要	<p>看護技術は「対人関係の技術」「看護過程を展開する技術」「生活援助技術」「診療に伴う看護技術」の4つの種類にわけられる。この教科では、主に看護過程を展開する技術に焦点をあてて、情報収集・分析、看護診断・計画、評価について学び、基礎看護実習において、看護を実践する能力の習得を目指す。看護の日常的で実践的な実践の形態は、問題解決型思考にもとづく看護過程という、とらえ方によって理解することが有用である。そして、そしてその基本的な原理は、病院や各種施設で実施される看護から、在宅看護や地域看護まで、全ての看護実践の場で活用可能である。</p> <p>この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床において実践的に役立つよう授業を実施し、看護過程について理解を深める。</p>							
評価方法	ペーパーテスト(70%)、課題レポート(20%)、授業態度(10%)で評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	<p>学内演習時は実習衣を着用する。</p> <p>看護過程演習は今まで学習した全ての知識技術が必要である。事例に関することについて、今まで学習した科目や内容を復習し、積極的に調べるなど自主的に学習することで成果をあげる。</p> <p>基礎看護実習にむけ、各プロセスを確実に学習すること。</p>							
自己学習	事例に関する予習として、今まで学習した科目や内容を復習し、積極的に調べて自分で看護過程を学習する。そして、自分で考えたことを記述し、指導を受ける。指導後は、看護過程について復習し理解を深めていくこと。							
オフィスワ-	研究室にて平日昼休憩(12:40~13:30)に実施する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程とは 2. 看護理論と看護過程 3. アセスメントの視点 4. コードンの機能的健康パターン 5. 看護診断 6. 事例:疾患理解 7. 事例:情報収集 8. 事例:情報の分析 9. 事例:情報の統合 10. 事例:関連図 11. 事例:看護診断・看護目標 12. 事例:計画立案 13. 実施評価 14. 看護過程のまとめ 15. 基礎看護学実習概要 16. 試験 			講義 講義 講義 講義 講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL 講義 講義 試験	掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷・澤田 掛谷	
教科書 1	系統看護学講座 基礎看護技術 I 基礎看護学② 著者:茂野香おる他 著 出版社:医学書院 ISBN:978-4-2600-01999-6							
教科書 2	系統看護学講座 基礎看護技術II 基礎看護学③ 著者:任和子他 著 出版社:医学書院 ISBN:9787-4-260-02760-1							
参考書 1	看護技術プラクティス 著者:竹尾恵子 監修 出版社:Gakken							
参考書 2								

授業科目名	基礎看護学実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	掛谷 益子、澤田 和子、岡本 さゆり、中嶋 貴子、市村 美香、清水 菜月、飯田 尚 美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-2-210
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	135	授業形態	実習
テーマと到達目標	看護学概論、看護方法論、生活援助論などで学んだ知識・技術を実際に活用して、看護の対象である患者の全体像を捕らえ、その人に応じた基本的な生活援助が出来ることを目的とする。						
概要	基礎看護学実習Ⅰは、1週間、環境、コミュニケーション、日常生活援助について学ぶことによって、地域の病院の役割および看護職の役割について考える。 基礎看護学実習Ⅱは、2週間、患者を受け持ち、看護過程を展開していく。						
評価方法	実習記録、記録の提出状況、実習態度などを総合的に評価を行う。看護の実施においては責任感・積極性も重視する。詳細は基礎看護学実習手引きに記述する。 基礎看護学実習Ⅰと基礎看護学実習Ⅱの結果を合わせて、Ⅰ：30%、Ⅱ：70%で評価する。						
履修条件・注意事項	基礎看護学実習のガイダンスは、実習前に実施するので、必ず出席する。 事前学習(外部講師)等については、生活援助論Ⅵの授業で説明する。 1・2年次履修した基礎看護学10単位の習得が必須である。 自分自身が健康でなければ患者の看護は実施できない。健康管理にも十分注意する。また、健康診断、抗体検査を受け、必要な予防接種も実施する。証明書・領収書等により、それらのことが確認されなければ実習はできない。						
自己学習	実習病棟で治療している疾患について病態生理と看護を実習前に学習する。 実習中は援助しようとする看護技術について事前に学習し、患者に安全・安楽に実施できるようにする。実施後は、患者の反応や自己の技術について振り返ることが必要である。						
オフィスアワー	実習中に気になる事があれば、巡回時や昼休憩時、日々の実習終了後など、実習控え室やカンファレンスルームにおいていつでも面談する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			基礎看護学実習Ⅰ 8月第3週または9月第2週の1週間実施する。 病院探索、環境計測、看護活動の見学・介助、患者とのコミュニケーションを行う。 基礎看護学実習Ⅱ 3月の第1週から2週間実施する。 患者1名を受け持ち、その患者を理解し、看護過程を展開する。 実習記録等については、実習ガイダンスで説明する。 実習日時の詳細、事前学習(外部講師)等については決定次第指示する。	実習	掛谷 柘野 竹崎 中嶋 福岡 安福 市村 澤田 門倉 岡本 清水 飯田 非常勤講師		
教科書 1	参考図書等は秋学期以降に指示する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	成人看護学概論				履修期	2021年度 春学期			
担当者	柘野 浩子、飯田 尚美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-2-301		
配当学科	看護				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマ: 成人期にある人々の特徴を理解し、健康上の問題を明らかにして、看護実践ができる基礎的能力を養う。</p> <p>到達目標: 1. 成人期にある人々とその健康問題の特徴を理解できる。 2. 自分自身や家族の健康問題について関心を深める。 3. 成人期にある人々の看護に必要な基本的アプローチが理解できる。 4. 健康問題をもつ成人期にある人々を理解するための理論がわかる。 5. 健康問題に対する看護職者の役割が理解できる。</p>								
概要	成人期にある人々は、身体的特性、生活特性、個人に課せられた役割・期待などが統合された社会的存在である。そのため、身体的な健康上の問題だけでなく、家庭や社会における精神的ストレスなど複雑な問題を抱えている。ライフサイクルにおける成人期の特徴を社会や生活の関係から理解し、健康問題と主体的に健康生活を送るために必要な支援のあり方を考える。また、成人期の対象に有用な理論を理解し、成人看護の基本的アプローチと看護の役割について学ぶ。この科目は、臨床現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。								
評価方法	筆記テスト(70%)、課題(30%)で評価する。								
履修条件・注意事項	専門的用語や諸理論の理解を深めるために、テキストや配布プリントをよく読み、自己学修に取り組むよう期待する。								
自己学習	理解を深めるために、次回授業予定に関してテキストを読んでおくことを薦める(予習)。								
オフィスワ-	火曜日昼休み:6号館4階 柘野研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1)ライフサイクルからみた成人期の特徴 2)成人期にある人々の健康問題の特徴 3)ヘルスプロモーションと看護 4)健康をおびやかす要因と看護 5)健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 6)健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護 7)健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護、障害がある人とリハビリテーション 8)人生の最期のときを支える看護、退院支援 9)筆記試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	柘野 柘野 柘野 柘野 柘野 柘野 柘野 柘野 柘野、門倉、飯田					
教科書 1	系看 専門Ⅱ 成人看護学総論～成人看護学① 著者:小松浩子 他 出版社:医学書院								
教科書 2									
参考書 1	ナーシング・グラフィカ 22 成人看護学概論 著者:安酸 史子編著 出版社:メディカ出版								
参考書 2	人間の発達課題と教育 著者:R・J・ハヴィガースト著 荘司雅子監訳 出版社:玉川大学出版部								

授業科目名	成人看護学 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	柘野 浩子、飯田 尚美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-2-302
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:健康障害のある成人期の患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、患者に必要な看護援助を行うための基礎的な知識と技術を学修する。</p> <p>到達目標: 1)呼吸機能障害のある患者の特徴と病態を理解し、必要な看護援助について理解できる。 2)循環機能障害のある患者の特徴と病態を理解し、必要な看護援助について理解できる。</p>						
概要	<p>呼吸・循環機能は生命維持において重要な臓器であること、また生活習慣により機能が障害されることが多い。疾患を理解したうえで、呼吸・循環機能に障害がある成人期の患者を理解し、その基本的な看護について学び、考える。</p> <p>この科目は、臨床現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	筆記試験(100%)で評価する。						
履修条件・注意事項	<p>学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。</p> <p>プリントを配布する場合がありますので、ファイルを用意すること。</p> <p>詳細は第一回目の授業で全体計画の説明をする。</p>						
自己学習	<p>予習:各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、大切な部分にはマーカーを引き、理解できない点をまとめて授業を受ける。</p> <p>復習:毎回の授業終了後に教科書を読み、授業内容を確認しノートをまとめておく。</p>						
オフィスワ-	木曜日昼休み 6号館4階 研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1) ガイダンス、呼吸機能障害のある患者の看護①(一般論) 2) 呼吸機能障害のある患者の看護②(対症看護) 3) 呼吸機能障害のある患者の看護③(対症看護) 4) 循環機能障害のある患者の看護①(一般論) 5) 循環機能障害のある患者の看護②(一般論) 6) 循環機能障害のある患者の看護③(対症看護) 7) 循環機能障害のある患者の看護④(対症看護) 8) まとめ、終講試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義、試験	柘野 柘野 柘野 柘野 柘野 柘野 柘野 柘野、門倉、飯田					
教科書 1	系統別看護学講座 呼吸器、循環器 出版社:医学書院						
教科書 2	①疾患別看護過程の展開 第4版 ②看護過程に沿った対症看護 第5版 著者:①山口瑞穂子、関口恵子 監修 ②高木永子 監修 出版社:①学研 ②学研 ISBN:学研						
参考書 1	出版社:医学書院						
参考書 2	フィジカルアセスメントがみえる 出版社:医療情報科学研究所						

授業科目名	成人看護学Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	薬師寺 公一、田中 富子					NO.	HS-NU-2-303		
配当学科	看護				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマ:成人期の各時期に起こる主な疾患と治療方法について 目標:成人各期に起こりうる疾患の診断と外科的治療について学び、理解できる。</p>								
概要	<p>成人各期に起こりうる消化器・循環器・呼吸器・女性生殖器疾患における外科的療法・麻酔法・救命救急について講義する。 現在医療現場で医療を担当している医師がその実務経験を活かし実践的・具体例を含んだ授業を行う。</p>								
評価方法	授業態度ならびに定期試験の結果で評価する								
履修条件・注意事項	予習・復習をすること 定期試験 出席並びに授業態度を重視								
自己学習	事前にテキストを読んでくること。								
オフアワー	授業終了後								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					1) 外科学総論 外科学の歴史、専門分化(麻酔学を含む)、インフォームド・コンセントなど 2) 外科学総論 拡大手術と、縮小手術、集学的治療、術後合併症など 3) 外科学各論、食道・胃の疾患 4) 小腸・大腸の疾患 5) イレウス、ヘルニアなど 6) 肝臓、胆道系の疾患 7) 門脈圧亢進症の外科治療 8) 膵臓の疾患、腹膜炎 9) 鏡視下手術 10) 麻酔法 全身麻酔 11) 麻酔法 局所麻酔 12) 乳癌の診断と外科治療 13) 乳癌の併用療法など 14) 小手術について、縫合法、消毒・滅菌など 15) // 16) 試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺 薬師寺
教科書 1	ナースの為の一般外科								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	成人看護学Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	門倉 康恵、飯田 尚美、柘野 浩子					NO.	HS-NU-3-304
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	健康レベルと治癒過程と回復のプロセスを理解することができる。 周手術期・回復期・リハビリ期にある成人の看護、また、がん看護と終末期における成人の特徴、病態生理、機能障害、治療、心理状況および社会的変化を理解し、看護につなげることができる。						
概要	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱに連動する科目であり、周手術期・慢性期にある成人の看護に焦点を当てる。 成人に必要な基本的援助技術、看護展開について講義を通して学ぶ。 健康レベルと治癒過程と回復までにおける看護の継続性について学び、看護師の役割を考える。 この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、周術期看護及びがん看護の経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	筆記試験(100%)で評価する。 評価の詳細については、第一回目の授業時に説明する。 なお、講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。 詳細は第一回目の授業で全体計画の説明をする。						
自己学習	各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、大切な部分にはマーカーを引き、理解できない部分をまとめて授業を受ける。 授業ごとに教科書を読み、ノートをまとめておく。						
オフィスアワー	水曜日2時限目：6号館4階 研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1 授業ガイダンス 周手術期看護①(術前の看護)		1. 講義	1.門倉				
2 周術期看護②(術中の看護)		2. 講義	2.門倉				
3 周術期看護③(術後の看護)		3. 講義	3.門倉				
4 周術期看護④(術後合併症)		4. 講義	4.門倉				
5 退院支援、回復期・リハビリ期看護		5. 講義	5.飯田				
6 がん看護概論		6. 講義	6.門倉				
7 周術期看護各論①胃がん		7. 講義	7.門倉				
8 周術期看護各論②大腸がん		8. 講義	8.門倉				
9 周術期看護各論③胆肝臓		9. 講義	9.門倉				
10 周術期看護各論④腎がん		10. 講義	10.門倉				
11 周術期看護各論⑤肺がん		11. 講義	11.門倉				
12 周術期看護各論⑥乳がん		12. 講義	12.門倉				
13 周術期看護各論⑦子宮がん		13. 講義	13.門倉				
14 緩和ケア		14. 講義	14. 門倉				
15 周術期演習		15. 演習	15.門倉・飯田・柘野				
16 筆記試験・周術期看護まとめ		16. 試験	16. 門倉・柘野・飯田				
教科書 1	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 臨床外科看護各論 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学概論 系統看護学講座 消化器⑤ 腎泌尿器⑧ 呼吸器② 女性生殖器⑨ 出版社:医学書院						
教科書 2	緩和ケア 成人看護学⑥ 著者: 出版社:ナーシンググラフィカ						
参考書 1	疾患別 看護過程の展開 第5版 著者:看護過程に沿った対症看護 出版社:学研 ISBN:学研						
参考書 2	術前・術後の看護ケア～周術期看護の基礎知識から退院支援まで～ 出版社:ナツメ社						

授業科目名	成人看護学Ⅳ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	門倉 康恵、飯田 尚美、柘野 浩子					NO.	HS-NU-2-305
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:健康障害のある成人期の患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、患者に必要な看護援助を行うための基礎的な知識と技術を学修する。</p> <p>到達目標:</p> <p>1)消化・吸収機能障害のある患者の特徴と病態を理解し、必要な看護援助について理解できる。</p> <p>2)運動器機能障害のある患者の特徴と病態を理解し、必要な看護援助について理解できる。</p>						
概要	<p>健康障害のある成人期の患者の看護を取り上げる。</p> <p>1)疾患の病態生理の理解ならびに看護援助について理解を深める。</p> <p>2)疾患各期の症状の理解と対症看護について理解を深める。</p> <p>3)生活改善を含むさまざまなセルフケアについてその援助方法も含め理解を深める。</p> <p>この科目は、臨床現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>終講試験 (100%)</p> <p>評価の詳細については第1回目の授業時に説明する。</p> <p>評価のために提示した課題は、授業でフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。						
自己学習	<p>予習:各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受ける。</p> <p>復習:毎回の授業終了後に、授業内容を確認する。</p>						
オフィスアワー	水曜日2限 6号館4階 研究室(6407)門倉						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.ガイダンス、消化器機能障害のある患者の看護①消化器症状(一般論/対象看護)	1.講義	1.門倉					
2.消化器機能障害のある患者の看護②食道・胃(一般論/対象看護)	2.講義	2.門倉					
3.消化器機能障害のある患者の看護③腸(一般論/対象看護)	3.講義	3.門倉					
4.消化器機能障害のある患者の看護④肝胆膵(一般論/対象看護)	4.講義	4.門倉					
5.消化器機能障害のある患者の看護⑤肝胆膵(一般論/対象看護)	5.講義	5.門倉					
6.運動器機能障害のある患者の看護(一般論)	6.講義	6.飯田					
7.運動器機能障害のある患者の看護(対症看護)	7.講義	7.飯田					
8.筆記試験・消化器疾患のまとめ	8.講義	8.門倉・飯田・柘野					
教科書 1	<p>系統別看護学講座 消化器⑤ 運動器⑩ 臨床外科看護各論</p> <p>出版社:医学書院</p>						
教科書 2	<p>疾患別 看護過程の展開 第5版</p> <p>看護過程に添った対症看護 病態生理と看護のポイント 第5版</p> <p>出版社:学研</p>						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	成人看護学V			履修期	2021年度 春学期		
担当者	柘野 浩子、飯田 尚美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-3-306
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義、演習
テーマと到達目標	健康障害のある成人期の患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、患者に必要な看護援助を行うための基礎的な知識と技術を学修する。 急性期・慢性期の事例について看護展開を通して、成人期の看護の理解を深め、実践的な能力を身につける。						
概要	1) 健康障害をきたす各機能の解剖生理および病態の理解を深めるとともに看護援助について理解する。具体的には血液、脳神経・筋、感覚器、運動、糖尿病、腎、内分泌の各機能障害の看護について学ぶ。 2) 各論実習を視野に入れ、看護過程の展開をG.Wを行い発表する。 この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	終講試験 80% 課題学習(事前課題含む) 20% を合わせて評価する						
履修条件・注意事項	各授業では小テストを行う場合もあり。必ず予習・復習を行い授業に参加すること。学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。詳細は第一回目の授業で全体計画の説明をする。						
自己学習	各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、大切な部分にはマーカーを引き、理解できない部分をまとめて授業を受ける。授業ごとに教科書を読み、ノートをまとめておく。事例による看護過程の演習では、課題について理解できるように自己でまとめて演習に自主的に取り組むこと。						
オフィスワ-	水曜2限 6号館4階・14号館6階の各教員研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法 担当者
1 ガイダンス、糖尿病患者の看護 (一般論・対症看護)		1. 講義	担当者				
2 腎機能障害のある患者の看護 (一般論・対症看護)		2. 講義					
3 透析治療の必要な患者の看護 (一般論・対症看護)		3. 講義					
4 脳血管障害、神経・筋疾患のある患者の看護①(一般論)		4. 講義					
5 脳血管障害、神経・筋疾患のある患者の看護②(対症看護)		5. 講義		1. 門倉			
6 脳血管障害、神経・筋疾患のある患者の看護③(対症看護)		6. 講義		2. 門倉			
7 感覚器機能障害のある患者の看護(一般論・対症看護)		7. 講義		3. 門倉			
8 内分泌・副腎機能障害のある患者の看護(一般論・対症看護)		8. 講義		4. 飯田			
9 血液・造血機能障害のある患者の看護① (一般論)		9. 講義		5. 飯田			
10 血液・造血機能障害のある患者の看護② (対症看護)		10. 講義		6. 飯田			
11 血液・造血機能障害のある患者の看護③ (対症看護)		11. 講義		7. 飯田			
12 演習①事例展開(G.W・発表)		12.AL		8. 柘野			
13 演習②事例展開(G.W・発表)		13.AL		9. 柘野			
14 演習③事例展開(G.W・発表)		14.AL		10. 柘野			
15 演習④事例展開(G.W・発表)		15.AL		11. 柘野			
16 まとめ 試験		16.まとめ・試験		12. 柘野・門倉・飯田			
			13. 柘野・門倉				
			14. 柘野・門倉・飯田				
			15. 柘野・門倉・飯田				
			16.柘野・門倉・飯田				

教科書 1	系統看護学講座 成人看護学(2)(3)(5)(6)(7)(8)(9)(10) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 出版社:医学書院
教科書 2	①疾患別看護過程の展開 第4版 ②看護過程に沿った対症看護 第5版 著者:①山口瑞穂子、関口恵子 監修 ②高木永子 監修 出版社:①学研 ②学研
参考書 1	病気がみえる(消化器、循環器、糖尿病・代謝・内分泌、呼吸器、脳・神経、腎・泌尿器、婦人科・乳腺外科) 出版社:メディックメディア
参考書 2	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(4)臨床看護総論 著者:香春 知永 他 出版社:医学書院

授業科目名	成人看護学実習 I				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	柘野 浩子、澤田 和子、飯田 尚美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-3-307
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	135	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>目的:成人期にある患者を総合的に理解し、健康レベルに応じた看護実践を通して看護過程を展開するための知識・技術・態度を修得する。</p> <p>目標:1. 成人期にある対象の特徴を理解し、健康レベルに応じた個別性のある看護過程の展開ができる。 2. 成人期にある対象を通して保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を理解できる。 3. 実習を通して自己を見つめ、専門職者としての倫理観・看護観を養う。</p>						
概要	<p>各実習病棟において、患者を受け持ち、指導者とともに看護を実施する。看護過程の展開においては、問題解決思考に基づき、情報の収集・アセスメント・関連図・看護目標と計画立案、実施と評価のプロセスを展開する。適宜、カンファレンスを開き、各々の学びを共有し看護内容を深める。</p> <p>この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし、実習現場において実践的に役立つ実習指導を行う。</p>						
評価方法	<p>実習の手引きの成人看護学実習 I 評価表に基づき評価を行う。 実習のための事前課題についても評価対象とする。</p> <p>事前課題は、フィードバックするので見直し・修正しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>臨床の場での実践を重視するので、出席は最低条件である。出席は、実習オリエンテーションから終了後のまとめまでを含む。患者のプライバシーの保護や人権尊重を重視するとともに、安全で安心のできる看護を展開すること。学生自身の健康管理も重要である。</p>						
自己学習	<p>成人看護学ⅢおよびⅤで提示される課題、成人看護学実習オリエンテーションで提示される各病棟における疾患について自己学習しておく。 実習中に実際に行う看護技術については、事前学習をしていなければ実施できない。</p>						
オフィスワ-	<p>適宜、必要時、面談を実施 各実習施設のカンファレンス室・控室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<p>1 実習内容は実習の手引き「成人看護学実習 I・II」に基づく。 2 臨地において患者を受け持ち看護の展開を行う。 3 成人看護学実習 I で実践した看護をグループ間で共有し、学びを深める。 4 成人看護学実習 I の病棟実習終了後、受け持ち患者の看護実践のまとめを行う。 5 成人看護学実習 I での事前課題レポートを作成する。</p> <p>*詳細については、看護学実習手引実習要綱「成人看護学実習 I・II」を用いて実習オリエンテーションを行う。</p>			実習	柘野 門倉 飯田 澤田 非常勤教員
教科書 1	看護過程の解体新書 著者:執筆 石川ふみよ 出版社:Gakken						
教科書 2	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 著者:総論:矢永勝彦・小路美喜子 各論:北島政樹・江川幸二 出版社:医学書院						
参考書 1	系統看護学講座 成人看護学(5)(8)(9)(10) 出版社:医学書院						
参考書 2	高齢者と成人の周手術期看護1・2 術中/術後の生体反応と急性期看護 第2版 著者:竹内登美子編著 出版社:医歯薬出版株式会社						

授業科目名	老年看護学概論				履修期	2021年度 春学期		
担当者	岡本 さゆり					NO.	HS-NU-2-401	
配当学科	看護			年次	2			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマ:高齢者を一人の生活者として捉え、多面的・総合的に理解を深める。</p> <p>到達目標: ①高齢者を多面的に捉えるために、身体的、精神的、社会的な老いのプロセスが理解できる。 ②高齢者とその家族の現状を理解し、現代的な課題を理解できる。 ③高齢者へのエイジズムと、倫理的な課題を理解できる。 ④人を生活者として捉え、多面的・総合的に理解を深める。</p>							
概要	<p>老年看護学の対象となる高齢者を、社会的存在の生活者として理解するために、身体的老化の過程のみならず、その人の人生や影響を受けた社会変動、環境など多面的な理解をもとに、対象の健康と生活を支える専門職としての基本的な考え方や姿勢を形成することができるよう、学習を深める。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、看護師の実務経験のある教員が、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。</p>							
評価方法	定期試験80%、毎回のレポート20%							
履修条件・注意事項	<p>履修条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する積極的な取り組みができる。 ・高齢者を敬う気持ちをもって取り組むことができる。 ・リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、お互いに学びを深め合う姿勢で挑むことができる。 							
自己学習	<p>予定されている項目について予習しましょう。 随時小テストを実施します。復習をしておきましょう。</p>							
オフィスアワー	毎週水曜日2限または随時							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.<理念>高齢者理解への視点 2.<対象論> 身体的老化の過程① 3.身体的老化の過程② 4.精神的老化の過程 5.社会的老化の過程 6.<家族論> 現代の高齢者と家族 7.課題のまとめ 8.定期試験			1～7講義 8筆記試験	1～8岡本				
教科書1	系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学 著者:北川公子他 出版社:医学書院							
教科書2	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態疾患論 著者:鳥羽研二他 出版社:医学書院							
参考書1								
参考書2								

授業科目名	老年看護学 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	岡本 さゆり					NO.	HS-NU-2-402		
配当学科	看護				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義・演習		
テーマと到達目標	<p>テーマ: 老年看護学の対象である高齢者の理解を深めるために、社会的な現状を理解する。</p> <p>到達目標: ①日本と世界の高齢化の現状を理解できる。 ②日本の高齢者の現状と課題が理解できる。 ③日本の高齢者施策が理解できる。 ④高齢者の健康課題が理解できる。</p>								
概要	我が国の高齢者のおかれている状況を社会の動向と関連させながら理解し、高齢者施策の中でも介護保険制度に関する概要が理解でき、今後の課題を考える主体的な学びとなるよう講義を進める。								
評価方法	定期試験80%、課題提出等20%								
履修条件・注意事項	<p>履修条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する積極的な取り組みができる。 ・高齢者を敬う気持ちをもって取り組むことができる。 ・リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、お互いに学びを深め合う姿勢で挑むことができる。 								
自己学習	予定されている項目について予習しましょう。随時小テストを実施します。復習をしておきましょう。								
オフィスワ-	毎週水曜日または随時								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.<社会論> 日本と世界の高齢化の現状 2. 2025年問題 3. 介護保険制度の概要 4.<健康論> 健康逸脱からの回復を促す看護① 5.健康逸脱からの回復を促す看護② 6.検査・診断・治療時のケア 7.エンドオブライフケア 課題のまとめ 8.定期試験			1~7講義 8筆記試験						
教科書 1	系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学 著者:北川公子他 出版社:医学書院								
教科書 2	系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 著者:鳥羽研二他 出版社:医学書院								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	老年看護学Ⅱ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	岡本 さゆり、澤田 和子、一ノ瀬 公美、飯田 尚美					NO.	HS-NU-3-403
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	<p>(テーマ) 加齢によって生じる様々な変化を理解し、高齢者の生活・療養の場に応じた看護援助の方法について学習する。また、老年看護学の理論・知識・技術を踏まえ、健康の段階に応じた老年看護技術を習得する。</p> <p>(到達目標) 1. 高齢者に起こりやすい症候や高齢者特有の症状のあらわれ方について理解でき、それらに対する看護援助について理解できる。 2. 高齢者の健康障害や特有な疾患とそれらに対する看護について理解できる。 3. 高齢者のQOLを高める看護活動について理解できる。 4. 高齢者の健康段階に応じた日常生活援助技術を身に着けることができる。 5. 障害を持つ高齢者が日常生活に対応できるよう、高齢者とその家族に応じた看護活動について理解でき、看護過程の展開ができる。</p>						
概要	<p>講義を通して、老年期に特徴的な疾患や身体症状を理解し、身体的・精神的・社会的側面を幅広くとらえ、生活形態にあった援助を実践するために必要な知識を学ぶ。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療・福祉の現場における実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	試験60% 課題への取り組み・提出物40%						
履修条件・注意事項	<p>履修条件 ・課題に対する積極的な取り組みができる。 ・高齢者を敬う気持ちをもって取り組むことができる。 ・リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、お互いに学びを深め合う姿勢で挑むことができる。</p> <p>注意事項 ・初回の授業で授業計画の説明及び実習に向けた課題を提示します。計画的に課題をすすめていきましょう。 ・課題は期日までに提出してください。授業で使用する場合もあります。 ・講義・演習は状況により変更になる場合があります。</p>						
自己学習	<p>予定されている項目について予習しましょう。 随時小テストを実施します。復習をしておきましょう。</p>						
オフィスアワー	毎週水曜日2限または随時						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1.高齢者を取り巻く状況 ガイダンス 2.高齢者の特徴(身体的・心的・社会的)1 3.高齢者の特徴(身体的・心的・社会的)2 4.老年症候群1 5.老年症候群2 6.高齢者のヘルスアセスメント 7.高齢者に多い泌尿器系疾患と排泄ケア1 8.高齢者に多い泌尿器系疾患と排泄ケア2 9.認知症の理解と認知症サポーター養成1 10.認知症の理解と認知症サポーター養成2 11.高齢者コミュニケーション1 12.高齢者コミュニケーション2 13.高齢者とヘルスプロモーション1 14.高齢者とヘルスプロモーション2 15.高齢者と災害 16.健康逸脱からの回復を促す看護(課題確認) 17.高齢者に多い摂食嚥下障害のケア1 18.高齢者に多い摂食嚥下障害のケア2 19.高齢者に多い骨関節疾患と転倒予防 20.介護保険施設における看護師の役割 21.高齢者リハビリテーション 22.事例を用いた看護過程の展開1 23.事例を用いた看護過程の展開2 24.事例を用いた看護過程の展開3 25.高齢者の生活機能を整える看護1(課題用いて) 26.高齢者の生活機能を整える看護2(演習) 27.医療機関における高齢者の看護(老年実習Ⅰ) 28.高齢者施設における高齢者の看護	1講義 2講義・演習 3講義・演習 4講義 5講義 6講義 7講義 8講義 9講義 10講義・演習 11講義 12講義 13講義 14講義 15講義 16講義 17講義 18講義・演習 19講義 20講義 21講義 22講義 23講義 24講義 25講義 26講義・演習 27講義 28講義 29講義 30講義 31筆記試験	1岡本 2岡本 3岡本 4岡本 5岡本 6岡本 7一ノ瀬 8一ノ瀬 9岡本 10岡本 11岡本 12岡本 13一ノ瀬 14一ノ瀬 15澤田 16岡本 17飯田 18飯田 19岡本 20学外講師 21岡本 22岡本 23岡本 24岡本 25岡本 26岡本 27岡本 28岡本 29岡本 30岡本 31岡本			

<p>(老年実習Ⅱ) 29.老年看護学のまとめ1(映画鑑賞) 30.老年看護学のまとめ2 31<試験></p>	
教科書 1	統計看護学講座専門Ⅱ老年看護学 著者:北川公子他 出版社:医学書院
教科書 2	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 「老年看護 病態・疾患論」 著者:鳥羽研二他 出版社:医学書院
参考書 1	根拠と事故防止からみた老年看護技術 著者:亀井智子 出版社:医学書院
参考書 2	

授業科目名	老年看護学実習 I			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	岡本 さゆり					NO.	HS-NU-3-404
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>目的 医療機関における老年看護実践において、加齢や疾病による健康課題を有する高齢者を受け持ち、高齢者特有の健康障害について理解を深め発達段階や健康状態に応じた看護が実践できる能力を養う。 また、看護実践を行う中で、チーム保健医療や家族との連携、社会福祉資源の活用について学び、チームの一員としての看護の役割について考える力を養う。</p> <p>目標 1. 高齢者を身体的・精神的・社会的側面から捉えることができる。 2. 対象となる高齢者の健康問題とそれによって由来する生活機能障害について理解でき、看護問題(看護の焦点)を明らかにする。 3. 高齢者のQOLが高められるよう支援できる。 4. 高齢者における継続看護の重要性を認識し、地域での生活に向けた看護や他職種との連携、家族への支援について理解できる。 5. 高齢者を援助するさまざまな場面の中で、学生自身の感情や態度を考察しながら、高齢者とのコミュニケーションをとることができる。 6. 看護実践をとらえて自己の高齢者観を養う。</p>						
概要	<p>入院中の受け持ち高齢患者のケアを通して、実習目標を達成するために、臨床指導者、看護スタッフ、教員の指導助言のもとに実習を進める。</p> <p>1) 学生1名の患者(利用者)を受け持ち、担当看護師・スタッフとともに看護・ケアを行う。 2) I 実習では、問題解決思考に基づいて看護問題を導き、ケア計画等は事前に指導者から助言を受け実施する。指導者との中間・最終カンファレンスで、助言・指導を受ける。 3) 受け持ち患者(利用者)だけでなく、同室者や短期入所者、デイサービス利用者など、他の患者(利用者)とも積極的に関わる。 4) 看護師・スタッフの援助場面にも積極的に参加・見学を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習であり、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療・福祉の現場における実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	教員評価・実習記録・実習態度・事前学習(70%)、出席状況(20%)、合同カンファレンスの内容(10%)をもとに総合的に評価します。						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習は、全出席を原則とする。 ・受け持ち高齢者への尊厳と敬意を常に意識する。 ・高齢者とコミュニケーションを通して、自己の対人援助職としての姿勢を振り返る。 ・看護・介護スタッフと連携を取り、安全・安楽なケアを提供できるよう努める。 <p>注意事項 状況により実習場所が変更となる可能性があります。</p>						
自己学習	実習初日までに、事前学習について読み返し、基本的知識を身に付けておく。 実習中は、健康状態の維持に努める。 日々、実習での学びについて振り返りかえりと記録、翌日の実習計画を綿密に立て、実習に望む。						
オフィスワ-	実習中は、必要時にいつでも連絡・報告できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			医療機関または学内にて、実習計画に沿って実習を行う 1週目:オリエンテーション、問題・計画立案カンファレンス、中間カンファレンス、看護活動の実践 2週目:看護活動の実践、最終カンファレンス			臨地実習	岡本 非常勤講師
教科書 1	老年看護学概論・I・II で使用したテキスト						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	老年看護学実習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	岡本 さゆり					NO.	HS-NU-3-405
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>目的 介護老人保健施設または介護老人福祉施設で生活する高齢者とのかかわりを通して、老年期の身体的・心理的・社会的特徴や、コミュニケーションの方法について学び、高齢者のQOLの維持・向上を目指した老年看護を实践するために必要な能力を養う。 さらに、高齢者の生きてきた時代背景などを知ることで、個を尊重した関わり大切さを理解し、高齢者・家族を取り巻く保健・医療・福祉の社会資源及び多職種との連携の実際を知り、施設での看護職の役割を学ぶ。</p> <p>目標 1. 加齢に伴って起こる変化が日常生活にどのような影響を及ぼしているか理解できる。 2. 高齢者の生活の場と日常生活に必要な援助を理解できる。 3. 多職種との連携・協働のあり方や保健・医療・福祉の連携の現状を理解し、看護の役割を考えることができる。 4. 高齢者を援助するさまざまな場面の中で、学生自身の感情や態度を考察しながら、高齢者とのコミュニケーションのとり方を学び、自己の課題を明確にできる。 5. 看護実践をとおして自己の高齢者観を養うことができる。</p>						
概要	<p>施設入所中の受け持ち高齢利用者のケアを通して、実習目標を達成するために、臨床指導者、ケアスタッフ、教員の指導助言のもとに実習を進める。</p> <p>1) 学生1名の患者(利用者)を受け持ち、担当看護師・スタッフとともに看護・ケアを行う。 2) 受け持ち患者(利用者)だけでなく、同室者や短期入所者、デイサービス利用者など、他の患者(利用者)とも積極的に関わる。 3) 看護師・ケアスタッフの援助場面にも積極的に参加・見学を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習であり、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療・福祉の現場における実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	教員評価・実習記録・実習態度・事前学習(70%)、出席状況(20%)、合同カンファレンスの内容(10%)をもとに総合的に評価します。						
履修条件・注意事項	<p>実習は、全出席を原則とする。 ・受け持ち高齢者への尊厳と敬意を常に意識する。 ・高齢者とコミュニケーションを通して、自己の対人援助職としての姿勢を振り返る。 ・看護・介護スタッフと連携を取り、安全・安楽なケアを提供できるよう努める。</p> <p>注意事項 状況により実習場所が変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>実習初日までに、事前学習について読み返し、基本的知識を身に付けておく。 実習中は、健康状態の維持に努める。 日々、実習での学びについて振り返りかえりと記録、翌日の実習計画を綿密に立て、実習に望む。</p>						
オフィスワ-	実習中は、必要時にいつでも連絡・報告できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<p>高齢者施設にて、実習計画に沿って実習を行う 1週目:オリエンテーション、問題・計画立案カンファレンス、中間カンファレンス、看護活動の実践 2週目:看護活動の実践、終了カンファレンス</p>	実習	岡本 非常勤講師		
教科書 1	老年看護学概論・Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	小児看護学概論				履修期	2021年度 春学期		
担当者	安福 真弓					NO.	HS-NU-2-501	
配当学科	看護			年次	2			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマ:健康な子どもの理解と小児看護の役割 到達目標:子どもは、絶えず成長・発達を続けていることを理解し、発達段階における子どもの特徴を知るとともに、子どもに対する見方、考え方を深め、小児看護学の意義を理解できる。</p>							
概要	<p>「子どもと家族の看護の概念」「子どもを取り巻く社会」「健康な子どもの成長・発達」といった側面から、小児看護の対象を理解し、看護の役割や機能を学ぶ。また、子どもと家族を取り巻く現状について、統計資料や関係法規、新聞記事などを通して捉え、現代の小児と家族を取り巻く諸問題についても考える。 この科目は、近年の実習体験や長きにわたる臨床経験を交えながら、子どもの養育に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	最終試験(60%)、課題レポートなど(40%)で評価を行う。							
履修条件・注意事項	授業態度や出席状況も重視する。また、講義内での課題提示したものについては、レポートの形式や提出期限を厳守のこと。							
自己学習	示された範囲の教科書は熟読し講義に臨み、講義後はノート整理を行なうこと。予習・復習には2時間以上を要する。							
オフィスアワー	月曜2限(11:10~12:40)に6号館個人研究室(6405)にて対応							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. ガイダンス 小児看護とは 2. 小児看護の変遷・倫理 3. 子どもと家族を取り巻く社会 (1) 子どもと家族の諸統計 4. 子どもと家族を取り巻く社会 (2) 子どもと家族を守る法律 5. 子どもの成長発達(1)身体的発達 6. 子どもの成長発達(2)心理・社会的発達 7. 子どもの成長発達(3)養育(子どもと遊び含む) 8. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福					
教科書 1	系統看護学講座 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論 出版社:医学書院							
教科書 2								
参考書 1	系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 出版社:医学書院							
参考書 2								

授業科目名	小児看護学 I			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	寺崎 智行					NO.	HS-NU-2-502
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	小児期の各期(新生児、乳児、学童、思春期)においてみられる疾患について、原因、病態生理、症状、経過、治療および予防の観点を学び、疾患をもつ小児特徴と治療および療養生活の看護援助、療育の方法と家族支援の方法について理解する。						
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児各期における成長と発達段階、各時期に特有な疾患について学ぶ。 2. 循環器疾患では、先天性ならびに後天性心疾患、特に川崎病、心筋症、不整脈の病態について学ぶ。 3. 消化器疾患では、先天奇形、食道・胃・小腸・大腸・直腸疾患、肝臓疾患について学ぶ。 4. 血液・造血疾患では主に貧血、白血病について学ぶ。 5. 腎臓・泌尿器疾患では、急性子宮体腎炎とネフローゼ症候群について学ぶ。 6. 神経疾患では、炎症性疾患、免疫性疾患、血管性疾患などを学ぶ。 7. 発達障害と社会生活の支援や難病についても学ぶ。 これらの科目は、約半世紀にわたる地域の主総合病院での小児科診療に携わった経験に基づき、各疾患の含蓄のある知識の下に、実践的に役立つ授業を履行する。						
評価方法	ミニテスト30%、定期試験70%に加え、授業態度も加味して総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	小児科疾患の病態生理に関心を持つこと。また、医療に関するニュースに関心をもつこと。授業前には必ず予習し、授業終了後はノートを整理すること。						
自己学習	学習した内容をその日のうちにまとめること。特に疑問やわからなかった点をチェックして調べておくこと。概ね1時間以上自己学習をすること。						
オフィスアワー	火曜日3限目、研究室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の特徴と内容 2. 成長と発達(胎児) 3. 成長と発達(新生児期) 4. 乳幼児期の栄養 5. 診断と治療における特性 6. 新生学 7. 新生児期の病気 8. 感染症 9. 神経疾患 10. 神経疾患(痙攣性疾患など) 11. 神経筋難病 12. 腎・泌尿器疾患 13. 発達障害(発達遅滞、重症心身障害) 14. 発達障害(ADHD、多動など) 15. 小児疾患とリハビリ 16. 定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎
教科書 1	小児看護学総論、小児看護学 I・II 出版社:医学書院						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	小児看護学Ⅱ			履修期	2021年度 春学期			
担当者	寺崎 智行					NO.	HS-NU-3-503	
配当学科	看護			年次	3			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	小児期の各期(新生児、乳児、学童、思春期)においてみられる疾患について、原因、病態生理、症状、経過、治療および予防の観点を学び、疾患をもつ小児特徴と治療および療養生活の看護援助、療育の方法と家族支援の方法について理解する。							
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児各期における成長と発達段階、各時期に特有な疾患について学ぶ。 2. 循環器疾患では、先天性ならびに後天性心疾患、特に川崎病、心筋症、不整脈の病態について学ぶ。 3. 消化器疾患では、先天奇形、食道・胃・小腸・大腸・直腸疾患、肝臓疾患について学ぶ。 4. 血液・造血疾患では主に貧血、白血病について学ぶ。 5. 腎臓・泌尿器疾患では、急性子宮体腎炎とネフローゼ症候群について学ぶ。 6. 神経疾患では、炎症性疾患、免疫性疾患、血管性疾患などを学ぶ。 7. 発達障害と社会生活の支援や難病についても学ぶ。 							
評価方法	ミニテスト30%、定期試験70%に加え、授業態度も加味して総合的に評価する。							
履修条件・注意事項	小児科疾患の病態生理に関心を持つこと。また、医療に関するニュースに関心をもつこと。授業前には必ず予習し、授業終了後はノートを整理すること。							
自己学習	学習した内容をその日のうちにまとめること。特に疑問やわからなかった点をチェックして調べておくこと。概ね1時間以上自己学習をすること。							
オフィスワ-	火曜日3限目、研究室にて。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器疾患(先天性、後天性) 2. 消化器疾患(幽門狭窄症など) 3. 消化器疾患(肝炎、胆道閉そく症、肝臓移植) 4. 血液疾患(貧血) 5. 血液疾患(白血病など) 6. 悪性腫瘍(神経芽細胞腫など) 7. 悪性腫瘍(脳腫瘍) 8. 腎臓・泌尿器疾患 9. 神経疾患(感染症、血管性疾患、免疫性疾患) 10. 神経疾患(痙攣性疾患など) 11. 神経筋難病 12. 発達障害(脳性麻痺) 13. 発達障害(発達遅滞、重症心身障害) 14. 発達障害(ADHD、多動など) 15. 発達障害等への支援 16. 定期試験 		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎					
教科書 1	小児臨床看護総論、小児看護学1・2 出版社:医学書院							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	小児看護学Ⅲ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	安福 真弓					NO.	HS-NU-3-504	
配当学科	看護				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマ:健康障害をもつ子どもと家族の看護 到達目標:健康障害をもつ子どもの身体的、精神的、社会的特徴や家族への影響、生活・療養するための看護について理解できる。</p>							
概要	<p>社会の変化や医療・看護の発展に伴って、小児看護の役割も大きく変化している。それらを考慮しつつ、疾病や障害が子どもと家族に与える影響、経過別看護の特徴や小児の特性を踏まえた症状の捉え方、検査や処置を受ける子どもの看護援助技術、外来や病棟における看護の役割について学ぶ。この科目は、近年の実習体験や長きにわたる臨床経験を持つ教員が、臨床において実践的に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	<p>最終試験(60%)、レポートや演習、ノート整理(40%)で評価を行います。なお、評価のために実施した試験やレポートなどについては、個別でフィードバックを行う。</p>							
履修条件・注意事項	<p>授業態度や出席状況も重視する。講義内での課題提示したものについては、提出期限を厳守のこと。日頃より、乳幼児の好きなテレビ番組やキャラクターについて興味関心をもって情報を得ておく。</p>							
自己学習	<p>示された範囲の教科書は熟読し講義に臨み、講義後はノート整理を行なうこと。予習・復習には2時間以上を要する。</p>							
オフィスワ-	<p>月曜2限(11:10~12:40)に個人研究室(6405)にて対応</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1. 病気や入院が子どもに与える影響	講義	講義						
2. 急性期にある子どもと家族の看護 (1)発熱・嘔吐・下痢・脱水	講義	講義						
3. 急性期にある子どもと家族の看護 (2)呼吸困難・意識障害・けいれん	講義	講義						
4. 急性期にある子どもと家族の看護 (3)主な事故と外傷	講義	講義						
5. 周手術期の子どもと家族の看護	講義	講義						
6. 心疾患をもつ子どもと家族の看護	講義	講義						
7. 腎疾患をもつ子どもと家族の看護	講義	講義						
8. アレルギーをもつ子どもと家族の看護	講義	講義						
9. 糖尿病をもつ子どもと家族の看護	講義	講義						
10. 白血病をもつ子どもと家族の看護 (行動制限を受けるとは)	講義	講義						
11. 検査・処置を受ける子どもの看護 (1)概要・プレバレーションの意義	講義	講義						
12. 検査・処置を受ける子どもの看護 (2)演習	講義	講義						
13. 外来における子どもと家族の看護	講義	講義						
14. 災害における子どもと家族の看護	講義	講義						
15. 終末期の子どもと家族の看護	講義	講義						
16. 試験	AL	講義						
	講義	講義						
	講義	講義						
	講義	講義						
	講義	講義						
	試験	試験						
教科書 1	<p>系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 出版社:医学書院</p>							
教科書 2	<p>系統看護学講座 小児看護学[2] 小児看護各論 出版社:医学書院</p>							
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	小児看護学実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	安福 真弓					NO.	HS-NU-3-505
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>小児の発達各期の特徴や健康段階の特徴を理解し、健康障害の程度と発達段階に応じた個別的な看護ができることを目的とする。さらに小児を取り巻く保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割についても理解を深める。</p> <p>【小児病棟】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の身体的・精神的・社会的な発達段階について理解し、成長発達に応じた援助ができる。 2. 病気や入院が小児に及ぼす影響を理解し、適切な援助ができる。 3. 入院している小児の遊びの意義を理解し、適切な援助ができる。 4. 看護チームの一員としての責任を自覚し、小児の取り巻く環境と看護者のあり方が理解できる。 5. 保護者や家族のおかれた状況を理解し、適切な援助ができる。 <p>【小児外来】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外来を訪れる小児の健康障害や心理を理解し、適切な援助ができる。 2. 小児外来における看護の役割とその重要性が理解できる。 <p>【保育施設】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康な乳幼児の身体的・精神的・社会的な発達段階について理解できる。 2. 乳幼児期の成長・発達には個人差があることが理解できる。 3. 健康な乳幼児の基本的な生活習慣の自立状況を観察し、成長発達に応じた援助の必要性が理解できる。 4. 乳幼児の成長発達において保育園と家庭との連携の重要性が理解できる。 5. 乳幼児の保健・福祉行政など、小児をめぐる保育環境について理解できる。 						
概要	小児看護学実習(2週間)のうち、5日間は子どもの入院療養病棟や外来で、また、3日間は保育施設での観察、体験学習を組み合わせて行う。残り2日間は、学内での事前オリエンテーションや実習後のまとめとする(実習手引き参照)。なお、この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。						
評価方法	小児の発達各期の特徴理解、健康段階に応じた援助の必要性の理解と看護実践、実習記録内容、実習態度(カンファレンスへの参加状況も含む)等を含めて、総合的に評価を行う。具体的には、小児看護実習評価表に基づき評価を行う。						
履修条件・注意事項	臨床実習においては、原則として欠席を認めない。免疫力も未熟さを有する小児に関わるがゆえに、特に実習生自身の生活や体調面において、自己管理を十分に行いながら、実習に臨むことが必要となる。						
自己学習	臨床現場においては、小児看護学に限らず、解剖学、生理学、病理学、栄養学、薬理学、微生物学など専門基礎分野の知識も必要であり、これらを十分に活用し統合できるよう、日頃から既習事項は整理しておく必要がある。						
オフィスワ-	病棟や控室などで、適宜対応。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの入院療養病棟ならびに小児科外来(5日間) 病棟実習では、原則1学生1名の小児を中心に受持ち、ベッドサイドでの観察や病棟の記録などを通して看護に必要な情報をとらえ、看護計画を立案し、小児に応じた看護を実践する。入院患児の状況によっては、小児科外来で診察や検査・処置などの介助を通して、行われていることへの意味付けやホームケアについても学ぶ。 2. 保育施設(3日間) 園で行われるすべての保育活動に積極的に参加して、子どもの発達を促進させる援助を保育者と共に実践する。 3. 学内実習(2日間) 小児看護学実習直前オリエンテーション(8月)・まとめの会(2月) 	実習	安福		
教科書 1	小児関連の授業で使用したテキストや配布されたプリント						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	母性看護学概論				履修期	2021年度 春学期	
担当者	福岡 美和					NO.	HS-NU-2-601
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義およびグループワーク
テーマと到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 母性とは何かについて、個人・家族、集団からその特徴を理解する。 母性看護を取り巻く社会の変遷と現状を知り、母性看護の役割を理解する。 女性のライフサイクルを通し、各期に応じた看護活動のための基礎的知識を習得する。 						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイクルを通じて母性とは何かを理解し個人、家族、集団の視点からその特徴を学ぶ。 母性への看護援助を展開するために必要とされる基礎的知識を習得するために、母性看護に必要な概念について学ぶ。 母子保健に必要な統計とその政策について学習し、国内外での母性看護の役割について学ぶ。 女性のライフステージ各期の特徴、健康上の問題および看護について学ぶ。 担当教員は看護師、助産師として臨床経験があり、また、教育機関での経験もあるため、母性看護学に関連した研究に詳しい。 						
評価方法	講義終了後の筆記試験(70%)、演習参加度(20%)、レポート(10%)						
履修条件・注意事項	社会情勢に目を向け、社会に対する関心を持ち、母性について考え、視野を広げること。講義、演習(妊婦体験、グループワーク)には、積極的に参加すること。						
自己学習	授業後の復習や予習は必ず行うこと。課題レポートの提出もあり、日々の自己学習が必要である。						
オフィスアワー	水曜日 5時限目 14403号室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.母性とは、母性看護の概念の変遷 2.セクシャリティとは人間の性行動の特徴について 3.リプロダクティブヘルス・ライツとはリプロダクティブヘルス・ライツの考え方と課題 4.母 保健における重要用語の理解わが国における母子保健統計の変遷 5.母子保健に関する政策の変遷と現状と母子保健に関する今後の課題と法的整備 6. 思春期の抱える問題10代の妊娠と出産(日本の現状と諸外国の現状)思春期と性感染症思春期への看護援助の方策 7.各期に生じる身体的問題 8. 各期に生じる身体的問題と看護援助の方法 9.単位 認定試験		講義 グループワーク 筆記試験	福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡				
教科書 1	森 恵美他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 著者:国民衛生の動向 出版社:医学書院 ISBN:厚生統計協会						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	母性看護学 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	福岡 美和					NO.	HS-NU-3-602
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	<p>1. 妊娠・分娩・新生児・産褥期の正常・異常のアセスメントを理解する。 2. ライフサイクルに応じた女性および母子の健康をアセスメントし、必要な看護技術を学ぶことで、適切な看護援助過程を理解することができる。</p> <p>1) 妊婦の理解: 妊娠期にある妊婦の生理的様式、自己概念の様式、役割機能の様式の特徴を理解し、アセスメントができる。 2) 産婦の理解: 分娩期にある妊婦の生理的様式、自己概念の様式、役割機能の様式の特徴を理解し、アセスメントができる。 3) 褥婦の理解: 産褥期にある妊婦の生理的様式、自己概念の様式、役割機能の様式の特徴を理解し、アセスメントができる。 4) 新生児の理解: 新生児期にある妊婦の生理的様式、自己概念の様式、役割機能の様式の特徴を理解し、アセスメントができる。</p> <p>3. 妊娠・分娩・新生児・産褥期の正常・異常のアセスメントを理解する。</p>						
概要	周産期の正常経過とおこりやすい異常経過を学ぶ。 担当教員は看護師、助産師として臨床経験があり、また、教育機関での経験もあるため、母性看護学に精通している						
評価方法	授業中の小テスト(10%)、講義終了後の筆記試験(70%)レポート(10%)受講態度(10%)						
履修条件・注意事項	骨盤模型、ファントムなどの教材・教具を使用する。						
自己学習	看護するために必要な周産期の正常と異常について学ぶため、予習と復習は必ず必要である。						
オフィスアワー	火曜日 1限目 14403号室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 妊娠期の身体的特性 2. 妊娠期の心理・社会的特性 3. 産婦と胎児のアセスメント 4. 分娩の要素、分娩経過 産婦・胎児、家族のアセスメント 5. 新生児の生理、新生児のアセスメント 6. 産褥経過 褥婦のアセスメント 7. 看護過程グループワーク 8. 看護過程グループワーク 9. 異常妊婦の異看護(糖尿病合併・血液型不適合) 10. 異常産婦の看護(遷延分娩) 11. 異常新生児の看護(低出生体重児、黄疸) 12. 看護過程の総まとめ・記録の書き方 13. 沐浴・妊婦健康診査の演習 14. 異常新生児の看護(新生児の蘇生法) 15. まとめ(復習) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 講義 講義 講義 講義 演習 講義 講義 筆記試験	福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡					
教科書 1	森 恵美他: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 出版社: 医学書院						
教科書 2	井上裕美他監修: 病気がみえる⑩産科 出版社: メディックメディア						
参考書 1	1. 末岡 浩他: 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 出版社: 医学書院						
参考書 2							

授業科目名	母性看護学Ⅱ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	福岡 美和					NO.	HS-NU-3-603	
配当学科	看護				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦の身体的特性、心理的・社会的特性をふまえた援助を理解する。 2. 産婦の分娩の経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化をふまえた援助を理解する。 3. 新生児の生理的变化をふまえ、健康な発達への援助を理解する。 4. 褥婦の身体的特性、心理・社会的特性をふまえた援助を理解する。 5. 妊婦・産婦・新生児・褥婦のハイリスクや異常時の援助を理解する。 							
概要	周産期(妊娠・分娩・産褥)と新生児期における、正常経過と異常経過における看護を学ぶ。担当者は看護師、助産師としての臨床経験があり、また教育機関での経験があるため、母性看護学について精通している。							
評価方法	授業中の小テスト(10%)、課題レポート(10%)、講義終了後の筆記試験(70%)、受講態度(10%)							
履修条件・注意事項	骨盤模型、ファントム、乳房マッサージ用モデルなどのシミュレーターやモデル人形を使用し講義をする。看護実習室で技術演習を行い、参加態度も評価する。							
自己学習	必ず予習、復習を行い講義に参加すること。 技術演習では、実習で実践する看護技術であるため、予習復習を行い、積極的に演習に参加すること。事例演習についても、積極的に参加すること。							
オフィスアワー	月曜日 1時限目・2時限目 14403号室							

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. 妊娠期における看護①(妊娠期の身体的特性)	講義	福岡			
2. 妊娠期における看護②(妊娠期の心理社会的特性)	講義	福岡			
3. 妊娠期における看護③(妊婦と胎児のアセスメント)	講義	福岡			
4. 妊娠期における看護④(妊婦と家族の看護)	講義	福岡			
5. 分娩期における看護①(分娩の要素、経過、アセスメント)	講義	福岡			
6. 分娩期における看護②(産婦と家族の看護)	講義	福岡			
7. 新生児期における看護①(新生児の生理、アセスメント)	講義	福岡			
8. 新生児期における看護②(新生児の看護)	講義	福岡			
9. 産褥期における看護①(産褥経過)	講義	福岡			
10. 産褥期における看護②(褥婦のアセスメント)	講義	福岡			
11. 産褥期における看護③(褥婦と家族の看護)	講義	福岡			
12. 産褥期における看護④(施設退院後の看護)	講義	福岡			
13. ハイリスク妊婦の看護①(ハイリスク産期の感染症)	講義	福岡			
14. ハイリスク妊婦の看護②(切迫流早産、妊娠高血圧症候群)	講義	福岡			
15. 異常のある産婦の看護、異常分娩時の産婦の看護①(帝王切開を受ける産婦の看護)	講義	福岡			
16. 異常のある産婦の看護、異常分娩時の産婦の看護②(異常出血のある産婦の看護)	講義	福岡			
17. 異常のある新生児の看護①(新生児仮死、低出生体重児)	講義	福岡			
18. 異常のある新生児の看護②(高ビリルビン血症)	講義	福岡			
19. 異常のある褥婦の看護①(子宮復古不全、発熱)	講義	福岡			
20. 異常のある褥婦の看護②(産後うつ病、乳房トラブル)	講義	福岡			
21. 妊娠・分娩期における看護技術①(演習:妊婦の計測、レオポルド触診法)	講義	福岡			
22. 妊娠・分娩期における看護技術②(演習:産痛緩和のための身体的ケア、ラマーズ法、胎盤計測)	演習	福岡			
23. 新生児期における看護技術(演習:新生児の計測)	演習	福岡			
24. 新生児期における看護技術(演習:沐浴)	演習	福岡			
25. 母性看護学における看護過程(対象把握、アセスメント)	講義	福岡			

26. 母性看護学における看護過程 (計画の立案から評価)	講義	福岡		
27. 事例による看護過程の展開① (事例紹介)	講義	福岡		
28. 事例による看護過程の展開② (新生児:アセスメント)	演習	福岡		
29. 事例による看護過程の展開③ (褥婦:計画立案)	演習	福岡		
30. 事例による看護過程の展開④ (新生児:計画立案)	演習	福岡		
31. 単位認定試験	筆記試験	福岡		
教科書 1	1. 森 恵美他: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 2. 母性看護技術 3. ウェルネスからみた 母性看護過程 第3版: +病態関連図 著者: 井上裕美他 監修: 病気がみえる⑩産科 出版社: 1. 医学書院 2. 医学書院 3. 医学書院 ISBN: メディックメディア			
教科書 2	末岡 浩他: 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 出版社: 1. 医学書院			
参考書 1	末岡 浩他: 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器			
参考書 2				

授業科目名	母性看護学実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	福岡 美和					NO.	HS-NU-3-604
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>マタニティサイクルにある女性と児、その家族への適切な援助ができるための看護者としての基礎的能力およびj実際について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マタニティサイクルにある女性と児について妊娠・分娩・産褥期の身体心理社会的変化と経過を理解する。 2. マタニティサイクルにある女性と児、家族について健康上のアセスメントができる。 3. マタニティサイクルにある女性と児、家族の健康問題に応じた適切な看護援助が実践できる。 4. 正常経過をたどっている新生児について理解でき、その特徴に応じた看護援助が理解できる。 5. 女性のライフステージにおける各期の特徴と健康問題について理解する。 6. 女性のライフステージに応じて生じやすい健康問題に対して看護援助が提供できる。 7. 各施設設備の各機能・役割を理解する。 8. ライフステージ各期における女性と児、その家族への継続的な看護援助の重要性を知り、地域との連携のあり方が理解できる。 9. マタニティサイクルにある対象者への援助を展開している医療チームの一員として看護の役割を理解し、述べることができる。 10. 看護者としての姿勢を身につけ、看護観・倫理観を養うことができる。 						
概要	<p>実習は施設実習4日間(月曜日～木曜日)学内1日(金曜日) 祝日がある場合は学内実習は除く。 学生2人で1人の対象者を受け持つ。受け持ち対象者の褥婦、新生児の情報収集、アセスメント、看護計画を立案し実施する。担当スタッフまたは、教員の指示のもと、母性看護学実習に必要な看護技術を実施する。施設によっては外来実習を行う場合もある。 この科目は、母性看護学の実務経験のある教員と共に実施する。</p>						
評価方法	実習記録、実習態度、課題への取り組み等を総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	原則として欠席、遅刻、補修は認めない						
自己学習	<ol style="list-style-type: none"> 1.教科書、テキストを参考に事前学習を必ず行う。 2.実習前に必ず、演習を行い、受け持ち対象者に迷惑をかけないようにすること。 						
オフィスワ-	月曜日～金曜日 8時～17時 施設にて実践						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<p>実習の進め方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.実習は「看護学実習手引 母性看護学実習」に基づいて行う。 2.受け持ちは対象者の同意および看護師長の了解のもとに、教員とともに決定する。 3.褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集、アセスメント、看護計画立案を行う。 4.担当スタッフまたは、教員の指示のもと、母性看護学実習に必要な看護技術を実施する。 5.毎日、グループで学びを共有し学びを深める。また、実習終了後のまとめの会を通してさらに学びを深める。 	実習	福岡 非常勤講師		
教科書 1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 森 恵美他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論、母性看護学各論 2.母性看護技術 3.井上裕美他監修:病気がみえる⑩産科 出版社:1.医学書院 2.医学書院 3.メディックメディア 						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	精神看護学概論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	中嶋 貴子					NO.	HS-NU-2-701
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 本科目では、こころの健康についての理解を深め、こころの看護に必要な基本的知識を学習する。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。 2. 精神保健医療福祉の歴史を理解できる。 3. 精神保健医療福祉の法律と制度について理解できる。 4. 心を病むことについて幅広く理解し、精神看護を理解できる。 						
概要	<p>本科目は精神医学の概念およびその歴史的背景をふまえて、人間の精神(こころ)の健康に関するメカニズムを探究し、その複雑な構造と機能の理解を基盤に、精神障害の発症を予防し、また精神障害者の人権を尊重しながら社会復帰と自立の支援、再発予防を図るための援助活動についての基礎知識を学習する。</p> <p>なお、この科目は、精神科病院勤務経験を持つ教員、非常勤講師がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>筆記試験(60%)、提出物(30%)、授業態度(10%)を合わせて評価する。</p> <p>評価の詳細については、第1回目の授業時に説明する。</p> <p>提出物の基準は、①自分の考えを論理的に述べている ②文献を用いて根拠のある主張をしている ③提出期限を守っている ④誤字脱字がない。</p> <p>なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。</p> <p>学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。</p> <p>毎回、プリントを配付するので、第1回目授業からファイルを用意すること。</p>						
自己学習	<p>毎回の授業において問題提起と討論が可能なように教科書や資料を読んでくること(予習)。</p> <p>また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業ごとにノートをまとめておくこと(復習)。</p> <p>新聞・ニュースなどで取り上げられる心の健康問題について目を通しておくこと。</p> <p>なお、予習および復習には、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目にオフィスアワー(教授会のある日を除く)とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 心のしくみ:精神力動論(フロイト)	講義	中嶋					
2. 人間関係と心の働き:家族・集団力動	講義	中嶋					
3. 脳の働き、精神症状	講義	中嶋					
4. 法律と制度:精神保健福祉法、障害者総合支援法など	講義	中嶋					
5. 臨床における心の健康と不健康:病むという体験	講義	外部講師					
6. 精神科医療、精神科看護の歴史と現状	講義	中嶋					
7. リエゾン精神看護、看護師のメンタルヘルス	講義	中嶋					
8. まとめ/試験	試験	中嶋					
教科書 1	<p>系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学① 著者:編集 武井麻子 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-01588-2</p>						
教科書 2	<p>系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学② 著者:編集 武井麻子 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02774-8</p>						
参考書 1	<p>精神看護学 I 精神保健学 著者:編集 川野 雅資 出版社:ヌーヴェルヒロカワ ISBN:978-4-86174-064-0</p>						
参考書 2							

授業科目名	精神看護学 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	中嶋 貴子					NO.	HS-NU-2-702
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>”テーマ: 本科目では、こころの健康についての理解を深め、こころの看護に必要な基本的知識を学習する。 到達目標: 1. 心の健康について、心のはたらきについて理解できる。 2. 心のしくみ、心の発達、心の危機について理解できる。 3. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。 4. 心を病むことについて幅広く理解し、精神看護を理解できる。”</p>						
概要	<p>心の健康について、人間の発達課題、人間関係や環境、また、その関係や歪み等諸問題について学習する。精神保健の枠組みを通して、心の健康の保持増進を組織的活動や、看護職の役割を通して学習する。 なお、この科目は、精神科病院勤務経験を持つ教員、非常勤講師がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>筆記試験(60%)、提出物(30%)、授業態度(10%)を合わせて評価する。 評価の詳細については、第1回目の授業時に説明する。 提出物は、①自分の考えを論理的に述べている ②文献を用いて根拠のある主張をしている ③誤字脱字がない ④提出期限を守っている の4点を評価する。 なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。</p>						
自己学習	<p>毎回の授業において問題提起と討論が可能なように教科書や資料を読んでおくこと(予習)。 また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業ごとにノートをまとめておくこと(復習)。 なお、予習および復習には、各1時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目をオフィスアワー(教授会のある日を除く)とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 精神保健とは、精神科看護とは 2. 心の健康、心のはたらき 3. 心の危機状況: ストレス、危機理論、PTSD 4. 心の発達: 漸成的発達理論(エリクソン)など 5. 脳の働き、現代社会と精神保健的問題(家族・学校・職場・地域) 6. 臨床における心の健康と不健康: 病むという体験 7. 心的外傷のケア、睡眠のケア、パニック障害のケアなど 8. まとめ/試験	講義 講義 講義 講義 講義・AL 演習 講義 試験	中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋					
教科書 1	<p>系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学① 著者: 編集: 武井 麻子 出版社: 医学書院 ISBN: 978-4-260-01588-2</p>						
教科書 2	<p>系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学② 著者: 編集: 武井 麻子 出版社: 医学書院 ISBN: 978-4-260-02774-8</p>						
参考書 1	<p>精神看護学 I 精神保健学 著者: 編集: 川野 雅資 出版社: ニューヴェルヒロカワ ISBN: 978-4-86174-064-0</p>						
参考書 2							

授業科目名	精神看護学Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	森信 繁					NO.	HS-NU-2-703
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・課題学習・発表
テーマと到達目標	<p>テーマ:精神医学 到達目標:看護師として必要な精神障害についての下記の知識を、学生が身につけられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神医学の基礎的事項・総論的事項を理解できる。 2. 代表的な精神障害について、概念、成因、疫学、症状、検査、治療などについて理解できる。 3. 精神障害特性を理解し、リハビリテーションにかかわる際の基本的態度を学べる。 4. 精神医学の歴史的な背景を理解できる。 5. 精神医療保健福祉関連の法律の概要を理解できる。 						
概要	<p>精神科看護に関わる者にとって、「人の理解」「こころの理解」は不可欠です。精神の障害をもった人を理解し、接し方や看護の方法について学ぶことは、精神障害のみでなく、身体障害や知的障害など他の障害者に接する際にも必要です。具体的イメージを持ちやすいようにビデオなどを活用する他、授業中に適宜症例提示を行い診断や治療法を議論するなど、精神障害への理解を深めるようにすると同時に、評価にも反映します。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 この科目では、精神科専門医・精神保健指定医としての実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>試験(80%)、小テスト(10%)、授業態度(10%) 小テストでは回答を示し、フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>講義では毎回プリントを配布するので、紛失しないようファイルにまとめて保存して、必要な項目が取り出せるようきちんと準備する。</p>						
自己学習	<p>予習としては、各事業計画について事前に1時間ほど教科書を読み、疑問点をまとめて授業を受けること。 復習としては、授業終了ごとに2時間ほど、配布資料の脚注やノートに重要事項をまとめて理解すること。</p>						
オフィスアワー	木曜2限、6号館4階6401研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1、精神の健康と障害 2、心のしくみと人格の発達 3、家族と集団 4、精神症状と状態像、精神障害の分類 5、統合失調症 6、気分障害 7、神経症性障害 8、生理的障害 9、認知症 10、てんかん 11、知的障害と発達障害 12、薬物療法 13、精神療法など 14、精神障害と治療の歴史 15、精神障害と法制度 	<p>講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義</p>	<p>森信 森信 森信 森信</p> <p>森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信</p>		
教科書 1	スライド原稿を資料として配布する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	精神看護学Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中嶋 貴子					NO.	HS-NU-3-704
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 本科目では、精神疾患や精神障害をもつ人を対象にした援助関係や精神看護の方法について、また精神障害者の地域生活支援について、精神保健・医療・福祉の動向を踏まえながら看護の役割について学習する。</p> <p>到達目標: 1. 自己理解を深める方法や人間関係を深める方法を理解できる。 2. セルフケア理論を活用しながらアセスメント方法を理解できる。 3. 代表的な疾患や精神状態についての治療や看護を理解できる。 4. 地域で生活していくための精神保健医療福祉の連携、看護の役割について理解できる。</p>						
概要	精神疾患・精神障害の意味を理解する。また今後の精神医療・看護の課題について考え、精神看護の機能と役割について学ぶ。心の健康の保持増進について考えるとともに、心の障害について学ぶ。心の障害をもつ人との間に援助的な対人関係を築き、精神障害者の人権尊重・ノーマライゼーションの理念に基づく看護援助を学ぶ。なお、この科目は、精神科病院勤務経験を持つ教員、非常勤講師がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	筆記試験(60%)、提出物(30%)、授業態度(10%)を合わせて評価する。 評価の詳細については、第1回目の授業時に説明する。 提出物は、①よく調べてレポートしている ②文献を用いて根拠のある主張をしている ③誤字脱字がない ④提出期限を守っている の4点で評価する。 なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回、プリントを配付するので、第1回目授業からファイルを用意すること。						
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように教科書や資料を読んでくること(予習)。 また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業ごとにノートをまとめておくこと(復習)。なお、予習および復習には、各1時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目(教授会がある日を除く)をオフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 精神科看護の考え方 2. 精神看護に用いる理論:対人関係論、精神力動論 3. 感情障害における看護 4. アルコール使用障害における看護、自閉スペクトラム症における看護 5. 統合失調症における看護 6. 診療・検査および治療に伴う看護 7. 精神看護に用いる理論:セルフケア理論 8. 精神看護における看護過程 9. 事例検討(1):問題抽出・アセスメント 10. 事例検討(2):計画立案、看護過程の展開 11. 医療観察法、事例検討 12. ケアの人間関係(1):コミュニケーション 13. ケアの人間関係(2):プロセスレコード 14. ケアの人間関係(3):認知行動療法 15. 実習オリエンテーション、事例検討 16. 期末試験、まとめ	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL AL 講義 AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL AL 筆記試験	中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 外部講師 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 外部講師 中嶋					
教科書 1	系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学② 著者:編集 武井麻子 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02774-8						
教科書 2	精神看護学 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 著者:編集:田中 美恵子 出版社:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-23256-9						
参考書 1	パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 第2版 著者:編集:萱間 真美 出版社:照林社 ISBN:978-4-86174-065-7						
参考書 2							

授業科目名	精神看護学実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中嶋 貴子、甲木 順子					NO.	HS-NU-3-705
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 精神に障害をもつ人とのかかわりを通して、患者-看護者関係について考え、また幅広く対象を理解することを学習する。</p> <p>到達目標: 1. 精神に障害をもつ人とのかかわりを通して、生物・心理・社会的に幅広く心を病む人への理解ができる。 2. 精神に障害をもつ人とのかかわりを振り返りながら、患者-看護者関係について考えることができる。 3. 精神に障害をもつ人の日常生活の自立に向けての援助ができる。 4. 精神に障害をもつ人が望む、その人らしい自立した地域生活を支えるために、必要となる援助と課題について考えることができる。 5. 実施した看護を的確に言語化し、論理的・体系的に記述することができる。</p>						
概要	<p>精神に障害のある対象者を受け持ち、看護過程を通し、精神症状が日常生活に及ぼす影響について理解を深め、援助の必要性とその方法を学ぶ。さらに、心の障害をもつ人を支える援助学習として、看護者の治療的な自己活用のあり方についても理解を深める。</p> <p>なお、この科目は、精神科病院勤務経験のある教員、非常勤講師がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ指導を実施する。</p>						
評価方法	実習内容(60%)、実習記録(30%)、レポート(10%)により総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	履修条件:精神看護学概論、精神看護学Ⅰ、精神看護学Ⅱ、精神看護学Ⅲの履修 詳細な内容は「精神看護学実習手引き」に記してあるのでよく読んでおくこと。						
自己学習	実習までに教科書や資料を読み、課題内容をまとめておく(予習)。 実習で実施した内容と教科書や資料を照らし合わせながら、記録にまとめておく(復習)。						
オフィスアワー	カンファレンス後、昼休み中、自己学習時など、実習病院や大学内で気になることがあればいつでも面談する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			精神科病院で2週間の実習を行う。 病棟実習では精神に障害をもつ人を1名継続して受け持ち、看護過程に沿った看護を展開する。 詳細は「精神看護学実習手引き」を参照のこと。	実習	中嶋・非常勤講師		
教科書 1	系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学② 著者:編集:武井 麻子 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02774-8						
教科書 2	精神看護学Ⅱ 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 著者:編集:田中 恵美子 出版社:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-23256-9						
参考書 1	パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 第2版 著者:編集:萱間 真美 出版社:照林社 ISBN:978-4-86174-065-7						
参考書 2							

授業科目名	地域看護学概論			履修期	2021年度 春学期	
担当者	横溝 珠実				NO.	HS-NU-2-809
配当学科	看護			年次	2	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態 講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:地域看護の理念・目的、対象、活動方法の特性について基本的な理解を得る。 到達目標:学生が、地域看護学の理念や目的を知り、地域看護活動の場(行政・産業・学校・在宅)において、身体・心・生活・環境の4つをマネジメントすることにより人間の治癒力・健康力を高める看護活動の特性が理解できる。さらに、健康問題について、個人・家族・集団・組織・地域を対象に展開する看護活動の根拠や特性が理解できる。</p>					
概要	<p>地域看護学は看護職に必要な不可欠な学問である。地域看護学概論では、地域で生活する住民の健康づくりの基本的内容を理解する。 具体的には、地域看護学の理念・歴史・特性 地域の健康問題について理解する。 また、地域で暮らす住民を対象とした健康問題へ関わる公衆衛生看護・産業保健・在宅看護・学校保健の役割や活動特性を理解する。 この科目は、行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践活動に長年携わった経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ講義を行う。</p>					
評価方法	<p>評価方法 最終試験80点、レポート20点、で評価を行う。 自分自身や家族の健康に関心を持ち、健康レベルの向上に向けた自らの実践目標を実行する 評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと</p>					
履修条件・注意事項	<p>これまでに学んだ専門基礎科目の復習を行い、保健福祉医療に関するニュースに関心を持ち講義に参加すること。また、自らの健康に関心を持ち、健康レベルの向上に向けた取り組みが実践できること。</p>					
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回課題を出すので、次の授業時に提出(または発表)すること。</p>					
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、毎週水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
1. 地域看護学の理念 2. 公衆衛生看護の歴史 3. 公衆衛生看護活動 4. 産業保健 5. 学校保健 6. 在宅医療の必要性和役割 7. 保健福祉対策と事業計画 8. ヘルスケアチーム 最終試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝				
教科書 1	標準保健師講座 地域看護学概論 出版社:医学書院					
教科書 2						
参考書 1	公衆衛生がみえる 出版社:medic media					
参考書 2						

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	寺崎 智行					NO.	HS-NU-3-810
配当学科	看護				年次	3	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成を目標とする。						
概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等の研究計画書の作成をする。						
評価方法	日々の研究に取り組む意欲や態度(20%)、先行研究論文の読み込みとクリティーク(20%)、看護研究発表会聴講後の所感(10%)、研究計画書の内容(50%)について指導教員が総合的に評価する。 なお、講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと						
履修条件・注意事項	特に看護技術に関心を持ち、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探しておく。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。 学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。						
自己学習	ゼミを通しての課題に関して 予習として、各授業計画および、前回ゼミで予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめておくこと。 復習として、毎回のゼミの内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1 ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意)		講義	寺崎				
2 ガイダンス2(各教員の専門分野や指導方針説明)		AL	寺崎				
3 ガイダンス3(希望分野の決定)		AL	寺崎				
4 ゼミ:看護研究課題とは		AL	寺崎				
5 ゼミ:看護研究課題の生成		AL	寺崎				
6 ゼミ:文献検索の意義と方法		AL	寺崎				
7 看護研究Ⅱ中間発表会聴講		AL	寺崎				
8 ゼミ:文献検索の実際		AL	寺崎				
9 ゼミ:文献クリティークの意義と方法		AL	寺崎				
10 ゼミ:文献クリティーク							
11 ゼミ:看護研究目的の検討		AL	寺崎				
12 ゼミ:看護研究方法の検討		AL	寺崎				
13 ゼミ:看護研究方法の実際		AL	寺崎				
14 ゼミ:研究計画書作成		AL	寺崎				
15 ゼミ:研究計画書作成完成		AL	寺崎				
16 研究計画確認・提出		AL	寺崎				
教科書 1	特に指定なし						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	長町 榮子					NO.	HS-NU-3-810		
配当学科	看護				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習		
テーマと到達目標	<p>将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。</p>								
概要	<p>研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。</p>								
評価方法	<p>日常の研究に臨む態度30%、先行研究論文研究30%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容10%で評価する。</p>								
履修条件・注意事項	<p>特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。</p>								
自己学習	<p>1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。</p>								
オフィスワ-	水曜日3限目、6号館4階長町研究室(6425号室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意)			講義	長町					
2. ガイダンス2(各教員の専門分野や指導方針説明)			講義	長町					
3. ガイダンス3(希望分野の決定)			AL	長町					
4. 研究(ゼミ)・看護研究とは			AL	長町					
5. 研究(ゼミ)・量的研究			AL	長町					
6. 研究(ゼミ)・質的研究			AL	長町					
7. 研究(ゼミ)・文献検索の方法と視点			AL	長町					
8. 研究(ゼミ)・文献検索の実際			AL	長町					
9. 研究(ゼミ)・論文クリティーク			AL	長町					
10. 研究(ゼミ)・論文クリティーク			AL	長町					
11. 研究(ゼミ)・クリティーク発表			AL	長町					
12. 研究(ゼミ)・クリティーク発表			AL	長町					
13. 研究(ゼミ)・研究計画書			AL	長町					
14. 研究(ゼミ)・研究計画書作成			AL	長町					
15. 研究(ゼミ)・研究計画書作成			AL	長町					
16. 研究計画作成・提出			AL	長町					
教科書 1	適宜提示する。								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	柘野 浩子					NO.	HS-NU-3-810
配当学科	看護				年次	3	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。						
概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。						
評価方法	日常の研究に臨む態度30%、先行研究論文研究30%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容10%で評価する。						
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。						
自己学習	1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。						
オフィスワ-							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意)	講義	柘野					
2. ガイダンス2(各教員の専門分野や指導方針説明)	講義	柘野					
3. ガイダンス3(希望分野の決定)	AL	柘野					
4. 研究(ゼミ)・看護研究とは	AL	柘野					
5. 研究(ゼミ)・量的研究	AL	柘野					
6. 研究(ゼミ)・質的研究	AL	柘野					
7. 研究(ゼミ)・文献検索の方法と視点	AL	柘野					
8. 研究(ゼミ)・文献検索の実際	AL	柘野					
9. 研究(ゼミ)・論文クリティーク	AL	柘野					
10. 研究(ゼミ)・論文クリティーク	AL	柘野					
11. 研究(ゼミ)・クリティーク発表	AL	柘野					
12. 研究(ゼミ)・クリティーク発表	AL	柘野					
13. 研究(ゼミ)・研究計画書	AL	柘野					
14. 研究(ゼミ)・研究計画書作成	AL	柘野					
15. 研究(ゼミ)・研究計画書作成	AL	柘野					
16. 研究計画作成・提出	AL	柘野					
教科書 1	適宜提示する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-3-810
配当学科	看護				年次	3	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>将来看護職として活動する中で、質の高い業務と患者等関係者に業務の説明責任を果たすために科学的評価は不可欠である。看護介入等の科学的評価を目的とした論文の読解とその作成を試行するため、学生は自ら疑問に思っていることや興味を持っている内容について、研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文の批判的吟味およびグループ間での議論を通し、グループとしての具体的な研究テーマを決定し、研究計画書を作成することが目標である。</p>						
概要	<p>研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の批判的吟味や研究倫理への合致を通して、研究のポイントや実行可能性を具体的に検討する。そしてそのテーマの背景、研究目的、研究対象、研究方法、分析方法等の研究計画書を作成する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。</p>						
評価方法	ゼミでの態度や研究への意欲、ディスカッションでの発言内容、与えられた課題への対応、計画立案能力などを総合的に評価する。研究の進捗の途上で随時フィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	研究はゼミ単位に同じテーマでグループで行う。テーマは学生の希望を基本とし研究倫理や実施可能性などを検討する過程を学ぶとともに研究計画を作成する。						
自己学習	研究テーマに関連する文献の検索・読み込みなど、ゼミの時間以外でやるべきことは多い。ゼミの時間には、各人の進捗管理日程に基づき、進捗内容を発表する。						
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 講義 研究とは 2. 研究テーマ・グループ分け決定 3. 各々教員との面接・相談 4. 研究(ゼミ) 5. 同上 6. 同上 7. 看護研究Ⅱ(4年)発表会聴講(予定) 8. 研究(ゼミ) 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 研究計画書作成・提出	講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬					
教科書 1	特に指定しない。						
教科書 2							
参考書 1	テーマに応じて指定または紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	掛谷 益子					NO.	HS-NU-3-810
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。						
概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。						
評価方法	日常の研究に臨む態度30%、先行研究論文研究30%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容10%で評価する。なお、評価のため提出した課題は、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。 学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。						
自己学習	予習・復習として以下の自己学習を行うことで研究について理解できる。 1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおく。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表し、その内容を振り返る。						
オフィスワ-	研究室にて、平日昼休憩の時間(12:40～13:30)に実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意)	講義	掛谷					
2. ガイダンス2(各教員の専門分野や指導方針説明)	講義	掛谷					
3. 研究(ゼミ)・希望分野について	AL	掛谷					
4. 研究(ゼミ)・看護研究とは	AL	掛谷					
5. 研究(ゼミ)・量的研究	AL	掛谷					
6. 研究(ゼミ)・質的研究	AL	掛谷					
7. 研究(ゼミ)・文献検索の方法と視点	AL	掛谷					
8. 研究(ゼミ)・文献検索の実際	AL	掛谷					
9. 研究(ゼミ)・論文クリティーク	AL	掛谷					
10. 研究(ゼミ)・論文クリティーク	AL	掛谷					
11. 研究(ゼミ)・クリティーク発表	AL	掛谷					
12. 研究(ゼミ)・クリティーク発表	AL	掛谷					
13. 研究(ゼミ)・研究計画書	AL	掛谷					
14. 研究(ゼミ)・研究計画書作成	AL	掛谷					
15. 研究計画書提出	AL	掛谷					
	AL	掛谷					
	AL	掛谷					
	AL	掛谷					
	AL	掛谷					
教科書 1	適宜提示する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高尾 茂子				NO.	HS-NU-3-810	
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:看護研究の意義と方法を学び研究計画書を作成することによって科学的思考能力を身に着ける 到達目標:学生が将来看護師として活動するためには、業務全般への科学的評価が必要である。看護学の進歩・発展もこれに寄与する。2年間で「看護研究」においては、看護実践活動の中で情報の収集、分析、考察、論文作成等を通じ、科学的思考能力を身につけることができる。初年度の「看護研究」においては、研究テーマの設定、テーマに合わせた研究対象や研究方法の選択、実施時期など、研究計画の策定を行うことができる。</p>						
概要	<p>「看護研究 I」においては、研究とは何か、研究の方法、研究の進め方、論文の形式や書き方等について学ぶ。ゼミにおけるディスカッション、先行研究業績や参考文献の収集・分析等を通じて、より具体的な研究テーマの設定など、研究計画の策定を行う。担当教員は、行政における保健師としての30年の実務経験を有し、研究機関における経験は10年目となる。子育て支援や保健師の役割等についての質的研究を中心に行ってきた。今後は災害に関する研究もテーマとしていく予定である。授業は学生の思いを大切にして学生がテーマをほぼほぼいきやすいように支援していく。またグループでの研究が中心になるのでグループの協力関係、信頼関係を大切にす。</p>						
評価方法	ゼミでの日常の研究に臨む姿勢(研究への興味や意欲、意見・質問・出席などの学習態度)55点、課題の明確化(先行研究論文クリティーク・看護研究発表会聴講後の所感など)25点、計画立案能力(研究計画書作成の協力・関与、計画書の共有、学生自身の成長)20点、これらについて指導教員が総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	研究は、ゼミ毎にグループで行う。研究の主体は学生であり、学生が決定した研究テーマに応じた教員のゼミに配属する。1グループの教員担当は最大5人までとする。人数の都合などで希望通りになるとは限らない。						
自己学習	研究テーマに関連する他の文献をできるだけ読むこと。読みとった内容を研究計画書作成に生かすこと。						
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、毎週水曜日3・4時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意) 2. ガイダンス2(各教員が専門分野や指導方法を説明) 3. ガイダンス3(同上) 4. 研究スケジュール作成 5. 各自の研究テーマの報告 6. グループの研究テーマの検討 7. 発表会聴講と所感の発表 8. 研究テーマ選択の背景報告 9. 研究デザイン検討 10. 文献検索とレビュー 11. 文献の要旨報告 12. 文献の整理 13. 研究計画書作成 14. 研究計画書修正 15. 研究計画書完成 16. 研究計画書提出		講義 講義 講義 講義 講義 講義 発表聴講 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾				
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	黒田裕子の看護研究 Step by Step 著者:黒田裕子 出版社:医学書院						
参考書 2							

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	田中 富子					NO.	HS-NU-3-810		
配当学科	看護				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	将来看護職として活動するためには、看護学の進歩・発展に寄与する科学的評価が必要である。2年間で行う「看護研究」においては、看護実践活動の中で情報の収集、分析、考察、論文作成等を通じ、科学的思考能力を養うことをテーマとする。初年度の「看護研究I」においては、研究テーマの設定、テーマに合わせた研究対象や研究方法の選択、実施時期など、研究計画の策定を行うことができる、ことを目標とする。								
概要	「看護研究 I」においては、研究とは何か、研究の方法、研究の進め方、論文の形式や書き方等について学ぶ。具体的な内容は担当教員に任されるが、ゼミにおけるディスカッション、先行研究業績や参考文献の収集・分析等を通じて、より具体的な研究テーマの設定など、研究計画の策定を行う。 この科目は、行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし、地域における健康課題や予防に関係するテーマを中心とした授業・研究指導を行う。								
評価方法	ゼミでの学習態度、研究への意欲、課題の明確化(先行研究論文クリティーク・看護研究発表会聴講後の所感など)、計画立案能力などを指導教員が総合的に評価する。								
履修条件・注意事項	研究は、ゼミ毎にグループで行う。研究の主体は学生であり、学生が決定した研究テーマに応じた教員のゼミに配属する。1グループの教員担当は最大5人までとする。人数の都合などで希望通りになるとは限らない。								
自己学習	1)興味のある看護課題について、その背景や動向の情報を収集して臨むこと 2)先行研究論文を読み明らかにしたい研究テーマを探求すること 3)原則、グループ研究であるためグループ間で、協力して研究にあたること 4)日頃から十分な意志疎通に努めメンバーシップを発揮すること 次回のゼミまでに記録を仕上げ提出・メンバー間で共有すること、また達成すべき目標までをゼミ後に仕上げ臨むこと。これにかかる時間は約1時間を要す。								
オフィスワ-	個人研究室で火曜日4次限におこなう								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意)			講義	田中					
2. ガイダンス2(全学生に専門分野や指導方針を説明)			講義	田中					
3. ガイダンス3(関心のある学生へ指導方針を説明)			講義	田中					
4. 研究(研究とは)			演習	田中					
5. 研究(学生毎の研究内容の発表)			演習	田中					
6. 研究(学生間のテーマの刷り合わせ)			演習	田中					
7. 研究(研究計画書:目的)			演習	田中					
8. 研究(研究計画書:対象)			演習	田中					
9. 研究(研究計画書:調査方法)			演習	田中					
10. 研究(先行研究の収集)			演習	田中					
11. 研究(先行研究の発表)			演習	田中					
12. 研究(先行研究の理解)			演習	田中					
13. 研究(研究計画書作成)			演習	田中					
14. 研究(研究計画書完成)			演習	田中					
15. 研究(研究調査表話し合い)			演習	田中					
16. 研究計画作成・提出			講義	田中					
教科書 1	学科としては特に指定しない。								
教科書 2									
参考書 1	テーマに応じて指導教員の助言を受けること。								
参考書 2									

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	寺崎 智行、安福 真弓					NO.	HS-NU-3-810		
配当学科	看護				年次	3			
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習		
テーマと到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。								
概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等の研究計画書の作成をする。								
評価方法	日常の研究に臨む態度(30%)、先行研究論文の読み込みとクリティーク(30%)、研究計画書の内容(30%)、看護研究発表会聴講後の所感内容(10%)で総合的に評価する。講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探しておく。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。								
自己学習	自身に関心のある資料や文献、あるいは事前に示された参考資料を精読して授業には臨み、課題や問題を明確にしなが、研究ノート作成する。そのための予習・復習には2時間以上は要する。								
オフィスワ-	月曜2限(11:10~12:40)に6号館4階個人研究室(6405)にて対応								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意)			講義	寺崎・安福					
2. ガイダンス2(各教員の専門分野や指導方針説明)			講義	寺崎・安福					
3. ガイダンス3(希望分野の決定)			講義	寺崎・安福					
4. 研究(ゼミ)・看護研究とは			AL	寺崎・安福					
5. 研究(ゼミ)・量的研究・質的研究			AL	寺崎・安福					
6. 研究(ゼミ)・文献検索の方法と視点			AL	寺崎・安福					
7. 研究(ゼミ)・中間発表会			AL	寺崎・安福					
8. 研究(ゼミ)・文献検索の実際			AL	寺崎・安福					
9. 研究(ゼミ)・論文クリティーク			AL	寺崎・安福					
10. 研究(ゼミ)・クリティーク発表			AL	寺崎・安福					
11. 研究(ゼミ)・クリティーク発表			AL	寺崎・安福					
12. 研究(ゼミ)・クリティーク発表			AL	寺崎・安福					
13. 研究(ゼミ)・研究計画書			AL	寺崎・安福					
14. 研究(ゼミ)・研究計画書作成			AL	寺崎・安福					
15. 研究(ゼミ)・研究計画書作成			AL	寺崎・安福					
16. 研究計画作成・提出			AL	寺崎・安福					
教科書 1	必要時適時提示								
教科書 2									
参考書 1	系統看護学講座 別巻 看護研究 出版社:医学書院								
参考書 2									

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中嶋 貴子					NO.	HS-NU-3-810
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 将来看護の専門職として活動する中で、業務に対する科学的な評価は必要不可欠である。科学的思考能力を養い、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定し、研究計画書を作成する。</p> <p>到達目標: 1. 研究とは何かについて理解できる。 2. 研究の内容、研究の進め方、論文の形式や書き方等について理解できる。 3. 関心のある文献を検索することができる。 4. 先行文献の読み込みをクリティークすることができる。 5. 研究テーマを決定し、研究計画書を作成することができる。</p>						
概要	<p>「看護研究 I」においては、研究とは何かということや、研究の方法、研究の進め方、論文の形式や書き方等について学ぶ。具体的な内容は担当教員に任されるが、ゼミにおけるディスカッション、先行研究業績や参考文献の収集・分析等を通じて、より具体的な研究テーマの設定など、研究計画の策定を行う。</p> <p>なお、この科目は、精神科病院勤務を持つ教員がその経験を活かし、精神看護学をテーマにした看護研究において実践的に役立つゼミを実施する。</p>						
評価方法	日々の研究に取り組む意欲や態度、論文の先行研究論文の読み込みとクリティーク、看護研究発表会聴講後の所感を合わせて90%、研究計画書を10%の総合的評価とする。						
履修条件・注意事項	研究はゼミ毎に同じテーマでグループで行う。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。						
自己学習	医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探しておく。						
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、水曜日の2限目(教授会がある日を除く)をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意)		講義	中嶋				
2. ガイダンス2(各教員が専門分野や指導方針を説明)		AL	中嶋				
3. ガイダンス3(希望分野の決定)		AL	中嶋				
4. 研究(ゼミ):看護研究とは		AL	中嶋				
5. 研究(ゼミ):量的研究		AL	中嶋				
6. 研究(ゼミ):質的研究		AL	中嶋				
7. 研究(ゼミ):文献研究の方法と視点		AL	中嶋				
8. 研究(ゼミ):文献検索の実際		AL	中嶋				
9. 研究(ゼミ):論文の読み方とクリティーク		AL	中嶋				
10. 研究(ゼミ):論文テーマに関わる文献収集とクリティーク発表1		AL	中嶋				
11. 研究(ゼミ):論文テーマに関わる文献収集とクリティーク発表2		AL	中嶋				
12. 研究(ゼミ):論文テーマに関わる文献収集とクリティーク発表3		AL	中嶋				
13. 研究(ゼミ):研究計画書の書き方		AL	中嶋				
14. 研究(ゼミ):研究計画書作成1		AL	中嶋				
15. 研究(ゼミ):研究計画書作成2		AL	中嶋				
16. 研究(ゼミ):研究計画書作成・提出		AL	中嶋				
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	門倉 康恵					NO.	HS-NU-3-810	
配当学科	看護				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 AL	
テーマと到達目標	<p>将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。</p>							
概要	<p>研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行研究の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。この科目は、大学院で修士課程を修了した教員がその経験を活かして指導する。</p>							
評価方法	<p>日常の研究にの臨む姿勢30%、先行研究のクリティーク内容30%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容10%で評価する。 クリティークや計画書、各種レポートの内容などは講義内でフィードバックする。</p>							
履修条件・注意事項	<p>特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。</p>							
自己学習	<p>1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。</p>							
オフィスアワー	水曜2限 6号館 4階 6407							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1. ガイダンス1 (研究の進め方・全般的注意)	1.講義	1.中嶋						
2. ガイダンス2 (各教員の専門分野や指導方針説明)	2.講義	2.中嶋						
3. ガイダンス3 (希望分野の決定)	3.講義	3.中嶋						
4. 研究(ゼミ) 看護研究とは	4.講義	4.門倉						
5. 研究(ゼミ) 量的研究	5.AL	5.門倉						
6. 研究(ゼミ) 質的研究	6.AL	6.門倉						
7. 研究(ゼミ) 文献検索の方法と視点	7.AL	7.門倉						
8. 研究(ゼミ) 文献検索の実際	8.AL	8.門倉						
9. 研究(ゼミ) 文献検索の実際	9.AL	9.門倉						
10. 研究(ゼミ) 論文クリティーク	10.AL	10.門倉						
11. 研究(ゼミ) クリティーク発表	11.AL	11.門倉						
12. 研究(ゼミ) クリティーク発表	12.AL	12.門倉						
13. 研究(ゼミ) 研究計画書作成	13.AL	13.門倉						
14. 研究(ゼミ) 研究計画書作成	14.AL	14.門倉						
15. 研究(ゼミ) 研究計画書修正	15.AL	15.門倉						
16. 研究(ゼミ) 研究計画書提出	16.AL	16.門倉						
教科書 1	看護研究 はじめの一步							

	著者:編集 岡本和士 出版社:医学書院
教科書 2	看護・医療系研究のためのアンケート・面接調査ガイド 著者:土屋雅子・斎藤友博 出版社:診断と治療社
参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	看護研究 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	竹崎 和子					NO.	HS-NU-3-810
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 AL
テーマと到達目標	<p>テーマ 学生が、科学的思考力を養い論文の作成を目指し、自らが日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを設定できる。</p> <p>到達目標 ①看護研究の目的と意義を理解できるようになる。 ②看護研究の基本的プロセスを理解できるようになる。 ③文献検索の目的と方法を理解できるようになる。 ④自己の関心がある研究テーマを明確化できるようになる。 ⑤倫理的配慮に必要な項目について説明できるようになる。 ⑥研究計画書を作成できるようになる。</p>						
概要	看護研究の基礎的・基本的な知識を学び、研究意義と目的を理解し、研究方法、研究プロセスの概要を学習する。 研究成果を看護実践に活かすための基本的能力を養う。						
評価方法	研究に臨む態度30%、文献検討30%、研究計画書の内容40%						
履修条件・注意事項	グループ全員で協力し、研究テーマに関連した先行研究を検索して研究計画書の作成に取り組む。ゼミにてディスカッションするが、必ずその前後に、個人、グループで検討する場を設ける。研究の主体は学生であり、学生が決定した研究テーマに応じた教員ゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。						
自己学習	<p>予習：自分の関心がある保健、医療、福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。(90分) ゼミでの発表前には、各自資料を作成し事前に、教員、メンバーに配布しておく。 発表者はプレゼンテーションの準備を行い、メンバーは配布資料を読んでおく。</p> <p>復習：毎回の授業で学習した内容について、資料を活用して理解する。(90分)</p>						
オフィスワ-	火曜日3限： 6号館4階 6404研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ガイダンス1(研究の進め方、全般的注意)		講義	竹崎				
2. ガイダンス2(各教員の専門分野、指導方針の説明)		講義	竹崎				
3. ガイダンス3(希望分野の決定)		AL	竹崎				
4. 研究(ゼミ)看護研究とは		AL	竹崎				
5. 研究(ゼミ)量的研究		AL	竹崎				
6. 研究(ゼミ)質的研究		AL	竹崎				
7. 研究(ゼミ)文献検索方法と視点		AL	竹崎				
8. 研究(ゼミ)文献検索の実際		AL	竹崎				
9. 研究(ゼミ)論文クリティーク		AL	竹崎				
10.研究(ゼミ)論文クリティーク		AL	竹崎				
11. 研究(ゼミ)クリティーク発表		AL	竹崎				
12. 研究(ゼミ)クリティーク発表		AL	竹崎				
13. 研究(ゼミ)研究計画書作成							
14. 研究(ゼミ)研究計画書作成							
15. 研究(ゼミ)研究計画書作成							
16. 研究(ゼミ)研究計画書提出							
教科書 1	適宜必要な文献・資料等を提示する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	福岡 美和					NO.	HS-NU-3-810		
配当学科	看護				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習		
テーマと到達目標	<p>I. 目的 主体的に取り組む研究過程を通して、研究の科学的アプローチを理解し、研究的な態度を習得する。</p> <p>II. 目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護学において明確にしたり解決すべき現象・問題・疑問事項、すなわち研究課題を明らかにする。 研究課題を絞り込み、研究目的を明らかにする。 研究目的にそって研究計画をたてる。 								
概要	看護研究の意義・目的を明確にし、研究の家庭に基づいて、研究テーマの決定方法、文献検索の意義と方法・研究計画書の作成方法などの看護研究を行うための基礎知識を養う。								
評価方法	出席状況や課題等から総合評価する。								
履修条件・注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 課題や文献検索などは速やかに行う。 不明な点は必ず質問し、解決しながらすすめていくこと。 								
自己学習									
オフィスワ-									
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 研究領域の決定;指導教員のもとで研究をすすめる。 研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する。 研究課題(テーマ)の決定と研究計画書の作成、および研究の実施;指導教員のもとで研究をすすめる。 研究を進める上での倫理的な配慮について学ぶため、適時、倫理審査に必要な書類の準備、審査を受ける。 			講義 グループ ワーク 演習 演習 演習	福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡					
教科書 1	黒田裕子著 黒田裕子の看護研究 step by step 出版社:医学書院								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	看護研究 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	飯田 尚美				NO.	HS-NU-4-810	
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	将来看護の専門職として活動する中で、科学的評価が必要になる。2年間にわたる「看護研究」においては、専門職の実践活動の中で情報の収集・分析・考察・論文作成等を通じて科学的思考能力を養うことを目的とする。初年度の「看護研究」においては、研究テーマの設定、テーマに合わせた研究対象や研究方法の選択、実施時期など、研究計画の策定を行うことが、目標である。						
概要	「研究 I」においては、研究とは何かということや、研究の方法、研究の進め方、論文の形式や書き方等について学ぶ。具体的な内容は、ゼミにおいて学生とのディスカッション、先行研究業績や参考文献の収集・分析等を通じて、より具体的な研究テーマの設定など、研究計画の策定を行う。また、研究を進める上で必要な倫理的配慮や研究による社会的貢献などの意義についても教授する。						
評価方法	ゼミへの出席状況や態度、研究への意欲、与えられた課題(先行研究論文の収集やクリティーク・看護研究発表会へのレポートなど)への対応、計画立案能力や学生同士の協働能力などを指導教員が総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	ゼミは、基本的には同じテーマでグループでの共同作業で行うが、学生の主体性や他の教科の履修状況等に応じて個別の指導となる場合もある。 学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、テーマにふさわしい教員のゼミに配属するが、教員1人あたり最大5人までとしているので、人数の調整を行うこともある。						
自己学習	論文作成に向けてデータ分析や論文指導について講義のつどに指示する。						
オフィスアワー	毎週水曜2限と木曜日2限をオフィスアワーとする(授業担当者研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. ガイダンス(研究の進め方) 2. ガイダンス2(各教員説明) 3. 研究(ゼミ:研究の意義) 4. 研究(ゼミ:量的研究) 5. 研究(ゼミ:質的研究) 6. 研究(ゼミ:文献収集) 7. 研究(ゼミ:文献クリティーク) 8. 研究(ゼミ:研究と倫理) 9. 研究(ゼミ:関係文献の発表) 10. 研究(ゼミ:関係文献発表) 11. 研究(ゼミ:論文と発表) 12. 研究(ゼミ:研究計画作成①) 13. 研究(ゼミ:研究計画作成②) 14. 研究(ゼミ:研究計画作成③) 研究計画書の提出	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	増本 増本 増本 増本 増本 増本 増本 増本 増本 増本 増本 増本 増本 増本					
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	澤田 和子					NO.	HS-NU-3-810
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。						
概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。 この科目は、大学院で修士課程を修了した教員がその経験をいかして指導する。						
評価方法	日常の研究に臨む態度30%、先行研究のクリティーク内容30%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容10%で評価する。 クリティークや計画書、各種レポートの内容などは講義内でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。 学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。						
自己学習	1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。						
オフィスアワー	火曜日2限研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ガイダンス1(研究の進め方・全般的注意) 2. ガイダンス2(各教員の専門分野や指導方針説明) 3. ガイダンス3(希望分野の決定) 4. 研究(ゼミ)・看護研究とは 5. 研究(ゼミ)・量的研究 6. 研究(ゼミ)・質的研究 7. 研究(ゼミ)・文献検索の方法と視点 8. 研究(ゼミ)・文献検索の実際 9. 研究(ゼミ)・論文クリティーク 10. 研究(ゼミ)・論文クリティーク 11. 研究(ゼミ)・クリティーク発表 12. 研究(ゼミ)・クリティーク発表 13. 研究(ゼミ)・研究計画書 14. 研究(ゼミ)・研究計画書作成 15. 研究計画作成・提出		1.講義 2.講義 3.講義 4.GW 5.GW 6.GW 7.GW 8.GW 9.GW 10.GW 11.GW 12.GW 13.GW 14.GW 15.GW	1.中嶋 2.中嶋 3.中嶋 4.澤田 5.澤田 6.澤田 7.澤田 8.澤田 9.澤田 10.澤田 11.澤田 12.澤田 13.澤田 14.澤田 15.澤田				
教科書 1	適宜、提示する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	健康管理論				履修期	2021年度 春学期			
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-HN-3-101		
配当学科	看護				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	本科目では感染症および自然災害などの健康危機時における健康管理を学習する。公衆衛生1、2で学習した知識考え方を基本として、2分野を主な対象に学生は個人およびコミュニティーの健康への公衆衛生的介入の「応用力」を身につけることが目標である。								
概要	公衆衛生の観点から健康管理を学ぶ。日常生活に馴染みが少なくかつ公衆衛生とし期待される2つの分野を取り上げ、演習を交えて具体的に学ぶ。保健師・看護師として具体的な場面で対応できる基礎的な能力の獲得を目指す。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。								
評価方法	期末の定期試験(60%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(40%)で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。								
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための練習問題も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。 保健師課程の必修科目であるが、看護師課程でも履修すると有用である。 選択教科なので、再試験はしない。時間割編成上、再履修可能性も低いので、そのつもりで履修すること。								
自己学習	公衆衛生対応を効果的に行うには市民がどのように感じ対応しようとするかのイメージできることが重要である。演習を通して、稀な環境や事態に対面した際の理解が深まる。教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を身近な人の意見やメディア情報など他の資料などで補う必要がある。								
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 健康危機管理概論 2. 災害時のシミュレーション(目黒巻き) 3. 災害時の保健活動とソーシャルキャピタル 4. 避難所における健康・衛生管理 5. 災害時支援活動の基本 PFA演習 6. 災害時保健活動の基礎 演習1 7. 災害時保健活動の基礎 演習2 8. 大規模自然災害における支援と受援 9. 感染症対策と保健師活動 10. 感染症危機管理 11. 感染症調査 演習 12. 集団発生調査の基礎 13. 新興再興感染症対策 14. リスクコミュニケーション 演習 15. 食品安全と健康危機 16. 試験			講義 演習 講義 講義 演習 演習 演習 講義 講義 講義 演習 講義 演習 講義 試験	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬					
教科書 1	公衆衛生—健康支援と社会保障制度(2) 14版 著者:神馬 征峰ら 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-03574-3								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	保健医療福祉行政論Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	田中 富子					NO.	HS-HN-2-102
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:保健師として、知っておかなければ成らない保健医療福祉施策の基本的な知識を理解し、行政の仕組みと変遷・地域保健医療福祉関連の法制度までを把握する</p> <p>到達目標:保健師活動を実践するための保健福祉行政における全般的な根拠法を学習し、法に則った保健師活動実践ができ、国家試験問題への対応ができる。</p>						
概要	<p>保健師は、保健・医療・福祉・企画分野での広範囲な行政部署において、専門性に立脚した行政手腕が求められる。その基礎知識として保健医療福祉行政の仕組み・財政・社会保障制度・公衆衛生全般にわたる内容を学習する。</p> <p>具体的には、公衆衛生に関する法改正を踏まえ、過去・現在・未来を視野に入れた公衆衛生看護活動を理解する。</p> <p>この科目は、行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし、関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。</p>						
評価方法	<p>最終試験80%・課題20%で評価を行う</p> <p>評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと</p>						
履修条件・注意事項	<p>社会情勢や健康課題への関心を持ち、自分の考えを議論する習慣を身につける</p> <p>講義内容に関する関係法の予習・復習を行い、法令の用語や言い回し等の理解をすること</p> <p>指定した教科書・参考書等は必ず持参すること</p> <p>課題レポートの提出は期限厳守とし、予習・復習を兼ね問われた内容が記載されたものとする</p> <p>小テスト対策として数回毎に授業内容を復習すること</p>						
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、その事について調べたことについて自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより、予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う2) 複数回に分けた小テストを行い、達成度を確認し、振り返り授業を行う。3) 要点を押さえた資料を配付し、これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。4) 社会情勢やその動向に興味を持つことで、健康課題に応じた法整備や看護職の役割に関心を持つ。5) 試験及びレポートにより評価を行うことから、必ず予習復習を行うこと。そのための時間は約1時間を要す</p>						
オフィスワ-	個人研究室にて、火曜日4時限目に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 健康増進法・健康日本21(第2次) 健康増進対策生活習慣病 健康増進法・ヘルスプロモーション 感染症法の概要 感染症法 結核対策 新たな健康課題と政策 医療保障制度と医療法 医療計画 医療の動向 難病対策・被爆者対策 保健医療福祉の計画・実施 保健医療福祉の実施・評価 PDCAによる計画作成 授業前半の振り返り 授業後半の振り返り 筆記試験 	講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義 講義 講義 講義	田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中		
教科書 1	最新保健学講座7 保健福祉行政論 著者:野村陽子 出版社:メヂカルフレンド社						
教科書 2	看護法令要覧 著者:清水嘉世子他 出版社:日本看護協会出版会						
参考書 1	国民衛生の動向 出版社:厚生統計協会						
参考書 2	国民福祉と介護の動向 出版社:厚生統計協会						

授業科目名	公衆衛生看護学概論				履修期	2021年度 春学期	
担当者	田中 富子					NO.	HS-HN-3-103
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:公衆衛生看護活動を担う保健師の専門性に基づく役割と機能を学ぶ 到達目標:公衆衛生看護活動の理念や意義と、住民と地域を対象として展開する保健師の援助方法を学ぶことで、保健師の役割を理解できる</p>						
概要	<p>(地)保健師の専門性である公衆衛生看護学をヘルスプロモーションを基本概念とし、健康づくりを視点とした個人・家族・集団・地域をエンパワメントする地区活動の展開・展開法法・役割について学ぶ。 具体的には、行政に所属する保健師が1次予防を中心に行う公衆衛生看護の概要を理解する。 ※ 多領域での公衆衛生看護の実務経験を活用し、具体的事例と授業と連動させた学びとする。</p>						
評価方法	<p>最終試験以前の講義への出席2/3以上を最終試験受験の基本条件とする 最終試験90% 課題10%で評価を行う</p>						
履修条件・注意事項	<p>地域看護学概論・保健医療福祉行政論等これまでに学んだ公衆衛生看護学の関連科目を復習し、予習として位置づけるレポート作成を行い、授業に臨むこと また、自分自身や家族の健康に関心を持ち、健康レベルの向上に向けた自らの実践目標を実行する 評価のために実施した課題や小テストは授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと</p>						
自己学習	<p>1) 事前に提示した課題について調べ、自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより、予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う 2) 要点を押さえた資料を配付し、これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。3) 試験及びレポートにより評価を行うことから、必ず予習復習を行うこと 予習復習及び演習は計画に添って自己学習で完成させること そのための時間は2時間程度を擁する。</p>						
オフィスアワー	<p>オフィスアワー 個人研究室にて、火曜日 4次限目に行う</p>						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 授業ガイダンス 公衆衛生看護の概念と対象 2. 公衆衛生の専門職としての保健師 3. 保健師活動の特徴 4. 学校保健と地域保健の機能 5. 行政における保健師の役割 6. 地域づくりの方法論 7. 筆記試験		講義 講義 講義AL 講義 講義AL 講義AL 試験	田中 田中 田中 田中 田中 田中				
教科書 1	第2版 これからの保健医療福祉行政論 著者: 星旦二・麻原きよみ 出版社: 日本看護協会出版会						
教科書 2	公衆衛生がみえる 出版社: medic media						
参考書 1	保健師活動指針 活用ガイド 出版社: 日本看護協会						
参考書 2							

授業科目名	公衆衛生看護学 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	高尾 茂子					NO.	HS-HN-3-104	
配当学科	看護				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義	
テーマと到達目標	地域で生活するすべての健康レベルの人々の健康問題解決のために必要な、公衆衛生看護に関する基礎的知識と支援技術を習得し、個人や集団それぞれの特徴を踏まえた支援ができる。							
概要	<p>地域で生活するすべての健康レベルの人々の健康問題を解決するために、保健指導、健康相談、健康教育、健康診査、家庭訪問、地区組織活動の場面で用いられる理論、技術や手法について講義とグループワーク演習を実施する。</p> <p>担当教員は、行政における保健師としての30年の実務経験を有し、研究機関における経験は10年目となる。現場経験を活かして具体的な事例をまじえながら学生がイメージをしやすいように授業を行う。</p> <p>また、地域における看護(公衆衛生看護)は、地域で暮らす人々の生活を支えるものであり、健康問題と生活がどのように関連をするのか、個人の健康課題は地域の健康課題とどのように関連しているか、健康と社会環境・健康と生活との関連をしっかりと考える授業とする。そのためグループワークを取り入れ学生が主体的に授業に参加し自分で考えることがとても重要となる。このことは国家試験対策ともつながる。</p>							
評価方法	試験(60%)、課題(40%)							
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> •これまでに学んだ医学、看護、保健、福祉に関する知識の復習をし、最近のニュースに関心をもち、特に医療 行政や保健福祉に関するニュースは、その内容を正確に把握しておく。 •毎回の授業までには、授業内容の理解を深めることや、討論が可能なように教科書の指定されたページや資料を熟読しておく。 •授業終了後は、試験と4年次の公衆衛生看護実習Ⅱに備え、ノートや資料をまとめておく。 							
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出(または発表)すること。							
オフィスアワー	6号館4階の研究室において、毎週水曜日3・4時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 保健行動と保健活動 2. 地域保健活動過程と保健師活動 3. 地域におけるグループ支援・組織化 4. 家庭訪問の目的・対象・技術 5. 家庭訪問のプロセス 6. 健康相談の目的・対象・方法 7. 健康相談のプロセス 8. 健康教育の目的・対象・技術等 9. 健康教育の方法・実施・評価 10. 健康診査の目的・対象・技術・プロセス 11. 健康教育企画書指導案の作成 12. 健康教育企画書指導案の作成 13. 健康教育企画書指導案の作成 14. 健康教育発表 15. まとめ 最終試験		講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 講義・試験	高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾					
教科書 1	標準保健師講座 公衆衛生看護技術 著者:中村裕美子 出版社:医学書院							
教科書 2								
参考書 1	公衆衛生がみえる 著者:医療情報科学研究所編集 出版社:メディックメディア							
参考書 2	保健師 地域のけんこうをつむぐそのはたらきと能力形成 著者:高尾茂子 出版社:ふくろう出版							

授業科目名	養護学概論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	郷木 義子、平松 恵子					NO.	TC-NU-3-901
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	養護教諭の職務と保健室の機能、役割を理解し、児童生徒の健康課題の解決方法と技術について学習する。 (1) 「養護」の意味について考えることができる (2) 養護教諭の実践の実際が理解できる (3) 健康問題の解決の方法が理解できる (4) 保健教育の目的・進め方が理解できる						
概要	「養護」の意味について考え、学校教育における養護教諭の職務と役割を理解する。養護教諭としての基礎的知識と技術を学び、その基礎となる価値観を醸成する。演習やグループ学習をとおして実践への展開を考える。さらに地域社会における学校保健の役割と養護教諭の職務および期待されている役割、及び子どもの健康課題とその支援方法について考える。 この科目は、養護教諭として実務経験を持つ教員がその経験を生かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、定期試験(60%)、課題・発表・演習等(40%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	養護教諭一種免許状取得を目的とする科目であるため、学校保健学等を履修した教職課程資格登録者を対象とする。 ※第5・6・8回、第10～15回講義(担当者:平松恵子)はオンライン授業「Microsoft Teams」で実施します。						
自己学習	予習復習については毎回に提示する。また、教員採用試験対策と併せて自己学習を進めるとともに、養護教諭の職務や社会的役割について書籍や専門誌等で日ごろから興味関心をもって学んでおくこと。						
ワイズワ-							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ガイダンス 養護とは 2. 養護教諭制度の沿革と職務内容の変遷 3. 学校教育及び学校保健に果たす養護教諭の役割 4. 養護教諭に必要な資質能力と基礎知識 5. 保健室の経営 6. 健康実態の把握と課題(保健調査・健康観察) 7. 学校における救急処置① 8. 学校における感染症対策 9. 学校における救急処置② 10. 学校における健康診断① 11. 学校における健康診断② 12. 学校環境衛生活動の実際 13. 保健指導 14. 特別支援教育・保健組織活動 15. まとめ		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	郷木 郷木 郷木 郷木 平松 平松 郷木 平松 郷木 平松 平松 平松 平松 平松 平松				
教科書 1	新訂版学校保健実務必携 著者:学校保健・安全研修会編著 出版社:第一法規						
教科書 2	新訂養護概説 著者:三木とみ子編集 出版社:ぎょうせい						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	学校保健学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	吉備国際大学未定教員					NO.	TC-NU-2-902
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>学校保健の概略を理解するとともに、学校保健を実践する上で必要となる各論的知識を学習する。</p> <p>(1) 法的根拠に基づいた学校保健活動が理解できる (2) 学校保健における養護教諭の役割が理解できる (3) 児童生徒の健康問題及び健康課題を理解することができる</p>						
概要	<p>学校保健は学校において児童生徒の健康の保持増進するための活動として、保健教育と保健管理、及び組織活動について学修する。学校保健安全法等に定められる学校保健の概略と養護教諭の役割、及び児童生徒の健康課題と心身の健康の保持増進について保健教育の視点から理解を深める。</p> <p>この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、学校保健活動及び地域保健活動において実践的に役立つ授業を展開する。</p>						
評価方法	筆記試験(80%)、課題・演習(20%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	公衆衛生学Ⅱを修得していること。 養護教諭免許(1種及び2種)と保健師国家試験受験資格の取得を目的とする必修科目である。						
自己学習	学校保健学を通して、公衆衛生看護学の中の保健師と養護教諭の職種の違いや、連携のあり方について学び、理解を深めることを期待する。						
オフィスワ-							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. ガイダンス 学校保健の領域と構造、法制度 2. 学校保健の実際(養護実習) 3. 学校保健の対象 4. 学校事故の実際 5. 保健管理① 感染症 6. 保健管理② 健康診断 7. 保健管理③ 学校環境衛生 8. 保健教育① 9. 学校経営における学校保健 10. 保健教育② 指導案 11. 保健教育③ 指導案作成 12. 保健教育④ 発表 13. 養護教諭と保健室 14. 保健組織活動 15. 特別支援を要する子どもと学校保健 16. 筆記試験			講義 講義とAL 講義 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義とAL 講義	
教科書 1	新版基礎から学ぶ学校保健〔第2版〕 著者：瀧澤利行編著 出版社：建帛社						
教科書 2							
参考書 1	新訂版学校保健実務必携 著者：学校保健・安全実務研究会 出版社：第一法規						
参考書 2	国民衛生の動向 著者：一般財団法人厚生労働統計協会						

授業科目名	看護教育法 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	清水 菜月					NO.	TC-NU-3-904
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	<p>1. 看護教育制度及び高等学校看護科教育の目標、教育課程について理解し、看護教育の方法と学習指導理論について説明できる。</p> <p>2. 学習指導要領の内容を理解し学習における指導上の留意点、生徒の実態や学力に応じた学習指導案の作成ができる。</p> <p>3. 高等学校看護科教員として資質の能力形成を目指す為に、教科指導に必要な知識と技術を習得し、より教育効果が上がる授業方法について研究する。</p> <p>4. 看護教育の授業を評価する方法について理解し、模擬授業を実践し客観的に評価し改善ができる。</p>						
概要	<p>看護教育制度及び学習指導要領を基に、高等学校看護科における教科目標および科目編成、看護科の各科目の目標と内容及びその取扱いについて解説する。また、高等学校看護科の生徒の発達段階に応じた学習指導ができるよう、学習指導理論を踏まえた指導観、教材観を育み授業の展開ができる能力を養うことを意図する。また、看護教育に携わる者としての態度及び実践的・研究能力を養い学習指導への位置づけについて考察できることを目指す。</p> <p>この科目は、高校教員として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	授業態度(20%)、課題レポート(20%)、試験(60%)とし、総合的に評価する。授業の3分の2以上の出席を基礎条件とする。						
履修条件・注意事項	4年次の教育実習を履修する学生は必修となる科目である。看護教育法 I の単位を取得しないと教育実習の履修は出来ない。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。						
オフアワー	授業終了後						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回:看護教育の歴史		講義	清水				
第2回:学習指導要領の解説(高等学校看護科教育の目標及び教育課程)		講義	清水				
第3回:看護教育の方法と学習指導理論		講義	清水				
第4回:学習指導案について(看護教育における授業と学習形態)		講義	清水				
第5回:教材研究及び教材開発について(情報機器及び教材の効果的な活用)		講義	清水				
第6回:授業の評価方法について		講義	清水				
第7回:看護教育の授業設計(1)講義法の構成(教材研究、情報機器の活用、留意点など)		講義	清水				
第8回:看護教育の授業設計(2)前回の講義で学習した内容を基に指導案を作成する。		講義	清水				
第9回:看護教育の授業設計(3)作成した指導案を基に指導案及び教材の作成をする。		講義	清水				
第10回:模擬授業(1)(人体と看護)		演習	清水				
第11回:模擬授業(2)(基礎看護)		演習	清水				
第12回:模擬授業(3)(生活と看護)		演習	清水				
第13回:模擬授業(4)(疾病と看護)		演習	清水				
第14回:模擬授業の振り返り		講義・演習	清水				
第15回:定期試験		講義	清水				
教科書 1	文部科学省:高等学校学習指導要領解説 看護編(最新版) 出版社:東山書房						
教科書 2							
参考書 1	文部科学省:高等学校用 基礎看護 著者:文部科学省:高等学校用 人体と看護						
参考書 2	文部科学省:高等学校用 疾病と看護 著者:文部科学省:高等学校用 生活と看護						

授業科目名	教育原論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	TC-NU-1-906	
配当学科	看護				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の基本概念を理解し、適切に用いることができるようになる 2. 代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解する 3. 近代公教育(学校)をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解する 4. 家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解する 5. 上記の学習を通じて教育の本質について理解し、今後の教育制度(学校など)の役割について自身の意見を持つ 							
概要	<p>本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかにかに変容し、それに伴い家庭教育、地域社会(共同体)の教育、学校教育がいかにかに変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。本講義は大きく6つの段階に分けて展開する。1・2回目では教育の基本概念について理解するとともに家庭などにおける日常的(非組織的)な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。</p>							
評価方法	各回の講義の振り返りを行う学習記録(15%)、レポート(15%)、定期試験(70%)で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。							
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。初回の講義の際に成績評価に用いる学習記録用紙を配布するので必ず出席すること。							
自己学習	各回講義の予習と復習を行っていただく(学習記録用紙)。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。							
オフィスアワー	火曜日2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			第1回:教育の基本概念 第2回:教育の源形態—家庭・共同体による教育 第3回:古代の教育思想(1)西洋の教育思想 第4回:古代の教育思想(2)日本の教育思想 第5回:中世の教育思想(1)宗教と教育 第6回:中世の教育思想(2)ルネッサンスと教育 第7回:近代の教育思想(1)産業革命と教育 第8回:近代の教育思想(2)近代教育制度の成立 第9回:近代の教育思想(3)教育学の成立と展開 第10回:現代の教育思想(1)新教育運動の諸相 第11回:現代の教育思想(2)戦争と教育 第12回:現代の教育思想(3)東西冷戦下の教育 第13回:現代社会と教育(1)現代社会の課題と教育 第14回:現代社会と教育(2)子どもの生活世界の変容と教育 第15回:現代社会と教育(3)—まとめにかえて 第16回:定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	倉知 倉知	
教科書 1	『教育思想史』(有斐閣アルマ) 著者:今井康雄編 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641123847							
教科書 2								
参考書 1	教育の歴史と思想 著者:石村華代・軽部勝一郎編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065844							

参考書 2

新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷
著者: 水原克敏
出版社: 東北大学出版会
ISBN: 978-4861633171

授業科目名	教育原論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	倉知 典弘				NO.	TC-NU-1-906	
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の基本概念を理解し、適切に用いることができるようになる 2. 代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解する 3. 近代公教育(学校)をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解する 4. 家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解する 5. 上記の学習を通じて教育の本質について理解し、今後の教育制度(学校など)の役割について自身の意見を持つ 						
概要	<p>本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかんにか変容し、それに伴い家庭教育、地域社会(共同体)の教育、学校教育がいかんにか変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。本講義は大きく6つの段階に分けて展開する。1・2回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的(非組織的)な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。</p>						
評価方法	各回の講義の振り返りを行う学習記録(15%)、レポート(15%)、定期試験(70%)で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。						
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。初回の講義の際に成績評価に用いる学習記録用紙を配布するので必ず出席すること。						
自己学習	各回講義の予習と復習を行っていただく(学習記録用紙)。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読み直し、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。						
オフィスアワー	火曜日2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回:教育の基礎概念		講義	倉知				
第2回:教育の源形態—家庭・共同体による教育		講義	倉知				
第3回:古代の教育思想(1)西洋の教育思想		講義	倉知				
第4回:古代の教育思想(2)日本の教育思想		講義	倉知				
第5回:中世の教育思想(1)宗教と教育		講義	倉知				
第6回:中世の教育思想(2)ルネッサンスと教育		講義	倉知				
第7回:近代の教育思想(1)産業革命と教育		講義	倉知				
第8回:近代の教育思想(2)近代教育制度の成立		講義	倉知				
第9回:近代の教育思想(3)教育学の成立と展開		講義	倉知				
第10回:現代の教育思想(1)新教育運動の諸相		講義	倉知				
第11回:現代の教育思想(2)戦争と教育		講義	倉知				
第12回:現代の教育思想(3)東西冷戦下の教育		講義	倉知				
第13回:現代社会と教育(1)現代社会の課題と教育		講義	倉知				
第14回:現代社会と教育(2)子どもの生活世界の変容と教育		講義	倉知				
第15回:現代社会と教育(3)—まとめにかえて		講義	倉知				
第16回:定期試験		講義	倉知				
教科書 1	『教育思想史』(有斐閣アルマ) 著者:今井康雄編 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641123847						
教科書 2							
参考書 1	教育の歴史と思想 著者:石村華代・軽部勝一郎編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065844						

参考書 2

新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷
著者: 水原克敏
出版社: 東北大学出版会
ISBN: 978-4861633171

授業科目名	教育行政学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	TC-NU-2-908	
配当学科	看護				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。</p> <p>到達目標 1. 教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解する 2. 学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解する 3. 学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解する 4. 子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解する 5. 現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解する 6. 子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できるようになる</p>							
概要	<p>本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかとする(第1回)。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく(第2回～第7回)。</p> <p>以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい(第8回～第14回)。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる(第15回)。</p> <p>本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に付けてもらいたい。</p>							
評価方法	学習記録の提出(15%)及びレポート課題(15%)及び定期試験(70%)で評価する。定期試験の結果及びレポート課題については掲示によって総括的なフィードバックを行う							
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは学科等によって異なるので、必ず学生便覧を確認してから履修すること。なお、教員となるのにふさわしい態度で受講することが求められる。							
自己学習	予習として1)講義に取り上げる予定の法令調べ 2)講義にかかわる事項の調べ 3)テーマに関わる論述課題を課す(2時間程度)。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1)講義のキーワードのまとめ 2)論述課題 3)講義の振り返りを課す(2時間程度)							
オフィスアワー	火曜2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
第1回:公教育の基本原則と教育行政:教育の公共性について	講義	倉知						
第2回:教育の法制の概要:教育の法律主義について	講義	倉知						
第3回:教育行政の機構:教育行政のガバナンス	講義	倉知						
第4回:教育の中立性確保:宗教的中立と政治的中立	講義	倉知						
第5回:教育の義務制と機会均等:教育福祉の観点から	講義	倉知						
第6回:教育機関の設置・管理:学校と社会教育・生涯学習	講義	倉知						
第7回:教育職員に関わる法制:養成・採用・サービスを中心に	講義	倉知						
第8回:学校の組織体制:チームとしての学校を中心に	講義	倉知						
第9回:学校経営計画と評価:PDCAサイクル	講義	倉知						
第10回:学校における教育活動:教育課程	講義	倉知						
第11回:学校における生徒指導:「問題行動」とその制度的対応	講義	倉知						
第12回:学校経営の諸課題(1)地域社会との連携	講義	倉知						
第13回:学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健	講義	倉知						
第14回:学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応	講義	倉知						
第15回:現代教育改革と教育行政・学校経営	講義	倉知						
第16回:定期試験								
教科書 1	教育行政学: 子ども・若者の未来を拓く(改訂版) 著者:横井敏郎編 出版社:八千代出版 ISBN:978-4842917092							
教科書 2								

参考書 1	教育小六法 著者:市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆 出版社:学陽書房 ISBN:978-4313011953
参考書 2	中学校学習指導要領(最新版) 高等学校学習指導要領(最新版)

授業科目名	教育行政学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	TC-NU-2-908
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。</p> <p>到達目標 1. 教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解する 2. 学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解する 3. 学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解する 4. 子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解する 5. 現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解する 6. 子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できるようになる</p>						
概要	<p>本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかにする(第1回)。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく(第2回～第7回)。</p> <p>以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい(第8回～第14回)。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる(第15回)。</p> <p>本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に付けてもらいたい。</p>						
評価方法	学習記録の提出(15%)及びレポート課題(15%)及び定期試験(70%)で評価する。定期試験の結果及びレポート課題については掲示によって総括的なフィードバックを行う						
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは学科等によって異なるので、必ず学生便覧を確認してから履修すること。なお、教員となるのにふさわしい態度で受講することが求められる。						
自己学習	予習として1)講義に取り上げる予定の法令調べ 2)講義にかかわる事項の調べ 3)テーマに関わる論述課題を課す(2時間程度)。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1)講義のキーワードのまとめ 2)論述課題 3)講義の振り返りを課す(2時間程度)						
オフィスワ-	火曜2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回:公教育の基本原則と教育行政:教育の公共性について 第2回:教育の法制の概要:教育の法律主義について 第3回:教育行政の機構:教育行政のガバナンス 第4回:教育の中立性確保:宗教的中立と政治的中立 第5回:教育の義務制と機会均等:教育福祉の観点から 第6回:教育機関の設置・管理:学校と社会教育・生涯学習 第7回:教育職員に関わる法制:養成・採用・服務を中心に 第8回:学校の組織体制:チームとしての学校を中心に 第9回:学校経営計画と評価:PDCAサイクル 第10回:学校における教育活動:教育課程 第11回:学校における生徒指導:「問題行動」とその制度的対応 第12回:学校経営の諸課題(1)地域社会との連携 第13回:学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健 第14回:学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応 第15回:現代教育改革と教育行政・学校経営 第16回:定期試験			講義	倉知
教科書 1	教育行政学: 子ども・若者の未来を拓く(改訂版) 著者:横井敏郎編 出版社:八千代出版 ISBN:978-4842917092						
教科書 2							

参考書 1	教育小六法 著者:市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆 出版社:学陽書房 ISBN:978-4313011953
参考書 2	中学校学習指導要領(最新版) 高等学校学習指導要領(最新版)

授業科目名	教育心理学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤原 直子					NO.	TC-NU-2-909
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>1. 教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ</p> <p>2. 児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける</p> <p>3. 児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与する教育心理学的知識を身につける</p>						
概要	<p>この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。はじめに教育心理学の理論と方法を概観した後、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。続いて児童生徒の友人関係、心の問題を、学習活動や学校生活との関わりで解説する。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や対応方法について教授し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。講義内の小テストや演習課題については、講義内で回答・フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>講義をしっかりと聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業の最初に実施する小テスト(前の時間の確認テスト)の結果をもとに、復習を行う。 ③毎回の授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。</p>						
オフィスワ-	研究室にて、毎週月曜日2限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回:オリエンテーション 第2回:教育心理学とは、発達と教育 第3回:発達段階、認知の発達 第4回:特別支援教育と発達障害 第5回:発達障害の理解と対応 第6回:発達障害への教育・支援 第7回:学習指導の基礎理論と基本 第8回:学習指導の方法 第9回:適応の心理と教育 第10回:いじめ・不登校の心理と指導 第11回:学習理論と学習のメカニズム 第12回:学習理論に基づく技能学習と問題解決 第13回:動機づけの理論 第14回:動機づけの応用と学習へのアプローチ 第15回:学級・集団の心理 第16回:単位認定試験	講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義・演習 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 筆記試験	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原					
教科書 1	<p>教育心理学 著者:松原達哉 出版社:丸善出版 ISBN:978-4-621-08636-0</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	特別支援教育				履修期	2021年度 春学期			
担当者	藤吉 晴美					NO.	TC-NU-2-910		
配当学科	看護				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義		
テーマと到達目標	この授業では、さまざまな障害の種類や特性を理解し、特別支援教育に携わる上で必要となる指導・支援法について学んでいく。具体的には、特別支援教育の理念とシステムを理解し、特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒の障害特性を知る。さらに特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒への適切な指導方法・支援方法に関する知識を身につける。								
概要	特別支援教育では、特別支援学校や、保育園・幼稚園、小学校等において、様々な障害のある幼児・児童ひとりひとりのニーズに応じた適切な指導と支援が求められている。本科目では、特別支援教育の対象であるそれぞれの障害の理解と指導内容・方法等の基本的事項について解説する。								
評価方法	試験60%、ミニレポート40%とする。 ミニレポートはコメントをつけフィードバックする。								
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習を欠かさず行うこと。 ・積極的に授業に参加すること。 								
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・予習として教科書をよく読み、ポイントと思われるところ、理解できないところ、それぞれにマーカーを入れて授業を受けること。 ・復習のために授業の内容をノート、配布プリントに書くこと。その内容と教科書を照合し学びを深めること。 ・予習・復習にはそれぞれ最低でも2時間は必要である。 								
オフィスワ-	木曜2限:個人研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1:特別支援教育の理念と制度 2:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童の心理的特性および学習過程の理解 3:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童に対する支援(1) 4:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童に対する支援(2) 5:視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等の幼児・児童の心理的特性および学習過程の理解 6:視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等の幼児・児童に対する支援 7:特別支援の幼児・児童への組織的支援 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児・児童への対応8. 定期試験			1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 試験	1. 藤吉 2. 藤吉 3. 藤吉 4. 藤吉 5. 藤吉 6. 藤吉 7. 藤吉 8. 筆記試験					
教科書 1	はじめての特別支援教育 著者:拓植雅義 編 出版社:有斐閣アルマ ISBN:978-4-641-22038-6								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	教育課程論				履修期	2021年度 春学期			
担当者	池上 真由美					NO.	TC-NU-2-911		
配当学科	看護				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義		
テーマと到達目標	教育課程の編成と実施などについての基礎的・基本的な知識を修得し、学校や地域の特性と教師の創意・工夫を生かした魅力ある教育課程を編成するための方略について理解する、また、編成した教育課程を実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルについて理解することを目標とする。								
概要	教育課程とは何か、教育課程の変遷、教育課程の法体系と学習指導要領、新学習指導要領・新教育要領の改訂のポイントなどについて理解する。また、編成した教育課程を実施・評価し改善するカリキュラム・マネジメントのプロセスを、実践例を通して学び、演習やグループワーク等を行うことで、カリキュラム・マネジメント力を養う。小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。								
評価方法	[試験]60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。) [提出物]20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する。レポート課題、コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。) [授業への参画状況]20%(発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する。)								
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。								
自己学習	前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。								
オフィスアワー	月曜日4時限目								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:教育課程とは何か 第2回:教育の目的と教育課程の編成			講義・AL 講義・AL	池上 池上					
第3回:現代日本の教育課程の変遷 第4回:新学習指導要領等の改訂のポイント「社会に開かれた教育課程」「学びの地図」「主体的・対話的で深い学び」			講義・AL 講義・AL	池上 池上					
第5回:近年の教育改革の動向および今後の課題			講義・AL	池上					
第6回:幼稚園・小学校・中学校教育・高等学校教育における教育課程			講義・AL	池上					
第7回:教育課程の法と行政、実践・カリキュラム・マネジメント			講義・AL	池上					
第8回:定期試験			講義・AL 筆記試験	池上 池上					
教科書 1	はじめて学ぶ教育課程 著者:広岡義之 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07559-1								
教科書 2									
参考書 1	小学校学習指導要領・中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領 著者:文部科学省								
参考書 2									

授業科目名	道徳教育の理論と方法				履修期	2021年度 春学期	
担当者	川上 はる江					NO.	TC-NU-3-912
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義, 討論, 模擬授業
テーマと到達目標	道徳教育について、基礎理論を理解し、併せて実践的指導力を養う。 基礎理論としては、道徳の本質、道徳教育の歴史、道徳性の発達理論、道徳教育の役割と課題、道徳教育の授業理論について理解する。また、実践力については、道徳の時間の指導案作成、模擬授業、総合単元的な道徳学習の構想作成を通して、道徳の時間の指導法を身に付ける。						
概要	授業の概要 道徳教育の基礎知識である、道徳性の発達理論、教育理論、道徳教育の役割や意義をテキストを基に学修し、理解する。また、実践力の育成という意味から、学生の参加型授業を取り入れ、講義を行う。道徳資料を基に、道徳的価値について分析し、指導案を作成する。模擬授業後、学生の相互評価を行い、改善策を考え、指導案を修正したり、授業を練り直したりする。 ※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。						
評価方法	理論的なものについては、テスト及びレポートで評価する。知識の習得については定期試験、実践的な目標については、発表態度、発表内容で評価する。授業では、テキストを熟読してくることを前提とする。 模擬授業(30%) 提出物(20%) 最終試験(50%) なお、実施した課題等については授業で補足説明する。						
履修条件・注意事項	毎時間の授業内容を効率的に理解し、発展できるようにするためにその時間の学習に必要な内容等について予習と復習が必須である。また、毎時間の授業の一部を使用して、その時間の学習の成果を創意・工夫を加えて、レポートとしてまとめる						
自己学習	予習 2時間 次回に学修する箇所を読んでくること 復習 2時間 学修した内容の課題を出すので要点をまとめておくこと						
オフィスワ-	木、金の4限目(個人研究室10309)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回: 道徳教育を学ぶ視点 第2回: 道徳教育とは 第3回: 戦前、戦後の道徳教育 第4回: 指導要領と道徳教育 第5回: 発達理論 第6回: 授業理論 第7回: 学校の道徳教育の構造 第8回: 道徳資料の読み方 第9回: 指導案の書き方 第10回: 教材研究、指導案作成 第11回: 模擬授業1(演習) 第12回: 模擬授業2(演習) 第13回: 総合単元的道徳学習 第14回: 構想表作成 第15回: 道徳教育における評価 第16回: 定期試験		講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 模擬授業 模擬授業 講義 講義・演習 講義 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上				
教科書 1	道徳教育を学ぶ人のために(四訂版) 著者:小寺正一他 編 出版社:世界思想社 ISBN:978-4-7907-1404-0						
教科書 2	中学校学習指導要領解説 道徳編 平成29年 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4-536-59004-4						
参考書 1	楽しく豊かな「道徳の時間」をつくる 著者:横山利弘 牧崎幸夫他 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07160-9						
参考書 2	私たちの道徳 著者:文部科学省 出版社:廣済堂あかつき株式会社 ISBN:978-4-331-75188-6						

授業科目名	道徳教育の理論と方法				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	川上 はる江					NO.	TC-NU-3-912
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義, 討論, 模擬授業
テーマと到達目標	道徳教育について、基礎理論を理解し、併せて実践的指導力を養う。 基礎理論としては、道徳の本質、道徳教育の歴史、道徳性の発達理論、道徳教育の役割と課題、道徳教育の授業理論について理解する。また、実践力については、道徳の時間の指導案作成、模擬授業、総合単元的な道徳学習の構想作成を通して、道徳の時間の指導法を身に付ける。						
概要	授業の概要 道徳教育の基礎知識である、道徳性の発達理論、教育理論、道徳教育の役割や意義をテキストを基に学修し、理解する。また、実践力の育成という意味から、学生の参加型授業を取り入れ、講義を行う。道徳資料を基に、道徳的価値について分析し、指導案を作成する。模擬授業後、学生の相互評価を行い、改善策を考え、指導案を修正したり、授業を練り直したりする。 ※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。						
評価方法	理論的なものについては、テスト及びレポートで評価する。知識の習得については定期試験、実践的な目標については、発表態度、発表内容で評価する。授業では、テキストを熟読してくることを前提とする。 模擬授業(30%) 提出物(20%) 最終試験(50%) なお、実施した課題等については授業で補足説明する。						
履修条件・注意事項	毎時間の授業内容を効率的に理解し、発展できるようにするためにその時間の学習に必要な内容等について予習と復習が必須である。また、毎時間の授業の一部を使用して、その時間の学習の成果を創意・工夫を加えて、レポートとしてまとめる						
自己学習	予習 2時間 次回に学修する箇所を読んでくること 復習 2時間 学修した内容の課題を出すので要点をまとめておくこと						
オフィスワ-	木、金の4限目(個人研究室10309)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回: 道徳教育を学ぶ視点 第2回: 道徳教育とは 第3回: 戦前、戦後の道徳教育 第4回: 指導要領と道徳教育 第5回: 発達理論 第6回: 授業理論 第7回: 学校の道徳教育の構造 第8回: 道徳資料の読み方 第9回: 指導案の書き方 第10回: 教材研究、指導案作成 第11回: 模擬授業1(演習) 第12回: 模擬授業2(演習) 第13回: 総合単元的道徳学習 第14回: 構想表作成 第15回: 道徳教育における評価 第16回: 定期試験		講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 模擬授業 模擬授業 講義 講義・演習 講義 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上				
教科書 1	道徳教育を学ぶ人のために(四訂版) 著者:小寺正一他 編 出版社:世界思想社 ISBN:978-4-7907-1404-0						
教科書 2	中学校学習指導要領解説 道徳編 平成29年 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4-536-59004-4						
参考書 1	楽しく豊かな「道徳の時間」をつくる 著者:横山利弘 牧崎幸夫他 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07160-9						
参考書 2	私たちの道徳 著者:文部科学省 出版社:廣済堂あかつき株式会社 ISBN:978-4-331-75188-6						

授業科目名	教育の方法と技術				履修期	2021年度 春学期	
担当者	片山 章郎、竹井 皓三					NO.	TC-NU-3-914
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業方針を考え、実践できるようになる。</p> <p>到達目標:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教育方法に関する基礎的理論及び実践の理解 2.授業を構成する諸要素についての理解 3.子どもの学習の観点から授業デザインをする方法の理解 4.主体的・対話的で深い学びとは何か、またそれが求められる背景の理解 5.情報機器を活用した効果的な授業方法についての理解 6.メディアリテラシーについて理解し、その育成の手法を考えられる 7.上記を活用して学習指導方針を作成することができる 						
概要	<p>本講義では、今後の学校教育に求められる主体的・対話的で深い学びを考え、そのための具体的な手法を学ぶ。授業にかかわる様々な要素について学習するが、特にアクティブ・ラーニングを中心に取り上げ、その背景にある社会観・教育観を検討する。著名な教育実践について学ぶだけでなく、現代の教育課題の一つでもある高度情報化社会への教育的対応という観点からメディアリテラシーについて学習する。そして、実際に情報機器を使った授業実践の在り方を学び、実際に情報機器を使った授業方針の作成も行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目: この科目は初等教育の実務経験のある教員と電算部で職場のICTの導入を担当してきた教員が担当し、今後の教育の方法や技術を講義したり、実践したりして理解を深める。</p>						
評価方法	<p>アクティブ・ラーニング型の授業への積極的・協働的参加態度と、課題に対して調べてまとめたものに加えて、当日の講義のポイントとそれに対する意見も記入するレポートを合わせて20%。知識の修得度を確認するための筆記試験が80%。 なお、評価のために実施するレポートは授業でフィードバックするので、フィードバック後の内容をしっかり復習すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>反転授業の一環としてのレポート課題は初回の授業で配布する資料にすべて提示している。したがって、事前によく課題について調べておくこと。 参加型学習であるので、グループ討議や発表がある。グループ討議では積極的かつ協働的に参加し、発表ではプレゼンテーション能力を磨くこと。</p>						
自己学習	<p>アクティブ・ラーニングや反転授業を実施するので、予習が必須である。かつ、参加型学習による授業内容と授業でフィードバックされたレポートの内容を確実に理解するために復習をしっかりと行うこと。予習に30時間と復習に30時間要する。</p>						
オフィスワ-	講義終了後に実施。片山は2号館4階242研究室。竹井は6号館1階講師控室。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 授業の概要と教育の方法・技術の基礎認識		講義	竹井				
第2回 授業におけるデジタル技術の利用の現状(マルチメディアも含む)		講義	片山				
第3回 アクティブ・ラーニングや反転授業について		講義・AL	片山				
第4回 情報機器の活用能力育成のための教育手法		講義	片山				
第5回 教育活動におけるメディアリテラシーの重要性		講義・AL	竹井				
第6回 授業における動機付け理論と場の理論		講義・AL	竹井				
第7回 授業におけるICTの利用の現状		講義・AL	片山				
第8回 アクティブ・ラーニングにおけるメディアとコミュニケーション		講義・AL	片山				
第9回 LMSの種類とコンテンツの種類(著作権も含む)		講義	片山				
第10回 LMSの今後(AIも含む)		講義・AL	片山				
第11回 Eラーニングの利用と課題(1) 授業運営手法		講義・AL	竹井				
第12回 Eラーニングの利用と課題(2) 理解度の分析		講義・AL	竹井				
第13回 学習ソフトの現状と今後について		講義・AL	片山				
第14回 情報機器と教材を活用した授業案		講義・AL	片山				
第15回 授業改善と教育評価の在り方及びまとめ		講義	竹井				
第16回 単位認定試験		筆記試験	片山竹井				
教科書 1	作成資料(初回授業時に配布)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	教育の方法と技術				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	片山 章郎、竹井 皓三					NO.	TC-NU-3-914
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業方針を考え、実践できるようになる。</p> <p>到達目標:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教育方法に関する基礎的理論及び実践の理解 2.授業を構成する諸要素についての理解 3.子どもの学習の観点から授業デザインをする方法の理解 4.主体的・対話的で深い学びとは何か、またそれが求められる背景の理解 5.情報機器を活用した効果的な授業方法についての理解 6.メディアリテラシーについて理解し、その育成の手法を考えられる 7.上記を活用して学習指導方針を作成することができる 						
概要	<p>本講義では、今後の学校教育に求められる主体的・対話的で深い学びを考え、そのための具体的な手法を学ぶ。授業にかかわる様々な要素について学習するが、特にアクティブ・ラーニングを中心に取り上げ、その背景にある社会観・教育観を検討する。著名な教育実践について学ぶだけでなく、現代の教育課題の一つでもある高度情報化社会への教育的対応という観点からメディアリテラシーについて学習する。そして、実際に情報機器を使った授業実践の在り方を学び、実際に情報機器を使った授業方針の作成も行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目: この科目は初等教育の実務経験のある教員と電算部で職場のICTの導入を担当してきた教員が担当し、今後の教育の方法や技術を講義したり、実践したりして理解を深める。</p>						
評価方法	<p>アクティブ・ラーニング型の授業への積極的・協働的参加態度と、課題に対して調べてまとめたものに加えて、当日の講義のポイントとそれに対する意見も記入するレポートを合わせて20%。知識の修得度を確認するための筆記試験が80%。なお、評価のために実施するレポートは授業でフィードバックするので、フィードバック後の内容をしっかり復習すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>反転授業の一環としてのレポート課題は初回の授業で配布する資料にすべて提示している。したがって、事前によく課題について調べておくこと。参加型学習であるので、グループ討議や発表がある。グループ討議では積極的かつ協働的に参加し、発表ではプレゼンテーション能力を磨くこと。</p>						
自己学習	<p>アクティブ・ラーニングや反転授業を実施するので、予習が必須である。かつ、参加型学習による授業内容と授業でフィードバックされたレポートの内容を確実に理解するために復習をしっかりと行うこと。予習と復習には各2時間程度要する。</p>						
オフィスワ-	<p>講義終了後に実施。片山は2号館4階242研究室。竹井は6号館1階講師控室。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<p>第1回 授業の概要と教育の方法・技術の基礎認識</p> <p>第2回 授業におけるデジタル技術の利用の現状(マルチメディアも含む)</p> <p>第3回 アクティブ・ラーニングや反転授業について</p> <p>第4回 情報機器の活用能力育成のための教育手法</p> <p>第5回 教育活動におけるメディアリテラシーの重要性</p> <p>第6回 授業における動機付け理論と場の理論</p> <p>第7回 授業におけるICTの利用の現状</p> <p>第8回 アクティブ・ラーニングにおけるメディアとコミュニケーション</p> <p>第9回 LMSの種類とコンテンツの種類(著作権も含む)</p> <p>第10回 LMSの今後(AIも含む)</p> <p>第11回 Eラーニングの利用と課題(1) 授業運営手法</p> <p>第12回 Eラーニングの利用と課題(2) 理解度の分析</p> <p>第13回 学習ソフトの現状と今後について</p> <p>第14回 情報機器と教材を活用した授業案</p> <p>第15回 授業改善と教育評価の在り方及びまとめ</p> <p>第16回 単位認定試験</p>			<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>筆記試験</p>	<p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>片山竹井</p>
教科書 1	作成資料(初回授業時に配布)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	生徒・進路指導論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 和郎				NO.	TC-NU-3-915	
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】生徒指導、進路指導及びキャリア教育の意義や原理を学び学校組織の一員として生徒指導、進路指導及びキャリア教育を進めていくために必要な知識・技術や素養を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒指導の意義や原理を理解することができる。 2 すべての生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 3 生徒の抱える主な生徒指導上の課題の態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 4 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 5 すべての生徒を対象としたキャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 6 生徒が抱える個別のキャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。 						
概要	<p>生徒指導は、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる重要な教育活動であり、キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むための教育活動である。授業では、生徒指導の目標や生徒指導の機能を捉え直した上で、生徒指導の今日的課題を踏まえた実践について知識・理解を深める。また、キャリア教育及びそれに含まれる進路指導について意義や原理などを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する) [授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する) レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスアワー	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 生徒指導の意義と原理	講義・AL	藤井					
2. 学校における生徒指導体制、教育相談	講義・AL	藤井					
3. 生徒指導に関する法制度等、学校と家庭・地域・関係機関との連携	講義・AL	藤井					
4. 生徒指導の進め方(児童生徒全体への指導)	講義・AL	藤井					
5. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:問題行動)	講義・AL	藤井					
6. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:不登校)	講義・AL	藤井					
7. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:いじめ)	講義・AL	藤井					
8. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:発達障害)	講義・AL	藤井					
9. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:児童虐待)	講義・AL	藤井					
10. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:愛着障害)	講義・AL	藤井					
11. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:性的マイノリティ)	講義・AL	藤井					
12. キャリア教育とは何か	講義・AL	藤井					
13. 中学校におけるキャリア教育推進のために	講義・AL	藤井					
14. 中学校におけるキャリア教育の実践	講義・AL	藤井					
15. 生徒指導の今後の方向性	講義・AL	藤井					
16. 試験	筆記試験	藤井					
教科書 1	<p>生徒指導提要 著者:文部科学省</p>						

	出版社:教育図書 ISBN:978-4-87730-274-0
教科書 2	中学校キャリア教育の手引き 著者:文部科学省 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-30026-9
参考書 1	中学校学習指導要領(平成29年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房
参考書 2	高等学校学習指導要領(平成30年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房

	出版社:教育図書 ISBN:978-4-87730-274-0
教科書 2	中学校キャリア教育の手引き 著者:文部科学省 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-30026-9
参考書 1	中学校学習指導要領(平成29年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房
参考書 2	高等学校学習指導要領(平成30年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房

授業科目名	教育相談の基礎			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	津川 秀夫				NO.	TC-NU-1-916	
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する</p>						
概要	<p>学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。 実務経験:心理臨床経験(小・中・高におけるスクールカウンセリング、教育研究所における教育相談)を有する教員が、学校現場において役立つ視座と相談技法について授業を行う。</p>						
評価方法	<p>単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意(私語、居眠り、スマートフォンの使用等)が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点(80%)、授業への参加態度(20%)にて評価する。小テストやレポートの課題や個別の得点について適宜フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>教職科目を履修することを自覚し、「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。</p>						
自己学習	<p>できるだけ早い時期に、指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ1時間を要する。</p>						
オフィスアワー	水曜日3時限、個人研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談とは 2. 教師に求められる臨床的視点:指導と相談の相違点 3. 子どもの発達課題と教育相談 4. 特別支援教育と教育相談①:知的能力障害 5. 特別支援教育と教育相談②:自閉スペクトラム症 6. 特別支援教育と教育相談③:注意欠如多動症、限局性学習症 7. 問題行動と教育相談①:オペラント条件づけ 8. 問題行動と教育相談②:問題行動の機能 9. 問題行動と教育相談③:不登校 10. 問題行動と教育相談④:いじめ 11. 予防・開発的取り組みと教育相談①:ストレングスモデル 12. 予防・開発的取り組みと教育相談②:ゴールづくり 13. 予防・開発的取り組みと教育相談③:例外さがし 14. チーム学校①:守秘義務と情報共有 15. チーム学校②:連携 16. 定期試験 	<p>講義 AL</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>AL</p> <p>講義 講義</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL 筆記試験</p>	<p>津川 津川</p> <p>津川 津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川 津川 津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川 津川</p>		
教科書 1	<p>ポジティブ認知行動療法 出版社:北大路書房</p>						
教科書 2	<p>メリットの法則 出版社:集英社</p>						
参考書 1	<p>生徒指導提要 出版社:教育図書</p>						
参考書 2	<p>よくわかる教育相談 出版社:ミネルヴァ書房</p>						

授業科目名	教育相談の基礎				履修期	2021年度 春学期		
担当者	津川 秀夫					NO.	TC-NU-1-916	
配当学科	看護				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する</p>							
概要	<p>学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。 実務経験:心理臨床経験(小・中・高におけるスクールカウンセリング、教育研究所における教育相談)を有する教員が、学校現場において役立つ視座と相談技法について授業を行う。</p>							
評価方法	<p>単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意(私語、居眠り、スマートフォンの使用等)が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点(80%)、授業への参加態度(20%)にて評価する。小テストやレポートの課題および個人の得点については適宜フィードバックを行う。</p>							
履修条件・注意事項	<p>教職科目を履修することを自覚し、「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。</p>							
自己学習	<p>できるだけ早い時期に、指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ2時間を要する。</p>							
オフィスワ-	<p>月曜日4時限、個人研究室</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1. 教育相談とは 2. 教師に求められる臨床的視点:指導と相談の相違点 3. 子どもの発達課題と教育相談 4. 特別支援教育と教育相談①:知的能力障害 5. 特別支援教育と教育相談②:自閉スペクトラム症 6. 特別支援教育と教育相談③:注意欠如他動症、限局性学習症 7. 問題行動と教育相談①:オペラント条件づけ 8. 問題行動と教育相談②:問題行動の機能 9. 問題行動と教育相談③:不登校 10. 問題行動と教育相談④:いじめ 11. 予防・開発的取り組みと教育相談①:ストレングスモデル 12. 予防・開発的取り組みと教育相談②:ゴールづくり 13. 予防・開発的取り組みと教育相談③:例外さがし 14. チーム学校:守秘義務と情報共有 15.まとめ	講義 AL 講義 講義 講義 講義 講義 AL 講義 講義 AL AL AL AL 講義	津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川						
教科書 1	<p>リットの法則 出版社:集英社</p>							
教科書 2								
参考書 1	<p>生徒指導提要 出版社:教育図書</p>							
参考書 2	<p>よくわかる教育相談 出版社:ミネルヴァ書房</p>							

授業科目名	教育実習指導				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 菜月					NO.	TC-NU-3-917		
配当学科	看護				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	高等学校(看護)の教育実習に必要な学校教育における基本的な事項と態度を学ぶ。看護科の高等学校生徒の発達段階に応じた学習指導ができるようになることを目指す。 高等学校の看護教育の歴史を踏まえて意義を理解し、法的根拠に沿った教育活動を理解し、学習指導要領に準拠した専門教科の学習指導と指導上の留意点が理解できる。								
概要	教育実習に臨むための基本的な知識と態度を学ぶ。看護教育の歴史的背景から現状と課題を学び、看護教育全体の中での教育的意義を確認させ、看護教員としての自覚と責任の意識化を図る。文科省の学習指導要領解説を用い、教科としての高等学校看護の目的と内容を教授し、カリキュラムの理解を図る。また、看護教育に欠かせない臨地実習の指導の在り方について学ばせる。教員として現職で勤務している先輩から看護教員として必要な学習や教育実習の心構えについて学ぶ機会も設ける。教育実習中の指導に活かせるよう、教育法規と学校組織・生徒指導の基本的事項の理解の定着を図る。 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。								
評価方法	受講態度(40%)、課題レポート(20%)、試験(40%)の割合で総合的に評価する。								
履修条件・注意事項	教育実習を行うための必須科目である。単位取得をしないと教育実習の履修はできない。 教育職員という自覚を高めるためにも遅刻・欠席は厳しく対処する								
自己学習									
オフィスワ-	講義終了後								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション			1.講義	1.清水					
2.教育実習ガイダンス			2.講義	2.清水					
3.教育実習の内容と実習の進め方			3.講義	3.清水					
4.学習指導要領における教科看護の理解			4.講義と演習	4.清水					
5.学習指導要領における教科看護の理解及び生徒理解			5.講義	5.清水					
6..看護科の目標とカリキュラムについて			6.講義	6.清水					
7.学校と組織活動、危機管理			7.講義	7.清水					
8.臨地実習の指導と方法について			8.講義演習	8.清水					
9.生徒指導の実際			9.講義と演習	9.清水					
10.看護臨地実習指導の方法と実際			10.講義と演習	10.清水					
11.学級経営の進め方			11.講義と演習	11.清水					
12.授業の進め方①			12.講義と演習	12.清水					
13.授業の進め方②演習を伴う授業			13.講義と演習	13.清水					
14.教育実習に向けて プレゼン			14.講義	14.清水					
15.試験			15.試験	15.清水					
教科書 1	高等学校学習指導要領解説 看護編 著者:文部科学省 出版社:東山書房								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

Syllabus

保健医療福祉学部 看護学科

2018 年度入学生

吉備国際大学

授業科目名	微生物学 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	長町 榮子					NO.	HS-NU-1-113		
配当学科	看護				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	学生は、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識について学ぶことができる。学生は広範なる微生物の知識を理解し、さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査、新興感染症、感染症法の分類と疾患等の専門的知識を習得することができる。								
概要	看護専門職に必要な専門的知識を習得させるために、広範なる微生物の知識を十分に納得させる。さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査等の知識を教授し、専門的知識を体得させる。また、現代医療に不可欠な免疫に関する知識を、基礎から応用まで幅広く講義する。すなわち、病原微生物の生態、感染の概念と生体反応(免疫反応)を理解し、細菌、ウイルス、リケッチア、真菌等の病原性、感染経路、感染症の治療等について学ぶ。医療現場において重要である消毒、滅菌法に関する知識、新興感染症(重症急性呼吸器症候群、鳥型インフルエンザのヒト感染等)、感染症法の分類と疾患等についても教授する。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。								
評価方法	試験の成績(80%)を中心に、授業態度(10%)、課題レポート等(10%)による総合評価を行う。								
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。								
自己学習	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。								
オフィスアワー	水曜日3限目、6号館4階長町研究室(6425号室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.序論、細菌の分類と命名法、細菌の形態 2.細菌の増殖、細菌の変異と遺伝 3.感染と発症、感染症の診断 4.消毒と滅菌 5.化学療法 6.院内感染とその対策 7.グラム陽性通性嫌気性および好気性球菌 8.グラム陰性通性嫌気性桿菌真菌学総論 9.らせん菌群 10.グラム陰性好気性桿菌・球菌 11.グラム陽性好気性および通性嫌気性桿菌 12.偏性嫌気性菌 13.マイコプラズマ他 14.リケッチア、クラミジア 15.口腔細菌 16.試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町					
教科書 1	シンプル微生物学 著者:小熊惠二、堀田 博他著 出版社:南江堂 ISBN:978-4-524-25483-5								
教科書 2									
参考書 1	標準微生物学 著者:平松啓一、山西弘一他著 出版社:医学書院 ISBN:4-260-10445-4								
参考書 2									

授業科目名	公衆衛生学 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-1-116
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	公衆衛生活動の目的は、その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。この科目で学生は、上記の公衆衛生の基本的考え方が身につくことが目標である。 保健師助産師看護師法第1条には、「この法律は、保健師、助産師及び看護師の資質を向上し、もって医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。」とあり、公衆衛生学は看護師における必須分野であることから国家試験にも必出分野である。						
概要	公衆衛生活動では、疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度や技術があり、それらを公衆衛生学Ⅱとともに学ぶ。この科目では、公衆衛生の総論的なもの、基礎的考え方を主要なトピックスを中心として学習し、資料を用いて講義を行う。教科書は、公衆衛生の体系や詳細の整理のために用いる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。						
評価方法	期末の定期試験(50%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(50%)で評価する。授業時にアンケートを行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。						
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。						
自己学習	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補う必要がある。						
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 公衆衛生とは、社会と健康 2. ライフスタイルと健康 3. 行動経済学 4. 公衆衛生を担う機関 5. ソーシャルキャピタル 6. 環境と健康 7. 医療制度 8. レポート発表		講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 演習	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬				
教科書 1	公衆衛生—健康支援と社会保障制度(2)14版 著者:神馬 征峰ら 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-03574-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保健医療福祉概論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	森信 繁、松原 浩一郎、岩田 美幸、田中 富子、中角 祐治、井上 茂樹、服部 俊夫、竹崎 和子、福岡 美和、高橋 淳、石田 敦					NO.	HS-NU-1-120
配当学科	保健医療福祉学部			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは、国民が安心して生活していくために重要な「社会保障」について、保健医療福祉の専門職が協力して遂行していることを理解することである。</p> <p>到達目標は、各学科の学生が、医師、看護師、保健師、助産師、理学・作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員などの仕事内容が理解できること、そして医療福祉施設の現状を知り、多職種連携のありかたについて理解を深めることである。</p>						
概要	<p>医療技術の進歩により、これまで治せなかった疾病が治せるようになっていく反面、高齢化の進展により、医療だけでは解決できない問題が増えている。これらの状況に対応するためには、多職種連携が必要である。</p> <p>授業では、医師、看護師、保健師、助産師、理学・作業療法士、社会福祉士、介護支援専門員の資格を有し、実務経験のある教員が順に講師となり、それぞれの経験に基づき、日本の保健医療福祉の現状を説明する。学生は、それぞれの仕事内容を理解し、チームアプローチできるようになる。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目</p> <p>この科目では、医学・看護学・リハビリテーション医学・社会保健福祉学などの領域の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	レポートで評価する。レポートのテーマは保健医療福祉に関することとし、各自が自分で設定する。そして、関連する文献を3つ以上読み、それらの要約と自分の考えを千字程度にまとめる。具体的な書き方と評価基準の詳細は、最初の授業時間に提示する。						
履修条件・注意事項	他職種の話しを聞ける絶好の機会なので、積極的に授業に参加してもらいたい。						
自己学習	保健医療福祉の現場にチームの一員として参加している自分を思い描いてほしい。また、チームの一員になるためにこれから学習していくべきことを整理してほしい。講義の内容に合わせて終了時に、課題を提示する。課題について予習・復習に2時間を要す。						
オフィスワ-	木曜2限、6号館4階6401研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. メンタルヘルスと多職種連携 2. 国際保健 3. 看護師の仕事内容 4. 保健師の仕事内容 5. 助産師の仕事内容 6. 理学療法士の仕事内容 7. 作業療法士の歴史と仕事内容 8. 福祉職の歴史と仕事内容 9. 日本の福祉制度と将来展望 10. 在宅支援の連携ネットワーク 11. 保健所の役割と業務 12. 救急医療 13. 先進医療 14. 医療現場の課題 15. 医療現場の将来展望		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	森信 服部 竹崎 田中 福岡 井上 岩田 松原 石田 外部講師 中瀬 中角 高橋 中角 森信				
教科書 1	適宜、資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	生活援助論Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	澤田 和子、掛谷 益子、清水 菜月					NO.	HS-NU-1-205
配当学科	看護				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	<p>〈テーマ〉 患者をとりまく外部環境をいつも安全で快適な状態に整えておくことは、すべての看護実践の基本である。人は本来自分の力で自分なりの環境・姿勢と体位・移動などを適切に調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。</p> <p>〈到達目標〉 1. 環境を多角的にとらえ、患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 (自立度に応じた病室・病床の整備・ベッドメイキング) 2. ボディメカニクスの基本原則を理解し、対象者・看護者双方が安楽・安全な体位で、効果的・効率的にケアを実践する基本的方法を習得する。 (安楽な体位を保持する技術・体位と身体に及ぼす影響の理解) 3. 対象に応じた方法の選択と実施ができる。 (体位変換および立位と歩行の援助・車椅子やストレッチャーによる移送・移動)</p>						
概要	<p>健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を旨とした目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する環境整備・体位・体位の保持・移動・移送についての具体的な援助技術を学ぶ。</p> <p>この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	筆記試験(60%)実技試験(20%)課題レポート(10%)受講態度(10%)で評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。課題レポート、所感は期限厳守で提出する。						
自己学習	1)演習前は演習内容についての予習を行う。 2)演習後は復習として、演習した結果について、予習したレポートに追加で記入し提出する。レポートについて不明な点があれば質問すること。						
オフィスワ-	研究室にて平日昼休憩時間(12:40~13:30)に実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 療養生活の環境	1.講義	1.澤田					
2. 病室の環境のアセスメント	2.演習	2.澤田・掛谷					
3. 援助の実際:ベッド周囲の環境整備、病床を整える	3.演習	3.澤田・掛谷					
4. ベッドメイキング	4.演習	4.澤田・掛谷					
5. ベッドメイキング(総合演習)	5.演習	5.澤田・掛谷					
6. ベッドメイキング実技試験	6.演習	6.澤田・掛谷					
7. 基本的活動の基礎知識	7.講義	7.澤田					
8. よい姿勢・体位・ボディメカニクス	8.演習	8.澤田・掛谷					
9. 体位と体位変換	9.演習	9.澤田・掛谷					
10. 移動①ベッド上における移動	10.演習	10.澤田・掛谷					
11. 移動②車椅子・ストレッチャ-	11.演習	11.澤田・掛谷					
12. 移動③担架・松葉杖他	12.演習	12.澤田・掛谷					
13. 移動④総合演習	13.演習	13.澤田・掛谷					
14. 苦痛の緩和・安楽確保の技術	14.講義	14.澤田					
15. 罨法	15.演習	15.澤田・掛谷					
16. 単位認定試験	16.試験	16.澤田					
教科書 1	基礎看護技術Ⅱ 著者:藤崎 郁 川村治子 出版社:医学書院						
教科書 2							

参考書 1	ナーシンググラフィカ・基礎看護技術 出版社:メディカ出版
参考書 2	

授業科目名	成人看護学Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	門倉 康恵、飯田 尚美、柘野 浩子					NO.	HS-NU-3-304
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	健康レベルと治癒過程と回復のプロセスを理解することができる。 周手術期・回復期・リハビリ期にある成人の看護、また、がん看護と終末期における成人の特徴、病態生理、機能障害、治療、心理状況および社会的変化を理解し、看護につなげることができる。						
概要	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱに連動する科目であり、周手術期・慢性期にある成人の看護に焦点を当てる。 成人に必要な基本的援助技術、看護展開について講義を通して学ぶ。 健康レベルと治癒過程と回復までにおける看護の継続性について学び、看護師の役割を考える。 この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、周術期看護及びがん看護の経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	筆記試験(100%)で評価する。 評価の詳細については、第一回目の授業時に説明する。 なお、講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。 詳細は第一回目の授業で全体計画の説明をする。						
自己学習	各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、大切な部分にはマーカーを引き、理解できない部分をまとめて授業を受ける。 授業ごとに教科書を読み、ノートをまとめておく。						
オフィスアワー	水曜日2時限目：6号館4階 研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1 授業ガイダンス 周手術期看護①(術前の看護)		1. 講義	1.門倉				
2 周術期看護②(術中の看護)		2. 講義	2.門倉				
3 周術期看護③(術後の看護)		3. 講義	3.門倉				
4 周術期看護④(術後合併症)		4. 講義	4.門倉				
5 退院支援、回復期・リハビリ期看護		5. 講義	5.飯田				
6 がん看護概論		6. 講義	6.門倉				
7 周術期看護各論①胃がん		7. 講義	7.門倉				
8 周術期看護各論②大腸がん		8. 講義	8.門倉				
9 周術期看護各論③胆肝臓		9. 講義	9.門倉				
10 周術期看護各論④腎がん		10. 講義	10.門倉				
11 周術期看護各論⑤肺がん		11. 講義	11.門倉				
12 周術期看護各論⑥乳がん		12. 講義	12.門倉				
13 周術期看護各論⑦子宮がん		13. 講義	13.門倉				
14 緩和ケア		14. 講義	14. 門倉				
15 周術期演習		15. 演習	15.門倉・飯田・柘野				
16 筆記試験・周術期看護まとめ		16. 試験	16. 門倉・柘野・飯田				
教科書 1	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 臨床外科看護各論 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学概論 系統看護学講座 消化器⑤ 腎泌尿器⑧ 呼吸器② 女性生殖器⑨ 出版社:医学書院						
教科書 2	緩和ケア 成人看護学⑥ 著者: 出版社:ナーシンググラフィカ						
参考書 1	疾患別 看護過程の展開 第5版 著者:看護過程に沿った対症看護 出版社:学研 ISBN:学研						
参考書 2	術前・術後の看護ケア～周術期看護の基礎知識から退院支援まで～ 出版社:ナツメ社						

授業科目名	成人看護学V			履修期	2021年度 春学期		
担当者	柘野 浩子、飯田 尚美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-3-306
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義、演習
テーマと到達目標	健康障害のある成人期の患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、患者に必要な看護援助を行うための基礎的な知識と技術を学修する。 急性期・慢性期の事例について看護展開を通して、成人期の看護の理解を深め、実践的な能力を身につける。						
概要	1) 健康障害をきたす各機能の解剖生理および病態の理解を深めるとともに看護援助について理解する。具体的には血液、脳神経・筋、感覚器、運動、糖尿病、腎、内分泌の各機能障害の看護について学ぶ。 2) 各論実習を視野に入れ、看護過程の展開をG.Wを行い発表する。 この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	終講試験 80% 課題学習(事前課題含む) 20% を合わせて評価する						
履修条件・注意事項	各授業では小テストを行う場合もあり。必ず予習・復習を行い授業に参加すること。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。 詳細は第一回目の授業で全体計画の説明をする。						
自己学習	各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、大切な部分にはマーカーを引き、理解できない部分をまとめて授業を受ける。 授業ごとに教科書を読み、ノートをまとめておく。 事例による看護過程の演習では、課題について理解できるように自己でまとめて演習に自主的に取り組むこと。						
オフィスワ-	水曜2限 6号館4階・14号館6階の各教員研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1 ガイダンス、糖尿病患者の看護(一般論・対症看護)	1. 講義	担当者					
2 腎機能障害のある患者の看護(一般論・対症看護)	2. 講義	1. 門倉					
3 透析治療の必要な患者の看護(一般論・対症看護)	3. 講義	2. 門倉					
4 脳血管障害、神経・筋疾患のある患者の看護①(一般論)	4. 講義	3. 門倉					
5 脳血管障害、神経・筋疾患のある患者の看護②(対症看護)	5. 講義	4. 飯田					
6 脳血管障害、神経・筋疾患のある患者の看護③(対症看護)	6. 講義	5. 飯田					
7 感覚器機能障害のある患者の看護(一般論・対症看護)	7. 講義	6. 飯田					
8 内分泌・副腎機能障害のある患者の看護(一般論・対症看護)	8. 講義	7. 飯田					
9 血液・造血機能障害のある患者の看護①(一般論)	9. 講義	8. 柘野					
10 血液・造血機能障害のある患者の看護②(対症看護)	10. 講義	9. 柘野					
11 血液・造血機能障害のある患者の看護③(対症看護)	11. 講義	10. 柘野					
12 演習①事例展開(G.W・発表)	12.AL	11. 柘野					
13 演習②事例展開(G.W・発表)	13.AL	12. 柘野・門倉・飯田					
14 演習③事例展開(G.W・発表)	14.AL	13. 柘野・門倉					
15 演習④事例展開(G.W・発表)	15.AL	飯田					
16 まとめ 試験	16.まとめ・試験	14. 柘野・門倉・飯田					
教科書 1	系統看護学講座 成人看護学(2)(3)(5)(6)(7)(8)(9)(10) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 出版社:医学書院						
教科書 2	①疾患別看護過程の展開 第4版 ②看護過程に沿った対症看護 第5版						

	著者:①山口瑞穂子、関口恵子 監修 ②高木永子 監修 出版社:①学研 ②学研
参考書 1	病気がみえる(消化器、循環器、糖尿病・代謝・内分泌、呼吸器、脳・神経、腎・泌尿器、婦人科・乳腺外科) 出版社:メディックメディア
参考書 2	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(4)臨床看護総論 著者:香春 知永 他 出版社:医学書院

授業科目名	成人看護学実習 I				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	柘野 浩子、澤田 和子、飯田 尚美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-3-307
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	135	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>目的:成人期にある患者を総合的に理解し、健康レベルに応じた看護実践を通して看護過程を展開するための知識・技術・態度を修得する。</p> <p>目標:1. 成人期にある対象の特徴を理解し、健康レベルに応じた個別性のある看護過程の展開ができる。 2. 成人期にある対象を通して保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を理解できる。 3. 実習を通して自己を見つめ、専門職者としての倫理観・看護観を養う。</p>						
概要	<p>各実習病棟において、患者を受け持ち、指導者とともに看護を実施する。看護過程の展開においては、問題解決思考に基づき、情報の収集・アセスメント・関連図・看護目標と計画立案、実施と評価のプロセスを展開する。適宜、カンファレンスを開き、各々の学びを共有し看護内容を深める。</p> <p>この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし、実習現場において実践的に役立つ実習指導を行う。</p>						
評価方法	<p>実習の手引きの成人看護学実習 I 評価表に基づき評価を行う。 実習のための事前課題についても評価対象とする。</p> <p>事前課題は、フィードバックするので見直し・修正しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>臨床の場での実践を重視するので、出席は最低条件である。出席は、実習オリエンテーションから終了後のまとめまでを含む。患者のプライバシーの保護や人権尊重を重視するとともに、安全で安心のできる看護を展開すること。学生自身の健康管理も重要である。</p>						
自己学習	<p>成人看護学ⅢおよびⅤで提示される課題、成人看護学実習オリエンテーションで提示される各病棟における疾患について自己学習しておく。 実習中に実際に行う看護技術については、事前学習をしていなければ実施できない。</p>						
オフィスワ-	<p>適宜、必要時、面談を実施 各実習施設のカンファレンス室・控室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<p>1 実習内容は実習の手引き「成人看護学実習 I・II」に基づく。 2 臨地において患者を受け持ち看護の展開を行う。 3 成人看護学実習 I で実践した看護をグループ間で共有し、学びを深める。 4 成人看護学実習 I の病棟実習終了後、受け持ち患者の看護実践のまとめを行う。 5 成人看護学実習 I での事前課題レポートを作成する。</p> <p>*詳細については、看護学実習手引実習要綱「成人看護学実習 I・II」を用いて実習オリエンテーションを行う。</p>			実習	柘野 門倉 飯田 澤田 非常勤教員
教科書 1	看護過程の解体新書 著者:執筆 石川ふみよ 出版社:Gakken						
教科書 2	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 著者:総論:矢永勝彦・小路美喜子 各論:北島政樹・江川幸二 出版社:医学書院						
参考書 1	系統看護学講座 成人看護学(5)(8)(9)(10) 出版社:医学書院						
参考書 2	高齢者と成人の周手術期看護1・2 術中/術後の生体反応と急性期看護 第2版 著者:竹内登美子編著 出版社:医歯薬出版株式会社						

授業科目名	成人看護学実習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	柘野 浩子、飯田 尚美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-3-308
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	135	授業形態	実習
テーマと到達目標	健康障害をもつ成人期の患者の看護過程を通して、基礎的な看護実践能力と根拠に基づいた看護実践ができる能力を養う。また、対人関係を構築する能力を高めるとともに、看護実践の中でこれまで学んだ理論と知識・技術を統合することができる。						
概要	各実習病棟において1~2名の患者を受け持ち、指導者とともに看護を実施する。看護過程の展開においては、課題解決思考に基づき、情報の収集・アセスメント・関連図作成・看護目標と計画の立案、看護援助の実施と評価のプロセスを展開する。また、適宜カンファレンスを開き、学びの共有と看護内容の質を高める。 この科目は、臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし実習現場において実践的に役立つ実習指導を行う。						
評価方法	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)の評価表に基づき評価を行う。実習態度・実習記録などを評価基準にそって総合的に判断し評価する。						
履修条件・注意事項	臨床の場での実践を重視するので、出席は最低条件である。出席は、実習ガイダンスから実習終了後のまとめまでを含む。また、患者のプライバシーの保護や人権を尊重するとともに、安全で安心のできる看護を提供できるように努力する必要がある。さらに、学生自身の健康管理も重要である。						
自己学習	提示された事前学習に取り組むほか、実習中にも常に学習を続けること。						
オフィスワ-	実習前は水曜2限、実習中は各グループの指導教員が実習その他の相談を受ける。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習内容は「成人看護学実習手引き」に基づく。 2. 患者を受け持ち看護過程の展開を行う。 3. 実習終了後、受け持ち患者の看護実践のまとめを行う。 4. 課題レポートを作成する。 5. 実践した看護をグループで共有し、他グループとの合同カンファレンスを通して学びを深める。 <p>詳細については「成人看護学実習手引き」を用いてガイダンスを行う。</p>	実習	柘野 門倉 飯田 非常勤講師		
教科書 1	参考図書等は秋学期以降に指示する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	老年看護学Ⅱ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	岡本 さゆり、澤田 和子、一ノ瀬 公美、飯田 尚美					NO.	HS-NU-3-403
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	<p>(テーマ) 加齢によって生じる様々な変化を理解し、高齢者の生活・療養の場に応じた看護援助の方法について学習する。また、老年看護学の理論・知識・技術を踏まえ、健康の段階に応じた老年看護技術を習得する。</p> <p>(到達目標) 1. 高齢者に起こりやすい症候や高齢者特有の症状のあらわれ方について理解でき、それらに対する看護援助について理解できる。 2. 高齢者の健康障害や特有な疾患とそれらに対する看護について理解できる。 3. 高齢者のQOLを高める看護活動について理解できる。 4. 高齢者の健康段階に応じた日常生活援助技術を身に着けることができる。 5. 障害を持つ高齢者が日常生活に対応できるよう、高齢者とその家族に応じた看護活動について理解でき、看護過程の展開ができる。</p>						
概要	<p>講義を通して、老年期に特徴的な疾患や身体症状を理解し、身体的・精神的・社会的側面を幅広くとらえ、生活形態にあった援助を実践するために必要な知識を学ぶ。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療・福祉の現場における実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	試験60% 課題への取り組み・提出物40%						
履修条件・注意事項	<p>履修条件 ・課題に対する積極的な取り組みができる。 ・高齢者を敬う気持ちをもって取り組むことができる。 ・リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、お互いに学びを深め合う姿勢で挑むことができる。</p> <p>注意事項 ・初回の授業で授業計画の説明及び実習に向けた課題を提示します。計画的に課題をすすめていきましょう。 ・課題は期日までに提出してください。授業で使用する場合もあります。 ・講義・演習は状況により変更になる場合があります。</p>						
自己学習	<p>予定されている項目について予習しましょう。 随時小テストを実施します。復習をしておきましょう。</p>						
オフィスアワー	毎週水曜日2限または随時						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1.高齢者を取り巻く状況 ガイダンス 2.高齢者の特徴(身体的・心的・社会的)1 3.高齢者の特徴(身体的・心的・社会的)2 4.老年症候群1 5.老年症候群2 6.高齢者のヘルスアセスメント 7.高齢者に多い泌尿器系疾患と排泄ケア1 8.高齢者に多い泌尿器系疾患と排泄ケア2 9.認知症の理解と認知症サポーター養成1 10.認知症の理解と認知症サポーター養成2 11.高齢者コミュニケーション1 12.高齢者コミュニケーション2 13.高齢者とヘルスプロモーション1 14.高齢者とヘルスプロモーション2 15.高齢者と災害 16.健康逸脱からの回復を促す看護(課題確認) 17.高齢者に多い摂食嚥下障害のケア1 18.高齢者に多い摂食嚥下障害のケア2 19.高齢者に多い骨関節疾患と転倒予防 20.介護保険施設における看護師の役割 21.高齢者リハビリテーション 22.事例を用いた看護過程の展開1 23.事例を用いた看護過程の展開2 24.事例を用いた看護過程の展開3 25.高齢者の生活機能を整える看護1(課題用いて) 26.高齢者の生活機能を整える看護2(演習) 27.医療機関における高齢者の看護(老年実習Ⅰ) 28.高齢者施設における高齢者の看護	1講義 2講義・演習 3講義・演習 4講義 5講義 6講義 7講義 8講義 9講義 10講義・演習 11講義 12講義 13講義 14講義 15講義 16講義 17講義 18講義・演習 19講義 20講義 21講義 22講義 23講義 24講義 25講義・ 26講義演習 27講義 28講義 29講義 30講義 31筆記試験	1岡本 2岡本 3岡本 4岡本 5岡本 6岡本 7一ノ瀬 8一ノ瀬 9岡本 10岡本 11岡本 12岡本 13一ノ瀬 14一ノ瀬 15澤田 16岡本 17飯田 18飯田 19岡本 20学外講師 21岡本 22岡本 23岡本 24岡本 25岡本 26岡本 27岡本 28岡本 29岡本 30岡本 31岡本			

<p>(老年実習Ⅱ) 29.老年看護学のまとめ1(映画鑑賞) 30.老年看護学のまとめ2 31<試験></p>	
教科書 1	統計看護学講座専門Ⅱ老年看護学 著者:北川公子他 出版社:医学書院
教科書 2	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 「老年看護 病態・疾患論」 著者:鳥羽研二他 出版社:医学書院
参考書 1	根拠と事故防止からみた老年看護技術 著者:亀井智子 出版社:医学書院
参考書 2	

授業科目名	老年看護学実習 I			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	岡本 さゆり					NO.	HS-NU-3-404
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>目的 医療機関における老年看護実践において、加齢や疾病による健康課題を有する高齢者を受け持ち、高齢者特有の健康障害について理解を深め発達段階や健康状態に応じた看護が実践できる能力を養う。 また、看護実践を行う中で、チーム保健医療や家族との連携、社会福祉資源の活用について学び、チームの一員としての看護の役割について考える力を養う。</p> <p>目標 1. 高齢者を身体的・精神的・社会的側面から捉えることができる。 2. 対象となる高齢者の健康問題とそれによって由来する生活機能障害について理解でき、看護問題(看護の焦点)を明らかにする。 3. 高齢者のQOLが高められるよう支援できる。 4. 高齢者における継続看護の重要性を認識し、地域での生活に向けた看護や他職種との連携、家族への支援について理解できる。 5. 高齢者を援助するさまざまな場面の中で、学生自身の感情や態度を考察しながら、高齢者とのコミュニケーションをとることができる。 6. 看護実践をとらえて自己の高齢者観を養う。</p>						
概要	<p>入院中の受け持ち高齢患者のケアを通して、実習目標を達成するために、臨床指導者、看護スタッフ、教員の指導助言のもとに実習を進める。</p> <p>1) 学生1名の患者(利用者)を受け持ち、担当看護師・スタッフとともに看護・ケアを行う。 2) I 実習では、問題解決思考に基づいて看護問題を導き、ケア計画等は事前に指導者から助言を受け実施する。指導者との中間・最終カンファレンスで、助言・指導を受ける。 3) 受け持ち患者(利用者)だけでなく、同室者や短期入所者、デイサービス利用者など、他の患者(利用者)とも積極的に関わる。 4) 看護師・スタッフの援助場面にも積極的に参加・見学を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習であり、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療・福祉の現場における実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	教員評価・実習記録・実習態度・事前学習(70%)、出席状況(20%)、合同カンファレンスの内容(10%)をもとに総合的に評価します。						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習は、全出席を原則とする。 ・受け持ち高齢者への尊厳と敬意を常に意識する。 ・高齢者とコミュニケーションを通して、自己の対人援助職としての姿勢を振り返る。 ・看護・介護スタッフと連携を取り、安全・安楽なケアを提供できるよう努める。 <p>注意事項 状況により実習場所が変更となる可能性があります。</p>						
自己学習	<p>実習初日までに、事前学習について読み返し、基本的知識を身に付けておく。 実習中は、健康状態の維持に努める。 日々、実習での学びについて振り返りかえりと記録、翌日の実習計画を綿密に立て、実習に望む。</p>						
オフィスワ-	実習中は、必要時にいつでも連絡・報告できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			医療機関または学内にて、実習計画に沿って実習を行う 1週目:オリエンテーション、問題・計画立案カンファレンス、中間カンファレンス、看護活動の実践 2週目:看護活動の実践、最終カンファレンス	臨地実習	岡本 非常勤講師		
教科書 1	老年看護学概論・I・II で使用したテキスト						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	老年看護学実習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	岡本 さゆり					NO.	HS-NU-3-405
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>目的 介護老人保健施設または介護老人福祉施設で生活する高齢者とのかかわりを通して、老年期の身体的・心理的・社会的特徴や、コミュニケーションの方法について学び、高齢者のQOLの維持・向上を目指した老年看護を実践するために必要な能力を養う。 さらに、高齢者の生きてきた時代背景などを知ること、個を尊重した関わり大切さを理解し、高齢者・家族を取り巻く保健・医療・福祉の社会資源及び多職種との連携の実際を知り、施設での看護職の役割を学ぶ。</p> <p>目標 1. 加齢に伴って起こる変化が日常生活にどのような影響を及ぼしているか理解できる。 2. 高齢者の生活の場と日常生活に必要な援助を理解できる。 3. 多職種との連携・協働のあり方や保健・医療・福祉の連携の現状を理解し、看護の役割を考えることができる。 4. 高齢者を援助するさまざまな場面の中で、学生自身の感情や態度を考察しながら、高齢者とのコミュニケーションのとり方を学び、自己の課題を明確にできる。 5. 看護実践をとおして自己の高齢者観を養うことができる。</p>						
概要	<p>施設入所中の受け持ち高齢利用者のケアを通して、実習目標を達成するために、臨床指導者、ケアスタッフ、教員の指導助言のもとに実習を進める。</p> <p>1) 学生1名の患者(利用者)を受け持ち、担当看護師・スタッフとともに看護・ケアを行う。</p> <p>2) 受け持ち患者(利用者)だけでなく、同室者や短期入所者、デイサービス利用者など、他の患者(利用者)とも積極的に関わる。</p> <p>3) 看護師・ケアスタッフの援助場面にも積極的に参加・見学を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習であり、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療・福祉の現場における実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	教員評価・実習記録・実習態度・事前学習(70%)、出席状況(20%)、合同カンファレンスの内容(10%)をもとに総合的に評価します。						
履修条件・注意事項	<p>実習は、全出席を原則とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち高齢者への尊厳と敬意を常に意識する。 ・高齢者とコミュニケーションを通して、自己の対人援助職としての姿勢を振り返る。 ・看護・介護スタッフと連携を取り、安全・安楽なケアを提供できるよう努める。 <p>注意事項 状況により実習場所が変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>実習初日までに、事前学習について読み返し、基本的知識を身に付けておく。</p> <p>実習中は、健康状態の維持に努める。</p> <p>日々、実習での学びについて振り返りかえりと記録、翌日の実習計画を綿密に立て、実習に望む。</p>						
オフィスワ-	実習中は、必要時にいつでも連絡・報告できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<p>高齢者施設にて、実習計画に沿って実習を行う</p> <p>1週目:オリエンテーション、問題・計画立案カンファレンス、中間カンファレンス、看護活動の実践</p> <p>2週目:看護活動の実践、終了カンファレンス</p>			実習	岡本 非常勤講師
教科書 1	老年看護学概論・Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	小児看護学Ⅱ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	寺崎 智行					NO.	HS-NU-3-503
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	小児期の各期(新生児、乳児、学童、思春期)においてみられる疾患について、原因、病態生理、症状、経過、治療および予防の観点を学び、疾患をもつ小児特徴と治療および療養生活の看護援助、療育の方法と家族支援の方法について理解する。						
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児各期における成長と発達段階、各時期に特有な疾患について学ぶ。 2. 循環器疾患では、先天性ならびに後天性心疾患、特に川崎病、心筋症、不整脈の病態について学ぶ。 3. 消化器疾患では、先天奇形、食道・胃・小腸・大腸・直腸疾患、肝臓疾患について学ぶ。 4. 血液・造血疾患では主に貧血、白血病について学ぶ。 5. 腎臓・泌尿器疾患では、急性子宮体腎炎とネフローゼ症候群について学ぶ。 6. 神経疾患では、炎症性疾患、免疫性疾患、血管性疾患などを学ぶ。 7. 発達障害と社会生活の支援や難病についても学ぶ。 <p>これらの科目は、約半世紀にわたる地域の主総合病院での小児科診療に携わった経験に基づき、各疾患の含蓄のある知識の下に、実践的に役立つ授業を履行する。</p>						
評価方法	ミニテスト30%、定期試験70%に加え、授業態度も加味して総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	小児科疾患の病態生理に関心を持つこと。また、医療に関するニュースに関心をもつこと。授業前には必ず予習し、授業終了後はノートを整理すること。						
自己学習	学習した内容をその日のうちにまとめること。特に疑問やわからなかった点をチェックして調べておくこと。概ね1時間以上自己学習をすること。						
オフィスアワー	火曜日3限目、研究室にて。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器疾患(先天性、後天性) 2. 消化器疾患(幽門狭窄症など) 3. 消化器疾患(肝炎、胆道閉そく症、肝臓移植) 4. 血液疾患(貧血) 5. 血液疾患(白血病など) 6. 悪性腫瘍(神経芽細胞腫など) 7. 悪性腫瘍(脳腫瘍) 8. 腎臓・泌尿器疾患 9. 神経疾患(感染症、血管性疾患、免疫性疾患) 10. 神経疾患(痙攣性疾患など) 11. 神経筋難病 12. 発達障害(脳性麻痺) 13. 発達障害(発達遅滞、重症心身障害) 14. 発達障害(ADHD、多動など) 15. 発達障害等への支援 16. 定期試験 		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎				
教科書 1	小児臨床看護総論、小児看護学1・2 出版社:医学書院						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	小児看護学Ⅲ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	安福 真弓					NO.	HS-NU-3-504	
配当学科	看護				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマ:健康障害をもつ子どもと家族の看護 到達目標:健康障害をもつ子どもの身体的、精神的、社会的特徴や家族への影響、生活・療養するための看護について理解できる。</p>							
概要	<p>社会の変化や医療・看護の発展に伴って、小児看護の役割も大きく変化している。それらを考慮しつつ、疾病や障害が子どもと家族に与える影響、経過別看護の特徴や小児の特性を踏まえた症状の捉え方、検査や処置を受ける子どもの看護援助技術、外来や病棟における看護の役割について学ぶ。この科目は、近年の実習体験や長きにわたる臨床経験を持つ教員が、臨床において実践的に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	<p>最終試験(60%)、レポートや演習、ノート整理(40%)で評価を行います。なお、評価のために実施した試験やレポートなどについては、個別でフィードバックを行う。</p>							
履修条件・注意事項	<p>授業態度や出席状況も重視する。講義内での課題提示したものについては、提出期限を厳守のこと。日頃より、乳幼児の好きなテレビ番組やキャラクターについて興味関心をもって情報を得ておく。</p>							
自己学習	<p>示された範囲の教科書は熟読し講義に臨み、講義後はノート整理を行なうこと。予習・復習には2時間以上を要する。</p>							
オフィスワ-	<p>月曜2限(11:10~12:40)に個人研究室(6405)にて対応</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
1. 病気や入院が子どもに与える影響	講義	講義						
2. 急性期にある子どもと家族の看護 (1)発熱・嘔吐・下痢・脱水	講義	講義						
3. 急性期にある子どもと家族の看護 (2)呼吸困難・意識障害・けいれん	講義	講義						
4. 急性期にある子どもと家族の看護 (3)主な事故と外傷	講義	講義						
5. 周手術期の子どもと家族の看護	講義	講義						
6. 心疾患をもつ子どもと家族の看護	講義	講義						
7. 腎疾患をもつ子どもと家族の看護	講義	講義						
8. アレルギーをもつ子どもと家族の看護	講義	講義						
9. 糖尿病をもつ子どもと家族の看護	講義	講義						
10. 白血病をもつ子どもと家族の看護 (行動制限を受けるとは)	講義	講義						
11. 検査・処置を受ける子どもの看護 (1)概要・プレバレーションの意義	講義	講義						
12. 検査・処置を受ける子どもの看護 (2)演習	講義	講義						
13. 外来における子どもと家族の看護	講義	講義						
14. 災害における子どもと家族の看護	講義	講義						
15. 終末期の子どもと家族の看護	講義	講義						
16. 試験	AL	講義						
	講義	講義						
	講義	講義						
	講義	講義						
	講義	講義						
	試験	試験						
教科書 1	<p>系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 出版社:医学書院</p>							
教科書 2	<p>系統看護学講座 小児看護学[2] 小児看護各論 出版社:医学書院</p>							
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	小児看護学実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	安福 真弓					NO.	HS-NU-3-505
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>小児の発達各期の特徴や健康段階の特徴を理解し、健康障害の程度と発達段階に応じた個別的な看護ができることを目的とする。さらに小児を取り巻く保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割についても理解を深める。</p> <p>【小児病棟】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の身体的・精神的・社会的な発達段階について理解し、成長発達に応じた援助ができる。 2. 病気や入院が小児に及ぼす影響を理解し、適切な援助ができる。 3. 入院している小児の遊びの意義を理解し、適切な援助ができる。 4. 看護チームの一員としての責任を自覚し、小児の取り巻く環境と看護者のあり方が理解できる。 5. 保護者や家族のおかれた状況を理解し、適切な援助ができる。 <p>【小児外来】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外来を訪れる小児の健康障害や心理を理解し、適切な援助ができる。 2. 小児外来における看護の役割とその重要性が理解できる。 <p>【保育施設】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康な乳幼児の身体的・精神的・社会的な発達段階について理解できる。 2. 乳幼児期の成長・発達には個人差があることが理解できる。 3. 健康な乳幼児の基本的な生活習慣の自立状況を観察し、成長発達に応じた援助の必要性が理解できる。 4. 乳幼児の成長発達において保育園と家庭との連携の重要性が理解できる。 5. 乳幼児の保健・福祉行政など、小児をめぐる保育環境について理解できる。 						
概要	小児看護学実習(2週間)のうち、5日間は子どもの入院療養病棟や外来で、また、3日間は保育施設での観察、体験学習を組み合わせて行う。残り2日間は、学内での事前オリエンテーションや実習後のまとめとする(実習手引き参照)。なお、この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。						
評価方法	小児の発達各期の特徴理解、健康段階に応じた援助の必要性の理解と看護実践、実習記録内容、実習態度(カンファレンスへの参加状況も含む)等を含めて、総合的に評価を行う。具体的には、小児看護実習評価表に基づき評価を行う。						
履修条件・注意事項	臨床実習においては、原則として欠席を認めない。免疫力も未熟さを有する小児に関わるがゆえに、特に実習生自身の生活や体調面において、自己管理を十分に行いながら、実習に臨むことが必要となる。						
自己学習	臨床現場においては、小児看護学に限らず、解剖学、生理学、病理学、栄養学、薬理学、微生物学など専門基礎分野の知識も必要であり、これらを十分に活用し統合できるよう、日頃から既習事項は整理しておく必要がある。						
オフィスワ-	病棟や控室などで、適宜対応。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの入院療養病棟ならびに小児科外来(5日間) 病棟実習では、原則1学生1名の小児を中心に受持ち、ベッドサイドでの観察や病棟の記録などを通して看護に必要な情報をとらえ、看護計画を立案し、小児に応じた看護を実践する。入院患児の状況によっては、小児科外来で診察や検査・処置などの介助を通して、行われていることへの意味付けやホームケアについても学ぶ。 2. 保育施設(3日間) 園で行われるすべての保育活動に積極的に参加して、子どもの発達を促進させる援助を保育者と共に実践する。 3. 学内実習(2日間) 小児看護学実習直前オリエンテーション(8月)・まとめの会(2月) 	実習	安福		
教科書 1	小児関連の授業で使用したテキストや配布されたプリント						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	母性看護学Ⅱ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	福岡 美和					NO.	HS-NU-3-603	
配当学科	看護				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義	
テーマと到達目標	1. 妊婦の身体的特性、心理的・社会的特性をふまえた援助を理解する。 2. 産婦の分娩の経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化をふまえた援助を理解する。 3. 新生児の生理的变化をふまえ、健康な発達への援助を理解する。 4. 褥婦の身体的特性、心理・社会的特性をふまえた援助を理解する。 5. 妊婦・産婦・新生児・褥婦のハイリスクや異常時の援助を理解する。							
概要	周産期(妊娠・分娩・産褥)と新生児期における、正常経過と異常経過における看護を学ぶ。担当者は看護師、助産師としての臨床経験があり、また教育機関での経験があるため、母性看護学について精通している。							
評価方法	授業中の小テスト(10%)、課題レポート(10%)、講義終了後の筆記試験(70%)、受講態度(10%)							
履修条件・注意事項	骨盤模型、ファントム、乳房マッサージ用モデルなどのシミュレーターやモデル人形を使用し講義をする。看護実習室で技術演習を行い、参加態度も評価する。							
自己学習	必ず予習、復習を行い講義に参加すること。技術演習では、実習で実践する看護技術であるため、予習復習を行い、積極的に演習に参加すること。事例演習についても、積極的に参加すること。							
オフィス-	月曜日 1時限目・2時限目 14403号室							

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. 妊娠期における看護①(妊娠期の身体的特性)	講義	福岡			
2. 妊娠期における看護②(妊娠期の心理社会的特性)	講義	福岡			
3. 妊娠期における看護③(妊婦と胎児のアセスメント)	講義	福岡			
4. 妊娠期における看護④(妊婦と家族の看護)	講義	福岡			
5. 分娩期における看護①(分娩の要素、経過、アセスメント)	講義	福岡			
6. 分娩期における看護②(産婦と家族の看護)	講義	福岡			
7. 新生児期における看護①(新生児の生理、アセスメント)	講義	福岡			
8. 新生児期における看護②(新生児の看護)	講義	福岡			
9. 産褥期における看護①(産褥経過)	講義	福岡			
10. 産褥期における看護②(褥婦のアセスメント)	講義	福岡			
11. 産褥期における看護③褥婦と家族の看護)	講義	福岡			
12. 産褥期における看護④(施設退院後の看護)	講義	福岡			
13. ハイリスク妊婦の看護①(ハイリスク産期の感染症)	講義	福岡			
14. ハイリスク妊婦の看護②(切迫流早産、妊娠高血圧症候群)	講義	福岡			
15. 異常のある産婦の看護、異常分娩時の産婦の看護①(帝王切開を受ける産婦の看護)	講義	福岡			
16. 異常のある産婦の看護、異常分娩時の産婦の看護②(異常出血のある産婦の看護)	講義	福岡			
17. 異常のある新生児の看護①(新生児仮死、低出生体重児)	講義	福岡			
18. 異常のある新生児の看護②(高ビリルビン血症)	講義	福岡			
19. 異常のある褥婦の看護①(子宮復古不全、発熱)	講義	福岡			
20. 異常のある褥婦の看護②(産後うつ病、乳房トラブル)	講義	福岡			
21. 妊娠・分娩期における看護技術①(演習:妊婦の計測、レオポルド触診法)	講義	福岡			
22. 妊娠・分娩期における看護技術②(演習:産痛緩和のための身体的ケア、ラマーズ法、胎盤計測)	演習	福岡			
23. 新生児期における看護技術(演習:新生児の計測)	演習	福岡			
24. 新生児期における看護技術(演習:沐浴)	演習	福岡			
25. 母性看護学における看護過程(対象把握、アセスメント)	講義	福岡			

26. 母性看護学における看護過程 (計画の立案から評価)	講義	福岡		
27. 事例による看護過程の展開① (事例紹介)	講義	福岡		
28. 事例による看護過程の展開② (新生児:アセスメント)	演習	福岡		
29. 事例による看護過程の展開③ (褥婦:計画立案)	演習	福岡		
30. 事例による看護過程の展開④ (新生児:計画立案)	演習	福岡		
31. 単位認定試験	筆記試験	福岡		
教科書 1	1. 森 恵美他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 2. 母性看護技術 3. ウェルネスからみた 母性看護過程 第3版: +病態関連図 著者: 井上裕美他 監修: 病気がみえる⑩産科 出版社: 1. 医学書院 2. 医学書院 3. 医学書院 ISBN: メディックメディア			
教科書 2	末岡 浩他: 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 出版社: 1. 医学書院			
参考書 1	末岡 浩他: 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器			
参考書 2				

授業科目名	母性看護学実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	福岡 美和					NO.	HS-NU-3-604
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>マタニティサイクルにある女性と児、その家族への適切な援助ができるための看護者としての基礎的能力およびj実際について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マタニティサイクルにある女性と児について妊娠・分娩・産褥期の身体心理社会的変化と経過を理解する。 2. マタニティサイクルにある女性と児、家族について健康上のアセスメントができる。 3. マタニティサイクルにある女性と児、家族の健康問題に応じた適切な看護援助が実践できる。 4. 正常経過をたどっている新生児について理解でき、その特徴に応じた看護援助が理解できる。 5. 女性のライフステージにおける各期の特徴と健康問題について理解する。 6. 女性のライフステージに応じて生じやすい健康問題に対して看護援助が提供できる。 7. 各施設設備の各機能・役割を理解する。 8. ライフステージ各期における女性と児、その家族への継続的な看護援助の重要性を知り、地域との連携のあり方が理解できる。 9. マタニティサイクルにある対象者への援助を展開している医療チームの一員として看護の役割を理解し、述べることができる。 10. 看護者としての姿勢を身につけ、看護観・倫理観を養うことができる。 						
概要	<p>実習は施設実習4日間(月曜日～木曜日)学内1日(金曜日) 祝日がある場合は学内実習は除く。 学生2人で1人の対象者を受け持つ。受け持ち対象者の褥婦、新生児の情報収集、アセスメント、看護計画を立案し実施する。担当スタッフまたは、教員の指示のもと、母性看護学実習に必要な看護技術を実施する。施設によっては外来実習を行う場合もある。 この科目は、母性看護学の実務経験のある教員と共に実施する。</p>						
評価方法	実習記録、実習態度、課題への取り組み等を総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	原則として欠席、遅刻、補修は認めない						
自己学習	<ol style="list-style-type: none"> 1.教科書、テキストを参考に事前学習を必ず行う。 2.実習前に必ず、演習を行い、受け持ち対象者に迷惑をかけないようにすること。 						
オフィスワ-	月曜日～金曜日 8時～17時 施設にて実践						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<p>実習の進め方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.実習は「看護学実習手引 母性看護学実習」に基づいて行う。 2.受け持ちは対象者の同意および看護師長の了解のもとに、教員とともに決定する。 3.褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集、アセスメント、看護計画立案を行う。 4.担当スタッフまたは、教員の指示のもと、母性看護学実習に必要な看護技術を実施する。 5.毎日、グループで学びを共有し学びを深める。また、実習終了後のまとめの会を通してさらに学びを深める。 	実習	福岡 非常勤講師		
教科書 1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 森 恵美他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論、母性看護学各論 2.母性看護技術 3.井上裕美他監修:病気がみえる⑩産科 出版社:1.医学書院 2.医学書院 3.メディックメディア 						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	精神看護学Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中嶋 貴子					NO.	HS-NU-3-704
配当学科	看護				年次	3	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 本科目では、精神疾患や精神障害をもつ人を対象にした援助関係や精神看護の方法について、また精神障害者の地域生活支援について、精神保健・医療・福祉の動向を踏まえながら看護の役割について学習する。</p> <p>到達目標: 1. 自己理解を深める方法や人間関係を深める方法を理解できる。 2. セルフケア理論を活用しながらアセスメント方法を理解できる。 3. 代表的な疾患や精神状態についての治療や看護を理解できる。 4. 地域で生活していくための精神保健医療福祉の連携、看護の役割について理解できる。</p>						
概要	精神疾患・精神障害の意味を理解する。また今後の精神医療・看護の課題について考え、精神看護の機能と役割について学ぶ。心の健康の保持増進について考えるとともに、心の障害について学ぶ。心の障害をもつ人との間に援助的な対人関係を築き、精神障害者の人権尊重・ノーマライゼーションの理念に基づく看護援助を学ぶ。なお、この科目は、精神科病院勤務経験を持つ教員、非常勤講師がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	筆記試験(60%)、提出物(30%)、授業態度(10%)を合わせて評価する。 評価の詳細については、第1回目の授業時に説明する。 提出物は、①よく調べてレポートしている ②文献を用いて根拠のある主張をしている ③誤字脱字がない ④提出期限を守っている の4点で評価する。 なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回、プリントを配付するので、第1回目授業からファイルを用意すること。						
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように教科書や資料を読んでくること(予習)。 また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業ごとにノートをまとめておくこと(復習)。なお、予習および復習には、各1時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目(教授会がある日を除く)をオフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 精神科看護の考え方 2. 精神看護に用いる理論: 対人関係論・精神力動論 3. 感情障害における看護 4. アルコール使用障害における看護、自閉症スペクトラム症における看護 5. 統合失調症における看護 6. 診療・検査・および治療に伴う看護 7. 精神看護に用いる理論: セルフケア理論 8. 精神看護における看護過程 9. 事例検討(1): 問題抽出・アセスメント 10. 事例検討(2): 計画立案・看護課程の展開 11. 医療観察法、事例検討 12. ケアの人間関係(1): コミュニケーション 13. ケアの人間関係(2): プロセスレコード 14. ケアの人間関係(3): 認知行動療法 15. 実習オリエンテーション、事例検討 16. 期末試験、まとめ	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL AL 講義 AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 外部講師 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 中嶋 外部講師 中嶋					
教科書 1	系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学② 著者: 編集 武井麻子 出版社: 医学書院 ISBN: 978-4-260-02774-8						
教科書 2	精神看護学 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 著者: 編集: 田中 美恵子 出版社: 医歯薬出版株式会社 ISBN: 978-4-263-23256-9						
参考書 1	パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 第2版 著者: 編集: 萱間 真美 出版社: 照林社 ISBN: 978-4-86174-065-7						
参考書 2							

授業科目名	精神看護学実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中嶋 貴子、甲木 順子					NO.	HS-NU-3-705
配当学科	看護			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 精神に障害をもつ人とのかかわりを通して、患者-看護者関係について考え、また幅広く対象を理解することを学習する。</p> <p>到達目標: 1. 精神に障害をもつ人とのかかわりを通して、生物・心理・社会的に幅広く心を病む人への理解ができる。 2. 精神に障害をもつ人とのかかわりを振り返りながら、患者-看護者関係について考えることができる。 3. 精神に障害をもつ人の日常生活の自立に向けての援助ができる。 4. 精神に障害をもつ人が望む、その人らしい自立した地域生活を支えるために、必要となる援助と課題について考えることができる。 5. 実施した看護を的確に言語化し、論理的・体系的に記述することができる。</p>						
概要	<p>精神に障害のある対象者を受け持ち、看護過程を通し、精神症状が日常生活に及ぼす影響について理解を深め、援助の必要性とその方法を学ぶ。さらに、心の障害をもつ人を支える援助学習として、看護者の治療的な自己活用のあり方についても理解を深める。</p> <p>なお、この科目は、精神科病院勤務経験のある教員、非常勤講師がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ指導を実施する。</p>						
評価方法	実習内容(60%)、実習記録(30%)、レポート(10%)により総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	履修条件:精神看護学概論、精神看護学Ⅰ、精神看護学Ⅱ、精神看護学Ⅲの履修 詳細な内容は「精神看護学実習手引き」に記してあるのでよく読んでおくこと。						
自己学習	実習までに教科書や資料を読み、課題内容をまとめておく(予習)。 実習で実施した内容と教科書や資料を照らし合わせながら、記録にまとめておく(復習)。						
オフィスアワー	カンファレンス後、昼休み中、自己学習時など、実習病院や大学内で気になることがあればいつでも面談する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			精神科病院で2週間の実習を行う。 病棟実習では精神に障害をもつ人を1名継続して受け持ち、看護過程に沿った看護を展開する。 詳細は「精神看護学実習手引き」を参照のこと。	実習	中嶋・非常勤講師		
教科書 1	系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学② 著者:編集:武井 麻子 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02774-8						
教科書 2	精神看護学Ⅱ 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 著者:編集:田中 恵美子 出版社:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-23256-9						
参考書 1	パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 第2版 著者:編集:萱間 真美 出版社:照林社 ISBN:978-4-86174-065-7						
参考書 2							

授業科目名	看護管理論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	竹崎 和子					NO.	HS-NU-4-801
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ 学生が、看護専門職として質の高い看護を効果的に提供するために必要な看護管理の基本的な知識と理論を習得できる。 到達目標 ①看護管理の基本概念および基本的理論を理解できるようになる。 ②看護組織の構造、管理、改革について理解できるようになる。 ③人材育成、キャリア開発について理解できるようになる。 ④組織において直面する倫理的課題、対策について理解できるようになる。 ⑤医療における安全保障の意義について理解できるようになる。 ⑥看護を取り巻く多様な状況から、看護管理の直面する課題とその背景を理解できるようになる。</p>						
概要	<p>看護を取り巻く社会背景、医療環境の変化、看護管理の概念に関する知識を深め、安全で質の高い医療と看護を提供するためのシステムについて理解を深める。 看護の対象となる人々に良質な看護を提供するための組織や看護に必要なマネジメントを考える。</p> <p>実務経験の教員による授業科目 この科目は、臨床で看護管理者としての実務経験(18年)を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	課題レポート30% 筆記試験70%						
履修条件・注意事項	<p>医療に関連する様々な社会的現象に関心を寄せ、常に思考する態度をもつこと。 課題レポートは期限厳守で提出すること。 秋学期の「統合実習」に関連付けて学ぶこと。</p>						
自己学習	<p>予習:次回の授業内容に向けて看護管理に関する教科書、参考図書を読み、理解できない部分をまとめて授業をうける。(90分) 復習:授業内容を再確認にて理解する。(90分) 課題レポートは、検討課題に関する各自の意見をまとめて記載する。</p>						
オフィスワ-	火曜日 12:40~13:30 6号館 6404研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ガイダンス 看護管理の概念 2. 看護ケアのマネジメント 3. 医療安全のマネジメント 4. チーム医療のマネジメント 5. 看護業務のマネジメント 6. 看護職の キャリアマネジメント 7. 看護サービスのマネジメント 8. 人材のマネジメント 9. 環境・物品・情報の マネジメント 10. 組織における リスクマネジメント サービス評価 11. マネジメントに必要な 知識と技術 12. 組織のマネジメント① 組織分析 13. 組織のマネジメント② 戦略的マネジメント 14. 看護を取り巻く諸制度 15. 看護管理者の役割 16. 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎				
教科書 1	系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践① 著者:上泉和子 小山秀夫 寛 淳夫 鄭 佳紅 出版社:医学書院						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	家族看護学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	掛谷 益子、安福 真弓、岡本 さゆり、中嶋 貴子、竹崎 和子、福岡 美和					NO.	HS-NU-4-802	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義 AL	
テーマと到達目標	<p>テーマ:家族看護の基礎理論と活用 到達目標:家族とは、システムとしての特徴を有しながら発達している1単位の生命体である。このような1単位の家族を看護の対象として理解するために、家族看護学にはさまざまな理論と技法があることを理解し、家族を一つのユニットとして捉えてアセスメントするための基礎理論を、実際の家族事例について活用できる。</p>							
概要	<p>人は家族システムのなかに生きており、家族は地域社会システムの下位システムでもある。家族はその社会の文化的背景に大きな影響を受けて時代とともに変容している。看護が個人を対象とする場合も、地域を対象とする場合においても、家族を一つのユニットとして捉え、家族が自らの健康問題を解決できるように支援することが重要である。そこで、本科目では、家族の形態や機能・「家族の健康」の概念など看護における家族の捉え方及びそれらの歴史的変化について学習する。更に、種々の健康課題の発生やライフイベントから家族成員はどんな影響を受け、ユニットとしての家族はどんな状態におかれるのかを共感的に理解する。また、そのような家族の状態を理解するための基礎理論を学び、ユニットとしての家族をアセスメントする方法を学習する。これらの学習を通し、自己の捉え方の特徴に気づき家族の様々なありようを受け入れる看護職としての態度を培う。 この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験から臨床において実践的に役立つように、基礎理論から具体事例への活用と授業を実施する。</p>							
評価方法	<p>各領域分担教員評価(75%)・試験(25%)で評価する。 各領域教員の授業で出される課題を必ず提出する。課題提出がない場合、その領域が評価でできないことがある。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。</p>							
履修条件・注意事項	<p>授業は各領域教員によりオムニバスに実施される。それぞれの領域での課題を理解するために、予習および復習では、これまで学習したことと統合できるようしていく。</p>							
自己学習	<p>家族というキーワードを理解するために、今まで学んできた看護過程や各領域での看護を振り返り、統合していく。</p>							
オフィスワ-	<p>研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。</p>							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.家族看護の定義・看護学における家族の理解 2.家族看護における看護過程 3.成人期の患者と家族 4.小児と家族 こどもを取り巻く家族 5.高齢者と家族 6.精神科疾患患者と家族 7.出産と家族 8.家族に関する理論 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義／試験	掛谷 掛谷 竹崎 安福 岡本 福岡 中嶋 掛谷					
教科書 1	家族看護学 著者:上別府圭子 著者代表 出版社:医学書院							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	統合看護演習 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	田中 富子、市村 美香、飯田 尚美、横溝 珠実					NO.	HS-NU-4-803	
配当学科	看護			年次	4			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習 実習	
テーマと到達目標	(地)統合看護演習では、看護の基礎的な知識・態度を統合する力を身につけることがテーマである。具体的には成人・老年・在宅・地域など領域毎の講義や演習を通して得た看護の基礎的な知識・態度を統合する力を身につけることができる。							
概要	健康問題解決のために各領域の学びを統合するとともに、多角的な視点から実践的に新たな知見を学ぶ。具体的には、これまでの学習の知識の統合に加え、地域の健康課題に気づき、介護予防事業での在宅高齢者への支援、地域診断や健康教育などによる地域貢献を行い、このことを通して総合的な看護の視野と感性を培う。 この科目は、行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし、地域における健康課題や予防に関係するテーマを中心とした授業・演習を行う。							
評価方法	授業や演習への取り組み姿勢や予習復習なども含め総合的に判断し評価する。 レポート100 %							
履修条件・注意事項	日頃から社会の出来事にも目を向けること。様々な現地での演習・実習に積極的に取り組むこと。							
自己学習	各演習で提示された資料のほか、地域の保健活動や在宅看護、地域包括ケアシステムに関する社会動向などを文献やマスコミ情報などから収集し、問題や課題を明確にするなど、予習・復習を必ずすること							
オフィスワ-	個人研究室にて火曜日4次限で行う							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1:ガイダンス・看護感について 2:地域包括ケアシステム 公助 3:地域包括ケアシステム共助 4:地域包括ケアシステム自助 5:ケアシステムと在宅医療 6:地域介護予防事業現地実習 7:地域介護予防事業学内実習 8:高齢者の体力測定演習 9:高齢者の体力測定演習 10:介護予防における地域実習 11:介護予防における地域実習 12:介護予防における地域実習 13:地域高齢者の生活① 14:地域高齢者の生活② 15:まとめ・発表		1.講義 2.講義 3.講義 4.講義 5.講義 6.講義 7.AL 8.AL 9.AL 10.AL 11.AL 12.AL 13.AL 14.AL 15.AL	1.田中 2.外部講師・田中 3.外部講師・田中 4.外部講師・田中 5.外部講師・田中 6~15 飯田・田中・市村・横溝					
教科書 1	授業ごとに資料を作成							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	統合実習				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	竹崎 和子、高尾 茂子、門倉 康恵					NO.	HS-NU-4-804
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p><テーマ> I 学生が、看護師長・リーダーの業務見学を通して、看護管理の組織的活動という視点から看護チームにおける協働・安全管理、情報管理などについて理解を深めることができる。 II 地域包括医療について学ぶことを通して、患者・家族の視点にたった地域連携の主体的な実践能力を養うことができる。</p> <p><到達目標> I 看護管理について理解できるようになる。 ① 看護ケア・看護サービスのマネジメントを理解できるようになる。 ② 看護チームにおけるリーダーシップ・メンバーシップを理解できるようになる。 ③ 複数の患者を受け持ち、優先順位・時間管理・安全を考慮した援助について理解できるようになる。 ④ マネジメントに必要な知識と技術を理解できるようになる。 II 地域包括医療について理解できるようになる。 ① 人口の高齢化に伴う2025年問題をふまえた医療・介護のあり方について理解できるようになる。 ② 地域連携室の機能と役割を理解できるようになる。 ③ 地域包括医療チームのメンバーシップを理解できるようになる。 ④ 退院後の生活を見据えながら患者・家族の視点にたった援助を理解できるようになる。</p>						
概要	<p>I 病棟における看護師長・リーダーの業務を見学し、管理の実際を体験する。 受け持ち患者の全体像を理解し、指導看護師とともに多職種カンファレンスに参加し、継続看護、チーム医療の実際を体験する。 II 地域連携室のソーシャルワーカーや病棟看護師長、看護部長等による講義や地域連携関連施設の見学、患者・家族との関わりや病院内外関係機関、関係職種による支援・連携状況の見学等を行う。 これらの実習を通じて、退院後、地域で生活する人々の健康の保持・増進のために必要なニーズに応じた多職種の連携のあり方を学ぶ。 実習終了後は、グループディスカッションや実習報告会を行い、地域連携実習を通して看護師として勤務する上での必要な自己の態度と課題をまとめ発表する。</p> <p>実務経験の教員による授業科目 ・臨床現場で看護管理者、認定看護師としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし医療現場において実践的に役立つ授業を実施する ・保健・医療・福祉分野で保健師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし地域包括医療において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	実習態度(50%)実習記録(30%)課題レポート(20%)						
履修条件・注意事項	看護学生として、主体的に、礼儀正しく責任ある行動で実習に取り組む。 個人情報の管理は厳重に行う。						
自己学習	予習 I 実習病院及び病棟の概要、看護方針など調べまとめる。 II 地域の特性や地域包括医療について事前に調べまとめる。 復習 I・IIともに実習中、疑問に思ったことを調べるとともに指導された内容について調べまとめる。						
オフィスワ-	各グループの担当教員が実習巡回時や昼休憩時間などに適宜実施する						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			実習要綱(統合実習)にもとづいて実習展開を行う。 1週目:看護管理について学ぶ 2週目:地域包括医療について学ぶ	実習 病院5日 地域5日	竹崎 高尾 門倉		
教科書 1	系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践① 著者:上泉和子 小山秀夫 寛淳夫 鄭佳紅						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	在宅看護学概論				履修期	2021年度 春学期	
担当者	市村 美香					NO.	HS-NU-4-805
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義、AL
テーマと到達目標	<p>在宅看護の目的と特徴が理解できる。 在宅看護の現状を知り、看護師に求められる役割と機能が理解できる。 ・疾病や障害を持ちながら、在宅で療養する人とその家族を理解する。 ・在宅看護の仕組みについて理解する。 ・在宅看護に関連する法制度について理解する。</p>						
概要	<p>在宅看護の目的や特徴、法令・制度について学ぶ。 この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。</p>						
評価方法	<p>受講態度・提出物、課題内容を合計して総合評価する。 課題は講義でフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>積極的態で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。</p>						
自己学習	<p>介護保険制度について復習しておくこと。</p>						
オフィスワ-	水曜2限 研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の目指すもの 2. 地域包括ケアシステム 3. 在宅看護の対象者 4. 在宅看護の対象者:家族 5. 訪問看護制度 6. 療養の場の移行に伴う看護 7. 療養を支える在宅ケアチーム 8. まとめ 		1-8.講義、AL	市村				
教科書 1	<p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 著者:河原 加代子 出版社:医学書院 ISBN:ISBN978-4-260-02762-5</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	在宅看護援助論 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	市村 美香				NO.	HS-NU-4-806	
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義、AL
テーマと到達目標	在宅看護の現状を知り、在宅における日常生活援助・医療処置援助の技術を理解できる。 また、在宅療養者の特性をふまえた援助について考えることができる。						
概要	在宅で求められる医療技術について学習し、その具体的方法について考える。それにより、在宅で多くみられるケースについての理解を深める。 この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。						
評価方法	授業態度および課題とその参加度で評価する。 課題は講義でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	積極的態で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。						
自己学習	これまでに学習してきた医療処置、基礎看護技術について復習しておくこと。						
オフィスアワー	水曜2限 研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 講義概要 2. 在宅医療技術:経管栄養法 3. 在宅医療技術:HPN 4. 在宅医療技術:排尿援助 5. 在宅医療技術:呼吸援助 6. 在宅医療技術:HPPV 7. 在宅医療技術:HOT 8. 在宅医療技術:排痰援助 9. 在宅医療技術:ストーマ管理 10. 在宅医療技術:皮膚創傷管理 11. 在宅医療技術:外来治療 12. 在宅医療技術:がん治療 13.在宅医療技術:終末期援助 14. 在宅医療技術:疼痛緩和 15. まとめ 16. まとめ		1-16.講義、AL	市村 13-14. 外部講師				
教科書 1	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 著者:河原 加代子 出版社:医学書院 ISBN:ISBN978-4-260-02762-5						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	在宅看護援助論Ⅱ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	市村 美香					NO.	HS-NU-4-807
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義、AL
テーマと到達目標	在宅で生活する疾病や障害を持つ人々およびその家族に対して、生活を支える看護活動や社会資源の活用方法について理解できる。 在宅看護の特性をふまえた看護過程の展開方法が理解でき、在宅ケアシステムにおける看護職の役割について理解できる。						
概要	在宅療養者の特徴、主な健康障害、看護援助の実際、家族支援方法、社会資源の活用方法、他職種との連携と協働について学ぶ。 ペーパーペイシエントでの看護過程の展開を行い、在宅で多くみられるケースについての理解を深める。 この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。						
評価方法	授業態度および課題とその参加度で評価する。 課題は講義でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	積極的態で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。						
自己学習	介護保険制度について復習しておくこと。 新聞や雑誌などで紹介されている、在宅医療、在宅看護、在宅介護などについての情報に関心を持つこと。						
オフィスワ-	水曜2限 研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1-3. 講義概要、在宅医療技術の振り返り 4-5. 事例展開:脳梗塞 6-7. 事例展開:認知症 8-9. 事例展開:ALS 10-11. 在宅療養の実際について 12-14.事例展開:実習 15. まとめ 16. まとめ		1-16.講義、AL	市村 10-11. 市村、外部講師				
教科書 1	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 著者:河原 加代子 出版社:医学書院 ISBN:ISBN978-4-260-02762-5						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	在宅看護学実習				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	市村 美香、田中 富子、横溝 珠実					NO.	HS-NU-4-808		
配当学科	看護				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習		
テーマと到達目標	在宅で生活する疾病や障害を持つ人々およびその家族に対して、生活を支える看護活動や社会資源活用の実際について学ぶ。 対象者とその家族が抱えているニーズを理解し、必要な支援について考えることができる。 在宅ケアシステムを理解し、在宅看護における看護師の役割について考えることができる。								
概要	訪問看護ステーションにおいて、2週間の実習を行う。看護師と同行訪問を行い、在宅看護の実際について学ぶ。受け持ち利用者について、情報収集、アセスメント、関連図作成から対象の全体像を把握し、必要な看護について考え、実施する。併設の施設（居宅介護支援事業所、通所系サービスなど）での実習や、サービス担当者会議等へ参加することもある。 この科目は、在宅看護の実務経験のある教員とともに指導を行う。								
評価方法	実習記録、実習態度、課題への取り組み等を、評価基準に基づき総合的に評価する。 実習の学びは実習反省会やまとめの会で共有したりフィードバックしたりする。								
履修条件・注意事項	看護学生として責任ある行動をとるよう心がけ、積極的態で実習に臨んでください。 個人情報については管理を厳重に行ってください。 実習オリエンテーション、まとめには必ず出席してください。評価の対象となります。								
自己学習	訪問看護活動に関係する制度、これまでに学習した医療処置や基礎看護技術について必ず復習をしてから実習に臨むこと。								
オフィスワ-	水曜2限(実習中は事前に連絡をしてください)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					(実習のすすめ方) 1. 実習は「看護学実習手引 在宅看護学実習」に基づいて行う。 2. 療養者を1名受け持ち、家族を含めた在宅における看護について考える。他事業所での実習もあるため、事前学習を十分に行って実習に臨む。 3. 実習終了後提示された課題でレポートを作成する。 4. 実践した看護をグループで共有する。また実習終了後のまとめの会を通してさらに学びを深める。			実習	市村、横溝、田中、非常勤講師
教科書 1	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 著者:河原 加代子 出版社:医学書院 ISBN:ISBN978-4-260-02762-5								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	チーム医療			履修期	2021年度 春学期		
担当者	竹崎 和子、飯田 尚美、寺岡 睦					NO.	HS-NU-4-811
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義 GW
テーマと到達目標	<p>テーマ 学生が、患者を中心とした安全で良質な医療の提供や療養上の課題の解決を目標に、チーム医療の構成員として看護の専門性を活かし、チーム力を維持し、発展させるための機能について理解できる。</p> <p>到達目標 ①チーム医療の概念を理解できるようになる。 ②チーム医療における専門チーム・地域連携に関する多職種連携を理解できるようになる。 ③多職種連携を行う場合の信念対立について理解できるようになる。 ④チーム医療における看護職の果たす機能と役割について理解できるようになる。 ⑤チーム医療の現状をもとに、各職種が専門性を発揮して協働していく重要性を理解できるようになる。</p>						
概要	<p>医療体制の歴史的流れについて理解し、現代医療におけるチーム医療の必要性や重要性を理解し、チーム医療を推進する施策や各専門職の役割、活動するための基本的な能力等について学習する。</p> <p>実務経験の教員による授業科目 ・臨床現場でチーム医療の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。 ・臨床現場でのチーム医療の実務経験を持つ教員が、チーム医療における信念対立解明アプローチの理解を深める授業を実施する。</p>						
評価方法	課題レポート(40%) 試験レポート(60%)						
履修条件・注意事項	秋学期の「統合実習」に関連付けて学ぶこと。						
自己学習	<p>予習:事前に配布する資料を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける。(60分) 復習:授業終了後に、授業内容を再確認して理解する。(60分) 3年次の実習体験から、チーム医療に関連した体験を見つめなおす。</p>						
オフィスアワー	木曜日 12:40～13:30 6号館 6404研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. ガイダンス	講義	竹崎					
2. チーム医療の概念 多職種連携教育	講義	竹崎					
3. チーム医療における 信念対立	講義	寺岡					
4. 自己理解と他者理解	GW	竹崎					
5. チーム医療の実践	講義	飯田					
6. チーム医療における 看護の専門性	講義	飯田					
7. チーム医療における コミュニケーション	試験	竹崎					
8. レポート試験							
教科書 1	使用しない(必要に応じて資料を配布する)						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護政策論				履修期	2021年度 春学期		
担当者	高尾 茂子					NO.	HS-NU-4-812	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	
テーマと到達目標	保健医療福祉看護政策への関心を高め、政策決定過程への参加活動の必要性の認識を高めることができる。							
概要	<p>本授業をととして、まずは保健医療福祉看護政策に対して関心を高める。看護職として勤務するようになったときに、労働環境・労働条件の改善、医療事故対策、看護職員の配置基準などの看護優先課題が対象者への安心安全な看護を提供するために必要であることが認識できること、またその実現のために看護政策決定への参加活動の必要性が認識できることが求められる。看護の問題を現象のみで捉えるのではなく、社会学的想像力をもって考えることができ、政策的な思考ができる看護職の育成につながる授業である。</p> <p>授業は、病院や看護協会、政策の場等において看護の労働環境改善や医療事故対策など豊富な実務経験を有する教員(講師)が担当し、具体的な実例を交えた講義を行い、イメージをもちながら学ぶことができる。</p>							
評価方法	毎回提出レポート(30%)、最終レポート(50%)、授業の態度(20%)							
履修条件・注意事項	配布資料、提示する参考書・文献をととして理解し、自分の言葉で伝えられること							
自己学習	日頃から新聞、テレビ等の保健医療福祉看護に関する情報に関心をもち、授業と関連づけて考える。							
オフィスアワー	水曜日、3・4限							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 看護政策概説		講義	学外講師・高尾					
2. 看護職能団体の社会的役割とその活用		講義	学外講師・高尾					
3. 看護政策概説		講義	学外講師・高尾					
4. 看護と政治①		講義	学外講師・高尾					
5. 看護と政治②		講義	学外講師・高尾					
6. 身近な看護政策		講義	学外講師・高尾					
7. まとめ		講義	学外講師・高尾					
8. 試験		試験	高尾					
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	看護職者のための政策過程入門 制度を変えると看護が変わる！ 著者：見藤隆子 石田昌宏 大串正樹 北浦暁子 伊勢田暁子 出版社：日本看護協会出版会							
参考書 2								

授業科目名	国際看護学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	市村 美香、服部 俊夫					NO.	HS-NU-4-813		
配当学科	看護				年次	4			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義、AL		
テーマと到達目標	<p>国際看護では、国外だけでなく日本に在住する外国人等あらゆる人間を対象とする看護について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界に関心を持ち国際的問題に興味を持つことができる。 2. 国際看護を国内・国外の看護活動として捉えることができる。 3. 国際看護活動の支援を必要とする対象を理解することができる。 4. 多文化を理解し、その看護活動を理解することができる。 5. 国際協力における看護職の役割を理解することができる。 								
概要	<p>グローバル社会が進む中、人間の生命や尊厳、健康においてもその影響を受けている。健康関連課題に対し、看護職がどのようにかかわることができるのか考察する。日本人・外国人を問わずあらゆる国で生活する人間が遭遇している健康問題について視野を広め考察する。</p> <p>この科目は、医療従事者としての実務経験のある教員と国際医療の知見を多くもつ教員により指導を行う。</p>								
評価方法	<p>授業態度および課題とその参加度で評価する。</p> <p>課題は講義でフィードバックする。</p>								
履修条件・注意事項	<p>世界で起こる問題やニュース等に関心を持ち、国際的な健康上の問題についての演習準備をすること。</p> <p>予習や復習の自己学修をしっかりと、学びを深めましょう。</p>								
自己学習	<p>課題について調べてきたことに基づき参加型学習法により授業を行う為、必ず課題について自己学修して参加すること。</p>								
オフィスワ-	水曜2限 研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと概論(国際看護) 2. 国際支援活動や国際協力機関の活動 3. グローバルヘルス 4. グループワーク 5-6. 世界の健康問題(感染症) 7. グループワーク発表 8. 個人ワーク、まとめ 			<ol style="list-style-type: none"> 1-3, 5-6. 講義 4, 7-8. AL 	<ol style="list-style-type: none"> 1-4. 市村 5-6. 服部、市村 7-8. 市村 					
教科書 1	<p>系統看護学講座 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学 出版社:医学書院 ISBN:ISBN 978-4-260-01679-7</p>								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	災害医療				履修期	2021年度 春学期	
担当者	澤田 和子					NO.	HS-NU-4-814
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	災害現場での医療援助、看護活動および被害者の生活や健康問題への支援、心のケアについて考えていく。効果的な医療援助や看護活動のあり方について自分の考えを表現できることを到達目標とする。						
概要	<p>大害医療は、大規模災害(地震、火災、津波)等により、対応する側の医療能力を上回るほど多数の医療対象者が発生した時に行われる医療である。災害の及ぼす生命や健康生活への被害を最小限にとどめるために、災害現場での看護活動と災害後の中長期にわたる被災者の生活や健康問題への支援、心のケアについて理解できる。</p> <p>災害のイメージができるよう視聴覚教材を用いながら進めていく。</p> <p>災害時の看護活動の理解として、慢性疾患を抱える看護として認定看護師を迎え理解を深めていく。</p> <p>災害現場においてのトリアージの実際を演習を通じて理解を深めていく。</p> <p>また、認定看護師・DMATとしての実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	筆記試験(60%)、提出物(30%)、授業態度(10%)を合わせて評価する。 なお、講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	課題提出(期限厳守)を定期試験受験の条件とする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学びを考えることを期待する。						
自己学習	毎回の授業進行に合わせて予習し、授業ごとにノートをまとめておくこと(予習・復習) なお、予習、復習には各2時間程度を要する。 身の回りにある災害関連について関心を寄せ、常に思考する態度をもつこと。						
オフィスアワー	水曜日2限(6号館4階6413研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 災害看護とは 2. 災害医療の基礎知識 3. 災害看護の基礎知識 4. 災害急性期医療・DMATについて(三橋先生) 5. 災害急性期医療・DMATについて(三橋先生) 6. 災害時の看護活動(慢性疾患を抱える患者の看護)(戎谷先生) 7. 災害サイクルについて 8. 災害時の備えについて 9. 筆記試験		1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 試験	1. 澤田 2. 澤田 3. 澤田 4. 外部講師 5. 外部講師 6. 外部講師 7. 澤田 8. 澤田 9. 澤田				
教科書 1	系統看護学講座 災害看護学・国際看護学 看護の統合と実践③ 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-01679						
教科書 2							
参考書 1	ナーシング・グラフィカEX⑤ 災害看護 出版社:メディカ出版 ISBN:978-4-840-3323-5						
参考書 2							

授業科目名	救命救急				履修期	2021年度 春学期		
担当者	門倉 康恵、森 芳史					NO.	HS-NU-4-815	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義・AL	
テーマと到達目標	1. 救命救急の概念と救急医療システムが理解できる。 2. 救命救急で遭遇する事の多い疾患・外傷などの病態について理解できる。 3. 生命の危機的状況にある人のアセスメントを述べることができる。 4. 生命の危機的状況にある人の対象の特徴と看護について考えることができる。							
概要	救命救急における看護の役割を理解し、適切な援助が実践できるための基本的な知識・技術を学ぶ。具体的には、救急患者の主要病態と救急処置を基盤に、生命の危機的状況にある人の看護について学ぶ。臨床経験のある医師及び看護師が実務経験に基づく講義を行う。							
評価方法	筆記試験(70%)、課題提出(レポート)(30%)を合わせて評価する。評価の詳細については、第一回目の授業時に説明する。なお、講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	この科目は統合分野であり、これまで学んだ解剖生理学、病理学、病態生理学、基礎看護技術、臨床看護総論、急性期看護の知識・技術が必要である。難解な専門用語も多いので、予習・復習を含め相当の自学自習の努力を期待する。							
自己学習	予習として、1～3年生で学んだ解剖生理学、病理学、病態生理学、基礎看護技術、臨床看護総論、急性期看護の知識・技術を復習しておく。また、必要時、事前にプリントを配布するので熟読し、関連事項について予習する。なお、予習、復習には各2時間程度を要する。							
オフィスワ-	水曜日2時限目：6号館4階 門倉(6407)研究室 火曜日5時限目・水曜日5時限目：6号館4階 森(6412)研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1.オリエンテーション 救命救急の概念 救急医療システム	1.講義	1.門倉						
2.救命救急処置および緊急検査 全身と外観の観察とアセスメント ALS(気管挿管)、意識障害、 呼吸障害、ショック	2.講義	2.森						
3.救命救急における主要病態の 理解：呼吸器系、循環器系	3.講義	3.森						
4.救命救急における主要病態の 理解：脳・神経系、外傷	4.講義	4.森						
5.生命の危機的状況にある人の 観察・アセスメントおよび対応 A気道、B呼吸	5.講義	5.門倉						
6.生命の危機的状況にある人の 観察・アセスメントおよび対応 C循環、D中枢神経系	6.講義	6.門倉						
7.救急医療システムの実際	7.AL	7.外部講師・ 門倉						
8.救急医療システムの実際	8.AL	8.外部講師・ 門倉						
9.筆記試験		9.森・門倉						
教科書 1	系統看護学講座 別巻 救急看護学 出版社:医学書院							
教科書 2								
参考書 1	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(4)臨床看護総論 著者:香春 知永 他 出版社:医学書院							
参考書 2	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 著者:編集:矢永 勝彦、小路 美喜子 出版社:医学書院							

授業科目名	看護教育			履修期	2021年度 春学期		
担当者	竹崎 和子、飯田 尚美、門倉 康恵					NO.	HS-NU-4-816
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義 GW プレゼン
テーマと到達目標	<p>テーマ 学生が、看護看護教育の歴史の変遷、教育制度、教育課程について学習し、看護職者としての自らのキャリア発達に向けた教育や学習の意義を習得できる。</p> <p>到達目標 ①学生が看護教育の歴史と制度が理解できるようになる。 ②学生が大学における看護教育の在り方が理解できるようになる。 ③学生が進路選択における新人教育の内容が理解できるようになる。 ④学生が自らのキャリア発達に向けた看護生涯教育や自己評価の意義と方法が理解できるようになる。</p>						
概要	<p>看護教育の歴史や制度について学び、大学における看護教育に関する現状と課題について考察する。 看護学教育の特徴を理解して、看護職者としての教育的視点を養うとともに、進路選択に必要な条件や自分自身の方向性を考え、将来のキャリアアップに向けた目標設定をイメージする機会とする。</p> <p>実務経験の教員による授業科目 ・この科目は、臨床での看護師教育、認定看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	課題レポート(60%)グループワークの参加状況・プレゼンテーション(40%)						
履修条件・注意事項	<p>①看護基礎教育における自己の成長が表現できるよう、今までの大学生活の中での振り返りを行う。 ②卒業後の自分自身のキャリアアップに関して、具体的な方向性を描くことができる。 ①②について、よく考え自分の意見をもって授業に臨むこと。</p>						
自己学習	<p>予習:事前に配布する資料を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける。(60分) 復習:毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する。(60分) 提示した課題内容について検討し、各自の意見をまとめて記載する。</p>						
オフィスワ-	水曜日 12:40~13:30 6号館6404研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. ガイダンス	講義	竹崎					
2. 看護教育の歴史	講義	竹崎					
3. 日本の看護教育制度	講義	竹崎					
4. キャリア発達に向けた教育	講義	竹崎					
5. 看護生涯教育 摂食・嚥下障害看護 認定看護師の実践活動	講義	飯田 門倉					
6. 看護生涯教育 がん化学療法看護 認定看護師の実践活動	講義	竹崎 門倉 飯田					
7. 看護生涯教育 これからの看護および 教育の展望	GW・発表 試験	竹崎					
8. レポート試験							
教科書 1	使用しない(必要に応じ資料を配布する)						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	医療安全				履修期	2021年度 春学期			
担当者	柘野 浩子					NO.	HS-NU-4-818		
配当学科	看護				年次	4			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義、演習		
テーマと到達目標	1. 医療安全の考え方が理解できる。 2. 医療安全対策の重要性が理解できる。 3. 医療事故防止のための具体的方法が分かる。								
概要	医療が日々変化、発展する中、患者に安全で質の高い医療を提供することは重要な課題である。医療現場における安全対策とリスクマネジメントの意義を学び、看護実践における事故防止の意識を高める。医療現場で取り組まれている安全対策の概略、事故発生のメカニズムと発生防止の考え方を理解し、チームの一員として医療安全へ取り組むための知識と方法論を学ぶ。								
評価方法	期末試験80% 課題レポート20%								
履修条件・注意事項	日ごろから、新聞・ニュース等により、国内外において発生する医療事故に関心をもち、情報を得ておくこと。								
自己学習	テキストを読み、わからない用語等は自己で調べ、その上でわからないことはまとめておく、質問するなど自主的に学んでほしい。医療事故予防は、看護の質に深く関連するので、各自が自己の問題としてとらえること。								
オフィスワ-	月曜日3限 6号館4階の研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. “医療安全とリスクマネジメントの歴史と動向、医療安全の考え方、医療事故に対する倫理と法的問題 リスクマネジメントとは、看護事故の構造 2. 医療事故と看護業務(I)診療の補助業務に伴う事故と防止対策 3. 医療事故と看護業務(II)療養上の世話に伴う事故と防止対策 4. 医療安全と情報伝達 5. 演習:KYT(危険予知トレーニング) 6. 演習:事故防止のための「してはならないこと」「すべきこと」 7. 医療安全管理:組織としての対策・国としての対策 8. 終講試験			1.講義 2.講義 3.講義・演習 4.講義・演習 5.講義・演習 6.講義 試験 7.講義 試験 8.講義・試験	柘野					
教科書 1	医療安全 患者の安全を守る看護の基礎力・臨床力 改訂第2版 出版社:Gakken								
教科書 2									
参考書 1	医療におけるヒューマンエラー なぜ間違える どう防ぐ 著者:河野龍太郎 出版社:医学書院								
参考書 2									

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	寺崎 智行					NO.	HS-NU-4-819
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	科学的な論文を書くことができるをテーマとし、科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程を学ぶ。中間発表会にて、研究の進捗状況を発表し、その助言を踏まえ、論文の完成を目標とする。						
概要	中間発表会においては、研究内容を限られた時間で要領よく、わかりやすく伝えられる能力と研究に対する質問に対し適切に回答できる能力を養うことを目的とする。そして、研究結果を基に論理的な論文を完成させることを目指す。						
評価方法	日々の研究に取り組む意欲や態度(20%)、研究発表の態度と資料(20%)、論文の成果(60%)について総合的に評価する。なお、講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、中間発表、論文の完成に取り組む。						
自己学習	自らの課題について、調べてきたことなどを元にして「自ら学ぶ」実践型の学習が必須である。予習として、各授業計画および、前回ゼミで予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめておくこと。復習として、毎回のゼミの内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。なお、予習、復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	水曜日2時限目：6号館4階 遠藤(6426)研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1 研究方法の確認 2 データ収集1回目 3 データ収集2回目 4 データ収集3回目・整理 5 データ整理・分析 6 研究発表準備 7 研究発表準備資料作成 8 研究発表 9 研究発表・質疑 10 研究発表・聴講 11 データ分析 12 データ分析 13 論文作成:結果 14 論文作成:考察 15 論文作成:要旨 16 論文提出(12月初旬)			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎 寺崎
教科書 1	研究計画時の参考文献 必要時関連文献を提示する						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	長町 榮子					NO.	HS-NU-4-819	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。							
概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よ、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。							
評価方法	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度:20%、研究発表内容:20%、研究発表態度・資料:20%、論文の成果:40% にて評価する。							
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、論文を仕上げて行くこと。研究発表の時は、必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。							
自己学習	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で、図式化・文章化していく。							
オフィスワ-	研究室にて、平日昼休憩の時間(12:40～13:30)に実施する。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1. オリエンテーション・データ収集 2. データ収集・分析 3. データ分析 4. 研究発表準備・表作成 5. 研究発表準備・発表資料作成 6. 研究発表準備・発表原稿作成 7. 研究発表 8. 研究発表 9. 研究発表 10. 論文作成・諸言 11. 論文作成・研究方法 12. 論文作成・研究結果 13. 論文作成・考察 14. 論文作成・結論 15. 論文作成・今後の課題 16. 論文提出			講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町 長町
教科書 1	適宜指示する							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	柘野 浩子					NO.	HS-NU-4-819
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	看護研究の方法(研究計画から論文作成までの一連の過程)を実践的に学び、研究成果を発表することができる。						
概要	看護研究における研究計画の立案から論文作成までの一連の過程を学ぶ。具体的には、質的・量的研究方法ともに進捗状況に合わせた指導を行う。 量的研究では、データの収集・分析、分析結果に基づく考察の方法を学ぶ。 質的研究では、テーマに基づく文献検索、データの質的分析、考察の方法を学ぶ。 看護研究Ⅱでは調査結果のまとめ方、分析方法、考察、論文の書き方、発表方法を学ぶ						
評価方法	研究態度20%、研究内容30%、文献検索30%、論文作成プロセス20%						
履修条件・注意事項	研究に取り組む姿勢が重要になる。学生の自主的な姿勢が大切になるので、積極的に研究に取り組むこと。						
自己学習	研究テーマにそった文献検索をしまとめる。グループ研究の場合、文献レビューの発表ができるよう準備する。						
オフィスワ-							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1) 調査結果の集計方法 2) 結果から読み取れること 3) 結果分析 4) 文献検索とレビュー 5) 研究目的と研究方法 6) 考察、クリティーク 7) 論文の書き方① 8) 論文の書き方② 9) 論文の書き方③ 10) 論文執筆(序論、目的、方法) 11) 論文執筆(研究結果) 12) 論文執筆(考察) 13) 論文の推敲 14) 論文の再推敲 15) 研究結果の発表	演習	柘野		
教科書 1	適宜提示する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-4-819
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	この科目では、研究のまとめとしての発表と論文の完成を目標とする。科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の基本的手順であり、さらに、それを論文としてまとめることが、研究として完成する。学生はこれらの過程を学ぶことにより、基本的な研究能力を身につける。						
概要	研究発表は、研究で明らかとなった必須項目を、わかりやすく伝える必要があり、研究内容とともに論文としての表現、発表の技術も必要である。発表技術は他にも応用でき、わかりやすく表現することは公衆衛生の基本的な技術でもありその能力を養うこともこの科目の目的の1つである。 発表後の質疑応答を踏まえて、論文を完成させ、期日までに提出することで完結する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。						
評価方法	論文という形で研究を完成させることが基本である。研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法やその際の質疑応答などを含めて、総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	授業としては秋期開講となっているが、定められた時間はない。春期から、教員と相談しながら研究を進めること。						
自己学習	自ら主体的に研究に取り組むことが求められ、疑問点等を整理し、先行研究に目を通し、自分で考える週間を身につけること。						
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. データ収集 2. データ整理 3. データ分析 4. データ分析 5. 研究発表準備 6. 研究発表準備 7. 研究発表及び聴講 8. 研究発表及び聴講 9. 研究発表及び聴講 10. 論文作成 11. 論文作成 12. 論文作成 13. 論文作成 14. 論文作成 15. 論文完成・提出			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬
教科書 1	特に指定しない						
教科書 2							
参考書 1	研究テーマ等に応じて適宜紹介する						
参考書 2							

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	掛谷 益子					NO.	HS-NU-4-819	
配当学科	看護			年次	4			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。							
概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よ、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。							
評価方法	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度:20%、研究発表内容:20%、研究発表態度・資料:20%、論文の成果:40% にて評価する。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、論文を仕上げて行くこと。研究発表の時は、必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。							
自己学習	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で(予習・復習として)、図式化・文章化していく。							
オフィスアワー	研究室にて、平日昼休憩の時間(12:40～13:30)に実施する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. オリエンテーション・データ収集	講義	掛谷	2. データ収集・分析	AL	掛谷
			3. データ分析	AL	掛谷	4. 研究発表準備・表作成	AL	掛谷
			5. 研究発表準備・発表資料作成	AL	掛谷	6. 研究発表準備・発表原稿作成	AL	掛谷
			7. 研究発表	AL	掛谷	8. 研究発表	AL	掛谷
			8. 研究発表	AL	掛谷	9. 研究発表	AL	掛谷
			9. 研究発表	AL	掛谷	10. 論文作成・諸言	AL	掛谷
			10. 論文作成・諸言	AL	掛谷	11. 論文作成・研究方法	AL	掛谷
			11. 論文作成・研究方法	AL	掛谷	12. 論文作成・研究結果	AL	掛谷
			12. 論文作成・研究結果	AL	掛谷	13. 論文作成・考察	AL	掛谷
			13. 論文作成・考察	AL	掛谷	14. 論文作成・結論	AL	掛谷
			14. 論文作成・結論	AL	掛谷	15. 論文作成・今後の課題	AL	掛谷
			15. 論文作成・今後の課題	AL	掛谷	16. 論文提出	AL	掛谷
			16. 論文提出	AL	掛谷			
教科書 1	適宜指示する							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	看護研究Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高尾 茂子					NO.	HS-NU-4-819
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:研究のまとめを行い論文を完成させ研究発表を行う。 到達目標:学生は、研究の手順によって得た科学的な情報を分析し、研究結果を基に、論理的考察を行い、結論に導く。この一連の過程を研究的に実施することで看護研究の基本を理解することができる。</p>						
概要	<p>研究発表は、研究の内容を短時間で要領よくわかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることも、この科目の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで終結する。 担当教員は、行政における保健師としての30年の実務経験を有し、研究機関における経験は10年目となる。子育て支援や保健師の役割等についての質的研究を中心に行ってきた。今後は災害に関する研究もテーマとしていく予定である。 授業は学生の思いを大切にして学生がテーマをしぼっていきやすいように支援していく。またグループでの研究が中心になるのでグループの協力関係、信頼関係を大切にする。</p>						
評価方法	研究に取り組む意欲・態度:20%、研究発表内容:20%、研究発表態度・資料:20%、論文の成果:40%にて評価する。						
履修条件・注意事項	授業としては秋期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら研究を進め論文を仕上げていくこと。研究発表の時は、必ず出席し他の学生の発表を聴くことを義務づける。						
自己学習	研究テーマに関連する他の文献をできるだけ読むこと。読みとった内容を研究論文作成に生かすこと。						
オフィスワ-	6号館4階の個人研究室において、毎週水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. データ収集準備 2. データ収集 3. データ整理 4. データ分析 5. データ分析から結果を出す 6. 結果から今後の方向を出す 7. 中間報告 8. 論文作成…研究の背景 9. 論文作成…研究方法 10. 論文作成…結果 11. 論文作成…考察 12. 論文作成…結論 13. 論文修正 14. 論文発表用資料作成 15. 論文発表準備(練習等) 16. 発表会			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾 高尾
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	田中 富子					NO.	HS-NU-4-819
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	看護研究Ⅱにおいては、研究のまとめを行う。内容は研究発表と論文完成を目標とする。研究の手順によって得た科学的な情報を分析した、研究結果を基に論理的考察を行い、結論に導く。この一連の過程を、研究的に実施することで、看護研究の基本を理解することを目標とする。						
概要	研究発表は、研究の内容を短時間で要領よく、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、終結する。 この科目は、行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし、地域における健康課題や予防に関係するテーマを中心とした授業・研究指導を行う。						
評価方法	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度:20%、研究発表内容:20%、研究発表態度・資料:20%、論文の成果:40%にて評価する。						
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、論文を仕上げていくこと。研究発表の時は、必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。						
自己学習	1)情報処理・疫学・保健統計学等の学習をして臨むこと 2)看護研究Ⅰで明らかにした研究計画書に基づき看護研究を実施する 3)原則、グループ研究であるためグループ間で、協力して研究にあたること 4)日頃から充分な意志疎通に努めメンバーシップを発揮すること 次回のゼミまでに記録を仕上げ提出・メンバー間で共有すること、また達成すべき目標までをゼミ後に仕上げ臨むこと。これにかかる時間は約1時間を要す。						
オフィスワ-	個人研究室で火曜日4次限におこなう						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.データ回収 2.データ入力 3.データー基礎分析 4.データー分析 5.データーの読み取り 6.データー加工 7. データー表作成 8. データー図作成 9.論文:緒言作成 10.論文:結果作成 11.論文:考察作成 12.論文:構成 13.論文:再構成 14.論文:発表原稿作成 15.論文発表準備 16.発表会(2月上旬)		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 発表	田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中				
教科書 1	学科としては特に指定していない。						
教科書 2							
参考書 1	テーマに応じて指導教員の助言を受けること。						
参考書 2							

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	安福 真弓					NO.	HS-NU-4-819	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究のもっとも重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。							
概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかにできるのかを考え、実際に研究を進めていく。また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よく、わかり易く伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。							
評価方法	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲や態度(20%)、研究発表内容(20%)、研究発表態度・資料(20%)論文の成果(40%)にて評価する。なお、講義中に提示した課題は、授業にフィードバックするので指定日までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	授業としては秋学期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、論文を仕上げていくこと。研究発表の時は必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務付ける。							
自己学習	選択したテーマに沿ってまとめることができるように、先行文献や資料などをしっかりと精読しながら、進めていき、グループでの分担作業の過程や思考・意見なども、しっかりと記録をして共有しておく。そのための学修には2時間以上の地道な努力を要する。							
オフィスアワー	月曜2限(11:10～12:40)に個人研究室(6405)にて対応							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1. データ収集 2. データ分析(データ入力方法他) 3. データ分析(単純集計) 4. 研究発表準備・表作成 5. 研究発表準備・発表資料作成 6. 研究発表準備・発表原稿作成 7. 研究発表(1群) 8. 研究発表(2群) 9. 研究発表(3群) 10. 論文作成・緒言 11. 論文作成・研究方法 12. 論文作成・研究結果 13. 論文作成・考察 14. 論文作成・結論 15. 論文作成・今後の課題 16. 論文提出(9月中旬)				AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福 安福
教科書 1	必要時適時提示							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	市村 美香					NO.	HS-NU-4-819	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習	
テーマと到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。							
概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よくわかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。							
評価方法	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度:20%、研究発表内容:20%、研究発表態度・資料:20%、論文の成果:40% にて評価する。							
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら研究を進め、論文を仕上げていくこと。研究発表の時は必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。							
自己学習	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で図式化・文章化していく。							
オフィスワ-	水曜2限 研究室							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1. オリエンテーション・データ収集 2. データ収集・分析 3. データ分析 4. 研究発表準備・表作成 5. 研究発表準備・発表資料作成 6. 研究発表準備・発表原稿作成 7. 研究発表 8. 研究発表 9. 研究発表 10. 論文作成・諸言 11. 論文作成・研究方法 12. 論文作成・研究結果 13. 論文作成・考察 14. 論文作成・結論 15. 論文作成・今後の課題 16. 論文提出(12月上旬)			講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	1. 看護研究委員 2-16. 市村
教科書 1	適宜、提示する。							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	横溝 珠実					NO.	HS-NU-4-819	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習	
テーマと到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。							
概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よ、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。							
評価方法	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度:20%、研究発表内容:20%、研究発表態度・資料:20%、論文の成果:40% にて評価する。							
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、論文を仕上げて行くこと。研究発表の時は、必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。							
自己学習	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で、図式化・文章化していく。							
オフィスアワー	火曜日1限(実習中は事前に連絡をしてください)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・データ収集 2. データ収集 3. データ収集 4. データ分析 5. データ分析 6. 研究発表準備・表作成 7. 研究発表準備・発表資料作成 8. 研究発表準備・発表原稿作成 9. 研究発表 10. 研究発表 11. 研究発表 12. 論文作成・諸言 13. 論文作成・研究方法・結果 14. 論文作成・研究考察・結論 15. 論文作成・今後の課題 16. 論文提出(12月上旬) 				講義 講義 ディスカッション ション GW GW GW ディスカッション ション GW GW GW ディスカッション ション GW GW ディスカッション ション ディスカッション ション	中嶋 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝 横溝
教科書 1	適宜紹介します							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	門倉 康恵					NO.	HS-NU-4-819	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	AL	
テーマと到達目標	<p>看護研究の方法(研究計画～論文作成までの一連の過程)を実践的に学び、研究成果を発表する。</p> <p>到達目標</p> <p>①研究計画書にもとづき、研究を実施しデータを収集できる</p> <p>②研究結果の分析と考察ができる</p> <p>③研究論文が作成できる</p> <p>④研究成果についてプレゼンテーションできる</p>							
概要	<p>研究計画に沿って研究を遂行し、データ分析、論文のまとめ方を学び、研究の実践的理解を学習する。研究論文作成までのプロセスを通じて、批判的思考、論理的表現能力、創造的な問題解決能力を高め、研究の意義や理解を深める。</p> <p>この科目は、大学院で修士課程を修了した教員がその経験を活かして指導する。</p>							
評価方法	研究に臨む態度(20%)文献検索(30%)研究内容(30%)論文作成(20%)							
履修条件・注意事項	授業は秋学期となっているが、指導教員と個別に相談しながら研究を計画的に進め、論文を期日までに完成させる。学生の自主的な姿勢が大切となるので、積極的に研究に取り組む。							
自己学習	疑問点を整理し先行研究を読みながら、自ら主体的に行動計画を立案する							
オフィスワ-	木曜日 11:10～12:40 6号館4階(6407)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1.オリエンテーション 2.データ収集 3.データ収集 4.データ分析 5.データ分析 6.データ分析 7.論文の書き方 8.論文執筆①(序論・目的・方法) 9.論文執筆②(研究結果) 10.論文執筆③(考察) 11.論文執筆④(論文の推敲) 12.論文執筆⑤(論文の推敲) 13.研究発表準備①(スライド作成) 14.研究発表準備②(スライド作成) 15.研究発表準備③(発表資料・原稿準備) 16.論文提出			1.AL 2.AL 3.AL 4.AL 5.AL 6.AL 7.AL 8.AL 9.AL 10.AL 11.AL 12.AL 13.AL 14.AL 15.AL 16.AL	1.門倉 2.門倉 3.門倉 4.門倉 5.門倉 6.門倉 7.門倉 8.門倉 9.門倉 10.門倉 11.門倉 12.門倉 13.門倉 14.門倉 15.門倉 16.門倉	
教科書 1	適宜、提示する							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹崎 和子					NO.	HS-NU-4-819	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 AL	
テーマと到達目標	<p>テーマ 学生が、看護実践を積み重ねる過程で専門性を深めていくために必要な看護研究の基本的な方法を理解して、実践できる。</p> <p>到達目標 ①看護計画に基づき、研究を実施しデータを収集できるようになる。 ②研究結果の分析と考察ができるようになる。 ③研究論文が作成できるようになる。 ④研究の口頭発表の準備、パワーポイントの作成ができるようになる。</p>							
概要	<p>研究計画書に沿って研究を遂行し、データ分析、論文のまとめ方を学び、研究の実践的理解を学習する。 研究論文までのプロセスを通じて、批判的な思考力、論理的表現能力、創造的な問題解決能力を高め、研究の意義や理解を深める。</p>							
評価方法	研究に臨む態度20% 文献検索30% 研究内容30% 論文作成20%							
履修条件・注意事項	授業は後期となっているが、指導教員と個別に相談しながら研究を進め、論文を完成させる。研究発表会は必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。							
自己学習	疑問点を整理し先行研究を参考にしながら、自ら主体的に行動計画を立案して、看護研究に取り組む姿勢が求められる。							
オフィスワ-	金曜日 12:40~13:30 6号館4階 6404研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1.オリエンテーション・データ収集 2. データ収集・分析 3. データ分析 4. 研究発表準備・表作成 5. 研究発表準備・発表資料作成 6. 研究発表準備・発表原稿作成 7. 研究発表 8. 研究発表 9. 研究発表 10. 論文作成・緒言 11. 論文作成・研究方法 12. 論文作成・研究結果 13. 論文作成・考察 14. 論文作成・結論 15. 論文作成・今後の課題 16. 論文提出				講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎 竹崎
教科書 1	資料及び参考論文は適宜配布する							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	福岡 美和					NO.	HS-NU-4-819
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	グループディスカッション
テーマと到達目標	自らの研究を探求できる						
概要	計画書の沿ってデータの収集、分析、論文執筆を指導する。学会発表、論文投稿についてタイムスケジュールを香料しながら論文を完成させる。担当教員は看護師、助産師として臨床経験があり、また、教育機関での経験もあるため、母性看護学に関連した研究に詳しい。						
評価方法	研究の遂行、指導に対する姿勢(50%) 研究成果のプレゼンテーション(20%) 作成された抄録や論文(30%) 研究テーマの妥当性、研究方法、論旨の妥当性、倫理的配慮について総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	各自文献を読んでくること。 理解できないことはそのままにしないこと。 グループで良く協議すること。その際、自分の意見を述べること。						
自己学習	自己にて復習を行うこと。課題に沿って研究を進めていくこと						
オフィスアワー	月曜日 13:30～15:00						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. データ収集 1回目 2. データ収集 2回目 3. データの整理と確認 4. データの整理と確認 5. データの整理と確認と分析 6. データの整理と確認と分析 7. 結果の整理 8. 結果の整理と検討 9. 結果に対する検討 10. 考察の検討 11. 考察に対するディスカッション 12. 考察の検討 2回目 13. 論文構成と執筆上の注意 14. 発表準備と練習 15. 学内発表		AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡 福岡				
教科書 1	適宜紹介						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護研究Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	澤田 和子					NO.	HS-NU-4-819
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。						
概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よくわかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。 この科目は、大学院で修士課程を修了した教員がその経験をいかして指導する。						
評価方法	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度:20%、研究発表内容:20%、研究発表態度・資料:20%、論文の成果:40% にて評価する。 研究発表や論文に対する講評などは講義内でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら研究を進め、論文を仕上げていくこと。研究発表の時は必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。						
自己学習	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で図式化・文章化していく。						
オフィスワ-	水曜2限 14号館6階 14620研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. オリエンテーション・データ収集 2. データ収集・分析 3. データ分析 4. 研究発表準備・表作成 5. 研究発表準備・発表資料作成 6. 研究発表準備・発表原稿作成 7. 研究発表 8. 研究発表 9. 研究発表 10. 論文作成・諸言 11. 論文作成・研究方法 12. 論文作成・研究結果 13. 論文作成・考察 14. 論文作成・結論 15. 論文作成・今後の課題 16. 論文提出		講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	1.看護学科教員 2-16.澤田
教科書 1	適宜、提示する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	公衆衛生看護学Ⅱ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	田中 富子、横溝 珠実					NO.	HS-HN-4-105
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:各領域別の対象における公衆衛生看護活動の基盤となる制度と理論、技術や手法の理解。 到達目標:学生が公衆衛生看護活動の基盤となる法的根拠や制度と活動を展開するための理論を理解し、それぞれの対象の健康問題を解決するために、公衆衛生看護の基礎的技術や手法を習得し、個人や集団の特性に応じた支援の理解ができる。</p>						
概要	<p>地域で生活するすべての健康レベルの人々の健康問題の解決のため、法的根拠や制度と理論の理解を深め、健康課題に応じた公衆衛生看護支援の特性・技術・手法を習得するために講義とグループワーク演習を実施する。 この科目は、行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし、関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。</p>						
評価方法	認定試験(100%)						
履修条件・注意事項	<p>1)これまでに学んだ医療、看護、保健、福祉の知識の復習をし、最近のニュースに関心を持ち、特に医療行政 や保健福祉に関するニュースはその内容を正確に把握しておく。 2)授業前後の予習復習を行い国試問題や実習地域の健康問題と関連づけた履修とする。 また、自分自身や家族の健康に関心を持ち、健康レベルの向上に向けた自らの実践目標を実行する評価のために実施した課題や小テストは授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと</p>						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出(または発表)すること。</p>						
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、毎週水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 発達段階と保健サービス 2. 母子保健の理念 3. 母性各期の健康問題と保健活動 4. 母子保健施策 5. 成人保健の理念 6. 成人期の健康問題と保健活動 7. 高齢者保健の理念 8. 高齢者の健康問題と保健活動 9. 高齢者保健施策 10. ハイリスク母子への保健活動 11. 障害者・精神保健福祉の基本理念 12. 精神保健健康問題と保健活動 13. 障害者・精神保健施策 14. 地域包括ケアシステム 15. 最終試験		講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中 田中				
教科書 1	標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動 著者:中谷芳美 出版社:医学書院						
教科書 2	著者:編集 荒賀直子他 出版社:インターメディカル						
参考書 1	公衆衛生がみえる 出版社:メディックメディア						
参考書 2							

授業科目名	産業衛生学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-HN-4-107	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義	
テーマと到達目標	事業所において、労働衛生管理の中心となる「衛生管理者」は国家資格であるが、保健師の資格があれば、資格試験免除で、上位資格である「第1種衛生管理者免許」が与えられる。この科目で学生は、衛生管理者に求められる労働衛生管理の技術的な側面の基本的な能力の習得することを目標とする。							
概要	1年次の公衆衛生学、2年次の健康管理論を基盤とすると共に、職業性疾患については、臨床医学の知識も必要となるなど、幅広い知識が要求されるが、本科目では実践的な内容を学ぶ。産業保健師として工場等に勤務しなくても、保健師の資格があれば、勤務先の病院等で衛生管理者に選任される可能性もある。産業保健の系統的な考え方やその取り組みは、適応される対象も多く看護師として勤務する場合にも有用である。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、産業医として実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をするとともに実際の産業現場の実習も行い、学生の理解を実践的なものとし又深める。							
評価方法	学期末の筆記試験(70%)と、実習を含めた取り組み姿勢およびレポート(30%)で評価する。過去の保健師国家試験問題等の小テストを行いフィードバックを随時行う。							
履修条件・注意事項	1日に2コマの授業があり、1コマ目は講義を2コマ目は演習を基本とする。産業保健現場での実習は朝から1日間かけて行う。協力先の可能な日に行うが、受講者の他の講義日程となるべく重ならないよう調整する予定である。保健師課程の必修科目であるが、看護師課程や教職課程でも参考になる。プリントを配布し、小テストも行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。							
自己学習	教科書は図説で分かりやすいが詳細であり、講義やプリントによる概要や要点の把握の上で用いることを推奨する。また、将来産業保健師や衛生管理者となった際に考えの整理に有用である。参考書である「労働衛生のしおり」は毎年更新され、最新の施策や統計を知ることができる、公式資料である。実習前には、課題を示すので実習当日までにしっかりと準備し効果的な実習となるよう自習が必要である。							
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜日2限をオフィスアワーとする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1. オリエンテーション、産業保健と産業看護、関係法令 2. 安全衛生管理体制と衛生管理者の任務 労働統計 3. 作業環境管理1その基本 4. 作業管理1その基本 5. 健康管理1 健康管理と健康診断の意義 6. 健康管理2 一般健康診断と特殊健康診断 7. 健康管理3 健康の保持・増進、メンタルヘルス 8. 職業性健康障害各論 化学的要因によるもの 9. 職業性健康障害各論 物理的要因によるもの 10. 地域保健と産業保健の連携 11. 職業性健康障害各論 その他の要因によるもの 12. 作業管理 応用 実習 13. 作業環境管理 応用 実習 14. 健康管理 応用 実習 15. 産業現場での総合的健康対策 実習 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 実習 実習 実習 実習 試験	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬・産業保健スタッフ 中瀬・産業保健スタッフ 中瀬・産業保健スタッフ 中瀬・産業保健スタッフ 中瀬						
教科書 1	職場の健康がみえる(現行では2019年発行版であるが、新版が出ればそちらとする) 著者:医療情報科学研究所(編集) 出版社:メディックメディア ISBN: 978-4-89632-782-3							
教科書 2								
参考書 1	労働衛生のしおり 令和3年度 著者:中央労働災害防止協会編 出版社:中央労働災害防止協会編 ISBN:例年新年度版は8月頃発売される							
参考書 2								

授業科目名	公衆衛生看護学実習 I				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	横溝 珠実、田中 富子					NO.	HS-HN-4-108
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	180	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>地域における健康課題の顕在化と、その健康課題解決を目指す公衆衛生看護活動の一連の展開過程を地域フィールドで実践的に学ぶ</p> <p>地域における人々の暮らし・健康問題を理解し、看護専門職が公衆衛生看護活動を計画・実施・評価・組織化するための知識と基礎的な技術の習得</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所・市町村における公衆衛生看護活動の現状について理解する 2. 公衆衛生看護活動の実際について学ぶ 3. 地域の健康課題をテーマとし地域や対象者の特性を踏まえた健康教育を体験する 4. 地域ケアシステムの構築とネットワーク化の実際について学ぶ 5. 自己研鑽や研究の重要性を理解し、研究的態度を養う 						
概要	<p>教科で学んだ理論を、地域において公衆衛生看護活動としての実践的活動を通し、個人／家族と集団／地域に主体的・創造的に働きかける学習である</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岡山県内の保健所・市町村を実習施設とし、公衆衛生看護活動の現状を理解することで、保健師が果たす役割・機能・援助技術について学ぶ 2. 地域で生活する様々な健康レベルやライフステージにおける対象へが抱える健康問題を理解し、援助技術を駆使した支援を学ぶ 3. 統合看護演習 I における中山間地域の介護予防事業に参加し、高齢者への健康教育・交流等による地域を志向した地域密着型演習と関連性のある実習を行う <p>この科目は、行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践活動に長年携わった経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ実習指導を行う。</p>						
評価方法	<p>実習指導者の評価・実習記録・カンファレンス内容を総合的に評価する</p> <p>具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習指導者の総合評価 50% 実習内容の理解度・態度・実習記録等評価評による評価点 2. 指導担当教員の総合評価 50% 巡回指導時の理解度・態度・実習記録・課題レポートを総合的に評価する 						
履修条件・注意事項	<p>公衆衛生看護学関係授業科目 9科目16単位の修得が可能なこと</p> <p>注意事項:住民を対象とする行政や現場であることを念頭に、謙虚且つ学習者としての意欲・目的意識をもち、積極的に行動すること</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学生間での情報の共有・個人情報への倫理的配慮を徹底すること ② 事前予習をして実習に臨み、実習内容の復習をした上で記録の作成を行う。 ③ 国家試験対策として、理論を実践に結びつける意識を常に持って臨むこと 						
自己学習	<ol style="list-style-type: none"> 1) 実習地である保健所及び市町村の社会環境や健康問題を地域診断で明らかにし理解して臨む 2) 実習前に行う事前オリ(学内・現地)のすべてに参加する 3) 実習前に実習指導者と打合せを行い実習計画および健康教育企画書・指導案を作成しする 4) 実習計画の事業内容の事前学習を行うこと 5) 自己の実習目的に応じた実習目標を定め、その内容に応じた実習計画を作成する 6) 公衆衛生看護技術の家庭訪問・健康教育・乳幼児健康診査等は1回以上体験すること 						
オフィスワ-	個人研究室で火曜日4次限に行う						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 行政実習 4単位:保健所1単位(地区診断・広域的保健活動・健康危機管理) + 市町村3単位(住民に身近な保健活動の実践) 内市町村	実習	横溝珠実 田中富子		
教科書 1	特に指定しない(配布資料・関係科目の教科書全般)						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	公衆衛生看護学実習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	横溝 珠実、田中 富子					NO.	HS-HN-4-109
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	45	授業形態	実習
テーマと到達目標	地域における健康課題の顕在化とその課題の解決を目指す一連の公衆衛生看護活動の展開過程を実践的に学ぶ 到達目標:地域住民の生活から健康問題を把握し、公衆衛生看護活動を計画・実施・評価・組織化・施策化するための知識と基本的な技術を習得する						
概要	公衆衛生看護学実習の一連で行う、保健所オリエンテーション・学内の実習前後演習・介護予防事業を含む。理論を地域住民の生活の場で体験する実習への準備と統合学習する。 1. 保健所業務の全般を理解する 2. 高齢者対策における1～2次予防事業と保健師の役割を理解する 3. 地域の高齢者対策への健康づくりボランティア(地区組織)の関係と活動を理解する 4. 市町村における公衆衛生活動と関係機関との連携・調整を理解する この科目は、行政機関で高齢者の介護予防や高齢者を対象とした公衆衛生看護実践活動に長年携わった経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ実習指導を行う。						
評価方法	演習におけるレポート・演習態度・発表内容・健康教育企画・健康教育を総合的に評価する 具体的には、1. 実習担当教員の総合評価を100%とし ①実習指導者の評価を勘案した評価を行う ②実習後のまとめ発表・健康教育内容を中心とした評価とする						
履修条件・注意事項	地域看護学実習関係科目 9科目 16単位の修得ができていないこと 注意事項:住民の人権を尊重し学習者として謙虚で、且つ目的意識を持って学習に臨むこと 実習関係資料・教科書を復習し十分な準備と生活習慣を見直し臨むこと						
自己学習	1)実習地の高齢者対策や介護予防事業を理解して臨む 2)実習前に行う事前演習のすべてに参加する 3)実習前に実習内容の事前学習を行うこと 4)自己の実習目的に応じた実習目標を定め、その内容に応じた内容を体験する 5)公衆衛生看護技術の健康教育・健康相談・健康診査等の知識や演習内容と関連づけること 6)公衆衛生看護学実習Ⅱと関連づけること						
オフィスワ-	個人研究室にて、火曜日4時限目を実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			地域密着型実習 1単位:地域保健活動に継続的参加を行い高齢者を中心とした健康問題を把握し、対策を検討する 1. 現地オリ・実習前後演習 1日 2学内演習・健康教育企画・演習・媒体作成・まとめ 1日 3. 地域での健康教育 2日 4. 健康福祉の集い 1日			演習 実習	横溝珠実 田中富子
教科書 1	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 出版社:医学書院						
教科書 2	内容毎に資料を配付						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	健康相談活動論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	太田 泰子、郷木 義子					NO.	TC-NU-4-903
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	<p>養護教諭の職務の一つである健康相談活動の理論と実践について講義と演習を行い、学校における健康相談活動の理念と実践を学ぶ。</p> <p>(1) 養護教諭が行う健康相談活動の意義と法的根拠を理解する (2) 健康相談活動について、基本的知識・技術・態度を理解する (3) 養護教諭の職務と専門性、及び保健室の機能との関連づけができる (4) 看護学を基盤とした身体的心理的社会的なアセスメントができる</p>						
概要	<p>健康相談活動の概念と他職種の相談活動との違いを理解し、法的根拠に基づいた相談活動の実際と、基本的知識・技術・態度について学ぶ。</p> <p>演習では対象となる児童生徒の発達段階と健康課題に応じて、養護教諭の専門性と保健室の特性を活かした健康相談活動の基本的対応スキルを身につける。また学校場面での健康相談活動の基本プロセスとアセスメントの方法について理解を深める。</p> <p>この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、学校現場において実践的に役立つ授業を展開する。</p>						
評価方法	<p>養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、定期試験(60%)、課題・発表・演習等(40%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>養護教諭免許の取得を目的とする。授業態度(演習やグループワークへの参加・出席状況を含む)や課題レポートの提出及び内容の充実を厳しく評価する。予習復習及び課題への自己学習を行うこと。</p>						
自己学習	<p>予習復習については毎回到提示する。また、教員採用試験対策と併せて自己学習を進めるとともに、養護教諭の職務や社会的役割について書籍や専門誌等で日ごろから興味関心をもって学んでおくこと。</p>						
オフィスワ-							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 健康相談活動とは 2. 社会の変化と子どもの健康問題の変遷、子どものヘルスニーズ 3. 発達段階別の心身の健康問題 4. 健康相談活動のプロセスと対応 5. 心身に関する知識とヘルスアセスメントの活用 6. 支援体制づくりと校内外の連携 7. 演習:①体調不良 8. 演習:②アレルギー 9. 演習:③保健室登校 10. 演習:④精神疾患⑤自傷行為 11. 演習:⑥いじめ ⑦虐待 12. 演習:⑧多様な性 13. 健康相談活動の実際(健康相談) 14. 健康相談活動の記録と評価、事例検討 15. まとめ	講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 講義 講義	1.郷木 2.郷木 3.郷木 4.郷木 5.太田 6.太田 7.太田 8.太田 9.太田 10.太田 11.太田 12.太田 13.太田 14.太田 15.太田					
教科書 1	<p>新訂養護概説 著者:三木とみ子編集 出版社:ぎょうせい</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>教職員のための健康相談及び保健指導の手引き 著者:文部科学省ホームページ</p>						
参考書 2							

授業科目名	教育心理学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤原 直子				NO.	TC-NU-2-906	
配当学科	看護			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>1. 教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ</p> <p>2. 児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける</p> <p>3. 児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与しうる教育心理学的知識を身につける</p>						
概要	<p>この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。はじめに教育心理学の理論と方法を概観した後、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。続いて児童生徒の友人関係、心の問題を、学習活動や学校生活との関わりで解説する。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や対応方法について教授し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。講義内の小テストや演習課題については、講義内で回答・フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>講義をしっかりと聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業の最初に実施する小テスト(前の時間の確認テスト)の結果をもとに、復習を行う。 ③毎回の授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。</p>						
オフィスワ-	研究室にて、毎週月曜日2限に実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回:オリエンテーション 第2回:教育心理学とは、発達と教育 第3回:発達段階、認知の発達 第4回:特別支援教育と発達障害 第5回:発達障害の理解と対応 第6回:発達障害への教育・支援 第7回:学習指導の基礎理論と基本 第8回:学習指導の方法 第9回:適応の心理と教育 第10回:いじめ・不登校の心理と指導 第11回:学習理論と学習のメカニズム 第12回:学習理論に基づく技能学習と問題解決 第13回:動機づけの理論 第14回:動機づけの応用と学習へのアプローチ 第15回:学級・集団の心理 第16回:単位認定試験		講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義・AL 講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 筆記試験	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原				
教科書 1	教育心理学 著者:松原達哉 出版社:丸善出版 ISBN:978-4-621-08636-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護教育法Ⅱ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	清水 菜月					NO.	TC-NU-4-910	
配当学科	看護				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 AL	
テーマと到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校看護科の教育目標および教育課程を踏まえた効果的な授業展開と評価についての演習を実施することが出来る。 2. 看護教育における「実習」の学習形態の特徴について説明できる。 3. 講義と実習の一体的な指導に係る授業の設計方法及び評価について説明できる。 4. 臨地実習における指導計画・指導方法について説明できる。 5. 実習校と連絡をとり、実習校で行う科目・単元について学習指導案を作成し、模擬授業を実践し、客観的に評価し授業設計を改善することが出来る。 6. 看護教育の授業研究の必要性について説明できる。 							
概要	<p>教育実習の事前指導をテーマとし、効果的な授業展開、校内実習を伴う授業や臨地実習の指導方法について解説する。看護教員にとって授業設計に基づく授業実践は重要であり、看護教育法Ⅱでは看護教育法Ⅰで学習したことを踏まえて、看護実践に必要な知識と技術の習得に向けた講義と実習の一体的な指導に関わる授業設計ができる能力を養うことを意図する。また、看護教育に携わる者としての態度及び実践的・研究能力を養い学習指導への位置づけについて考察できることを目指す。この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	学習指導案の作成(40%)、教材研究および模擬授業の発表内容(40%)、授業態度(20%)とし、総合的に判断する。							
履修条件・注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護教育法Ⅰ・教育実習の研究の単位取得ができていること 2. 教育実習の準備が整っていること 							
自己学習	事前学習として、看護科教育の法的根拠の基礎的理解や基礎看護の基礎的技術は各自身に付けておくようにすること。							
ワイルドワ-	講義終了後							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:高等学校看護科教育の目標及び教育課程		講義	清水					
第2回:校内における実習の授業設計(情報機器の活用)(1)授業設計およびグループワーク		講義	清水					
第3回:校内における実習の授業設計(情報機器の活用)(2)模擬授業		講義	清水					
第4回:実習校の紹介と実習目標のプレゼンテーション		AL	清水					
第5回:臨地実習における指導方法		AL	清水					
第6回:模擬授業の実施と評価(1)基礎看護・教材研究及び指導案の作成		AL	清水					
第7回:模擬授業の実施と評価(2)基礎看護・校内での実習を行う授業展開(血圧測定について)		AL	清水					
第8回:模擬授業の実施と評価(3)基礎看護・校内での実習を行う授業展開(排泄の援助について)		AL	清水					
第9回:模擬授業の実施と評価(4)人体と看護・教材研究		AL	清水					
第10回:模擬授業の実施と評価(5)人体と看護・模擬授業		AL	清水					
第11回:模擬授業の実施と評価(6)生活と看護・教材研究及び指導案の作成		AL	清水					
第12回:模擬授業の実施と評価(7)生活と看護・模擬授業		AL	清水					
第13回:模擬授業の実施と評価(8)疾病と看護・模擬授業		AL	清水					
第14回:模擬授業の評価		講義	清水					
第15回:定期試験								
教科書 1	高等学校学習指導要領解説 看護編 出版社:東山書房							
教科書 2								
参考書 1	高等学校用 基礎看護 高等学校用 人体と看護 高等学校用 疾病と看護 高等学校用 生活と看護 高等学校用 成人看護 高等学校用 老年看護 高等学校用 精神看護 出版社:教育出版株式会社							
参考書 2								

授業科目名	教育課程論				履修期	2021年度 春学期			
担当者	池上 真由美					NO.	TC-NU-2-911		
配当学科	看護				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義		
テーマと到達目標	教育課程の編成と実施などについての基礎的・基本的な知識を修得し、学校や地域の特性と教師の創意・工夫を生かした魅力ある教育課程を編成するための方略について理解する、また、編成した教育課程を実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルについて理解することを目標とする。								
概要	教育課程とは何か、教育課程の変遷、教育課程の法体系と学習指導要領、新学習指導要領・新教育要領の改訂のポイントなどについて理解する。また、編成した教育課程を実施・評価し改善するカリキュラム・マネジメントのプロセスを、実践例を通して学び、演習やグループワーク等を行うことで、カリキュラム・マネジメント力を養う。小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。								
評価方法	[試験]60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。) [提出物]20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する。レポート課題、コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。) [授業への参画状況]20%(発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する。)								
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。								
自己学習	前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。								
オフィスアワー	月曜日4時限目								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:教育課程とは何か 第2回:教育の目的と教育課程の編成			講義・AL 講義・AL	池上 池上					
第3回:現代日本の教育課程の変遷 第4回:新学習指導要領等の改訂のポイント「社会に開かれた教育課程」「学びの地図」「主体的・対話的で深い学び」			講義・AL 講義・AL	池上 池上					
第5回:近年の教育改革の動向および今後の課題			講義・AL	池上					
第6回:幼稚園・小学校・中学校教育・高等学校教育における教育課程			講義・AL	池上					
第7回:教育課程の法と行政、実践・カリキュラム・マネジメント			講義・AL	池上					
第8回:定期試験			講義・AL 筆記試験	池上 池上					
教科書 1	はじめて学ぶ教育課程 著者:広岡義之 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07559-1								
教科書 2									
参考書 1	小学校学習指導要領・中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領 著者:文部科学省								
参考書 2									

授業科目名	教育実習				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 菜月					NO.	TC-NU-3-918		
配当学科	看護				年次	4			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	実習		
テーマと到達目標	看護教育の内容、方法に関する実践的学習をテーマとし、実習を通して大学で学んだ教育理論を教育現場で実践し、教育職員としての役割や責任について学ぶ。								
概要	衛生看護科のある高等学校を実習校とし、教育の実際について直接的な体験を通して、理論と実践の統合をめざしていく。具体的には、2週間の教育実習において、1. 授業見学実習を行う、2. 学習指導案を作成し、指導教員から指導を受ける、3. 指導案をもとに授業を行う、4. 授業の後に指導教員から評価を受ける、5. 学級担任として生徒指導を行う、6. 課外活動、クラブ活動に参加し、生徒の実態を理解する、7. 実習終了後、大学において体験発表を行う。								
評価方法	実習校の評価(65%)、事前学習(10%)、意欲・態度(25%)等を総合的に評価する。								
履修条件・注意事項	3年次までの教職免許取得に必須の教科の単位取得ができていないこと、教職GPAが規定の基準に達していること、教育実習先の学校の実習許可を得ていること、の3点が基本的に教育実習に行く条件となる。 また、教員志望意識が低く、免許取得のみを目的としている者には教育実習に行くことを辞退する指導をする場合もある。また、教育実習中または教育実習終了後においても実習校での態度が実習生として適切でない態度や言動があった場合には単位の認定はしない。教育実習中においても同様な事態があった場合には実習を中止する場合もある。教育実習についてもガイダンスや学科単位での実習前の説明会には必ず参加すること。								
自己学習	実習中は実習校において学校長の監督のもと、指導教諭の指導を受ける。学校教育の現場でしか体験できないことを積極的に取組む中で看護科教諭の職務の理解を深める。								
オフィスワ-									
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
6月初旬の2週間に実習を実施する ①第1週 ・学校教育と校務分掌についての概要のオリエンテーションから、実習校の概要を学ぶ ・所属クラスの決定、「看護」科目の授業やホームルーム、学校行事、清掃活動等の 見学を行う中で生徒指導のあり方や対応の仕方を学ぶ。 第2週 ・「看護」科目の授業やホームルーム、学校行事、清掃活動等について見学や、「看護」科目について授業の実践をし、授業方法や生徒理解を深める。 ・「看護」科目について研究授業で指導を受け、授業方法や担任教諭との連携、生徒理解と授業との関連を学ぶ。			実習 実習	清水・増本 清水 ・増本					
教科書 1	教育実習記録 出版社: 吉備国際大学								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	養護実習指導			履修期	2021年度 春学期		
担当者	郷木 義子、平松 恵子					NO.	TC-NU-4-919
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	養護実習を行う上での基本的知識・技術・態度を養い、学校教育全体の中の養護活動について理解し、養護教諭として求められる資質能力の修得する。 児童生徒の実態に応じた保健室経営について学び、健康診断、フィジカルアセスメントと救急処置、特別な支援の必要な児童生徒への基本的な対応を理解する。また保健指導を計画し実施する。						
概要	養護実習の事前事後指導を行う。養護実習の目的、目標、内容について明確に意識して臨む。救急処置や健康診断等の養護教諭の職務の基本的事項についてグループワークや演習を中心に理解を深める。保健指導案、保健だよりを各自で作成して発表し、実習準備を行う。実習後は、実習成果を報告会にて発表し学びの確認と整理をする。 この科目は、養護教諭として実務経験を持つ教員がその経験を生かし、教育現場において実践的に役立つ授業を展開する。						
評価方法	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、定期及び実技試験(60%)、課題・発表・演習等(40%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	養護教諭一種免許状取得及び養護実習を受けるための必修科目である。実習校での模擬実習として、取組む姿勢が大切であり、出席状況(連絡のない遅刻欠席)、授業態度、課題提出等について重要な評価項目とする。 ※第3講義～第8回演習(担当者:平松恵子)はオンライン授業「Microsoft Teams」で実施します。						
自己学習	予習復習については毎回到提示する。養護実習前の事前準備として、保健室経営のあり方や法的根拠の基礎的理解や健康診断やフィジカルアセスメントの基礎技術は各自身に付けておくようにすること。						
オフィスワ-							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. ガイダンス 養護実習の意義 実習校の概要 2. 養護実習の目的、内容 3. 保健指導案作成 4. 保健指導発表 5. 感染症対策、実習記録演習 6. 保健指導(模擬授業演習) 7. 保健指導(模擬授業演習) 8. 保健指導(模擬授業演習) 9. 養護教諭からの学び 10. 学校場面を想定した救急処置 11. 学校場面を想定した救急処置 12. 実習のまとめ(礼状・学びの整理) 13. 実習のまとめ(発表・学びの共有) 14. 実習のまとめ(発表・学びの共有) 15. 実習のまとめ(発表・学びの共有)	1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 発表 5. 講義 6. 演習 7. 演習 8. 演習 9. 講義 10. 演習 11. 演習 12. 講義と演習 13. 講義と演習 14. 講義と演習 15. 講義と演習	1. 郷木 2. 郷木 3. 平松 4. 平松 5. 平松 6. 平松 7. 平松 8. 平松 9. 郷木・外部講師 10. 郷木 11. 郷木 12. 郷木 13. 郷木 14. 郷木 15. 郷木					
教科書 1	新訂版学校保健実務必携 著者:学校保健・安全実務研究会 出版社:第一法規						
教科書 2							
参考書 1	新訂養護概説 著者:三木とみ子編著 出版社:ぎょうせい						
参考書 2							

授業科目名	養護実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	吉備国際大学未定教員					NO.	TC-NU-4-920
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	120	授業形態	実習
テーマと到達目標	養護教諭免許取得のための教科・科目で学んだ教育理論を教育現場で実践し、養護教諭の職務の理解を深め、教育職員としての自覚と責任について学ぶ。						
概要	教育現場で直接的な体験を通して、教員として養護教諭としての職務と役割について実践的に学修する。学校教育活動をはじめ、児童生徒の実態、養護活動を見学し、指導を受け実践する。保健室経営、救急処置、保健指導等の実際を学び実習する。保健教育については指導案を作成して、保健指導または保健学習を行う。実習は3週間で、実習校は出身校(小学校を基本)とするが遠方の場合は高梁市の小学校に依頼する。この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、児童生徒の健康課題や学校の状況に即した実習指導を展開する。						
評価方法	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、実習校の評価(60%)、実習記録(10%)、意欲・態度(30%)等を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、実習中及び事後指導にてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	(1)3年次までの教職免許取得の必須教科について単位取得ができていないこと (2)GPA等の本学の教育・養護実習履修要件を満たしていること (3)教育実習先の学校の実習許可を得ていること 上記3要件に加え、教育実習のガイダンスや実習前の説明会には必ず参加すること。 なお、実習中や実習前後において、教職を目指す実習生として適切でない態度・行為があった場合には実習を中止する場合や単位認定できない場合もある。						
自己学習	実習中は実習校において学校長の監督のもと、指導養護教諭の指導を受ける。学校教育の現場でしか体験できないことを積極的に取り組む中で養護教諭の職務の理解を深める。						
オフィスワ-	実習は学外のため、メールや電話にて相談を受ける。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			実習目標: ①学校教育方針と、学校保健との関連について理解するとともに、学校保健の組織的運営と養護教諭の役割を理解する。また、教職員としての倫理観や責任感について考え、自覚をもつことができる。 ②保健室経営のあり方を理解し、児童生徒の健康課題に関し、個別的あるいは組織的な取り組みについて学び、校内外の連携の必要性の理解ができる。 ③児童生徒の実態及び健康課題や発達課題を把握し、児童生徒への基本的な養護活動の実践ができる。また、実践した養護活動の報告や記録が適切にできる。 内容:指導教員の指導のもとで学校教育全般の活動参加と保健室経営を中心とした養護活動への参加と実践を行う。児童生徒との積極的な関わりをとおして学ぶ。			実習 実習 実習 実習	
教科書 1	新訂版学校保健実務必携 出版社:第一法規						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	教職実践演習(高校)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	清水 菜月					NO.	TC-NU-4-921
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	学生の既習学習が、教員として必要な能力として有機的な統合・形成に繋がっているかについて、これまでの学習を踏まえて確認する。 また、学校現場の教育課題や課題解決のために必要な教育活動について講義や演習で学び、教員として必要な資質能力を身につけることができる。						
概要	教員として必要な以下の資質能力について実践活動を交えながら学習・確認する。 ①使命感、責任感、教育的愛情に関する事項 ②社会性や対人関係能力に関する能力 ③生徒の理解や学級経営に関する事項 ④教科等の指導能力に関する事項 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	受講態度30%、レポート提出20%グループワークの参加状況20%、模擬授業の発表30%とし、総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	履修条件は以下のとおりとする。 ①職科目の全ての履修を行い、必要単位を取得または取得見込みであること ②教育実習を終了している						
自己学習	教職の現場での実践能力を身につけることができるよう、講義、グループワーク、ロールプレイ、実技演習、学外での実習など様々な教育手法を用いる。その都度、課題を課す。						
オフィスアワー	集中講義であるので、講義後の1時間をオフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.教育相談の課題と生徒対応の実際 ① 3.教育相談の課題と生徒対応の実際 ② 4.教師に求められる資質能力 5.教員として必要な実践活動を学ぶ① 6.教員として必要な実践活動を学ぶ③ 7.教員として必要な実践活動を学ぶ④ 8.特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ① 9.特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ② 10.特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ③ 11.特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ④ 12.教材研究と授業展開(生活と看護) 13.教員として必要な実践能力 14.教育実習での学び 15.教材研究と授業展開	①講義 ②講義 ③講義 ④講義 ⑤講義 ⑥講義 ⑦講義 ⑧演習 ⑨演習 ⑩演習 ⑪演習 ⑫講義と演習 ⑬講義と演習 ⑭講義と演習 ⑮講義と演習	①清水 ②清水 ③清水・外部講師 ④清水・外部講師 ⑤清水 ⑥清水 ⑦清水 ⑧清水 ⑨清水 ⑩清水 ⑪清水 ⑫清水 ⑬清水 ⑭清水 ⑮清水		
教科書 1	随時配布予定						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	教職実践演習(養護教諭)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	吉備国際大学未定教員、清水 菜月					NO.	TC-NU-4-922
配当学科	看護			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	これまでの学修が、養護教諭として必要な資質と能力として有機的に統合され形成することを目標とする。また、児童生徒の健康課題解決のために必要な養護教諭の教育活動について学び、教員として養護教諭としての必要な資質と能力を身につけることができる。						
概要	<p>養護教諭一種免許取得の最終として、以下の養護教諭として必要な資質について学修、確認する。</p> <p>(1) 使命感、責任感、教育的愛情に関する事項 (2) 社会性や対人関係能力に関する能力 (3) 児童生徒の健康と発達を養護する能力 (4) 保健室経営に関する事項 (5) 保健指導及び保健教育に関する事項</p> <p>この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、学校現場において実践的に役立つ授業を展開する。</p>						
評価方法	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、レポート(50%)、課題・発表・演習等(50%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	履修条件は以下のとおりとする。 ①教職科目の全ての履修を行い、必要単位を取得または取得見込みである ②養護実習を終了している						
自己学習	予習復習については毎回に提示する。 養護実習で得た学びを理論的に整理し、学校現場で1人の教員として、養護教諭の資質と能力を身に付けることを意識して取り組むこと。						
オフィスワ-							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.養護教諭及び教職に関する基礎知識と学習歴の確認 2.養護実習成果発表 3.養護実習のまとめ(理論と実践の整理) 4.保健室経営計画① 5.保健室経営計画②(発表) 6.教員に求められる資質能力(実践講和) 7.特別支援と個別計画 8.災害時の学校保健活動 9.学校保健組織活動 10.就学時検診①(学外) 11.就学時検診②(学外) 12.就学時検診③(学外) 13.就学時検診④(学外) 14.教員育成指標と到達確認 15.養護教諭の資質と職務			①講義 ②AL ③講義 ④AL ⑤AL ⑥講義 ⑦講義 ⑧講義 ⑨講義 ⑩演習 ⑪演習 ⑫演習 ⑬演習 ⑭AL ⑮講義	
教科書 1	新訂版学校保健実務必携 著者:学校保健・安全研修会編著 出版社:第一法規						
教科書 2	新訂養護概説 著者:三木とみ子編集 出版社:ぎょうせい						
参考書 1							
参考書 2							